

平成 26 年度

歳入歳出決算にかかる
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
平成 26 年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	6
(4) 都市計画税の使途	8
(5) 全会計市債等現在高	8
(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障施策に 要する経費	9
(7) 平成 26 年度 普通会計決算状況調書	10
(8) 普通会計における財務書類 4 表	12
部門別決算成果概要	
1 市長公室	17
2 政策経営部.....	26
3 総務部	32
4 市民環境部.....	40
5 福祉こども部.....	78
6 健康長寿部.....	108
7 建設部	158
8 都市整備部.....	172
9 上下水道部.....	190
10 教育部	195
11 消防本部	233
12 その他	238
議会事務局	238
選挙管理委員会事務局	239
監査委員事務局	242
公平委員会事務局	242
固定資産評価審査委員会事務局	243
農業委員会事務局	244
13 用品調達基金運用状況表	245

はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第 233 条第 3 項の規定に基づき、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第 5 項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模並びに総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業、飲料水供給施設事業の各特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、平成 26 年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

平成 26 年度の決算概要

平成 26 年度各会計歳入歳出決算の状況は、（１）各会計決算額のとおりとなっている。

また、平成 26 年度普通会計決算状況は、歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度から 5 億 612 万 2 千円（2.2%）の増額となった。また、国庫支出金は、地域の元気臨時交付金や災害復旧の影響などにより、前年度から 4 億 298 万円（ 3.8%）の減額となった。

歳出を目的別に分析すると、前年度から、民生費が臨時福祉給付金給付事業などにより、10 億 2,843 万円（3.9%）の増額となり、災害復旧費が、11 億 1,766 万 8 千円（ 63.8%）の減額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、人件費は、前年度から 2 億 9,128 万 4 千円（2.6%）の増額、扶助費は、前年度から 10 億 226 万 9 千円（6.2%）の増額、公債費は、前年度から 1 億 429 万円（1.9%）の増額となり、義務的経費全体で、前年度から 13 億 9,784 万 3 千円（4.3%）の増額となった。なお、民間保育所施設整備事業などの影響により、普通建設事業費は、前年度から 11 億 8,146 万 4 千円（ 20.5%）の減額、災害復旧事業費は、前年度から 11 億 1,766 万 8 千円（ 63.8%）の減額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成 26 年度	60,769,633	60,319,028	450,605	158,480	292,125	18,406
	平成 25 年度	60,908,826	60,291,828	616,998	306,467	310,531	31,077
	差引	139,193	27,200	166,393	147,987	18,406	12,671
国民健康保険 事業特別会計	平成 26 年度	20,954,379	20,470,981	483,398	0	483,398	158,888
	平成 25 年度	20,721,574	20,079,288	642,286	0	642,286	81,488
	差引	232,805	391,693	158,888	0	158,888	77,400
後期高齢者医療 事業特別会計	平成 26 年度	2,260,243	2,247,577	12,666	0	12,666	2,089
	平成 25 年度	2,238,252	2,227,675	10,577	0	10,577	66,682
	差引	21,991	19,902	2,089	0	2,089	68,771
介護保険事業 特別会計	平成 26 年度	12,764,320	12,275,930	488,390	0	488,390	156,004
	平成 25 年度	12,373,086	12,040,700	332,386	0	332,386	54,088
	差引	391,234	235,230	156,004	0	156,004	101,916
墓地公園事業 特別会計	平成 26 年度	62,768	62,768	0	0	0	0
	平成 25 年度	63,437	63,437	0	0	0	0
	差引	669	669	0	0	0	0
簡易水道事業 特別会計	平成 26 年度	116,724	112,077	4,647	0	4,647	4,647
	平成 25 年度	477,024	476,882	142	142	0	0
	差引	360,300	364,805	4,505	142	4,647	4,647
飲料水供給施設 事業特別会計	平成 26 年度	11,458	10,371	1,087	0	1,087	1,087
	平成 25 年度	10,606	10,476	130	130	0	0
	差引	852	105	957	130	1,087	1,087
公共下水道 事業特別会計	平成 26 年度	7,470,943	7,059,450	411,493	50,130	361,363	361,363
	平成 25 年度	8,326,822	8,286,699	40,123	40,123	0	0
	差引	855,879	1,227,249	371,370	10,007	361,363	361,363
水道事業会計 (収益的収支)	平成 26 年度	4,011,400	4,860,570	849,170	/		
	平成 25 年度	3,904,554	3,888,163	16,391			
	差引	106,846	972,407	865,561			
水道事業会計 (資本的収支)	平成 26 年度	331,807	830,397	498,590			
	平成 25 年度	250,132	796,374	546,242			
	差引	81,675	34,023	47,652			

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	26年度決算額 (千円)	構成比 (%)	25年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	23,771,831	39.2	23,265,709	38.3	506,122	2.2
うち個人市民税	9,694,084	16.0	9,794,884	16.1	100,800	1.0
うち法人市民税	1,806,835	3.0	1,284,237	2.1	522,598	40.7
うち固定資産税	9,283,520	15.3	9,171,016	15.1	112,504	1.2
地方譲与税	334,594	0.6	349,740	0.6	15,146	4.3
利子割交付金	74,290	0.1	85,213	0.1	10,923	12.8
配当割交付金	250,330	0.4	134,163	0.2	116,167	86.6
株式等譲渡所得割交付金	141,543	0.2	211,779	0.3	70,236	33.2
地方消費税交付金	2,030,070	3.3	1,629,493	2.7	400,577	24.6
ゴルフ場利用税交付金	29,871	0.1	25,933	0.0	3,938	15.2
自動車取得税交付金	70,599	0.1	129,695	0.2	59,096	45.6
地方特例交付金	142,362	0.2	166,821	0.3	24,459	14.7
地方交付税	6,887,119	11.3	6,845,925	11.3	41,194	0.6
普通交付税	6,491,314	10.7	6,379,408	10.5	111,906	1.8
特別交付税	395,805	0.6	466,517	0.8	70,712	15.2
交通安全対策特別交付金	28,228	0.1	33,720	0.1	5,492	16.3
分担金及び負担金	915,307	1.5	902,425	1.5	12,882	1.4
使用料	1,389,697	2.3	1,361,881	2.2	27,816	2.0
手数料	136,700	0.2	138,939	0.2	2,239	1.6
国庫支出金	10,291,098	17.0	10,694,078	17.6	402,980	3.8
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	66,093	0.1	66,053	0.1	40	0.1
府支出金	4,565,049	7.5	4,892,882	8.0	327,833	6.7
財産収入	169,987	0.3	51,824	0.1	118,163	228.0
寄付金	169,300	0.3	141,678	0.2	27,622	19.5
繰入金	312,866	0.5	246,439	0.4	66,427	27.0
繰越金	617,128	1.0	1,019,097	1.7	401,969	39.4
諸収入	2,746,600	4.5	2,799,194	4.6	52,594	1.9
地方債	5,585,800	9.2	5,635,500	9.3	49,700	0.9
うち臨時財政対策債	3,631,900	6.0	3,691,300	6.1	59,400	1.6
歳入合計	60,726,462	100.0	60,828,181	100.0	101,719	0.2
うち一般財源等	38,816,630	63.9	38,606,788	63.5	209,842	0.5
うち経常一般財源等	32,155,765	53.0	31,211,095	51.3	944,670	3.0

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	26年度決算額 (千円)	構成比 (%)	25年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	460,278	0.8	450,971	0.8	9,307	2.1
総務費	4,678,391	7.8	5,261,771	8.7	583,380	11.1
民生費	27,153,799	45.0	26,125,369	43.4	1,028,430	3.9
衛生費	4,412,858	7.3	4,043,728	6.7	369,130	9.1
労働費	94,567	0.2	85,361	0.1	9,206	10.8
農林水産業費	287,297	0.5	268,411	0.5	18,886	7.0
商工費	1,813,879	3.0	1,848,937	3.1	35,058	1.9
土木費	6,843,274	11.3	6,753,700	11.2	89,574	1.3
消防費	2,244,534	3.7	2,183,436	3.6	61,098	2.8
教育費	6,135,778	10.2	6,025,876	10.0	109,902	1.8
災害復旧費	635,493	1.1	1,753,161	2.9	1,117,668	63.8
公債費	5,514,622	9.1	5,410,332	9.0	104,290	1.9
歳出合計	60,274,770	100.0	60,211,053	100.0	63,717	0.1

性質別決算状況

	26年度決算額 (千円)	構成比 (%)	25年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	11,475,350	19.0	11,184,066	18.6	291,284	2.6
物件費	5,816,086	9.7	5,494,838	9.1	321,248	5.8
維持補修費	758,321	1.3	656,754	1.1	101,567	15.5
扶助費	17,243,057	28.6	16,240,788	26.9	1,002,269	6.2
補助費等	4,469,796	7.4	4,235,044	7.0	234,752	5.5
公債費	5,514,622	9.1	5,410,332	9.0	104,290	1.9
積立金	357,158	0.6	387,087	0.7	29,929	7.7
投資及び出資金	40,247	0.1	19,441	0.0	20,806	107.0
貸付金	2,372,989	3.9	2,383,451	4.0	10,462	0.4
繰出金	6,999,722	11.6	6,672,698	11.1	327,024	4.9
普通建設事業費	4,591,929	7.6	5,773,393	9.6	1,181,464	20.5
災害復旧事業費	635,493	1.1	1,753,161	2.9	1,117,668	63.8
歳出合計	60,274,770	100.0	60,211,053	100.0	63,717	0.1
うち義務的経費	34,233,029	56.7	32,835,186	54.5	1,397,843	4.3
経常的経費	48,457,834	80.4	46,990,937	78.0	1,466,897	3.1

ウ 財政構造

平成 26 年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去 3 カ年平均）は 0.746（25 年度 0.755）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は 0.9%（25 年度 0.9%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は 93.7%（25 年度 92.9%）
- ・ 一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は 93.8%（25 年度 91.3%）

エ 基金現在高

基金全体の平成 26 年度末現在高（普通会計）は、80 億 2,986 万 7 千円で、前年度から 8,825 万 4 千円の増加となった。繰入については、公共施設等整備基金を 2 億 4,069 万 9 千円繰り入れた。一方、積立については、財政調整基金に 1 億 6,145 万 6 千円、減債基金に 3,317 万 9 千円、将来のまちづくりのために宅地開発等協力寄付金等を原資とする公共施設等整備基金に 1 億 2,440 万 5 千円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は 14 億 2,418 万 2 千円となった。

基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
公共施設等整備基金	240,699	通学路安全対策事業	2,889
		排水路改良事業	63,210
		消防機械器具整備事業	16,000
		高度救急設備整備事業	18,600
		宇治中学校改築事業	140,000
減債基金	21,365	財源対策	20,000
		簡易水道事業特別会計繰出金	1,365
国際交流基金	186	カムループス市交流促進事業	186
文化事業基金	2,241	文化センター文化事業補助金	2,241
ふるさと創生基金	2,720	源氏物語ミュージアム企画展示	2,720
地域福祉振興基金	12,597	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	3,637
		地域福祉センター再整備事業	8,960
社会福祉事業基金	628	在宅要援護老人対策事業	628
母子福祉基金	90	ひとり親家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	90
玉井高齢者福祉事業基金	156	在宅要援護老人対策事業	156
高齢者活動基金	757	高齢者活動事業	557
		生涯学習センター高齢者活動事業	200
国際ソロプチミスト宇治 交通遺児奨学基金	40	交通遺児激励事業	40
スポーツ振興基金	4,754	スポーツ振興基金活用事業	4,386
		全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	368
中小企業振興基金	496	中小企業振興対策事業	496
大気質測定基金	5,401	自動車排出ガス監視測定局運営事業	5,401
市有製茶機械購入基金	4,839	市有製茶機械貸与	4,839
交通安全事業基金	166	交通安全対策事業	166
火災予防等事業基金	151	火災予防等事業基金活用事業	151
ふるさと応援基金	518	市営茶室管理運営事業	270
		宇治茶普及宣伝事業	248
図書館図書等整備基金	2,991	図書館資料提供事業	2,573
		読書推進事業	418
合計	300,795		

オ 地方債現在高

平成 26 年度末における地方債の現在高は 457 億 5,985 万 7 千円となり、前年度から 6 億 541 万 1 千円の増加となった。発行額は、一般債が 19 億 5,390 万円、特例債である臨時財政対策債が 36 億 3,190 万円、総額 55 億 8,580 万円となり、前年度から 4,970 万円の減額となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成 19 年 6 月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成 19 年度決算から、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の 4 つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業、簡易水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4 つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第 5 条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	26年度 決算	25年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	-	-	11.63%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標(一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率)
連結実質赤字 比率	-	-	16.63%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や下水道、水道事業などすべての特別会計を対象として、赤字を判断する指標(全会計の赤字の標準財政規模に対する比率)
実質公債費比率	2.4%	3.1%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標(一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率)
将来負担比率	-	-	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標(一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率)

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「-」で表示している。

将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「-」で表示している。

イ 資金不足比率

特別会計の名称	26年度決算	25年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	-	-	20.0%
簡易水道事業特別会計	-	-	20.0%
公共下水道事業特別会計	-	-	20.0%

資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「-」で表示している。

(4) 都市計画税の使途

平成 26 年度に実施した都市計画税充当対象事業費 30 億 6,247 万 4 千円(下水道事業含む)に対して、都市計画税 16 億 6,409 万 7 千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	府営事業負担金	3,371
下水道事業	下水道事業	248,416
その他事業	名木川改修 他	49,138
公債費(下水道事業分含む)		1,363,172
合 計		1,664,097

(5) 全会計市債等現在高

	26 年度末 (千円)	25 年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	92,737,150	92,549,549	187,601	0.2
一般会計	46,476,093	45,903,794	572,299	1.2
墓地公園事業特別会計	48,519	60,150	11,631	19.3
簡易水道事業特別会計	964,467	936,075	28,392	3.0
飲料水供給施設事業特別会計	48,193	45,904	2,289	5.0
公共下水道事業特別会計	40,738,826	40,986,540	247,714	0.6
水道事業会計	4,461,052	4,617,086	156,034	3.4

(6) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

平成26年度一般会計における社会保障施策経費への充当状況については、次のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金(社会保障財源化分) 386,353千円

【歳出】社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 11,447,129千円

< 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 > (単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国府支出金	市債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	生活保護事業	2,057,662	1,593,752	0	0	31,081	432,829
	児童福祉事業	5,186,115	1,358,910	0	1,088,940	183,461	2,554,804
	母子福祉事業	3,324	0	0	1,147	146	2,031
	高齢者福祉事業	23,588	0	0	4,421	1,284	17,883
	障害者福祉事業	61,868	5,595	0	0	3,770	52,503
	小計	7,332,557	2,958,257	0	1,094,508	219,742	3,060,050
社会保険	国民健康保険事業	1,225,713	598,437	0	0	42,027	585,249
	後期高齢医療事業	418,279	221,929	0	0	13,155	183,195
	介護保険事業	255,364	0	0	0	17,109	238,255
	小計	1,899,356	820,366	0	0	72,291	1,006,699
保健衛生	母子保健事業	542,888	150,000	0	3,098	26,116	363,674
	高齢者医療事業	369,358	194,802	0	145	11,685	162,726
	障害者医療事業	726,191	418,453	0	4,395	20,325	283,018
	疾病予防対策事業	426,527	251	0	0	28,560	397,716
	健康増進対策事業	85,490	0	0	7,919	5,197	72,374
	その他保健事業	64,762	0	0	28,391	2,437	33,934
	小計	2,215,216	763,506	0	43,948	94,320	1,313,442
合計	11,447,129	4,542,129	0	1,138,456	386,353	5,380,191	

地方消費税交付金(社会保障財源化分)は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

(7) 平成26年度 普通会計決算状況調査

262048	宇治市
市町村類型	- 1

(単位:千円)

人口	国調	22年	189,609人	0.0%	面積		67.54km ²	産業構造	交付税種地			- 5	
		17年	189,591人	0.3%	人口密度	22国調	2,807人/km ²		22国調	第1次	第2次	第3次	
		12年	189,112人	2.3%		17国調	2,807人/km ²			496人	20,332人	55,538人	
	住基 ¹	H27.1.1	190,856人	0.5%	人口集中地区人口	22国調	185,499人	17国調	0.6%	26.6%	72.7%		
		H26.1.1	191,802人	0.2%		17国調	185,370人		533人	24,219人	59,560人		
		H25.3.31	192,188人	1.1%	世帯数	H27.1.1	81,882世帯	0.6%	27.9%	68.6%			

区分		平成26年度	平成25年度	増減率	区分	平成26年度	平成25年度
歳入総額	A	60,726,462	60,828,181	0.2%	財政力指数(単年/3力年)	0.742	0.746
歳出総額	B	60,274,770	60,211,053	0.1%	歳出決算倍率	1.757	1.762
歳入歳出差引(A-B)	C	451,692	617,128	26.8%	実質収支比率	0.9 %	0.9 %
翌年度に繰り越すべき財源	D	158,480	306,597	48.3%	経常一財等比率	93.8 %	91.3 %
実質収支(C-D)	E	293,212	310,531	5.6%	公債費負担比率	13.5 %	13.3 %
単年度収支	F	17,319	31,077	44.3%	公債費比率(単年/3力年)	7.7%	8.0%
積立金	G	150,566	205,405	26.7%	起債制限比率(単年/3力年)	5.5%	5.8%
繰上償還金	H	0	0	-	地方債残高比率	133.4 %	132.1 %
積立金取崩し額	I	0	0	-	実質債務残高比率	142.0 %	142.5 %
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	133,247	174,328	23.6%	経常収支比率	93.7 %	92.9 %
基準財政収入額		18,735,597	18,037,391	3.9%	経常収支比率(臨財・減税除)	104.3 %	103.9 %
基準財政需要額		25,251,285	24,416,799	3.4%	健全化判断比率	平成26年度	平成25年度
標準税収入額等		24,074,598	23,399,911	2.9%	実質赤字比率	-	-
標準財政規模		34,297,869	34,170,629	0.4%	連結実質赤字比率	-	-
地方債現在高		45,759,857	45,154,446	1.3%	実質公債費比率(単年/3力年)	2.0%	2.4%
債務負担行為翌年度以降支出予定額		2,946,965	3,551,137	17.0%	将来負担比率	-	-

一般職の状況(H27.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし	
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	
一般職員	38.62 歳	833 人	306,563 円	市長	1,065,000 円	H21.12.1より	城南衛生管理組合 淀川木津川水防事務組合 京都府自治会館管理組合 京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合 京都府後期高齢者医療広域連合 京都地方税機構	
教育公務員	42.77 歳	32 人	346,788 円	副市長	885,000 円	"		
消防関係職員	37.91 歳	204 人	318,975 円	教育長	775,000 円	"		
技能労務職員	41.73 歳	194 人	316,227 円	議長	635,000 円	H15.12.1より		
臨時職員	-	-	-	副議長	585,000 円	"		
合計	39.09 歳	1,263 人	311,071 円	議員	535,000 円	"		
ラスパイレス指数(H26.4.1)			102.4					

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)			
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	2,607,922	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金
21,784,585	5,742,670	11,409,660	減債	2,023,020	国保特会	20,954,379	20,470,981	1,390,510
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,424,182	後期高齢特会	2,260,243	2,247,577	418,279
0	6,822,942	45,759,857	退職手当	11,385	介護特会	12,764,320	12,275,930	1,721,759
減収補てん債		臨時財政対策債	その他	3,387,540	簡水特会	116,582	112,077	31,448
発行額	0	発行額	合計	9,454,049	下水特会	7,489,137	7,117,767	2,053,317

1 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、住民基本台帳人口については、平成25年度より、1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

(単位:千円・%)

歳入						歳出(性質別)						
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比	区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常収支比率		
地方税	23,771,831	39.2	22,107,734	68.8	人件費	11,475,350	19.0	10,477,511	10,276,777	28.7		
地方譲与税	334,594	0.6	334,594	1.0	うち職員給	8,001,405	13.3	7,225,217	7,129,405	19.9		
利子割交付金	74,290	0.1	74,290	0.2	扶助費	17,243,057	28.6	5,156,160	5,126,303	14.3		
配当割交付金	250,330	0.4	250,330	0.8	公債費	5,514,622	9.1	5,230,087	5,230,087	14.6		
株式等譲渡所得割交付金	141,543	0.2	141,543	0.4	元利償還金	5,477,366	9.0	5,192,831	5,192,831	14.5		
地方消費税交付金	2,030,070	3.3	2,030,070	6.3	一借利子	37,256	0.1	37,256	37,256	0.1		
ゴルフ場利用税交付金	29,871	0.1	29,871	0.1	(義務の経費計)	34,233,029	56.7	20,863,758	20,633,167	57.6		
特別地方消費税交付金	0	0.0	0	0.0	物件費	5,816,086	9.7	4,557,493	4,053,848	11.3		
自動車取得税交付金	70,599	0.1	70,599	0.2	維持補修費	758,321	1.3	740,888	740,888	2.1		
地方特例交付金	142,362	0.2	142,362	0.5	補助費等	4,469,796	7.4	3,985,660	3,206,025	9.0		
地方交付税	6,887,119	11.3	6,491,314	20.2	うち一組負担金	1,887,411	3.1	1,887,096	1,375,132	3.8		
普通交付税	6,491,314	10.7	6,491,314	20.2	積立金	357,158	0.6	283,483	-	-		
特別交付税	395,805	0.6	-	-	投・出・貸付金	2,413,236	4.0	10,627	380	0.0		
小計	33,732,609	55.5	31,672,707	98.5	繰出金	6,999,722	11.6	6,054,562	4,907,438	13.7		
交通安全対策特別交付金	28,228	0.1	28,228	0.1	前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額			
分担金及び負担金	915,307	1.5	0	0.0	投資の経費	5,227,422	8.7	1,868,467	38,816,630			
使用料	1,389,697	2.3	354,075	1.1	うち人件費	137,705	0.2	127,874	経常一般財源等			
手数料	136,700	0.2	0	0.0	普通建設	4,591,929	7.6	1,705,098	32,155,765			
国庫支出金	10,291,098	17.0	-	-	補助	1,873,888	3.1	248,459	臨時一般財源等			
国有提供施設等交付金	66,093	0.1	66,093	0.2	単独	2,676,645	4.4	1,448,343	6,660,865			
府支出金	4,565,049	7.5	-	-	府営事業負担金	41,396	0.1	8,296	経常経費充当一財等			
財産収入	169,987	0.3	34,009	0.1	災害復旧	635,493	1.1	163,369	33,541,746			
寄付金	169,300	0.3	-	-	歳出合計	60,274,770	100.0	38,364,938				
繰入金	312,866	0.5	-	-	歳出(目的別)							
繰越金	617,128	1.0	-	-	区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等			
諸収入	2,746,600	4.5	653	0.0	議会費	460,278	0.8	1,113	460,278			
地方債	5,585,800	9.2	-	-	総務費	4,678,391	7.8	208,673	4,041,950			
歳入合計	60,726,462	100.0	32,155,765	100.0	民生費	27,153,799	45.0	684,872	12,534,008			
市町村税の状況						衛生費	4,412,858	7.3	101,611	4,032,222		
						労働費	94,567	0.2	0	18,046		
法定普通税	区分	収入済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	287,297	0.5	37,277	221,841	
	市民税	個人均等割	289,248	1.2	14.4	293,683	-	商工費	1,813,879	3.0	3,352	372,425
		所得割	9,404,836	39.6	1.4	10,142,669	-	土木費	6,843,274	11.3	1,302,567	4,798,735
		法人均等割	367,416	1.5	2.1	332,612	60,432	消防費	2,244,534	3.7	304,440	1,990,101
		法人税割	1,439,419	6.1	55.7	644,693	234,395	教育費	6,135,778	10.2	1,948,024	4,501,876
	固定資産税	9,283,520	39.1	1.2	8,986,913	-	災害復旧費	635,493	1.1	-	163,369	
	うち純固定資産税	9,183,833	38.6	1.3	-	-	公債費	5,514,622	9.1	-	5,230,087	
	軽自動車税	223,415	0.9	3.1	227,907	-	諸支出金	0	0.0	0	0	
	市町村たばこ税	1,099,880	4.6	4.4	1,085,707	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0	
	特別土地保有税	-	-	-	-	-	合計	60,274,770	100.0	4,591,929	38,364,938	
	計	22,107,734	93.0	2.3	21,714,184	294,827	市税収入率					
目的税	都市計画税	1,664,097	7.0	0.9	-	-	うち市民税	うち資産税		合計		
	計	1,664,097	7.0	0.9	-	-	現年	98.86%	98.40%	98.69%		
合計	23,771,831	100.0	2.2	21,714,184	294,827	合計	95.36%	94.88%	95.29%			

(8) 普通会計における財務書類4表

財務書類4表は、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4つの書類により構成されている。本市では、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」により財務書類の作成を行っている。

ア 貸借対照表

会計年度末における、本市の財政状態を表す。「資産の部」に計上している財産をどのような財源で調達したかについて、将来世代の負担部分を「負債の部」に、過去・現役世代の負担部分を「純資産の部」に計上している。

イ 行政コスト計算書

一会計期間における、資産形成を伴わない経常的な行政活動に伴う費用の状況を表す。「経常行政コスト」には、経常的な行政サービスを提供するために発生したコストを計上し、「経常収益」には、行政サービスの対価としての収入、すなわち受益者負担相当分を計上している。

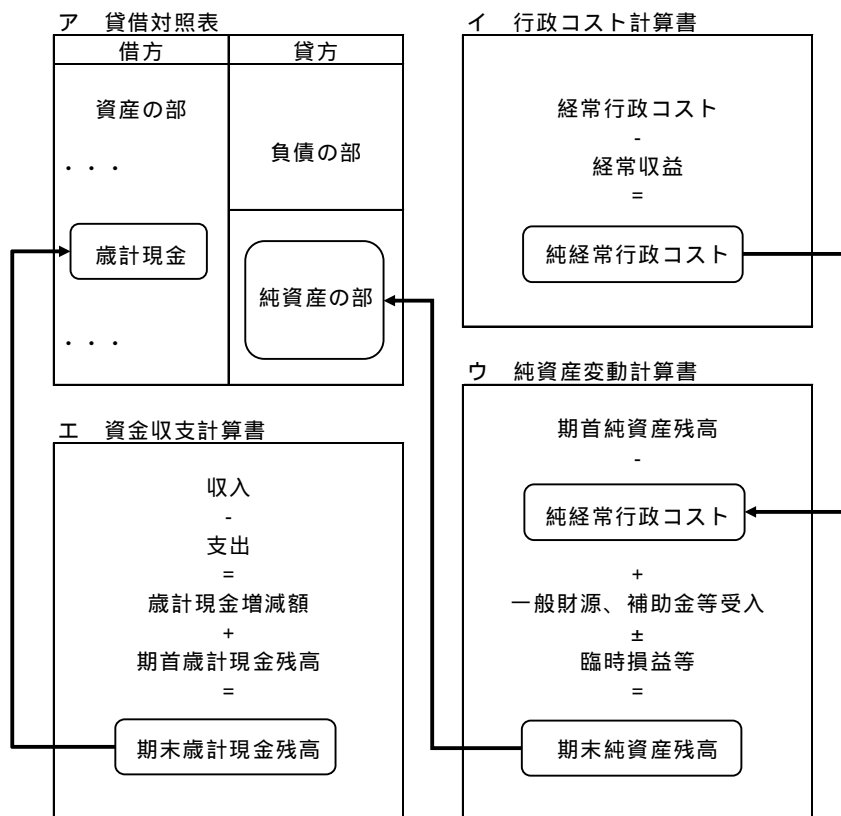
ウ 純資産変動計算書

一会計期間において、「貸借対照表」の「純資産の部」に計上されている各項目がどのように変動したかを表す。主な純資産の減少要因としては、「行政コスト計算書」で算出した「純経常行政コスト」、増加要因としては、市税・地方交付税等の「一般財源」、国・京都府からの「補助金等受入」等が挙げられる。

エ 資金収支計算書

一会計期間における、本市の行政活動に伴う現金等の資金の流れを、性質の異なる3つの活動に分けて表す。「期首歳計現金残高」は前年度普通会計の形式収支であり、「期末歳計現金残高」は当該年度普通会計の形式収支と一致する。

<財務書類4表の相関図>



貸借対照表
(平成27年03月31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1 公共資産		1 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 地方債	40,781,638
生活インフラ・国土保全	99,213,067	(2) 長期未払金	
教育	62,529,651	物件の購入等	0
福祉	7,078,189	債務保証又は損失補償	0
環境衛生	2,963,940	その他	0
産業振興	2,954,158	長期未払金計	0
消防	2,844,049	(3) 退職手当引当金	7,688,442
総務	12,185,565	(4) 損失補償等引当金	642,005
有形固定資産合計	189,768,619	固定負債合計	49,112,085
(2) 売却可能資産	450	2 流動負債	
公共資産合計	189,769,069	(1) 翌年度償還予定地方債	4,978,219
2 投資等		(2) 短期借入金(翌年度繰上充用金)	
(1) 投資及び出資金		(3) 未払金	
投資及び出資金	472,425	(4) 翌年度支払予定退職手当	989,785
投資損失引当金		(5) 賞与引当金	677,326
投資及び出資金計	472,425	流動負債合計	6,645,330
(2) 貸付金	108,055	負債合計	55,757,415
(3) 基金等			
退職手当目的基金	11,385	[純資産の部]	
その他特定目的基金	3,387,540	1 公共資産等整備国庫補助金等	30,724,236
土地開発基金	1,424,182	2 公共資産等整備一般財源等	146,979,006
その他定額運用基金	6,000	3 その他一般財源等	31,941,806
退職手当組合積立金		4 資産評価差額	72,700
基金等計	4,829,107	純資産合計	145,688,736
(4) 長期延滞債権	1,086,218		
(5) 回収不能見込額	215,388		
投資等合計	6,280,417		
3 流動資産			
(1) 現金預金			
財政調整基金	2,607,922		
減債基金	2,023,020		
歳計現金	451,692		
現金預金計	5,082,634		
(2) 未収金			
地方税	313,704		
その他	85,580		
回収不能見込額	85,253		
未収金計	314,031		
流動資産合計	5,396,665		
資産合計	201,446,151	負債・純資産合計	201,446,151

1 他団体及び民間への支出金により形成された資産

生活インフラ・国土保全	2,382,770 千円
教育	12,789 千円
福祉	4,709,095 千円
環境衛生	351,505 千円
産業振興	1,190,816 千円
消防	3,924 千円
総務	2,188,119 千円
計	10,839,018 千円

2 債務負担行為に関する情報

物件の購入等	1,773,748 千円
債務保証又は損失補償	7,535,000 千円
(うち共同発行地方債に係るもの)	0 千円
その他	1,173,217 千円

3 地方債残高(翌年度償還予定額を含む)のうち 41,473,246千円については、償還時に地方交付税の算定の基礎に含まれることが見込まれているものです。

4 普通会計の将来負担に関する情報

項目	金額	[内訳]	
		負債計上 【(翌年度償還予定) 地方債・(長期) 未払金・引当金】	注記 【契約債務・偶発債務】
普通会計の将来負担額	79,824,961 千円		
[内訳] 普通会計地方債残高	45,759,857 千円	45,759,857 千円	
債務負担行為支出予定額	1,856,483 千円	0 千円	1,856,483 千円
公営事業地方債負担見込額	21,174,071 千円		21,174,071 千円
一部事務組合等地方債負担見込額	1,714,318 千円		千円
退職手当負担見込額	8,678,227 千円	8,678,227 千円	
第三セクター等債務負担見込額	642,005 千円	642,005 千円	千円
連結実質赤字額	0 千円		千円
一部事務組合等実質赤字負担額	0 千円		千円
基金等将来負担軽減資産	89,580,170 千円		
[内訳] 地方債償還額等充当基金残高	10,549,274 千円		
地方債償還額等充当歳入見込額	15,275,133 千円		
地方債償還額等充当交付税見込額	63,755,763 千円		
(差引)普通会計が将来負担すべき実質的な負債	9,755,209 千円		

5 有形固定資産のうち、土地は78,494,117千円です。また、有形固定資産の減価償却累計額は 89,350,904千円です。

行政コスト計算書
〔自平成26年4月1日
至平成27年3月31日〕

(単位：千円)

【経常行政コスト】

	総額	(構成比率)	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	議会	支払利息	回収不能 見込計上額	その他
1 (1) 人件費	10,194,423	19.7%	1,334,715	1,463,818	2,173,707	963,227	209,271	1,690,141	1,963,846	395,698			0
(2) 退職手当引当金繰入等	359,157	0.7%	43,454	83,205	62,951	27,896	6,059	48,946	75,186	11,460			0
(3) 賞与引当金繰入額	677,326	1.3%	74,832	100,600	135,891	60,217	13,082	105,661	162,305	24,738			0
小計	11,230,906	21.7%	1,453,001	1,647,623	2,372,549	1,051,940	228,412	1,844,748	2,201,337	431,896			0
(1) 物件費	5,816,086	11.2%	524,252	1,648,326	843,775	1,373,269	171,067	121,065	1,106,953	27,379			0
(2) 維持補修費	758,321	1.5%	660,785	76,801	3,482	625	424	3,575	12,629	0			
(3) 減価償却費	4,367,634	8.4%	1,856,397	1,300,234	224,856	233,202	145,397	161,118	446,430	0			
小計	10,942,041	21.1%	3,041,434	3,025,361	1,072,113	1,607,096	316,888	285,758	1,566,012	27,379	0		0
(1) 社会保障給付	17,243,057	33.3%		153,843	17,073,583	15,631							
(2) 補助金等	4,464,415	8.6%	87,569	599,933	1,269,860	1,829,710	339,254	19,864	305,544	12,681			0
(3) 他会計等への支出額	7,003,632	13.5%	2,053,317	0	4,913,486	36,829	0	0	0	0			0
(4) 他団体への 公共資産 整備補助金等	373,742	0.7%	77,670	0	227,467	2,122	17,757	0	48,726	0			0
小計	29,084,846	56.2%	2,218,556	753,776	23,484,396	1,884,292	357,011	19,864	354,270	12,681	534,233		0
(1) 支払利息	534,233	1.0%									534,233		0
(2) 回収不能見込計上額	27,595	-0.1%										27,595	0
(3) その他行政コスト	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0			0
小計	506,638	1.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	534,233	27,595	0
経常行政コスト a	51,764,431		6,712,991	5,426,760	26,929,058	4,542,728	902,311	2,150,370	4,121,619	471,956	534,233	27,595	0
(構成比率)			13.0%	10.5%	52.0%	8.8%	1.7%	4.2%	8.0%	0.9%	1.0%	-0.1%	0.0%

【経常収益】

1 使用料・手数料	b	1,532,871	256,343	219,159	210,494	253,243	37,949	567	93,677	0	107,364		0	354,075
2 分担金・負担金・寄附金	c	1,078,136	0	3,752	863,020	8,995	0	43	89,568	0	0		0	112,758
経常収益合計	d	2,611,007	256,343	222,911	1,073,514	262,238	37,949	610	183,245	0	107,364		0	466,833
(b+c)	d/a	5.0%	3.8%	4.1%	4.0%	5.8%	4.2%	0.0%	4.4%	0.0%	20.1%		0.0%	
(差引) 純経常行政コスト	d	49,153,424	6,456,648	5,203,849	25,855,544	4,280,490	864,362	2,149,760	3,938,374	471,956	426,869	27,595	0	466,833
a														

純資産変動計算書

〔 自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日 〕

(単位：千円)

	純資産合計	公共資産等整備 国県補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	146,384,952	30,802,302	146,297,143	30,745,703	31,210
純経常行政コスト	49,153,424			49,153,424	
一般財源					
地方税	23,701,652			23,701,652	
地方交付税	6,887,119			6,887,119	
その他行政コスト充当財源	3,789,572			3,789,572	
補助金等受入	14,856,147	688,619		14,167,528	
臨時損益	673,372			673,372	
災害復旧事業費	635,493			635,493	
公共資産除売却損益	0			0	
投資損失	45,450			45,450	
損失補償等引当金繰入等	7,571			7,571	
科目振替					
公共資産整備への財源投入			1,879,863	1,879,863	
公共資産処分による財源増		0	118,255	118,255	
貸付金・出資金等への財源投入			2,741,865	2,741,865	
貸付金・出資金等の回収等による財源増		0	2,657,078	2,657,078	0
減価償却による財源増		766,685	3,600,949	4,367,634	0
地方債償還に伴う財源振替			2,525,990	2,525,990	
資産評価替えによる変動額	103,910				103,910
無償受贈資産受入	0				0
その他	0		89,573	89,573	
期末純資産残高	145,688,736	30,724,236	146,979,006	31,941,806	72,700

資金収支計算書

〔 自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日 〕

(単位：千円)

1 経常的収支の部	
人件費	11,613,055
物件費	5,816,086
社会保障給付	17,243,057
補助金等	4,459,534
支払利息	534,233
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	5,013,190
その他支出	1,393,814
支 出 合 計	46,072,969
地方税	23,771,831
地方交付税	6,887,119
国県補助金等	14,035,653
使用料・手数料	1,526,397
分担金・負担金・寄附金	1,080,855
諸収入	2,731,656
地方債発行額	4,040,700
基金取崩額	46,297
その他収入	851,958
収 入 合 計	54,972,466
経常的収支額	8,899,497

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	4,080,482
公共資産整備補助金等支出	373,742
他会計等への建設費充当財源繰出支出	112,602
支 出 合 計	4,566,826
国県補助金等	820,494
地方債発行額	1,545,100
基金取崩額	254,498
その他収入	20,873
収 入 合 計	2,640,965
公共資産整備収支額	1,925,861

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	0
貸付金	2,372,989
基金積立額	357,158
定額運用基金への繰出支出	1,471
他会計等への公債費充当財源繰出支出	1,922,968
地方債償還額	4,980,389
長期未払金支払支出	0
支 出 合 計	9,634,975
国県補助金等	0
貸付金回収額	2,377,648
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	118,255
その他収入	0
収 入 合 計	2,495,903
投資・財務的収支額	7,139,072

翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	165,436
期首歳計現金残高	617,128
期末歳計現金残高	451,692

1 一時借入金に関する情報

資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
平成26年度における一時借入金の借入限度額は10,000,000千円です。
支払利息のうち、一時借入金利子は37,256千円です。

2 基礎的財政収支（プライマリーバランス）に関する情報

収入総額	60,109,334
地方債発行額	5,585,800
財政調整基金等取崩額	21,365
支出総額	60,274,770
地方債償還額	5,477,366
財政調整基金等積立額	176,087
基礎的財政収支	119,148

部門別決算成果概要

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	02 市民参画・協働の推進

所管部局
市長公室

事務事業名	市民と市長の対話ミーティング事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	183千円
事業内容	市民と市長の対話を通し、市民参画・協働を推進するとともに地域力の向上を図ることにより、新しい宇治に向けたまちづくりを推進する。		
成果・実績	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>開催状況</p> <p>第5回 テーマ 子育てしやすいまちを目指して 日 時 8月30日(土)午後2時～3時30分 場 所 ゆめりあ うじ</p> <p>第6回 テーマ 宇治市の特別支援教育～子どもの自立と社会参加を目指して～ 日 時 9月13日(土)午前10時～11時30分 場 所 京都府立宇治支援学校 カフェJOY</p> <p>第7回 テーマ 認知症の人にやさしいまち・うじを目指して 日 時 11月22日(土)午後2時～3時30分 場 所 イサク事業所どうぼうの家</p> <p>第8回 テーマ 災害に強い安全・安心の宇治づくりを目指して 日 時 平成27年1月17日(土)午後2時～3時40分 場 所 うじ安心館 3階ホール</p>		
事業評価	各分野で活動している市民と活発な議論を行うことにより、市民参画・協働の推進及び地域力向上を図ることができた。様々な分野の市民意見を市政に反映させるように努めるため、今後も引き続き実施する。		



総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	コミュニティ放送広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	24,202千円
事業内容	災害時において、有効な情報伝達媒体として活用することができるコミュニティ放送は市民に身近で手軽なメディアである。また、特質を十分活かして、地域の生活文化の発信基地として地域に密着した番組をきめ細かく提供する。		
成果・実績	エフエム宇治放送に月曜日から金曜日まで毎日30分間、市政情報を伝える番組を提供したほか、環境問題や男女共同参画などの啓発スポットを流した。平成26年8月の台風第11号接近時には、災害時の情報伝達媒体としてその役割を果たした。		
事業評価	市内唯一のコミュニティ放送であるエフエム宇治放送を活用することにより、市民に広く市政情報の発信ができた。今後も、より効果的な情報発信手法の検討が必要である。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	市政だより発行費	所管課	秘書広報課						
		決算額	24,133千円						
事業内容	市政に関することを市民に知らせるため、広報紙「宇治市政だより」を月2回（1日・15日）発行する。								
成果・実績	<p>写真やイラストを活かし、見やすくわかりやすい市政情報の提供に取り組んだ。ポスティングにより、市内全戸へ配布している。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">年間発行部数</td> <td style="text-align: right;">1,962,000部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ポスティング配布部数</td> <td style="text-align: right;">1,943,964部</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">18,036部</td> </tr> </table>			年間発行部数	1,962,000部	ポスティング配布部数	1,943,964部	その他	18,036部
年間発行部数	1,962,000部								
ポスティング配布部数	1,943,964部								
その他	18,036部								
事業評価	紙面の工夫に取り組むことにより、市民に提供する市政情報の充実を図ることができた。今後も見やすく、わかりやすい市政情報の発信に努めるとともに、より効果的な情報発信手法の検討が必要である。								

事務事業名	映像広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	3,268千円
事業内容	15分テレビ番組を制作（委託）して、行政の施策をはじめ市民生活、イベント、文化、体育などの行政情報を、映像でわかりやすく放映する。また、手話通訳を画面に取り入れ、聴覚障害者にとってもわかりやすい番組づくりとしている。		
成果・実績	テレビによる広報活動として、15分番組「さわやか宇治」を年2回、新春特別番組を1回、KBS京都で放送して市の情報発信に努めた。「さわやか宇治」では、環境教育や、高齢者アカデミーの様子を題材とし、本市の取り組みについて情報発信を行うことに努めた。		
事業評価	テレビを活用した広報活動により、市内外の多くの人に広報することができた。今後は、より効果的な情報発信手法として、インターネット配信等を活用した広報に取り組む。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	2,786千円
事業内容	広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページの運用などを行う。		
成果・実績	宇治日刊記者クラブ（9社）と宇治日刊地方記者クラブ（2社）に対し、報道資料の提供や市長定例会見をはじめとする記者発表を行った。 また、宇治市宣伝大使ちはや姫の積極的な活動にも取り組んだ。		
事業評価	市ホームページ、報道機関への報道連絡などによる情報提供により、市内外の多くの人への広報に努めることができた。今後も、キャラクター及びFacebookを活用し、広報活動の充実に努める必要がある。		

事務事業名	市民カレンダー等発行費	所管課	秘書広報課
		決算額	4,339千円
事業内容	市民生活に関わりの深い情報や市政情報を提供するため、市民カレンダーを毎年発行する。		
成果・実績	市民カレンダーを86,000部発行し、ポスティングによる全戸配布を行った。市の行事予定のほか、災害時避難場所・給水場所マップ・福祉避難所、市内公共施設等マップ、資源ごみの分別収集方法、各種相談案内、保健予防年間日程、主な市の施設・市内の官公署一覧を掲載し、情報発信に努めた。		
事業評価	「市民カレンダーと手引き」を発行することにより、市民に提供する市政情報の充実に努めることができた。今後も掲載内容・様式等、工夫・改善も検討し、市民の利便性の向上に努める必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献	
小分類	01 国際化・広域交流活動の推進	

事務事業名	国際交流促進事業	所管課	秘書広報課
		決算額	6,185千円
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、相互の友好交流を促進する。		
成果・実績	<p>ヌワラエリヤ市写真展の開催、咸陽市との小学生文通事業、カムループス市への公式訪問団と中学生訪問団の派遣、及びトンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <p>カムループス市交流促進費 6,185千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市公式訪問団の派遣 <ul style="list-style-type: none"> 行政訪問団員 4人 6月30日～7月6日 市民訪問団員に随行の行政訪問団員 1人 6月30日～7月8日 ・市中学生訪問団の派遣 7月25日～7月31日 <ul style="list-style-type: none"> 市内在住の中学生 12人 引率者（市職員・中学校教諭） 2人 ・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣 1人 		
事業評価	公式訪問団及び中学生の派遣などにより、市民間の国際交流を促進し、友好を深めることができた。今後は、より多くの分野での市民間交流の発展に向けて、交流手法とその支援のあり方について検討する必要がある。		



平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	05 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成	

事務事業名	職員研修費	所管課	人事課
事業内容	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
成果・実績	<p>人口減少社会においても活力にあふれ持続的に発展する魅力ある宇治市を築いていくため、「宇治市職員人材育成基本方針」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>主な研修</p> <p>新任監督者研修...監督者の役割を把握し、マネジメントの要素とリーダーシップの要素の両面を実践で活用できる資質の向上を図った。</p> <p>新任管理職研修...職場の労務管理やサービス、また地方公務員に必要な労働基準法について研修を行い、管理職としての資質の向上を図った。</p> <p>管理職研修...所属長を対象に、管理職としての責任を自覚するとともに、行政を総合的に推進することを目指し意識改革を図った。</p> <p>求められる職員像</p> <p>(1) 「創造する職員」 長期的かつ多面的な視野で新しい宇治市を創造【Create】</p> <p>(2) 「ニーズや変化をキャッチする職員」 市民ニーズを的確に把握、時代の変化を敏感に察知【Catch】</p> <p>(3) 「チャレンジする職員」 困難な状況や課題に対して前向きに挑戦【Challenge】</p> <p>(4) 「コミュニケーション能力の高い職員」 市民から信頼される誠実な対応、周囲との積極的な意思疎通【Communicate】</p> <p>(5) 「市民と協働する職員」 地域の方々と連携し、市民参加・協働を促進【Collaborate】</p> <p>基本研修 新規採用職員研修、初級職員研修、中級職員研修、管理職研修など</p> <p>特別研修 人権研修、安全運転研修、法務研修、理事者と語る、選択研修、メンタルヘルス研修など</p> <p>派遣研修 京都府市町村振興協会、市町村職員中央研修所、自治大学など</p>		 <p>管理職研修 (平成27年1月26日)</p>  <p>初級職員研修 (6月26・27日)</p>
事業評価	各種研修の実施により、職務の遂行に必要な知識、技能の向上などを行った。今後も、階層別職員の実務能力の向上及び管理監督者の管理能力の向上のための研修等により計画的な人材育成に取り組む中で、研修効果について検証する必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
市長公室

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	20,727千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健診業務及びメンタルヘルス対策を講じるための相談業務などを行う。		
成果・実績	<p>定期健康診断等（文書報告含む）の受診率は99.5%であり、生活習慣改善教室や産業医による個別指導等の事業を行い、職員の意識向上に努めた。</p> <p>メンタルヘルス対策については、平成18年に策定した「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき予防から再発防止までのメンタルヘルス対策の推進を図った。</p> <p>労働安全衛生法の改正に伴い、月45時間以上の超過勤務者（延べ512人）に対し健康調査を行い、健康状態の把握に努めるとともに、特に月80時間超（延べ32人）及び月100時間超（延べ6人）の超過勤務者を含む106人に対して産業医による面接指導を行い、メンタルヘルス不調や疾病予防に努めた。</p> <p>職員健康管理医師報酬 1,440千円 安全衛生委員会の運営等（産業医・安全・衛生管理業務、安全衛生小委員会の開催）、長時間超過勤務者の面談</p> <p>心の相談等医師謝礼（メンタルヘルス対策） 780千円 相談事業の実施、メンタルヘルス研修会、メンタルヘルス対策の推進</p> <p>職員（嘱託含む）健診手数料 12,269千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査・ワクチン接種、深夜業務健康診断等</p> <p>委託料 5,768千円 二次健診、生活習慣改善教室・個別指導、頸腕・腰痛健康診断、VDT作業従事者健康診断、各種健診の有所見者事業、卒煙セミナー等禁煙指導</p>		
事業評価	労働安全衛生法に基づき、事業者として実施する職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握と増進を図ることができた。今後も、職員の健康保持増進に努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理課																										
		決算額	11,987千円																										
事業内容	地域の防災力向上を図り、本市の防災対策を進めるため、市民参加の防災訓練を実施するとともに、町内会や自治会を中心とした自主防災組織の育成に向けて、自主防災組織が防災資機材を購入する場合の購入費を補助する。また、本市の備蓄品等の計画的な更新整備や医療品等の点検、交換を行う。																												
成果・実績	<p>日頃から地域の自主防災組織が中心となり、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、積極的に自主防災活動が展開されることを目的として、9月21日に宇治市防災訓練、及び平成27年2月7日・11日に防災リーダー養成講習会（参加46人）を実施した。また、防災倉庫や発電機・毛布・マンホールトイレ等の備蓄用資機材、おむつ・生理用品等の要配慮者生活用品を新たに購入した。</p> <table border="0"> <tr> <td>市防災訓練開催費</td> <td>942千円</td> </tr> <tr> <td>防災リーダー養成講習会等開催費</td> <td>23千円</td> </tr> <tr> <td>防災倉庫設置費</td> <td>1,138千円</td> </tr> <tr> <td>備蓄用食糧更新費</td> <td>1,159千円</td> </tr> <tr> <td>備蓄用資機材購入費</td> <td>6,562千円</td> </tr> <tr> <td>要配慮者生活用品購入費</td> <td>577千円</td> </tr> <tr> <td>自主防災活動事業補助金</td> <td>1,040千円</td> </tr> </table> <p>活動補助金実績（過去3カ年）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助金交付額 （千円）</th> <th>交付団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>1,018</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>1,084</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>1,040</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right;">  <p>市防災訓練</p> </div>			市防災訓練開催費	942千円	防災リーダー養成講習会等開催費	23千円	防災倉庫設置費	1,138千円	備蓄用食糧更新費	1,159千円	備蓄用資機材購入費	6,562千円	要配慮者生活用品購入費	577千円	自主防災活動事業補助金	1,040千円	年度	補助金交付額 （千円）	交付団体数	24	1,018	11	25	1,084	11	26	1,040	13
市防災訓練開催費	942千円																												
防災リーダー養成講習会等開催費	23千円																												
防災倉庫設置費	1,138千円																												
備蓄用食糧更新費	1,159千円																												
備蓄用資機材購入費	6,562千円																												
要配慮者生活用品購入費	577千円																												
自主防災活動事業補助金	1,040千円																												
年度	補助金交付額 （千円）	交付団体数																											
24	1,018	11																											
25	1,084	11																											
26	1,040	13																											
事業評価	自主防災組織を支援することなどにより、地域の防災力向上を図ることができた。今後は、災害発生時に重要となる関係機関との連携強化等を図ること並びに自主防災組織の育成及び支援を行うことにより、さらなる地域の防災力の向上に努める必要がある。																												

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室他


事務事業名	平成24年8月13日・14日京都府南部地域豪雨災害関連経費	所管課	危機管理課他
		決算額	525,815千円
事業内容	平成24年8月13日・14日に発生した京都府南部地域豪雨災害において大きな被害が発生したため、被災者の生活再建等に取り組む。		
成果・実績	被災者の生活の早期回復を図るため、各種施策を実施した。		
	(千円)		
	事業	課名	事業概要
	地域再建被災者住宅等支援	危機管理課	被災者への住宅再建等にかかる費用補助
	宇治市中小企業低利融資事業費	商工観光課	
	文化財指定推進費	歴史まちづくり推進課	被災支援のための通常予算の追加分
	農業用施設災害復旧事業費	農林茶業課	農業用施設や道路、河川、山林など、公共施設等における災害復旧への対応に要した費用
	林業施設災害復旧事業費	道路建設課	
	河川等災害復旧事業費	維持課	
		雨水対策課	
管財課			
文教施設災害復旧事業費	生涯学習課		
一時使用公営住宅管理費	住宅課	公営住宅の冷暖房機器の賃借料	
職員給等人件費は含まない。			
事業評価	各種災害復旧・被災者生活再建事業に取り組むことにより、被災者生活の早期回復及び被災箇所の復旧などを図ることができた。災害復旧については、災害復旧計画に基づき、概ね計画通りに進捗している。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室他

事務事業名	平成25年9月の台風第18号接近による災害関連経費	所管課	危機管理課他
		決算額	39,481千円
事業内容	平成25年9月の台風第18号接近による災害において大きな被害が発生したため、被災者の生活再建等に取り組む。		
成果・実績	被災者の生活の早期回復を図るため、各種施策を実施した。		
	(千円)		
	事業	課名	事業概要
	地域再建被災者住宅等支援	危機管理課	被災者への住宅再建等にかかる費用補助
	農業用施設災害復旧事業費	農林茶業課	農業用施設や道路、河川など、公共施設等における災害復旧への対応に要した費用
	鳥獣捕獲飼養対策費		
河川等災害復旧事業費	雨水対策課	6,993	
	維持課	19,469	
文化財指定推進費	歴史まちづくり推進課	被災した文化財の災害復旧への対応に要した費用	262
事業評価	各種災害復旧・被災者生活再建事業に取り組むことにより、被災者生活の早期回復及び被災箇所の復旧などを図ることができた。		

事務事業名	地域防災力向上事業補助金	所管課	危機管理課
		決算額	1,447千円
事業内容	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練や講演会等の取組に必要な事業費の4分の3を助成する制度（10万円を限度）を実施し、自主防災組織の育成を図る。		
成果・実績	平成26年度補助金交付状況 15団体		
	補助金実績（過去2カ年）		
	年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数
	25	1,267	13
	26	1,447	15
			
	町内会・自治会の防災訓練		
事業評価	町内会・自治会等が実施する防災訓練等に補助金を交付したことにより、地域防災力の向上を促進することができた。さらなる自主防災組織の育成のため、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	02 行政改革の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	行政改革審議会運営費	所管課	行政経営課
		決算額	97千円
事業内容	社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現の推進及び行政改革の適切な進行管理を図るため、審議会を設置し行政改革大綱策定及び行政改革推進に必要な事項について調査及び審議、意見交換などを行う。		
成果・実績	「宇治市第6次行政改革実施計画」(計画期間平成25～29年度)の初年度の実績を受け、宇治市行政改革審議会を1回開催した。市民公募を含めた各委員から意見を聞き、実施計画に反映させた。		
事業評価	審議会を開催することにより、行政改革実施計画の進行管理に努めることができた。		

事務事業名	ふるさと応援寄付金(歳入)	所管課	行政経営課																											
		決算額	1,397千円																											
事業内容	居住地以外の自治体に寄付をすると住民税等が控除となるふるさと納税制度について、本市では「ふるさと宇治のまちづくりの応援のお願い」の取組として、平成20年10月から実施している。																													
成果・実績	<p>寄付者 26人</p> <p>寄付件数・金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>29</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>148</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>2,575</td> <td>1,390</td> <td>920</td> <td>1,387</td> <td>925</td> <td>1,648</td> <td>1,397</td> <td>10,242</td> </tr> </tbody> </table>			年度	20	21	22	23	24	25	26	合計	件数	29	18	17	16	18	24	26	148	金額(千円)	2,575	1,390	920	1,387	925	1,648	1,397	10,242
年度	20	21	22	23	24	25	26	合計																						
件数	29	18	17	16	18	24	26	148																						
金額(千円)	2,575	1,390	920	1,387	925	1,648	1,397	10,242																						
事業評価	市内外の方からの寄付を市政運営に役立てることができた。今後も制度のさらなる広報及び内容の充実を図りながら、ふるさと宇治のまちづくりに役立てるように努める必要がある。																													

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	06 持続的なまちの発展を目指した取組の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	公共施設マネジメント調査費	所管課	行政経営課
		決算額	108千円
事業内容	人口減少・少子高齢社会の進展等を踏まえ、今後の公共施設の利用需要に変化が見込まれることから、公共施設の老朽化等の現状を把握するとともに、その更新、統廃合、長寿命化など、次の世代にできるだけ負担を残さない公共施設のあり方を検討する。		
成果・実績	公共施設等総合管理計画の策定作業に取り組むにあたり、研修への参加や先進地への視察を行うとともに、公共施設に関する台帳や既存資料、データなどの庁内調査を実施した。		
事業評価	計画策定に向けて先進地等の情報収集・分析を行うことにより、効果的で効率的な公共施設のあり方の検討に努めた。検討結果に基づき、今後は公共施設等総合管理計画の策定に取り組む。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	政策推進課
		決算額	11,036千円
事業内容	統計法の規定に基づき、市が国の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢等について実態を把握する。		
成果・実績	法定受託事務として、下表の基幹統計に関する業務を実施した。		
	名称 (所管)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等
	学校基本調査 (文部科学省)	26年5月1日 (毎年・ 全数調査)	幼稚園、小・中学校、専修学校などの生徒、教員などの人数及び施設などを調査し、学校に関する基礎資料を得る。
	経済センサス - 基礎調査 (総務省)	26年7月1日 (5年毎・ 全数調査)	全事業所を対象として事業の種類や従業者数等事業活動の基礎資料を得る。
	商業統計調査 (経済産業省)		全ての卸売・小売事業所の分布状況、販売状況を把握し、商業の実態に関する基礎資料を得る。
	全国消費 実態調査 (総務省)	26年9月1日～ 11月30日 (5年毎・ 標本調査)	家計の収支及び家計資産などを総合的に調査する事で、家計の構造を所得・資産面等から把握し、その水準、構造に関する基礎資料を得る。
	工業統計調査 (経済産業省)	26年12月31日 (毎年・ 裾切り調査)	製造業を営む事業所を対象に、従業者数、出荷額などを調査し、産業施策、中小企業施策などの基礎資料を得る。
	農林業 センサス (農林水産省)	27年2月1日 (5年毎・ 全数調査)	農林業を営む全ての方を対象とし、生産構造や就業構造の実態を明らかにし、農林行政に必要な農業及び林業に関する基礎資料を得る。
	経済センサス 調査区管理 (総務省)		調査実施上の支障が生じないように、必要に応じ調査区を修正する。また追加された事業所情報等について、調査区の確認を行う。
	平成27年 国勢調査 調査区設定 (総務省)		平成27年国勢調査の実施に向け、調査範囲の基本となる調査区を設定する準備業務。
	調査員確保対策事業(所管：総務省) 45千円		
	統計調査員の募集チラシを作成し、市内公共施設に配架を行い、調査員の確保に努めた。		
事業評価	各種統計調査を法定受託事務として適正に実施したことにより、本市の人口・経済・社会情勢等の実態把握を各施策に活用することができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部	
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進		
小分類	02 行政改革の推進		

事務事業名	職員提案制度費	所管課	政策推進課
		決算額	23千円
事業内容	職員の研究意欲及び市政への参加意欲を高めるとともに、行政需要の多様化・高度化に対応した市政の推進と事務事業の効率化を図ることを目的に、政策立案や事務改善に関する職員提案を募り、特に効果が期待できるものは褒賞する。		
成果・実績	応募件数 30件 (うち政策提案17件、事務改善提案13件) 努力賞 3件		
事業評価	政策立案及び事務改善に関する職員提案を募ることにより、職員の積極的な政策立案と事務改善につなげることができた。今後は、さらなる提案内容の充実及び職員の意識向上に向けた制度のあり方について検討する必要がある。		

総合計画の体系		所管部局	
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部	
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進		
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立		

事務事業名	有料広告評価委員会運営費	所管課	政策推進課														
		決算額	82千円														
事業内容	本市の公共媒体等に掲載する広告内容が、行政の所管する媒体に掲載するにふさわしいか、第三者の視点で意見をもらうため外部有識者等による「宇治市有料広告評価委員会」を設置し、より専門的な見地で精査を行う。																
成果・実績	「宇治市有料広告評価委員会」を開催し、市が発行する市政だよりに掲載する広告や市ホームページにかかるバナー広告の内容などについて精査した。 宇治市有料広告評価委員会 開催数 2回 (参考)平成26年度における有料広告事業(歳入) <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">媒体</th> <th style="width: 30%;">広告料収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治市ホームページバナー</td> <td style="text-align: right;">1,249千円</td> </tr> <tr> <td>市民カレンダー</td> <td style="text-align: right;">200千円</td> </tr> <tr> <td>宇治市政だより</td> <td style="text-align: right;">2,600千円</td> </tr> <tr> <td>宇治市車両広告</td> <td style="text-align: right;">90千円</td> </tr> <tr> <td>宇治市役所庁舎内トイレ壁面・公共施設マップ広告</td> <td style="text-align: right;">1,666千円</td> </tr> <tr> <td>宇治市ごみ分別辞典</td> <td style="text-align: right;">910千円</td> </tr> </tbody> </table>			媒体	広告料収入	宇治市ホームページバナー	1,249千円	市民カレンダー	200千円	宇治市政だより	2,600千円	宇治市車両広告	90千円	宇治市役所庁舎内トイレ壁面・公共施設マップ広告	1,666千円	宇治市ごみ分別辞典	910千円
媒体	広告料収入																
宇治市ホームページバナー	1,249千円																
市民カレンダー	200千円																
宇治市政だより	2,600千円																
宇治市車両広告	90千円																
宇治市役所庁舎内トイレ壁面・公共施設マップ広告	1,666千円																
宇治市ごみ分別辞典	910千円																
事業評価	広報紙等に掲載する広告の内容について精査し意見を受けることで、適切な広告とすることができた。公共媒体にふさわしい内容の広告を掲載するため、今後も引き続き実施する。																

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	政策経営部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立	

事務事業名	政策研究費	所管課	政策推進課								
		決算額	255千円								
事業内容	先進他都市の優れた制度を取り入れるとともに、本市の組織レベルの課題解決能力及び政策立案能力を高めるため、調査・研究等を行う。										
成果・実績	庁内で研究課題を募集し、申請のあった中から採択し、担当課において研究を行った。 採択事業一覧 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">担当課</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみ減量推進課</td> <td>ごみ定点管理に関する研究</td> </tr> <tr> <td>歴史資料館</td> <td>歴史資料保存のための環境整備にかかる研究</td> </tr> <tr> <td>商工観光課</td> <td>宇治市を舞台としたアニメ作品の活用方法について</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	研究テーマ	ごみ減量推進課	ごみ定点管理に関する研究	歴史資料館	歴史資料保存のための環境整備にかかる研究	商工観光課	宇治市を舞台としたアニメ作品の活用方法について
担当課	研究テーマ										
ごみ減量推進課	ごみ定点管理に関する研究										
歴史資料館	歴史資料保存のための環境整備にかかる研究										
商工観光課	宇治市を舞台としたアニメ作品の活用方法について										
事業評価	行政課題の改善に取り組むとともに、職員の政策立案能力の向上に資することができた。幅広い行政分野での積極的な研究活動を促進する必要がある。										

事務事業名	魅力発信検討事業費	所管課	政策推進課																				
		決算額	2,813千円																				
事業内容	少子高齢社会の進展や地方分権の推進による自治体間競争が激化することが予測される時代であっても、多くの人に選ばれ持続的に発展するまちとなるため、市民、事業者、関係団体との協働により、本市の様々な魅力を発信する仕組みづくりの構築を目指して、魅力発信の行動指針等を検討する。																						
成果・実績	魅力発信に関する行動指針を策定するにあたり、より効果的な魅力発信の方向性や、具体的な方策などについて、本市に関わる各種団体等からの多様な意見を反映させることを目的に、検討委員会を設置し、また、各種団体等へのヒアリング、アンケートを実施することにより、平成27年3月に「宇治市魅力発信行動指針」を策定した。あわせて、検討委員会の意見から魅力発信手法の一つとして、高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテストを開催した。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">宇治市魅力発信検討委員会</td> <td style="width: 10%;">開催数</td> <td style="width: 10%;">3回</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト</td> <td>応募数</td> <td>23作品</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 最優秀賞</td> <td>1作品</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 優秀作品</td> <td>2作品</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 敢闘賞</td> <td>2作品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			宇治市魅力発信検討委員会	開催数	3回		高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト	応募数	23作品		最優秀賞	1作品			優秀作品	2作品			敢闘賞	2作品		
宇治市魅力発信検討委員会	開催数	3回																					
高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト	応募数	23作品																					
最優秀賞	1作品																						
優秀作品	2作品																						
敢闘賞	2作品																						
事業評価	「宇治市魅力発信検討委員会」での検討を踏まえ、「宇治市魅力発信行動指針」を策定することができた。策定した行動指針に基づき魅力発信事業の展開に努める必要がある。																						

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	がんばる地域交付金（歳入）	所管課	財務課
		決算額	83,971千円
事業内容	地域経済の活性化を図るため、国の緊急経済対策の一環として、公共施設、学校施設などの整備を実施した。		
成果・実績	交付金対象事業	120,031 千円	
	庁舎温室効果ガス削減対策事業	21,375 千円	
	社会福祉施設整備事業	21,628 千円	
	学校施設整備事業	65,551 千円	
	社会教育施設整備事業	11,477 千円	
事業評価	交付金を活用して、市民に身近な公共施設の改修等を実施し、安全・安心の確保及び利便性の向上を図ることができた。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
総務部

事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	916千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>市民の防犯意識の啓発 116千円 年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>安全・安心まちづくりへの助成 800千円 小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p>		
事業評価	防犯推進組織の活動支援等の取組により、安全・安心なまちづくりを促進できた。防犯推進組織への助成方法について見直しを行ったところであり、地域における自主的な安全・安心の取組状況の把握、分析に努める必要がある。		

事務事業名	防犯カメラ設置事業費	所管課	総務課
		決算額	616千円
事業内容	市民の安全で安心な暮らしの実現に向け、街頭における犯罪の防止と市民の体感治安の向上を目的として、防犯カメラを設置する。		
成果・実績	近鉄小倉駅前及び近鉄大久保駅前の2カ所に各1台を設置した。		
事業評価	路上犯罪の発生密度が高く、不特定多数の市民等が利用する駅周辺への設置を行うことにより、市民の体感治安の向上に努めることができた。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	情報公開審査会委員報酬 5人分	所管課	総務課
		決算額	65千円
事業内容	情報公開制度の適正かつ公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市情報公開審査会（学識経験者5人）を設置し、審査を行う。		
成果・実績	公文書公開請求に係る不服申立てはなかった。平成25年度の実施状況報告等のため、情報公開審査会を1回開催した。		
事業評価	審査会を開催することにより、情報公開制度の適正な運用を図ることができた。円滑な審査会運営に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	情報公開事務費	所管課	総務課												
		決算額	49千円												
事業内容	市政への積極的な市民参加と公正な市政を推進するため、宇治市情報公開条例に沿って、市が保有する公文書の閲覧または写しの交付を請求することができることにより、市民の知る権利を具体的に保障する。														
成果・実績	<p>市が保有する情報を公開することにより、市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正な市政を推進した。</p> <p>公文書公開請求 317件</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">全部公開</td> <td style="text-align: center;">111</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">部分公開</td> <td style="text-align: center;">195</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">非公開 (うち不存在)</td> <td style="text-align: center;">8 (8)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取下げ</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不服申立て</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table> <p>市出資法人（宇治市土地開発公社等8法人）に対する公開申出 0件</p>			(件)		全部公開	111	部分公開	195	非公開 (うち不存在)	8 (8)	取下げ	3	不服申立て	0
(件)															
全部公開	111														
部分公開	195														
非公開 (うち不存在)	8 (8)														
取下げ	3														
不服申立て	0														
事業評価	公文書公開請求に応じて公文書の閲覧、写しの交付など、適正な事務を執行することにより、公正な市政を推進することができた。今後も制度の円滑な運用に努める必要がある。														

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	個人情報保護審議会委員報酬 8人分	所管課	総務課
		決算額	507千円
事業内容	個人情報を保護し、適正かつ公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市個人情報保護審議会（学識経験者5人、市民代表3人）を設置し、審議を行う。		
成果・実績	個人情報開示請求に係る不服申立てが1件あった。平成25年度の運用状況報告等のために1回、個人情報の取扱い及び不服申立てに係る諮問事項を審議するために4回、個人情報保護条例の改正に係る報告のために1回、個人情報保護審議会を開催した。		
事業評価	審議会を開催することにより、個人情報保護の適正な運用を図ることができた。円滑な審議会運営に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	個人情報事務費	所管課	総務課								
		決算額	33千円								
事業内容	宇治市個人情報保護条例は、行政の保有する個人情報に対するアクセス権及びコントロール権を具体的に保障し、個人の権利利益の保護を図るものである。情報公開制度とあわせ、制度の円滑な運用を行うことにより、より充実した豊かな市民生活を実現する。										
成果・実績	<p>個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利利益の保護を図った。</p> <p>これまでの個人情報流出事案については、人事異動や担当業務再編などに伴い、特に新年度当初の4月及び5月に発生する傾向がみられることから、年度当初に職員が個人情報保護についての正しい認識と、緊張感を持って個人情報の取扱いを行うよう徹底を図った。</p> <p>個人情報開示請求 22件</p> <p style="text-align: center;">(件)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">全部開示</td> <td style="padding: 2px;">6</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">部分開示</td> <td style="padding: 2px;">13</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">不開示 (うち不存在)</td> <td style="padding: 2px;">3 (3)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">不服申立て</td> <td style="padding: 2px;">1</td> </tr> </table> <p>市出資法人（宇治市土地開発公社等8法人）に対する開示申出 1件</p>			全部開示	6	部分開示	13	不開示 (うち不存在)	3 (3)	不服申立て	1
全部開示	6										
部分開示	13										
不開示 (うち不存在)	3 (3)										
不服申立て	1										
事業評価	個人情報取扱事務登録簿の整備、個人情報開示事務など適切に実施したことにより、個人情報の保護施策を適正に運用することができた。今後も制度の円滑な運用に努める必要がある。										

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献
小分類	02 平和への貢献

所管部局
総務部

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課
		決算額	3,860千円
事業内容	本市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。		
成果・実績	<p>核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき宇治市平和都市推進協議会が実施する、小・中学生平和訪問団の長崎への派遣を始め、市人権啓発課・市教育委員会と共同開催した「平和 ひゅうまん夏フェスタ」の開催や、市民平和祈念集会などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。</p> <p>「平和 ひゅうまん夏フェスタ」では、文化会館大ホールにて開催した平和訪問団員による成果報告に加え、中央公民館にて平和写真展、歴史資料館にて戦争遺品展、そして中央図書館にて平和図書の読み聞かせを新たに実施した。</p> <p style="text-align: right;">平和都市推進協議会補助金 3,860千円</p>		
事業評価	啓発等の平和事業を実施したことにより、平和への市民意識の醸成を図ることができた。平和事業への参加者増加を図り、あらゆる機会を通して平和への啓発を今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
総務部

事務事業名	廃棄文書リサイクル事業費	所管課	総務課
		決算額	274千円
事業内容	個人情報保護及び資源の有効利用の観点から、庁内業務で使用した個人情報を含む廃棄文書をリサイクル施設で溶解し、紙への資源再生処理を行う。		
成果・実績	<p>機密文書をリサイクル施設で溶解し、文書の復元が不可能な状態にしてから、紙への再生処理を行った。</p> <p style="text-align: right;">廃棄文書リサイクル委託料 274千円 廃棄文書量 46.34 t</p>		
事業評価	個人情報を含む廃棄文書を適正に処理し、個人情報保護とともに環境資源を有効活用することができた。紙の使用量を最小限とする中で、用紙の再生利用を今後も引き続き実施する。		

平成 2 6 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	03 行政情報化の推進

所管部局
総務部

事務事業名	公共施設情報ネットワークシステム運営費	所管課	I T 推進課				
		決算額	65,595千円				
事業内容	市公共施設の情報共有による市民サービスの提供と行政運営の効率化のため、公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行う。						
成果・実績	<p>公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>光ファイバー使用料</td> <td>16,779千円</td> </tr> <tr> <td>イントラネット管理委託料</td> <td>22,032千円</td> </tr> </table>			光ファイバー使用料	16,779千円	イントラネット管理委託料	22,032千円
光ファイバー使用料	16,779千円						
イントラネット管理委託料	22,032千円						
事業評価	公共施設情報ネットワークの安定的な運用を図ることにより、庁外施設を含めて円滑に業務を推進することができた。今後も、適切に維持管理しながら安定した運用に努める必要がある。						

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	庁舎温室効果ガス削減対策事業費	所管課	管財課
		決算額	44,729千円
事業内容	平成25年度から新たに設定された地球温暖化対策実行計画（第4期計画）に沿って、平成29年度までに平成23年度比5%以上温室効果ガス削減を目指し、庁舎における排出量の削減を図るため、老朽化設備の改修等、省エネルギーの実現に向けた取組を行う。		
成果・実績	温室効果ガスの削減に向け、老朽化した庁舎設備の改修及び空調効率改善のため、空気攪拌機器の設置等を実施した。		
	庁舎1階及び議会棟2・3階空気環境改善工事		40,193千円
	庁舎中央監視装置更新実施設計業務委託料		4,536千円
事業評価	本庁舎の空調熱源改修工事等を実施したことにより、庁舎から排出する温室効果ガスを削減することができた。「宇治市地球温暖化対策実行計画」の削減目標達成のため、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	市有林造林事業費	所管課	管財課
		決算額	7,850千円
事業内容	国土保全とともに森林の多面的機能や植林の材質を高めるため、池尾仙郷山等の市有林において、森林施業計画に基づき保育施業（下刈り、枝打ち、間伐など）を行うとともに、間伐材出材を実施する。		
成果・実績	森林施業計画に基づく保育事業を重点的に施業することとし、宇治市森林組合に枝打ち2.00ha、間伐11.36ha、作業道作設500m、出材124.439m ³ を委託実施した。		
	市有林造林事業委託料（枝打ち・間伐・作業道作設・出材）		7,559千円
	間伐材売払収入		1,066千円
事業評価	事業実施により、市有林の保全を図ることができた。今後は宇治市森林組合の後継者及び森林ボランティアの育成に努める中で、豪雨災害被災箇所等市有林整備を検討する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
総務部

事務事業名	京都地方税機構負担金	所管課	市民税課・納税課								
		決算額	122,997千円								
事業内容	納税者の利便性向上や業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を一層推進するため、京都府及び府内25市町村（京都市を除く）で組織する広域連合の京都地方税機構において、法人市民税課税事務の一部及び移管した滞納案件の整理を行った。										
成果・実績	<p>法人市民税課税事務及び滞納市税の徴収業務を統合的に行うことにより、納税者の利便性向上や業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を推進した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">京都地方税機構への移管額</td> <td style="text-align: right;">2,434,529千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">移管額のうち収入額</td> <td style="text-align: right;">944,762千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">負担金（市民税課）</td> <td style="text-align: right;">5,901千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">負担金（納税課）</td> <td style="text-align: right;">117,096千円</td> </tr> </table>			京都地方税機構への移管額	2,434,529千円	移管額のうち収入額	944,762千円	負担金（市民税課）	5,901千円	負担金（納税課）	117,096千円
京都地方税機構への移管額	2,434,529千円										
移管額のうち収入額	944,762千円										
負担金（市民税課）	5,901千円										
負担金（納税課）	117,096千円										
事業評価	京都地方税機構との連携により、効率的に法人市民税課税事務及び滞納整理事務を行うことができた。安定した財政基盤を確保するため、京都地方税機構と連携した市税徴収業務を、今後も引き続き実施する。										

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	文化自治振興課
		決算額	103千円
事業内容	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住みよい心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行や優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。		
成果・実績	地域社会貢献者表彰式 平成27年3月1日 15回目となる平成26年度は、9件表彰した。 受賞者名 小山 吉彦 氏 緑ヶ原自治町内会 夜回りボランティア 小西 康文 氏 小西 廣 氏 池谷 宏 氏 吉田 廣昭 氏 福田 浩史 氏 大西 雄一 氏 平岡 唯男 氏		
事業評価	自発的な善行及び優れた活動を表彰することにより、地域活動の活性化及び市民の意欲向上を図ることができた。被表彰者の選定については、広く推薦を促せるように広報手法を検討する中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	地域コミュニティ調査検討費	所管課	文化自治振興課
		決算額	1,438千円
事業内容	地域コミュニティ推進検討委員会を設置し、良好な町内会・自治会の形成と運営の活性化を促進する方策及び地域コミュニティや協働のあり方について検討する。		
成果・実績	地域コミュニティ推進検討委員会では、昨年度から2年近くに及ぶ議論の結果、提言内容を取りまとめた。 委員会開催状況 第5回開催日 6月26日 第8回開催日 12月15日 第6回開催日 8月26日 第9回開催日 平成27年1月27日 第7回開催日 11月4日 第10回開催日 平成27年3月4日 委員数 19人		
事業評価	地域コミュニティ推進検討委員会では、町内会・自治会の活性化及び地域コミュニティ等のあり方について提言内容を取りまとめた。今後、提言に基づき地域コミュニティ施策について検討を進める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	ふれあいセンター運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	16,003千円
事業内容	菟道、伊勢田、平盛のふれあいセンターの管理、運営を行う。地域のコミュニティ形成の場として子どもから高齢者まで、地域住民の交流や、趣味、娯楽、各種会合、講習会、スポーツといった活動に利用されており、貸館業務を主とした運営を行う。		
成果・実績	市民が気軽に利用できる施設として、子どもから高齢者まで幅広い層に親しまれている。菟道・伊勢田・平盛の3館で、サークル活動や各種会合などに年間59,202人の利用があった。		
事業評価	適切に管理運営し、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。施設の老朽化及び耐震の課題がある中で、市民ニーズ及び利用状況などを踏まえ、今後のふれあいセンターのあり方について、引き続き検討する必要がある。		

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	67,792千円
事業内容	平成18年度より地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。		
成果・実績	西小倉・東宇治・南宇治・榎島の4つのコミュニティセンターで合わせて14,546件、172,803人の利用があった。		
	西小倉コミュニティセンター運営費	15,116千円	
	東宇治コミュニティセンター運営費	18,076千円	
	南宇治コミュニティセンター運営費	18,002千円	
	榎島コミュニティセンター運営費	16,598千円	
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。地域コミュニティの拠点施設として、今後も適切な施設の管理運営に努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部


事務事業名	集会所維持管理費	所管課	文化自治振興課
		決算額	41,464千円
事業内容	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
成果・実績	文化自治振興課が管理する集会所131カ所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて改修・修繕を実施し環境整備を行った。また、集会所20カ所の耐震診断を行った。		
事業評価	地域コミュニティづくりの拠点となる集会所を適切に管理運営することにより、地域コミュニティの活性化を支援することができた。耐震診断の必要な集会所について、平成27年度までの診断完了を予定しており、今後の対策を検討する必要がある。		


事務事業名	民間集会所環境整備事業費補助金	所管課	文化自治振興課
		決算額	6,675千円
事業内容	町内会・自治会が自主的に管理運営する民間集会所の新築や修繕などについて補助を行う。		
成果・実績	民間集会所の環境整備として、新築1件、修繕1件、下水道接続1件、光熱水費25件に補助金を交付した。		
事業評価	地域住民の活動の場である民間集会所の修繕等に補助することにより、地域コミュニティの活性化を支援することができた。今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展


所管部局
市民環境部

事務事業名	文化祭開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	1,552千円
事業内容	<p>子ども手づくり文化祭は、児童・生徒の地域、学校を越えた交流、情操豊かな青少年の育成及び健全な児童文化活動を推進することを目的に行う。市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。</p>		
成果・実績	<p>子ども手づくり文化祭</p> <p>開催日 9月23日 来場者数 約2,300人</p>		<p>子ども手づくり文化祭</p>
	<p>市民文化芸術祭</p> <p>開催日 10月25日、26日 参加者数 約1,300人 来場者数 約9,200人</p>		
	<p>同参加事業</p> <p>参加者数 約950人 来場者数 約2,800人</p>		
事業評価	<p>文化祭の開催により、市民相互の文化交流を促進し文化活動の活性化を図ることができた。より文化意識を高めるため、効果的な実施手法を検討しながら、今後も引き続き実施する。</p>		

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化自治振興課
		決算額	2,852千円
事業内容	<p>合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習や定期演奏会の開催のほか、各種発表会や市の公式行事などに出演する。</p>		
成果・実績	<p>団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約80人で、毎週土曜日午後の練習、強化合宿、定期演奏会のほか、市行事やコンサート出演など、年間10回を超える演奏を行った。また、8月2日、3日に東京都で開催された「2014こどもコーラス・フェスティバル」に出演し、全国各地の合唱団や海外で活躍している合唱団と交流を行った。</p>		
	事業評価		<p>合唱団活動に取り組むことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努め、今後も引き続き実施する。</p>

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	02 市民文化の創造	
小分類	01 市民文化の創造・発展	

事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	24,159千円
事業内容	<p>ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式を中心としたイベントである「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての本市のイメージアップを図る。</p>		
成果・実績	<p>第24回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 11月16日に贈呈式と記念イベントを行った。記念イベントでは、約900人の観客に対して源氏物語の朗読や、吉岡 幸雄氏(染織史家)とはな氏(タレント)による対談が行われた。</p> <p>紫式部文学賞 (全国から59作品の推薦) 森 まゆみ氏 「『青鞥』の冒険 女が集まって雑誌をつくるということ」</p> <p>紫式部市民文化賞 (50作品の応募・推薦) 横道 しげ子氏「雪明かり」 沢本 彰子氏 「花のことづて」 選考委員特別賞 鮎風 遊氏 「漢字一文字の旅」</p>  <p style="text-align: center;">紫式部文学賞贈呈式</p> <p>宇治十帖スタンプラリー 宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社や平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。 開催日数 5日(10月25日、26日、11月1日、2日、3日) 踏破者数 17,176人</p> <p>宇治田楽まつり 平安時代に栄えた田楽を、現代風アレンジし、10月18日に府立宇治公園中の島で盛大に開催した。 出演者数 90人 観覧者数 約2,500人</p>		
事業評価	<p>源氏物語をテーマとするイベントの開催により、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。幅広い分野において事業の効果が期待できるような実施方法等を検討する中で、今後も引き続き実施する。</p>		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部

事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	357千円
事業内容	<p>昼休憩時間にミニコンサートを開催し、市庁舎を市民の気軽な音楽活動の発表の場にするにより、音楽文化の促進と市民相互の交流を図るとともに、市民にとって親しみやすい市役所にする。</p>		
成果・実績	<p>昼休み中の午後0時15分～45分に市役所1階市民交流ロビーを会場として開催し、毎回多数の観客を迎えた。</p> <p style="margin-left: 20px;">開催回数 17回 延べ観覧者数 4,200人</p>		
事業評価	<p>市民交流ロビーコンサートを開催したことにより、市民の文化活動及び相互交流を促進することができた。観覧者が多くあることから、今後も引き続き実施する。</p>		



事務事業名	文化センター管理運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	149,520千円
事業内容	<p>(公財)宇治市文化センターを指定管理者とし、文化会館の健全な管理・運営を行うとともに、自主事業の企画立案や、優れた文化、芸術公演を公開して、市民文化の振興を図る。また、市内団体やサークルなどが文化会館を使用する際の使用料の助成(補助)を行う。</p>		
成果・実績	<p>自主事業として、宇治市文化センター開館30周年記念公演、源氏物語宇治十帖朗読劇、第九コンサート、ファミリーミュージカル、宇治シネマ劇場など、幅広い分野の事業に取り組み、27,140人が鑑賞した。</p> <p>また、市民の文化芸術活動の普及や振興を図るため、文化事業基金による市内文化団体等に対する文化会館使用料の助成を24件行った。</p>		
事業評価	<p>指定管理者によって、適切に管理運営できた。市民の文化芸術活動の普及・振興を図る施設であり、今後も適切な管理運営に努める。</p>		



宇治市文化センター開館30周年記念公演

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	02 消費生活の充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	消費者支援事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	810千円
事業内容	事業者と消費者との間の取引きに関して生じた苦情を専門の消費生活相談員が助言、情報提供、あっせんなどを行うとともに、市民の消費生活の向上を図るための啓発を行う。		
成果・実績	消費生活センターに専門の消費生活相談員を3人配置し、1,158件の相談に応じた。また、複雑多岐にわたる案件に対処する必要から、消費生活相談員の一層のレベルアップを図るために、各種研修会等へ参加した。さらに、消費生活に関する市民啓発等を行った。		
事業評価	専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行うことにより、消費生活の改善、向上に寄与することができた。今後も広範な消費生活に関する苦情及び相談が想定されることから、相談員の一層の資質向上と消費生活に関する市民啓発に努める必要がある。		

事務事業名	消費生活展開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	1,035千円
事業内容	「宇治市消費者まつり」として隔年で開催しており、消費生活に関する諸問題を楽しみながら考える場として、また、消費者団体等の市民団体と市民のふれあいの場として、広く市民に親しまれる企画、展示、販売を中心に多彩なイベントを実施している。		
成果・実績	消費者団体、環境団体等で構成する宇治市消費者まつり運営委員会と宇治市の共催で開催した。約1,000人が参加し、悪徳商法に関する寸劇や消費生活に関するパネル展示などを行った。		
事業評価	「宇治市消費者まつり」を開催したことにより、市民の消費生活に関する知識・意識の向上に寄与することができた。継続した市民啓発が必要であることから、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 広報・広聴活動の充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	広聴事務費	所管課	文化自治振興課
		決算額	372千円
事業内容	<p>市民の行政に対する苦情や要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。</p>		
成果・実績	<p>市民相談</p> <p>市民相談・行政懇談会等の内容を関係部課へ伝え、適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設29カ所に設置している「市民の声」投書箱により、より広い範囲から市政に対する意見、提言などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩みごと、心配ごとなど日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介するなどの対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 1,305件 (市政相談880件、他の行政機関等32件、民事相談ほか393件) ・行政懇談会 10回 ・行政相談 12回 (毎月第3木曜日) <p>市政モニター</p> <p>広く全市的視野に立った調査広聴として市政モニター制度を実施した。</p> <p>市政モニター146人(平成27年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政モニターアンケート(2回3テーマ実施) <ul style="list-style-type: none"> 第1回アンケート(回収率73.5%) <ul style="list-style-type: none"> 宇治市の広報に関するアンケート 墓地に関する市民意識アンケート 第2回アンケート(回収率74.7%) <ul style="list-style-type: none"> 宇治市の歴史・文化に関する意識調査 ・市政モニター公共施設見学会(2回実施) <ul style="list-style-type: none"> 市政について理解を深め、市政モニター活動の参考となるよう実施した。 第1回 7月18日 エコ・ポート長谷山、クリーン21長谷山 第2回 11月25日 うじ安心館 ・市政モニター随時通信 5テーマ ・市政モニターのつどい(5月30日) <ul style="list-style-type: none"> 「市政モニター制度について」「宇治市第5次総合計画について」 		
事業評価	<p>市民相談及び市政モニター制度を実施したことにより、市民ニーズを把握するとともに市民の要望を市政に反映することができた。今後も幅広く市民ニーズを把握できるように広聴手法の充実に努める必要がある。</p>		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課														
		決算額	56,461千円														
事業内容	小倉、木幡など市内6カ所の行政サービスコーナーにおいて、住民票の写し、戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務を行う。																
成果・実績	<p>諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。</p> <p>市民課業務の年間取扱い件数（公用請求を除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">名称</th> <th style="width: 30%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小倉行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">12,690</td> </tr> <tr> <td>木幡行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">14,484</td> </tr> <tr> <td>南宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">9,047</td> </tr> <tr> <td>槇島行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">7,138</td> </tr> <tr> <td>東宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">6,831</td> </tr> <tr> <td>開行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">4,777</td> </tr> </tbody> </table>			名称	件数	小倉行政サービスコーナー	12,690	木幡行政サービスコーナー	14,484	南宇治行政サービスコーナー	9,047	槇島行政サービスコーナー	7,138	東宇治行政サービスコーナー	6,831	開行政サービスコーナー	4,777
名称	件数																
小倉行政サービスコーナー	12,690																
木幡行政サービスコーナー	14,484																
南宇治行政サービスコーナー	9,047																
槇島行政サービスコーナー	7,138																
東宇治行政サービスコーナー	6,831																
開行政サービスコーナー	4,777																
事業評価	諸証明の発行業務を市内6カ所で実施することにより、地域住民の利便性向上を図ることができた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実に努める必要がある。																

事務事業名	受付証明等事務費	所管課	市民課																						
		決算額	4,497千円																						
事業内容	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書などの諸証明発行業務を行う。																								
成果・実績	<p>住民票等諸証明発行数（行政サービスコーナー取扱い分を含む）</p> <p style="text-align: center;">（通）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>印鑑登録証明書交付数</td> <td style="text-align: right;">60,812</td> </tr> <tr> <td>住民票の写し交付数</td> <td style="text-align: right;">80,733</td> </tr> <tr> <td>戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">17,624</td> </tr> <tr> <td>戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">5,264</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">7,384</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">193</td> </tr> <tr> <td>戸籍附票交付数</td> <td style="text-align: right;">2,750</td> </tr> <tr> <td>閲覧件数</td> <td style="text-align: right;">17</td> </tr> <tr> <td>諸証明交付数</td> <td style="text-align: right;">7,300</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証交付数</td> <td style="text-align: right;">5,637</td> </tr> <tr> <td>住民基本台帳カード交付数</td> <td style="text-align: right;">788</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">は件数</p> <p>公的個人認証サービスの申請件数 320件（うち3件無料）</p>			印鑑登録証明書交付数	60,812	住民票の写し交付数	80,733	戸籍全部事項証明書等交付数	17,624	戸籍個人事項証明書等交付数	5,264	除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,384	除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	193	戸籍附票交付数	2,750	閲覧件数	17	諸証明交付数	7,300	印鑑登録証交付数	5,637	住民基本台帳カード交付数	788
印鑑登録証明書交付数	60,812																								
住民票の写し交付数	80,733																								
戸籍全部事項証明書等交付数	17,624																								
戸籍個人事項証明書等交付数	5,264																								
除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	7,384																								
除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	193																								
戸籍附票交付数	2,750																								
閲覧件数	17																								
諸証明交付数	7,300																								
印鑑登録証交付数	5,637																								
住民基本台帳カード交付数	788																								
事業評価	各種証明書の発行等の事務を適正に執行した。今後は市民ニーズを踏まえて、さらなるサービスの充実に検討する必要がある。																								

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	農道・ため池・農業用施設維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	9,686千円
事業内容	農業基盤の保全整備を図るため、本市が所有または管理する農道やため池、農業用水路の維持管理等を行う。		
成果・実績	農業用水路の草刈りや浚渫をはじめ、農業用施設の維持管理に努めた。		
事業評価	農業用施設について適正に維持管理を行うことにより、農地等の環境保全に努めることができた。今後も引き続き適正な管理に努める。		

事務事業名	巨椋池地域排水対策協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	7,522千円
事業内容	巨椋池土地改良区管理水路への都市排水流入による維持管理費用の負担について、本市、京都市、久御山町及び巨椋池土地改良区で平成3年6月に設立した巨椋池地域排水対策協議会において、負担割合を定め共同で管理を行う。		
成果・実績	巨椋池地域排水対策協議会への負担を通して、排水路の維持管理を行い、排水機能の保全を図った。 巨椋池地域排水対策協議会管理水路 排水幹線、承水溝3号、主排4号、主排5号、主排8号		
事業評価	関係団体と巨椋池地域排水対策協議会を組織し、共同で適正な維持管理を行うことができた。今後の維持管理のあり方については引き続き検討する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	巨椋池農地基盤整備事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	18,582千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場の機能を高めるための巨椋池農地基盤整備事業に要する費用を負担する。本市、京都市、久御山町、巨椋池土地改良区で推進協議会を組織し、事業の早期完成を目指す。		
成果・実績	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場に接続する排水関連施設の整備が、府営事業として実施され、防災機能の強化が進んだ。		
事業評価	関係団体と巨椋池農地基盤整備推進協議会を組織し、必要な農業用水の排水関連施設整備を行うことができた。今後も京都府等と連携して、事業の推進に努める必要がある。		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	26,339千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適正な管理及び運転を行い、水害の防止に寄与した。		
事業評価	地方自治法に基づき、巨椋池排水機場管理協議会を組織し、排水機場の維持管理を行うことにより、施設の機能回復及び災害の未然防止を図ることができた。今後も関係団体と連携し、排水機場の適正な管理に努める必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	02 茶業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課																																
		決算額	5,068千円																																
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。																																		
成果・実績	<p>全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金や入賞報奨金などを交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">第68回全国 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第67回関西 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第47回宇治市 茶品評会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">出品数</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">41</td> <td style="text-align: center;">36</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">優等数</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1等賞</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2等賞</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3等賞</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農林水産大臣賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">産地賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>				第68回全国 茶品評会	第67回関西 茶品評会	第47回宇治市 茶品評会	出品数	36	41	36	優等数	/	/	2	1等賞	3	1	3	2等賞	7	7	2	3等賞	6	4	4	農林水産大臣賞	受賞	-	/	産地賞	受賞	-	/
	第68回全国 茶品評会	第67回関西 茶品評会	第47回宇治市 茶品評会																																
出品数	36	41	36																																
優等数	/	/	2																																
1等賞	3	1	3																																
2等賞	7	7	2																																
3等賞	6	4	4																																
農林水産大臣賞	受賞	-	/																																
産地賞	受賞	-	/																																
事業評価	品評会への出品を奨励することにより、生産者の生産意欲を高めるとともにブランド力の向上につなげることができた。継続して質の高い宇治茶の生産に努める必要がある。																																		

事務事業名	優良茶園振興事業補助金	所管課	農林茶業課												
		決算額	3,453千円												
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、優良茶園の整備が不可欠であり、茶園拡大・新植及び改植事業への支援を通じ、品質及び生産力の向上を図る。														
成果・実績	<p>茶園拡大及び改植事業に補助金を交付し、優良茶園の拡大を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">茶園拡大</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">30.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">改植</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">40.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">70.0</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	茶園拡大	1	30.0	改植	5	40.0	合計	6	70.0
	事業実施件数	面積(a)													
茶園拡大	1	30.0													
改植	5	40.0													
合計	6	70.0													
事業評価	茶園拡大及び改植事業に助成を行い、宇治茶の生産振興を図ることができた。継続して、優良茶園の整備による質の高い宇治茶の生産に努める必要がある。														

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	02 茶業の振興	

事務事業名	高品質茶推進事業補助金	所管課	農林茶業課	
		決算額	7,479千円	
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるために、品質の改善や生産性の向上につながる農家の幅広い対策を支援する。			
成果・実績	環境にやさしい茶づくりや寒冷紗等による茶園管理の省力化などへの支援を行うとともに、ほんず茶園や手摘みによる高品質茶の生産には欠かせない市内産宇治茶の伝統の継承を図る農家の取組にも支援を行った。			
		事業実施件数	面積(a)	
	環境にやさしい茶生産対策	13	1,009.2	
	手摘み茶推進対策	34	-	
	凍霜害対策	0	-	
	伝統技術継承対策	19	409.2	
	生産省力化 対策	寒冷紗二重式	4	90.0
		寒冷紗一重式	0	-
		棚整備(永久棚)	1	4.0
		被覆張替え	3	34.5
合計	74	1,546.9		
事業評価	ほんず茶園及び手摘みなどによる生産を支援することにより、より高品質な宇治茶の生産を促進できた。継続して宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持するとともに、さらなる向上のため、質の高い宇治茶の生産に努める必要がある。			

事務事業名	宇治茶普及宣伝費	所管課	農林茶業課
		決算額	397千円
事業内容	宇治市の伝統産業であり、特産である宇治茶を広く普及啓発を図る取組を実施する。		
成果・実績	従来実施している「市民茶摘みのつどい」に加え、平成26年10月に制定した「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」の制定記念イベント並びに市内産宇治茶普及に係るイベントを実施した。		
	5月	市民茶摘みのつどい	
	11月	条例制定記念イベント	
	平成27年 1月	条例制定記念開発茶「碾玉」接待（JR宇治駅・京阪宇治駅） 「ちょこっと関西歴史たび 世界遺産平等院」オープニング セレモニー市内産宇治茶接待（JR宇治駅）	
	平成27年 2月	シンポジウム「ウミウの誕生からみる鶺鴒の未来」 「碾玉」接待（京都大学宇治おうばくプラザ）	
事業評価	各種イベントを実施したことにより、宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成を図ることができた。今後も、市内外に向けての効果的・効率的な情報発信を検討し、普及啓発に取り組む必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	03 林業・漁業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	森林病虫害防除費	所管課	農林茶業課						
		決算額	1,566千円						
事業内容	従来の松くい虫対策に加え、平成22年度より実施している市有林を対象としたカシノナガキクイムシの対策で、薬剤による予防・保護を行うとともに、被害木の伐倒処理を行い、被害の蔓延を防止する。森林病虫害及び松くい虫防除交付金の交付を受けて実施している。								
成果・実績	森林組合に委託して事業を実施した。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">工種</th> <th style="width: 40%;">事業量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">松くい虫(樹幹注入)</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">カシノナガキクイムシ(コーティング)</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> </tbody> </table>			工種	事業量(m ³)	松くい虫(樹幹注入)	45	カシノナガキクイムシ(コーティング)	33
工種	事業量(m ³)								
松くい虫(樹幹注入)	45								
カシノナガキクイムシ(コーティング)	33								
事業評価	薬剤散布及び伐倒駆除を実施したことにより、病虫害被害の蔓延の防止を図ることができた。カシノナガキクイムシについては、対応が必要となるため、被害の状況の把握に努めながら今後も引き続き実施する。								

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課																									
		決算額	5,874千円																									
事業内容	シカやイノシシなど鳥獣による農林業生産物への被害を防止するため、鳥獣の駆除を宇治猟友会に委託するとともに、防護柵の設置を行い、鳥獣の侵入を防止する。																											
成果・実績	東部山間地を中心に、宇治猟友会に委託して有害鳥獣を捕獲した。また、地元山間集落の協力のもと集落周辺に防護柵を設置した。 <table style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">捕獲数</td> <td style="padding-right: 10px;">オスジカ</td> <td style="padding-right: 10px;">39頭</td> <td style="padding-right: 10px;">防護柵(金網)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>メスジカ</td> <td>38頭</td> <td>H=2.0m</td> <td>L=2,074m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イノシシ</td> <td>28頭</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>アライグマ</td> <td>7頭</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ヌートリア</td> <td>13頭</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">平成26年度猟期内のシカの捕獲に対する 「シカ捕獲強化事業」による補助対象捕獲頭数 89頭(全捕獲頭数 132頭)</p>			捕獲数	オスジカ	39頭	防護柵(金網)			メスジカ	38頭	H=2.0m	L=2,074m		イノシシ	28頭				アライグマ	7頭				ヌートリア	13頭		
捕獲数	オスジカ	39頭	防護柵(金網)																									
	メスジカ	38頭	H=2.0m	L=2,074m																								
	イノシシ	28頭																										
	アライグマ	7頭																										
	ヌートリア	13頭																										
事業評価	有害鳥獣の駆除等により農作物への被害防止に努めているが、決定的な対策がない状況にある。地域と連携してより効果的な対策を検討する必要がある。																											

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	03 林業・漁業の振興	

事務事業名	林道維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	8,155千円
事業内容	林道における通行の安全を確保するため、日常の維持管理を行うとともに、災害等にも適切に対応する。		
成果・実績	林道は、山間部における生活道路としての機能を有するため、不法投棄された廃棄物の撤去や路肩草刈り、側溝清掃、法面補修などの日常の維持管理に努めた。		
事業評価	本市が所有または管理する林道を適正に維持管理したことにより、生活道路としての機能保全を図ることができた。引き続き、市民の利用状況及び防災上の観点などを考慮しながら、適正な管理に努める必要がある。		

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,098千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民や観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	宇治川・志津川・笠取川等で行われた、あゆ（5万尾）、うなぎ（4千尾）、ふな（5千尾）、あまご（1千尾）、はえ（1万2千尾）の稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。 なお、コイヘルペスの蔓延防止のため、こいの放流は自粛となった。		
事業評価	種苗放流事業に助成を実施したことにより、水産資源の増殖と河川の環境改善などを図ることができた。宇治川の快適な水辺空間の創出は観光にも寄与するため、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	商工観光課																								
		決算額	11,484千円																								
事業内容	宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場産品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながる。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。																										
成果・実績	施設利用状況 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">815</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">374</td> <td style="text-align: center;">33,305</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td style="text-align: center;">109</td> <td style="text-align: center;">2,549</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">167</td> <td style="text-align: center;">4,432</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">245</td> <td style="text-align: center;">4,297</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">261</td> <td style="text-align: center;">3,380</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">1,164</td> <td style="text-align: center;">48,778</td> </tr> </tbody> </table>				件数	人数	産業情報コーナー	8	815	多目的ホール	374	33,305	会議室	109	2,549	第一研修室	167	4,432	第二研修室	245	4,297	茶室	261	3,380	合計	1,164	48,778
	件数	人数																									
産業情報コーナー	8	815																									
多目的ホール	374	33,305																									
会議室	109	2,549																									
第一研修室	167	4,432																									
第二研修室	245	4,297																									
茶室	261	3,380																									
合計	1,164	48,778																									
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、さらなる商工業の振興に向けて、施設の有効活用を図りながら、今後も引き続き実施する。																										

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	商工観光課																		
		決算額	1,543,793千円																		
事業内容	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であること、法人は代表者の連帯保証人が必要であること（個人の場合不要）を条件として融資する。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。																				
成果・実績	宇治市中小企業低利融資 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">464</td> <td style="text-align: center;">40,674</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">1,087</td> <td style="text-align: center;">111,672</td> </tr> <tr> <td>利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">1,555</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">1,892</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> 宇治市中小企業低利融資実行は468件、融資金額は5,181,850千円				件数	金額（千円）	保証料補給	464	40,674	利子補給	1,087	111,672	利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	15	1,555	損失補償	6	1,892	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額（千円）																			
保証料補給	464	40,674																			
利子補給	1,087	111,672																			
利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	15	1,555																			
損失補償	6	1,892																			
預託金	5金融機関	1,388,000																			
事業評価	市内の中小企業者へ事業資金の低利融資保証料及び利子補給補助を行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。健全な事業資金供給のため、今後も引き続き実施する。																				

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	商工観光課								
		決算額	3,681千円								
事業内容	商店街・小売市場が行う商店街施設（街路灯・アーチ・統一看板等）を設置する事業並びに商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。										
成果・実績	商店街等が実施する活性化、情報化対策事業等に対して、11件9団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">2,508</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1,173</td> </tr> </tbody> </table>		件数	金額（千円）	活性化対策事業	8	2,508	情報化対策事業	3	1,173
	件数	金額（千円）									
活性化対策事業	8	2,508									
情報化対策事業	3	1,173									
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助することにより、商店街等の振興に努めることができた。今後も、自立・自主性を高め、より効果的な支援となるように各商店街に対して「商店街活性化計画」の策定し、商店街等の活性化を図る必要がある。										

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	商工観光課									
		決算額	27,280千円									
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。											
成果・実績	<p>入館者数 357,500人 観光案内件数 57,323件</p> <p>貸館状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">利用件数</th> <th style="text-align: center;">施設使用料（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">展示会場</td> <td style="text-align: center;">90（うち有料件数6）</td> <td style="text-align: center;">30,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">和室</td> <td style="text-align: center;">17（うち有料件数2）</td> <td style="text-align: center;">6,000</td> </tr> </tbody> </table>				利用件数	施設使用料（円）	展示会場	90（うち有料件数6）	30,000	和室	17（うち有料件数2）	6,000
	利用件数	施設使用料（円）										
展示会場	90（うち有料件数6）	30,000										
和室	17（うち有料件数2）	6,000										
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。観光宇治の拠点施設であり、老朽化への対応を検討しながら、今後も適切な施設管理に努める必要がある。											

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 観光の振興	

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	商工観光課																								
		決算額	14,902千円																								
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">入席者数</td> <td style="width: 30%;">22,335人</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td> うち有料券数</td> <td>21,052人</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td> うち招待券数</td> <td>1,283人</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="4">専用使用料利用状況</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">件数</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; text-align: center;">専用使用料（円）</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">2（うち有料件数1）</td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; text-align: center;">3,000</td> </tr> </table>			入席者数	22,335人			うち有料券数	21,052人			うち招待券数	1,283人			専用使用料利用状況				件数	専用使用料（円）			2（うち有料件数1）	3,000		
入席者数	22,335人																										
うち有料券数	21,052人																										
うち招待券数	1,283人																										
専用使用料利用状況																											
件数	専用使用料（円）																										
2（うち有料件数1）	3,000																										
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。今後も、国内外に向けて施設のPRの強化を図りながら、適切な管理運営に努める必要がある。																										

事務事業名	観光協会補助金	所管課	商工観光課
		決算額	8,235千円
事業内容	四季を通じた観光イベントを企画・実施することで、市民や観光客に憩いの場を提供し、本市の観光振興に大きく貢献している（公社）宇治市観光協会に対して助成を行う。		
成果・実績	宇治川の鶺鴒、観光写真コンクールなど、（公社）宇治市観光協会が実施する諸事業に対し助成を行い、観光振興を図った。なお、宇治川花火大会については、台風に伴う宇治川の増水により中止した。		
事業評価	宇治川の鶺鴒事業をはじめとする諸事業に補助することにより、観光宇治のイメージアップを図ることができた。さらなる観光振興に繋げるため、事業内容の充実に向けて、（公社）宇治市観光協会と協働で取り組む必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光振興計画推進事業費	所管課	商工観光課
		決算額	643千円
事業内容	近年の観光客のニーズや社会情勢の変化を的確に把握し、恵まれた観光資源に磨きをかけ、多くの人々が訪れる観光地を目指すため、平成34年度までを実施期間とする「宇治市観光振興計画」を推進する。		
成果・実績	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、（公社）宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」を設置し、宇治の観光活性化のための議論を行った。		
事業評価	「宇治市観光振興計画推進委員会」での議論により、観光振興施策を推進することができた。今後も、観光事業者等をはじめ、（公社）宇治市観光協会、市民、行政が協働して、「宇治茶に染める観光まちづくり」に取り組む必要がある。		

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	01 勤労者福祉の向上

所管部局
市民環境部

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	商工観光課
		決算額	2,452千円
事業内容	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。		
成果・実績	<p>求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・医療事務・介護事務・調剤薬局講座等を開催した。</p> <p style="margin-left: 40px;">講座数 40 講座</p> <p style="margin-left: 40px;">受講人数 207 人</p>		
事業評価	職業訓練事業に補助し、求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。利用者ニーズの把握、分析に努め、さらなる効果発現に向けて検討する必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上	
小分類	01 勤労者福祉の向上	

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	商工観光課																								
		決算額	287千円																								
事業内容	永く同一の職業に従事し優れた技能を持つ方の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。																										
成果・実績	技能功労者 11人 (内訳) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>表彰人数</th> <th>職種</th> <th>表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大工</td> <td>1</td> <td>金箔押</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自動車整備</td> <td>1</td> <td>電気工事</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>製茶</td> <td>1</td> <td>土木・舗装工事</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>陶磁器製造</td> <td>1</td> <td>左官</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>機械器具製造</td> <td>1</td> <td>鉄工</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	職種	表彰人数	大工	1	金箔押	1	自動車整備	1	電気工事	1	製茶	1	土木・舗装工事	1	陶磁器製造	1	左官	2	機械器具製造	1	鉄工	1
職種	表彰人数	職種	表彰人数																								
大工	1	金箔押	1																								
自動車整備	1	電気工事	1																								
製茶	1	土木・舗装工事	1																								
陶磁器製造	1	左官	2																								
機械器具製造	1	鉄工	1																								
事業評価	技能功労者を表彰することにより、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運の高揚を図ることができた。技能継承等把握する中で、今後も引き続き実施する。																										

事務事業名	地域人づくり事業	所管課	商工観光課																																										
		決算額	45,947千円																																										
事業内容	消費税の引上げにより見込まれる消費の減少等を緩和し、景気の下振れリスクに対応するとともに、経済の成長力の底上げと好循環の実現を図るため国が創設した「地域人づくり事業」を実施し、雇用の拡大、賃金の上昇に努めた。																																												
成果・実績	<table style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">(平成26年度事業分)</th> <th>(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外販路開拓支援・企業経営人材育成事業</td> <td></td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>高齢者等の就労・社会参加促進事業</td> <td></td> <td>3,999</td> </tr> <tr> <td>海外販路開拓支援事業</td> <td></td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>外国人観光客向け販売促進支援事業</td> <td></td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>障害者相談支援事業所サポート事業</td> <td></td> <td>17,409</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td><u>43,408</u></td> </tr> <tr> <th colspan="2">(平成27年度事業のうち平成26年度中着手分)</th> <th></th> </tr> <tr> <td>観光人材育成事業</td> <td></td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>海外販路開拓支援・企業経営人材育成事業</td> <td></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>地場産品を活用した新・ご当地グルメ開発支援事業</td> <td></td> <td>650</td> </tr> <tr> <td>外国人観光客受け入れ支援事業</td> <td></td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>海外販路開拓支援事業</td> <td></td> <td>500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td><u>2,539</u></td> </tr> </tbody> </table>			(平成26年度事業分)		(千円)	海外販路開拓支援・企業経営人材育成事業		6,000	高齢者等の就労・社会参加促進事業		3,999	海外販路開拓支援事業		8,000	外国人観光客向け販売促進支援事業		8,000	障害者相談支援事業所サポート事業		17,409		計	<u>43,408</u>	(平成27年度事業のうち平成26年度中着手分)			観光人材育成事業		289	海外販路開拓支援・企業経営人材育成事業		300	地場産品を活用した新・ご当地グルメ開発支援事業		650	外国人観光客受け入れ支援事業		800	海外販路開拓支援事業		500		計	<u>2,539</u>
(平成26年度事業分)		(千円)																																											
海外販路開拓支援・企業経営人材育成事業		6,000																																											
高齢者等の就労・社会参加促進事業		3,999																																											
海外販路開拓支援事業		8,000																																											
外国人観光客向け販売促進支援事業		8,000																																											
障害者相談支援事業所サポート事業		17,409																																											
	計	<u>43,408</u>																																											
(平成27年度事業のうち平成26年度中着手分)																																													
観光人材育成事業		289																																											
海外販路開拓支援・企業経営人材育成事業		300																																											
地場産品を活用した新・ご当地グルメ開発支援事業		650																																											
外国人観光客受け入れ支援事業		800																																											
海外販路開拓支援事業		500																																											
	計	<u>2,539</u>																																											
事業評価	国制度に基づき、雇用・就職機会を創出することにより、雇用の拡大及び賃金の上昇を図ることができた。																																												

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	企業立地促進助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	25,821千円
事業内容	宇治市企業立地促進条例に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	<p>市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。</p> <p style="text-align: center;">交付社数 5社</p>		
事業評価	条例に基づき適正に執行し、地域経済の活性化等を行うことができた。市内への企業誘致及び企業の市外移転防止、雇用の創出を促進するため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業推進課
		決算額	14,688千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内のベンチャー企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	京都リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行った。また、セミナーの実施や、年内100社の目標を立て、市内企業を訪問し、市や国・府の補助制度等を紹介するなど、市内既存企業にも支援を行った。		
事業評価	各種支援を行うことにより、ベンチャー企業の育成を行うことができた。販路拡大、技術開発、資金調達など、入居企業の自立と事業拡大につなげるための支援は必要であり、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部


事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	1,605千円
事業内容	市内の中小企業者（製造業・情報系産業等）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業との会合を契機として、新規取引に向けたマーケティング拡大に取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、産業振興を図る。		
成果・実績	企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。 助成社数 8社		
事業評価	市内中小企業の展示会出展費用の一部を助成することにより、出展企業のマーケティング拡大を図ることができた。展示会への出展は新規取引を開拓する上で有効な手法であるため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業推進課
		決算額	6,732千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	同一敷地内にあるベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を推進する中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。		
事業評価	産業振興センターを円滑に管理運営し、市内企業のサポートをはじめ、各種セミナーの開催等産業振興の推進を図ることができた。今後も引き続き、貸館業務及び企業向けセミナーの実施など、さらなるセンターの活用にも努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書



総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	06 人権尊重社会の実現
小分類	01 人権教育・啓発の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課																															
		決算額	4,455千円																															
事業内容	人権尊重理念を普及し、さまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組んでいる。																																	
成果・実績	人権強調月間（8月）の取組																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平和・ひゅうまん夏フェスタ</td> <td>文化センター</td> <td>1,940人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>JR宇治駅前</td> <td>啓発物品配布・コンサート</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	平和・ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	1,940人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-	街頭啓発	JR宇治駅前	啓発物品配布・コンサート													
	事業名	実施場所	成果等																															
	平和・ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	1,940人参加																															
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																															
	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																															
	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-																															
	街頭啓発	JR宇治駅前	啓発物品配布・コンサート																															
	人権週間（12月4日～12月10日）の取組																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんフェスタ</td> <td>生涯学習センター周辺一帯</td> <td>1,000人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>中央公民館市民交流ロビー等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>アルプラザ宇治東店</td> <td>啓発物品配布</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	1,000人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	中央公民館市民交流ロビー等	-	街頭啓発	アルプラザ宇治東店	啓発物品配布													
事業名	実施場所	成果等																																
ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	1,000人参加																																
人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																																
人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																																
人権啓発パネル展示	中央公民館市民交流ロビー等	-																																
街頭啓発	アルプラザ宇治東店	啓発物品配布																																
その他の取組																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報紙「jinken」配布</td> <td>8月,1月</td> <td>-</td> <td>各号8万部</td> </tr> <tr> <td>楽しく学ぶ人権講座</td> <td>2月～3月</td> <td>生涯学習センター他</td> <td>365人参加</td> </tr> <tr> <td>人権の花運動</td> <td>10月～11月</td> <td>市内幼稚園4園</td> <td>球根280個配付</td> </tr> <tr> <td>人権啓発物品配布</td> <td>年間</td> <td>各種催し</td> <td>6,260個配布</td> </tr> <tr> <td>啓発教材（DVD等）貸出</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年26本貸出</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>5月</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	実施場所	成果等	情報紙「jinken」配布	8月,1月	-	各号8万部	楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	365人参加	人権の花運動	10月～11月	市内幼稚園4園	球根280個配付	人権啓発物品配布	年間	各種催し	6,260個配布	啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年26本貸出	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-	人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	-
事業名	実施時期	実施場所	成果等																															
情報紙「jinken」配布	8月,1月	-	各号8万部																															
楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	365人参加																															
人権の花運動	10月～11月	市内幼稚園4園	球根280個配付																															
人権啓発物品配布	年間	各種催し	6,260個配布																															
啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年26本貸出																															
市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-																															
人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	-																															
山城地区広域連携事業 山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましろ）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。		人権擁護委員の取組への活動支援（人権の花運動）																																
																																		
事業評価	各種の広報・啓発事業を実施したことにより、人権尊重理念を普及し、さまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握、分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践活動できるような取組を検討する必要がある。																																	

平成26年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	06 人権尊重社会の実現	
小分類	01 人権教育・啓発の推進	

事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業	所管課	人権啓発課
		決算額	15,336千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流促進に向けた、地域福祉の推進を図るための事業や各種人権啓発交流事業に取り組んでいる。		
成果・実績	<p>コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 10,197千円 地域福祉の推進を図るため、相談事業や学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。</p> <p>コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 5,139千円 「人権尊重理念の普及」及び「さまざまな人権問題の解決」に向け、交流講座の開催や人権啓発イベント開催事業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>映画上映会（うじ館）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>チャレンジクッキング（こはた館）</p> </div> </div>		
事業評価	各種人権啓発交流事業等に取り組んだことにより、市民交流及び地域活動の促進を図ることができた。利用者も徐々に増えているが、さらなる利用者増を含め、今後も効果的な取組を検討する必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課																				
		決算額	2,527千円																				
事業内容	男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、宇治市男女生き生きまちづくり条例（平成16年10月制定）及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業や学習機会の提供、市民活動支援を行う。																						
成果・実績	広報・啓発 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画情報誌「リズム」発行</td> <td>5・9・11・2月</td> <td>-</td> <td>各2,000部</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年24回掲載</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画週間UJIのつどい 講演会・相談会</td> <td>6月22日</td> <td>男女共同参画支援センター</td> <td>140人参加</td> </tr> <tr> <td>UJIあさぎりフェスティバル</td> <td>12月6・7日</td> <td>男女共同参画支援センター</td> <td>延べ1,000人参加</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	実施場所	成果	男女共同参画情報誌「リズム」発行	5・9・11・2月	-	各2,000部	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年24回掲載	男女共同参画週間UJIのつどい 講演会・相談会	6月22日	男女共同参画支援センター	140人参加	UJIあさぎりフェスティバル	12月6・7日	男女共同参画支援センター	延べ1,000人参加
	事業名	実施時期	実施場所	成果																			
	男女共同参画情報誌「リズム」発行	5・9・11・2月	-	各2,000部																			
	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年24回掲載																			
	男女共同参画週間UJIのつどい 講演会・相談会	6月22日	男女共同参画支援センター	140人参加																			
	UJIあさぎりフェスティバル	12月6・7日	男女共同参画支援センター	延べ1,000人参加																			
	学習機会の提供・市民活動支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種セミナー（全7セミナー）</td> <td rowspan="5">年間</td> <td rowspan="5">男女共同参画支援センター他</td> <td>延べ472人参加</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジ相談 （全24回のうち2回出前相談）</td> <td>延べ114人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画事業奨励事業（5件）</td> <td rowspan="3">延べ1,292人参加</td> </tr> <tr> <td>地域推進支援事業（1件）</td> </tr> <tr> <td>市民企画サポート事業（5件）</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	実施場所	成果	各種セミナー（全7セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ472人参加	ここからチャレンジ相談 （全24回のうち2回出前相談）	延べ114人参加	市民企画事業奨励事業（5件）	延べ1,292人参加	地域推進支援事業（1件）	市民企画サポート事業（5件）						
	事業名	実施時期	実施場所	成果																			
	各種セミナー（全7セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ472人参加																			
	ここからチャレンジ相談 （全24回のうち2回出前相談）			延べ114人参加																			
市民企画事業奨励事業（5件）	延べ1,292人参加																						
地域推進支援事業（1件）																							
市民企画サポート事業（5件）																							
DV対策 宇治市DV対策ネットワーク会議を年3回開催し、DV被害に関する情報共有を図るとともに、事例の研究等を通じて、DV防止及び被害者の保護・支援に係る関係機関・団体の相互連携に努めた。																							
DV啓発 子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」として、こども福祉課と共催で広報・啓発活動を実施した。																							
デートDV啓発しおりの作成 デートDV防止に向けた啓発のためしおりを作成し、成人式の資料に同封して新成人に配布した。 （作成部数3,000部）																							
																							
事業評価	宇治市男女生き生きまちづくり条例及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、各種事業を実施したことにより、男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会の推進に努めることができた。多様な市民等と連携・協働してより効果的な事業を検討する必要がある。																						

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画支援センター運営費	所管課	男女共同参画課																		
		決算額	11,086千円																		
事業内容	男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点施設として、市民利用の促進に努めるとともに、女性のための相談事業・男性のための相談事業及び女性問題アドバイザー派遣事業を行う。																				
成果・実績	センター年間利用者数 41,974人 女性問題アドバイザー派遣実績 5件 女性のための相談事業実績																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">相談区分</th> <th>件数 (うちDVに関するもの)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般相談</td> <td>来館相談</td> <td>144 (49)</td> </tr> <tr> <td>電話相談</td> <td>60 (18)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>204 (67)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">専門相談</td> <td>フェミニスト・カウンセリング</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>こころとからだの相談</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>法律相談</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>			相談区分		件数 (うちDVに関するもの)	一般相談	来館相談	144 (49)	電話相談	60 (18)	合計	204 (67)	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	92	こころとからだの相談	12	法律相談	36	合計
相談区分		件数 (うちDVに関するもの)																			
一般相談	来館相談	144 (49)																			
	電話相談	60 (18)																			
	合計	204 (67)																			
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	92																			
	こころとからだの相談	12																			
	法律相談	36																			
	合計	140																			
事業評価	これまでの「女性のための相談」事業に加え、平成26年度からは「男性のための相談」事業を開設し、男性にとっても生きやすい男女共同参画社会の実現に努めることができた。今後も利用状況及びニーズを把握、分析し、利用者にとってより効果的な取組を検討する必要がある。																				

事務事業名	JR宇治駅前市民交流プラザ運営費	所管課	男女共同参画課
		決算額	12,739千円
事業内容	男女共同参画支援センター、地域子育て支援基幹センター、ファミリー・サポート・センター、観光案内所、民間保育園及び宇治駅前交番の複合施設であるJR宇治駅前市民交流プラザ(ゆめりあうじ)の施設管理を行う。		
成果・実績	男女共同参画、子育て支援、観光など市民交流のための複合施設として多くの利用を図るため、機械設備総合管理業務、清掃業務、駐車場料金精算システム保守業務を委託し施設の適正管理に努めた。		
事業評価	施設を適切に管理・運営することにより、男女問わず幅広い年代の市民及び観光客の利用に供することができた。市民交流の場として活用されるように、施設の周知を図り、今後も適正な管理・運営に努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	01 地球環境対策の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	地球温暖化対策関連事業	所管課	環境企画課
		決算額	7,667千円
事業内容	本市域から発生する温室効果ガスを平成35年度までに平成2年度比で25%以上削減するため、「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」等に基づき、市民・事業者に対して効果的な取組の普及啓発、温室効果ガス排出量削減運動の推進などを実施するとともに、本市自ら温室効果ガス排出量削減対策を推進する。		
成果・実績	<p>エコファミリー推進事業費 94千円 家庭の温室効果ガス排出量削減を目的に、通年で使える「ecoチェックシート」を作成し、これまでのエコファミリー事業参加者に配布した。また、市立小学校4年生の児童に対して啓発シールを配布し家庭での省エネを啓発した。年間のCO₂削減量は94.66 t -CO₂となる。</p> <p>地球温暖化対策推進事業費 380千円 宇治環境フェスタを開催し、地球温暖化対策等の普及啓発を図った。来場者は約700人であった。</p> <p>公共施設温室効果ガス削減対策事業費 7,193千円 「宇治市地球温暖化対策実行計画（第4期計画）」に基づき、夏冬の節電期間に合わせ公共施設の蛍光灯のLED化を実施した。夏冬あわせて5施設で476台をLED化し、年間のCO₂削減量は21.5 t -CO₂となる。</p>		
事業評価	計画に基づき各種市民・事業者に対する地球温暖化防止活動の普及啓発及び市自らの温室効果ガス排出量削減対策の推進などに取り組んだことにより、温室効果ガスの排出抑制を図ることができた。より効果の発揮される取り組みの検討、国及び京都府の動向に注視し、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	太陽光発電システム設置事業費補助金	所管課	環境企画課								
		決算額	10,601千円								
事業内容	再生可能エネルギーを導入して民生家庭部門から排出される温室効果ガスの削減を図るため、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を補助する。 なお、本市の制度は、国の補助制度を受けた人への上乗せ補助として位置付けている。										
成果・実績	補助対象となる太陽光発電システム設置工事に対して、費用の一部を補助した。										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">補助件数</th> <th style="width: 15%;">補助単価 (千円/kW)</th> <th style="width: 15%;">交付金額 (千円)</th> <th style="width: 15%;">年間CO₂削減量 (t -CO₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>165</td> <td>20又は15</td> <td>10,601</td> <td>223</td> </tr> </tbody> </table>			補助件数	補助単価 (千円/kW)	交付金額 (千円)	年間CO ₂ 削減量 (t -CO ₂)	165	20又は15	10,601	223
補助件数	補助単価 (千円/kW)	交付金額 (千円)	年間CO ₂ 削減量 (t -CO ₂)								
165	20又は15	10,601	223								
事業評価	国の制度に基づき、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部補助を実施したことにより、民生家庭部門から排出される温室効果ガスの削減を図ることができた。										

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議運営費	所管課	環境企画課															
		決算額	222千円															
事業内容	「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」を進めるため、市民・事業者・行政が協働して地球温暖化防止活動の全市的な普及啓発を行う「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）」を運営する。																	
成果・実績	<p>環境学習推進グループ、エコライフ推進グループ、みどりのまちづくり推進グループ、森林保全グループ、広報グループの5グループで、市民に対し身近で楽しみながら実践できる地球温暖化防止活動の普及啓発を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">エコツアー</td> <td style="width: 20%;">1回実施</td> <td style="width: 50%;">宇治環境フェスタ出展</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテン講習会</td> <td>7回講師派遣</td> <td>食べきりフェスタ出展</td> </tr> <tr> <td>エコットクッキング教室</td> <td>2回開催</td> <td>消費者まつり出展</td> </tr> <tr> <td>家庭の省エネ相談所</td> <td>15回開設</td> <td>環境展出展</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>どんぐりプロジェクト実施 他</td> </tr> </table> <p>イベント参加者 総計2,000人以上 広報紙 年4回発行 総計3,000部</p>			エコツアー	1回実施	宇治環境フェスタ出展	緑のカーテン講習会	7回講師派遣	食べきりフェスタ出展	エコットクッキング教室	2回開催	消費者まつり出展	家庭の省エネ相談所	15回開設	環境展出展			どんぐりプロジェクト実施 他
エコツアー	1回実施	宇治環境フェスタ出展																
緑のカーテン講習会	7回講師派遣	食べきりフェスタ出展																
エコットクッキング教室	2回開催	消費者まつり出展																
家庭の省エネ相談所	15回開設	環境展出展																
		どんぐりプロジェクト実施 他																
事業評価	「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（ecoット宇治）」を市民・事業者・行政が協働して運営することにより、地球温暖化対策を推進することができた。今後は、事業の効果・効率性の状況把握、分析に努め、地球温暖化対策の市民への普及啓発を強化するとともに、事業者に参加を働きかける必要がある。																	


事務事業名	緑のカーテン推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	1,194千円
事業内容	地球温暖化対策としての緑のカーテンを普及させるため、市自ら緑のカーテンを実践することで市民に啓発するとともに、市民・事業者向けに講習会やコンテストなどを実施する。		
成果・実績	<p>市庁舎議会棟南側等において、緑のカーテンを設置し、普及啓発及び庁舎の温室効果ガス排出量の削減を図った。また、小学校（4校）、幼稚園（4園）、保育所（4所）、中学校（5校）、その他公共施設（15施設）及び3つの商店街が、緑のカーテンに取り組んだ。緑のカーテンを設置した施設においては、冷房の使用頻度が減少するとともに、市民への啓発に寄与した。また、緑のカーテン講習会を7回実施し、192名の市民が参加した。コンテストには26件の応募があり、市長賞等4件を表彰した。</p>		
事業評価	緑のカーテンの設置及び普及啓発活動を実施したことにより、庁舎の温室効果ガス排出量の削減等、地球温暖化対策を推進することができた。地球環境対策に取り組む気運を醸成するため、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	02 環境保全対策の強化

所管部局
市民環境部


事務事業名	IS014001推進費	所管課	環境企画課
		決算額	567千円
事業内容	<p>「宇治市第2次環境保全計画」の望ましい環境像である『宇治の豊かな「歴史・文化」と「自然」を守り育て、将来にわたって安心して暮らせる「ふるさと宇治」』の実現のため、IS014001環境マネジメントシステムを運用し、環境改善を継続的に実施する。</p>		
成果・実績	<p>本市のIS014001の取組は、これまでに蓄積した環境マネジメントシステム運用の経験とノウハウを活かし、平成25年4月に「自己適合宣言」へと移行した。 平成27年2月には外部審査を受け、本市の環境マネジメントシステムがIS014001の規格に適合しているものと判断されたことから、本市の環境負荷の低減に向けた取組は適正に維持・管理され着実に実施されているといえる。</p>		
事業評価	<p>自己適合宣言後の市独自の取組として、IS014001の規格に適合した運用を実施したことにより、「宇治市第2次環境保全計画」に定める望ましい環境像の実現に向けた取組とすることができた。ISO規格の適合を維持し継続的な改善に向けた市独自の運用を図る中で、今後も引き続き実施する。</p>		




事務事業名	環境保全関連事業	所管課	環境企画課						
		決算額	8,368千円						
事業内容	<p>市内における生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。</p>								
成果・実績	<p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも概ね良好であった。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">環境監視費</td> <td style="text-align: right;">2,032千円</td> </tr> <tr> <td>発生源監視費</td> <td style="text-align: right;">936千円</td> </tr> <tr> <td>自動車排出ガス監視測定局運営費</td> <td style="text-align: right;">5,400千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			環境監視費	2,032千円	発生源監視費	936千円	自動車排出ガス監視測定局運営費	5,400千円
環境監視費	2,032千円								
発生源監視費	936千円								
自動車排出ガス監視測定局運営費	5,400千円								
事業評価	<p>市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施することにより、生活環境保全に努めることができた。安定的な環境及び発生源監視測定を今後も引き続き実施する。</p>								

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部


事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課
		決算額	2,152千円
事業内容	<p>狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付など事務を行う。また、府保健所との連携のもと、犬・猫等動物の適正飼養についての啓発活動を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市内公共施設を中心に計24カ所で集合注射接種会場を設け、907頭に対し狂犬病予防注射を実施した。また、犬の登録業務では、新たに628頭の登録を行い、総登録数は10,793頭となった。さらには、犬の鳴き声や糞尿などに対する苦情対応や適正な動物の飼養に関する啓発を実施した。</p>		
			
事業評価	<p>狂犬病予防注射の集合注射及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与するとともに、適正な動物の飼養に関する意識向上を図ることができた。公衆衛生のさらなる向上を図るため、今後も引き続き実施する。</p>		

事務事業名	環境衛生対策関連事業	所管課	環境企画課																
		決算額	3,024千円																
事業内容	<p>良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。</p>																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">そ族及び衛生害虫対策費</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,561千円</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td>野蜂駆除</td> <td style="text-align: right;">467件</td> </tr> <tr> <td>トビケラ駆除薬剤散布</td> <td style="text-align: right;">年2回（宇治川兩岸）</td> </tr> <tr> <td>あき地雑草等除去費</td> <td style="text-align: right;">463千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指導件数</td> <td style="text-align: right;">85件（31,156㎡）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理件数</td> <td style="text-align: right;">76件（29,639㎡）</td> <td></td> </tr> </table>			そ族及び衛生害虫対策費	2,561千円		野蜂駆除	467件	トビケラ駆除薬剤散布	年2回（宇治川兩岸）	あき地雑草等除去費	463千円		指導件数	85件（31,156㎡）		処理件数	76件（29,639㎡）	
そ族及び衛生害虫対策費	2,561千円																		
野蜂駆除	467件																		
トビケラ駆除薬剤散布	年2回（宇治川兩岸）																		
あき地雑草等除去費	463千円																		
指導件数	85件（31,156㎡）																		
処理件数	76件（29,639㎡）																		
事業評価	<p>衛生害虫対策、あき地の適正管理に関する指導などを実施したことにより、生活環境の保全を図ることができた。</p>																		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	斎場施設運営費	所管課	環境企画課							
		決算額	78,761千円							
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬や葬祭などの利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。									
成果・実績	(一財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、適切かつ円滑な斎場事業を実施した。									
	斎場利用実績 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>火葬場</td> <td>3,224 件</td> </tr> <tr> <td>待合室</td> <td>759 件</td> </tr> <tr> <td>安置室</td> <td>139 件</td> </tr> <tr> <td>葬祭場</td> <td>120 件</td> </tr> </tbody> </table>	火葬場	3,224 件	待合室	759 件	安置室	139 件	葬祭場	120 件	
火葬場	3,224 件									
待合室	759 件									
安置室	139 件									
葬祭場	120 件									
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。市民の宗教的感情に対する状況把握、分析に努め、今後も適切な施設管理に努める必要がある。									

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課							
		決算額	28,262千円							
事業内容	市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、墓地使用者の利便だけではなく墓地公園を利用する全ての人に癒えるくつろぎの場を提供する。 また、公営の墓地として公平性・永続性を踏まえた墓地運営を行い、使用者が永代にわたって安心して墓参できる墓園環境を保持する。									
成果・実績	(一財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、適切かつ円滑な墓地公園事業を実施した。また、墓所使用者を年2回募集し、新たに使用を許可した。これにより総使用区画数は、2,958区画となった。									
	新規使用許可数 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>2m²</td> <td>48 件</td> </tr> <tr> <td>3m²</td> <td>23 件</td> </tr> <tr> <td>4m²</td> <td>7 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>78 件</td> </tr> </tbody> </table>	2m ²	48 件	3m ²	23 件	4m ²	7 件	合計	78 件	
2m ²	48 件									
3m ²	23 件									
4m ²	7 件									
合計	78 件									
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。市民のニーズに対する状況を把握、分析し、墓所のあり方について検討する中で、今後も適切な施設管理に努める必要がある。									

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	浄化槽設置整備事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	2,140千円
事業内容	生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置費用の一部を助成することにより、浄化槽の設置を促進する。		
成果・実績	下水道事業計画区域外等の地域において補助対象の住宅に、浄化槽設置費用の一部を補助した。		
	人槽	設置数	補助単価 (千円)
	5	1	332
	7	3	414
	10	1	548
交付金額 (千円)	332		
	1,242		
	548		
事業評価	浄化槽設置費用の一部を補助したことにより、浄化槽設置を促進し、河川・水路等の水質改善に寄与した。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	324,762千円

事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を民間委託を活用しながら実施する。
------	--

成果・実績	可燃物等収集運搬委託費	104,065千円																																																																				
	不燃物収集運搬委託費	148,223千円																																																																				
	びん・ペットボトル・発泡トレイ類収集運搬委託費	67,589千円																																																																				
	溝土収集運搬委託費	4,885千円																																																																				
	家庭系ごみ等収集実績																																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">各年度の収集量 (t)</th> <th rowspan="2">収集方法等</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃ごみ</td> <td>25,957</td> <td>24,920</td> <td>24,720</td> <td>直営 (24,25年度 4台委託 26年度 5台委託)</td> </tr> <tr> <td>不燃ごみ</td> <td>9,412</td> <td>9,264</td> <td>8,534</td> <td>委託(一部地域除く)</td> </tr> <tr> <td>プラマーク (発泡トレイ類含む)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>455</td> <td>直営 (27年1月開始)</td> </tr> <tr> <td>缶</td> <td>368</td> <td>345</td> <td>314</td> <td>直営 (24,25年度 4台委託 26年度 5台委託)</td> </tr> <tr> <td>びん</td> <td>1,139</td> <td>1,131</td> <td>1,114</td> <td>委託(一部地域除く)</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>434</td> <td>502</td> <td>467</td> <td>委託(一部地域除く)</td> </tr> <tr> <td>発泡トレイ類</td> <td>87</td> <td>84</td> <td>59</td> <td>委託(一部地域除く) (26年12月まで)</td> </tr> <tr> <td>紙パック</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>25</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td>溝土</td> <td>76</td> <td>55</td> <td>50</td> <td>委託</td> </tr> <tr> <td>家電リサイクル法 対象家電製品</td> <td>54台</td> <td>66台</td> <td>80台</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td>死獣</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>直営 (24年度より一部委託)</td> </tr> <tr> <td>小型家電</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>直営 (26年1月開始)</td> </tr> </tbody> </table>		各年度の収集量 (t)			収集方法等	平成24年度	平成25年度	平成26年度	可燃ごみ	25,957	24,920	24,720	直営 (24,25年度 4台委託 26年度 5台委託)	不燃ごみ	9,412	9,264	8,534	委託(一部地域除く)	プラマーク (発泡トレイ類含む)	-	-	455	直営 (27年1月開始)	缶	368	345	314	直営 (24,25年度 4台委託 26年度 5台委託)	びん	1,139	1,131	1,114	委託(一部地域除く)	ペットボトル	434	502	467	委託(一部地域除く)	発泡トレイ類	87	84	59	委託(一部地域除く) (26年12月まで)	紙パック	26	28	25	直営	溝土	76	55	50	委託	家電リサイクル法 対象家電製品	54台	66台	80台	直営	死獣	6	7	6	直営 (24年度より一部委託)	小型家電	-	3	11	直営 (26年1月開始)
		各年度の収集量 (t)			収集方法等																																																																	
		平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																																		
	可燃ごみ	25,957	24,920	24,720	直営 (24,25年度 4台委託 26年度 5台委託)																																																																	
	不燃ごみ	9,412	9,264	8,534	委託(一部地域除く)																																																																	
	プラマーク (発泡トレイ類含む)	-	-	455	直営 (27年1月開始)																																																																	
	缶	368	345	314	直営 (24,25年度 4台委託 26年度 5台委託)																																																																	
	びん	1,139	1,131	1,114	委託(一部地域除く)																																																																	
	ペットボトル	434	502	467	委託(一部地域除く)																																																																	
	発泡トレイ類	87	84	59	委託(一部地域除く) (26年12月まで)																																																																	
紙パック	26	28	25	直営																																																																		
溝土	76	55	50	委託																																																																		
家電リサイクル法 対象家電製品	54台	66台	80台	直営																																																																		
死獣	6	7	6	直営 (24年度より一部委託)																																																																		
小型家電	-	3	11	直営 (26年1月開始)																																																																		
ごみ出しが困難な高齢者世帯などに対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施 ふれあい収集 総世帯数403世帯(平成27年3月31日現在)																																																																						

事業評価	一般家庭から排出される廃棄物について、民間委託を活用しながら適切に収集することにより、快適な市民生活を支えることができた。
------	---

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	ごみ減量推進課																																				
		決算額	508千円																																				
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを、「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に定められた再資源化率が達成可能な再資源化施設に運搬し、同法に準じた適切な処理を図る。																																						
成果・実績	廃家電運搬処理委託費 504千円 不法投棄分処理台数 (台) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">24</th> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">品目</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">テレビ</td> <td style="text-align: center;">173</td> <td style="text-align: center;">91</td> <td style="text-align: center;">86</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">冷蔵庫(冷凍庫含む)</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">洗濯機・衣類乾燥機</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エアコン</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">パソコン</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">その他</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">240</td> <td style="text-align: center;">139</td> <td style="text-align: center;">138</td> </tr> </tbody> </table>			年度	24	25	26	品目				テレビ	173	91	86	冷蔵庫(冷凍庫含む)	37	35	39	洗濯機・衣類乾燥機	18	8	7	エアコン	9	3	2	パソコン	3	2	3	その他	0	0	1	合計	240	139	138
年度	24	25	26																																				
品目																																							
テレビ	173	91	86																																				
冷蔵庫(冷凍庫含む)	37	35	39																																				
洗濯機・衣類乾燥機	18	8	7																																				
エアコン	9	3	2																																				
パソコン	3	2	3																																				
その他	0	0	1																																				
合計	240	139	138																																				
事業評価	不法投棄された廃家電及びパソコンについて、「特定家庭用機器再商品化法施行令」等に基づき適切に処理することができた。																																						

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみの減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	不法投棄防止対策事業	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	1,929千円
事業内容	不法投棄の抑止及び不法投棄されたごみ等の回収のため、特に不法投棄が多い市内山間地について、地域住民にパトロールを委託する。		
成果・実績	不法投棄監視業務委託費 1,929千円 延べ551人、298日		
事業評価	不法投棄されたごみ等を早期発見し回収することにより、不法投棄の連鎖的な発生を抑止することができた。		

平成 2 6 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみの減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	古紙回収事業費	所管課	ごみ減量推進課																
		決算額	44,830千円																
事業内容	本市と協定を締結した古紙類の集団回収に取り組む町内会・自治会等に対し、民間再生事業者に引き渡した古紙類の量に応じて報償金を交付する。																		
成果・実績	<p>引き渡した古紙類の量に応じて、1kgあたり5円の報償金を交付した。</p> <p>古紙回収報償金 44,572千円 各年度の古紙類回収量 (t)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">種別 \ 年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団回収</td> <td>9,695</td> <td>9,227</td> <td>8,914</td> </tr> <tr> <td>直営回収</td> <td>216</td> <td>250</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>9,911</td> <td>9,477</td> <td>9,153</td> </tr> </tbody> </table>			種別 \ 年度	24	25	26	集団回収	9,695	9,227	8,914	直営回収	216	250	239	合 計	9,911	9,477	9,153
種別 \ 年度	24	25	26																
集団回収	9,695	9,227	8,914																
直営回収	216	250	239																
合 計	9,911	9,477	9,153																
事業評価	当該事業により、市民のリサイクルに対する意識を高め、ごみの減量化と資源のリサイクルを促進することができた。																		

事務事業名	ごみ減量化促進対策費	所管課	ごみ減量推進課																				
		決算額	425千円																				
事業内容	可燃ごみの減量化に効果がある生ごみ堆肥化容器及び機器を購入した世帯に対して、購入補助金を交付する。																						
成果・実績	<p>生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 425千円</p> <p>生ごみ堆肥化容器等購入費補助実績 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">品目 \ 年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気式機器補助基数</td> <td>21</td> <td>9</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>コンポスト補助基数</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>ぼかし容器補助基数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>37</td> <td>20</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>			品目 \ 年度	24	25	26	電気式機器補助基数	21	9	21	コンポスト補助基数	15	10	12	ぼかし容器補助基数	1	1	1	合 計	37	20	34
品目 \ 年度	24	25	26																				
電気式機器補助基数	21	9	21																				
コンポスト補助基数	15	10	12																				
ぼかし容器補助基数	1	1	1																				
合 計	37	20	34																				
事業評価	補助金を適正に交付し、市民のごみの減量化に対する意識の向上を図ることができた。ごみの減量化に一定の効果があるため、市民ニーズの把握と現状の分析に努めながら、今後も引き続き実施する。																						

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみの減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	食品ロス削減啓発事業費	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	487千円
事業内容	ごみの減量化を目指し、地方消費者行政活性化基金を活用して食品ロス削減啓発イベントを開催する。		
成果・実績	事業名：「食べきりフェスタ2015 ～食品ロスから学ぶごみ減量～」 日 時：平成27年3月1日（日） 10時00分～15時30分 会 場：生涯学習センター・産業会館・施設周辺駐車場 参加者：約700人		
事業評価	食品ロスに係る啓発イベントを開催したことにより、市民のごみの減量化に対する意識の向上を図ることができた。		

事務事業名	ごみ分別辞典発行費	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	4,919千円
事業内容	約1,300品目のごみの処分方法について掲載したごみ分別辞典を作成し全戸配布する。		
成果・実績	ごみ分別辞典作成部数 100,000部		
事業評価	ごみ分別辞典は、市民からごみの分別がしやすくなったと好評であり、市民のごみの分別に対する意識の向上を図ることができた。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	05 ごみの減量化の推進	

事務事業名	プラマーク分別収集導入事業費	所管課	ごみ減量推進課																					
		決算額	4,069千円																					
事業内容	プラマーク分別収集の導入に伴い広報、啓発を行う。																							
成果・実績	<p>プラマーク分別収集導入に伴い、希望する町内会等に説明会を延べ139回行った。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>広報用シール</td> <td>80,000枚</td> <td>297,216円</td> </tr> <tr> <td>広報用ポスター</td> <td>800枚</td> <td>49,680円</td> </tr> <tr> <td>啓発用シール</td> <td>40,000枚</td> <td>425,520円</td> </tr> <tr> <td>集積場所看板</td> <td>2,000枚</td> <td>1,782,000円</td> </tr> <tr> <td>集積場所看板貼付シール</td> <td>29,700枚</td> <td>472,651円</td> </tr> <tr> <td>集積場所看板貼付ちらし</td> <td>7,000枚</td> <td>90,720円</td> </tr> <tr> <td>市政だより（特集号）発行</td> <td>95,000部</td> <td>648,103円</td> </tr> </tbody> </table>			広報用シール	80,000枚	297,216円	広報用ポスター	800枚	49,680円	啓発用シール	40,000枚	425,520円	集積場所看板	2,000枚	1,782,000円	集積場所看板貼付シール	29,700枚	472,651円	集積場所看板貼付ちらし	7,000枚	90,720円	市政だより（特集号）発行	95,000部	648,103円
広報用シール	80,000枚	297,216円																						
広報用ポスター	800枚	49,680円																						
啓発用シール	40,000枚	425,520円																						
集積場所看板	2,000枚	1,782,000円																						
集積場所看板貼付シール	29,700枚	472,651円																						
集積場所看板貼付ちらし	7,000枚	90,720円																						
市政だより（特集号）発行	95,000部	648,103円																						
事業評価	市政だより（特集号）の発行、ポスターの掲示及び説明会の開催など、広報、啓発に努めたことにより、スムーズにプラマーク分別収集を導入できた。																							

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課						
		決算額	380千円						
事業内容	「宇治市地域福祉計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため実施する各事業の進行管理を行う。								
成果・実績	<p>平成22年度に策定した「第2期宇治市地域福祉計画」に掲げた事業の進行管理を行い、地域福祉の推進を図った。また、地域福祉の担い手である住民の参加・参画が得られる取組として、地域づくり事業「いきいき福祉ふれあいのつどい」（地域懇談会）を開催した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">いきいき福祉ふれあいのつどい</td> <td style="width: 50%;">1小学校区 1回</td> </tr> <tr> <td>地域福祉推進委員会開催数</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>出前講座開催数</td> <td>1回</td> </tr> </table>			いきいき福祉ふれあいのつどい	1小学校区 1回	地域福祉推進委員会開催数	2回	出前講座開催数	1回
いきいき福祉ふれあいのつどい	1小学校区 1回								
地域福祉推進委員会開催数	2回								
出前講座開催数	1回								
事業評価	地域福祉推進委員会での議論を踏まえて、「第2期宇治市地域福祉計画」に定める各事業の進行管理、評価を実施したことにより、地域福祉の推進に努めることができた。社会福祉協議会が策定する「宇治市地域福祉活動計画」との連携を図り、住民が主体となる地域福祉の推進を今後も引き続き実施する。								

事務事業名	宇治市社会福祉協議会補助金	所管課	地域福祉課														
		決算額	61,954千円														
事業内容	地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政的援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。																
成果・実績	<p>（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金</td> <td style="width: 50%;">49,430千円</td> </tr> <tr> <td>福祉活動専門員設置事業補助金</td> <td>2,535千円</td> </tr> <tr> <td>福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金</td> <td>980千円</td> </tr> <tr> <td>ボランティアコーディネーター設置事業補助金</td> <td>1,959千円</td> </tr> <tr> <td>ふれあい福祉センター事業補助金</td> <td>3,600千円</td> </tr> <tr> <td>学区福祉委員会活動事業補助金</td> <td>3,300千円</td> </tr> <tr> <td>災害ボランティアセンター体制整備事業補助金</td> <td>150千円</td> </tr> </table>			宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金	49,430千円	福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円	福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	980千円	ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円	ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円	学区福祉委員会活動事業補助金	3,300千円	災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円
宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金	49,430千円																
福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円																
福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	980千円																
ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円																
ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円																
学区福祉委員会活動事業補助金	3,300千円																
災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円																
事業評価	民間組織の自主性と法に基づく公共性を持つ社会福祉協議会の活動へ補助を実施したことにより、地域住民が主体となった地域福祉の推進を図ることができた。少子高齢化の進行に伴い、福祉ニーズが複雑・多様化する中で、今後より一層、福祉施策を実施する際の連携・協働のあり方を検討する必要がある。																

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
福祉こども部

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課
		決算額	37,766千円
事業内容	民生委員法・児童福祉法に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的社会福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。		
成果・実績	民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。		
	民生児童委員活動費補助金	35,735千円	
	民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	
	民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	1,671千円	
事業評価	民生児童委員の活動に必要な経費を補助することにより、地域福祉の推進を図ることができた。少子高齢化の進行等の社会状況の変化に伴い、その活動は複雑・多様化しており、住民からの相談等に対処するための研修活動及び委員相互の連携強化に努める必要がある。京都府制度とあわせて助成を今後も引き続き実施する。		

事務事業名	総合福祉会館管理運営費	所管課	地域福祉課
		決算額	28,262千円
事業内容	(福)宇治市社会福祉協議会を指定管理者(平成22年度から26年度)として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福祉会館(昭和58年1月開館)を管理・運営する。		
成果・実績	宇治市総合福祉会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕を行った。		
	総合福祉会館指定管理料	26,901千円	
	総合福祉会館修繕費	1,360千円	
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。今後も適切な施設管理に努めるとともに、本市の福祉事業推進の拠点施設として、施設の老朽化及び利用者ニーズの多様化による設備改修の要望もあることから、引き続き指定管理者と連携し検討する必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課																																		
		決算額	4,840千円																																		
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、冬期）、貸付限度額10万円（夏期・冬期の合計）、償還期間最長20カ月返済で貸し付ける。（（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託）																																				
成果・実績	<p>平成26年度は件数、金額ともに平成25年度と比べ若干増加となり、厳しい経済状況の中、本事業により生活安定を図った。</p> <p style="text-align: center;">くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: right;">1,700</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: right;">1,680</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: right;">1,900</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td style="text-align: right;">3,880</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: right;">2,300</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: right;">2,250</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: right;">5,580</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: right;">3,980</td> <td style="text-align: center;">42</td> <td style="text-align: right;">4,150</td> </tr> </tbody> </table>				平成24年度		平成25年度		平成26年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	17	1,700	17	1,680	19	1,900	冬期	39	3,880	23	2,300	23	2,250	合計	56	5,580	40	3,980	42	4,150
	平成24年度		平成25年度		平成26年度																																
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																															
夏期	17	1,700	17	1,680	19	1,900																															
冬期	39	3,880	23	2,300	23	2,250																															
合計	56	5,580	40	3,980	42	4,150																															
事業評価	資金貸付により、低所得者等の生活意欲の向上と自立助成に一定の効果を上げることができた。償還率は前年度と比べ向上しているが、今後も業務を委託している（福）宇治市社会福祉協議会と引き続き連携しさらなる償還率の向上に努め、あわせて情勢に応じた制度の在り方について検討する必要がある。																																				

事務事業名	総合福祉会館整備事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	14,580千円
事業内容	地域福祉活動の拠点施設である宇治市総合福祉会館の施設整備事業に係る経費。		
成果・実績	<p>総合福祉会館の維持・管理のため、必要な改修を行った。</p> <p style="text-align: center;">総合福祉会館エレベーター改修工事 14,580千円</p>		
事業評価	エレベーターの改修工事等必要な改修、修繕を実施したことにより、利用者の利便の向上を図ることができた。今後も、施設の利用状況に応じて、利用者の利便の向上のために必要な設備改修を検討する必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	臨時福祉給付金給付事業費	所管課	地域福祉課				
		決算額	444,377千円				
事業内容	平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、低所得者の負担を緩和するため、臨時的な措置として「臨時福祉給付金」を支給する。						
成果・実績	<p>平成26年1月1日時点で本市に住民登録がある人で、平成26年度の市民税（均等割）が非課税の人（課税者の扶養親族や生活保護受給者などは除く）に対し、1人につき1万円を支給した（基礎年金や児童扶養手当などの受給者は5千円の加算措置あり）。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">支給人数（うち加算人数）</td> <td style="text-align: right;">30,950人（15,325人）</td> </tr> <tr> <td>支給金額（うち加算金額）</td> <td style="text-align: right;">386,125千円（76,625千円）</td> </tr> </table>			支給人数（うち加算人数）	30,950人（15,325人）	支給金額（うち加算金額）	386,125千円（76,625千円）
支給人数（うち加算人数）	30,950人（15,325人）						
支給金額（うち加算金額）	386,125千円（76,625千円）						
事業評価	国制度に基づき、「臨時福祉給付金」を支給し、低所得者の負担を緩和することができた。						

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	06 低所得者福祉の充実	
小分類	01 低所得者福祉の充実	

事務事業名	住宅支援給付事業費	所管課	生活支援課								
		決算額	6,279千円								
事業内容	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者または、喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けて支援する。（（福）宇治市社会福祉協議会へ一部事務委託）										
成果・実績	支給状況等（平成26年4月1日～平成27年3月31日） <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">支給対象者数</td> <td style="text-align: right;">16人</td> </tr> <tr> <td>支給額合計</td> <td style="text-align: right;">2,877千円</td> </tr> <tr> <td>支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">13人</td> </tr> <tr> <td>不支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">0人</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">支給申請と支給決定が年度を跨るケースがあるため、申請者数と決定者数及び不支給者数の合計は必ずしも一致しない。</p> <p>就労状況（平成26年4月1日～平成27年3月31日） 平成26年度に支給した16人中10人（62.5%）が常用就職できた。</p>			支給対象者数	16人	支給額合計	2,877千円	支給決定者数	13人	不支給決定者数	0人
支給対象者数	16人										
支給額合計	2,877千円										
支給決定者数	13人										
不支給決定者数	0人										
事業評価	住宅手当を支給することにより、失業者に対するセーフティネットとしての役割を果たすことができた。雇用対策としての取組でもあり、今後もハローワーク及び京都府との連携に努める必要がある。										

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課																							
		決算額	82,693千円																							
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容は今までの生活保護費に代わるものである。																									
成果・実績	中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給や日本語教室の開催などの支援を行った。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">中国残留邦人等支援給付費</td> <td style="text-align: right;">78,010千円</td> <td style="width: 40%;">（対象：19世帯、28人）</td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人等支援事務費</td> <td style="text-align: right;">2,255千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人生活支援日本語教室委託料</td> <td style="text-align: right;">2,428千円</td> <td></td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">支援給付費決算額 （千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>支援の種類</th> <th>生活</th> <th>住宅</th> <th>介護</th> <th>医療</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扶助費</td> <td style="text-align: right;">19,291</td> <td style="text-align: right;">3,712</td> <td style="text-align: right;">521</td> <td style="text-align: right;">53,713</td> <td style="text-align: right;">773</td> <td style="text-align: right;">78,010</td> </tr> </tbody> </table>			中国残留邦人等支援給付費	78,010千円	（対象：19世帯、28人）	中国残留邦人等支援事務費	2,255千円		中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円		支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計	扶助費	19,291	3,712	521	53,713	773	78,010
中国残留邦人等支援給付費	78,010千円	（対象：19世帯、28人）																								
中国残留邦人等支援事務費	2,255千円																									
中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円																									
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計																				
扶助費	19,291	3,712	521	53,713	773	78,010																				
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象者の生活支援を図ることができた。																									

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課																						
		決算額	4,504,816千円																						
事業内容	<p>日本国憲法第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。</p>																								
成果・実績	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭扶助を実施した。被保護世帯は平成26年度中の月平均で1,960世帯、被保護人員は、2,981人であった。</p> <p>平成26年度生活保護扶助費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">扶助の種類</th> <th style="width: 70%;">扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活</td><td style="text-align: right;">1,617,794</td></tr> <tr><td>住宅</td><td style="text-align: right;">731,430</td></tr> <tr><td>教育</td><td style="text-align: right;">38,346</td></tr> <tr><td>介護</td><td style="text-align: right;">75,223</td></tr> <tr><td>医療</td><td style="text-align: right;">1,982,439</td></tr> <tr><td>出産</td><td style="text-align: right;">246</td></tr> <tr><td>生業</td><td style="text-align: right;">30,262</td></tr> <tr><td>葬祭</td><td style="text-align: right;">8,359</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">20,717</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">4,504,816</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,617,794	住宅	731,430	教育	38,346	介護	75,223	医療	1,982,439	出産	246	生業	30,262	葬祭	8,359	その他	20,717	合計	4,504,816
扶助の種類	扶助費																								
生活	1,617,794																								
住宅	731,430																								
教育	38,346																								
介護	75,223																								
医療	1,982,439																								
出産	246																								
生業	30,262																								
葬祭	8,359																								
その他	20,717																								
合計	4,504,816																								
事業評価	<p>国制度に基づき適正に執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図ることができた。今後も受給者の経済的自立を目指すとともに、濫給防止、漏給防止に配慮しながら法令遵守を徹底し、生活保護運営に努める必要がある。</p>																								

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課				
		決算額	2,106千円				
事業内容	<p>平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。</p>						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">貸付件数</td> <td style="width: 70%; text-align: right;">161件</td> </tr> <tr> <td>貸付額合計</td> <td style="text-align: right;">2,106千円</td> </tr> </table>			貸付件数	161件	貸付額合計	2,106千円
貸付件数	161件						
貸付額合計	2,106千円						
事業評価	<p>適正に貸付を行うことにより、対象者の生活安定を図ることができた。新規申請者の増減等を考慮し、的確な状況把握に努めながら、今後も引き続き実施する。</p>						

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者福祉基本計画施策推進協議会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	479千円
事業内容	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を年2回程度開催し、障害者福祉基本計画に沿った障害者に関わる事業を報告し、その意見を聞く。		
成果・実績	「第4期宇治市障害福祉計画」の策定に係る報告を行い、その意見を聴くことができた。		
事業評価	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を開催することにより、協議会委員の意見を施策に反映することができた。今後も、制度改正に的確に対応していくため、国・京都府の動向を注視しながら、協議会の運営に努める必要がある。		

事務事業名	障害者介護給付費等支給認定審査会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,982千円
事業内容	障害者の介護給付費等の支給申請に対し、障害者の障害支援区分に関する審査及び判定を行う。		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づき、障害者の障害支援区分を審査判定する審査会を開催し、審査判定を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">審査会開催数 22回</p> <p style="margin-left: 40px;">審査判定件数 364件（宇治田原町分19件を含む）</p>		
事業評価	障害者総合支援法に基づき適正に運営した。今後も、国・京都府の動向を注視しながら制度改正への的確な対応に努める必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	240,293千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去、または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去、または軽減し日常生活や職業生活に適応するように改善するため、医療費の一部を848人に支給した。（入院・通院重複者は除く） 自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法、ストマ周辺の感染防止等のための治療、及びぼうこう・直腸の機能障害の原因疾患の治療を受けている該当障害3級の手帳所持者42人に対し、医療費の一部を支給した。		
事業評価	国・京都府制度に基づき適正に医療費を支給することにより、身体の機能障害を除去、または軽減させる治療を促進することができた。京都府及び医療機関と連携し、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課						
		決算額	122,324千円						
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。								
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し手当を支給し、経済的負担の軽減を図った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">特別障害者手当延べ支給人数</td> <td style="text-align: right;">3,508人</td> </tr> <tr> <td>障害児福祉手当延べ支給人数</td> <td style="text-align: right;">2,092人</td> </tr> <tr> <td>経過的福祉手当延べ支給人数</td> <td style="text-align: right;">99人</td> </tr> </table>			特別障害者手当延べ支給人数	3,508人	障害児福祉手当延べ支給人数	2,092人	経過的福祉手当延べ支給人数	99人
特別障害者手当延べ支給人数	3,508人								
障害児福祉手当延べ支給人数	2,092人								
経過的福祉手当延べ支給人数	99人								
事業評価	国制度に基づき適正に手当を支給することにより、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図ることができた。国の支給認定基準への該当の判断が難しいケースでは、嘱託医師による審査を行い慎重に判断するなど、今後も引き続き適正な給付に努める必要がある。								

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,764,685千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な支援を受けることにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行った。</p> <p style="text-align: center;">障害者介護給付利用延べ人数 17,728人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき個々の障害の状態に応じて給付を実施したことにより、障害児・者の福祉の推進を図ることができた。</p>		

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	740,210千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な就労訓練等を行うことにより、障害児・者が基本的人権を共有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行った。</p> <p style="text-align: center;">障害者訓練等給付利用延べ人数 6,091人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき個々の障害の状態に応じて給付を実施したことにより、障害児・者の福祉の推進を図ることができた。</p>		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課
		決算額	52,703千円
事業内容	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与した。 給付件数 4,340件		
事業評価	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与したことにより、障害児・者の日常生活の便宜を図ることができた。適正な事業運営に努めながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	44,868千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いす等の補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。 延べ支給件数 529件		
事業評価	障害者総合支援法に基づき適正に事務を執行し、障害者の自立を促進することができた。今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者コミュニケーション支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	6,605千円
事業内容	聴覚障害者に対し、日常生活及び社会生活に必要な意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者、要約筆記奉仕員の派遣を行う。		
成果・実績	<p>聴覚障害者のコミュニケーションを支援するため、手話通訳者・要約筆記奉仕員を派遣した。</p> <p style="text-align: center;">手話通訳者派遣延べ件数 579件 要約筆記奉仕員派遣延べ件数 491件</p>		
事業評価	手話通訳者・要約筆記奉仕員を派遣することにより、聴覚障害者の意思疎通の円滑化及び社会参加を促進することができた。利用者のニーズ等の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	手話奉仕員養成講座開設事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	793千円
事業内容	聴覚障害者のコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成する養成講座を開催する。		
成果・実績	<p>市内在住・在勤・在学の方を対象に、手話奉仕員養成講座（前期課程）を実施した。</p> <p style="text-align: center;">受講者数 43人</p>		
事業評価	2カ年単位で奉仕員を養成することにより、聴覚障害者のコミュニケーション支援につなげることができた。障害者総合支援法に掲げられている聴覚障害者のコミュニケーションを保障するため、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者移動支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	78,754千円
事業内容	屋外での移動が困難な障害者等に対し、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的に外出のための支援を行う。		
成果・実績	<p>屋外での移動が困難な障害者等に対して、外出を支援した。平成26年度で精神障害者に対象を拡大した。</p> <p>利用時間 30,328時間</p>		
事業評価	屋外での移動が困難な障害者等に対し外出のための支援を実施したことにより、障害者の自立生活の向上及び社会参加を促進することができた。		

事務事業名	障害者日中一時支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	85,049千円
事業内容	障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に、障害者等に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行う。		
成果・実績	<p>日中に障害者等の活動の場を提供し、障害者等の家族の就労支援や一時的な休息を図った。平成26年度で精神障害者に対象を拡大した。</p> <p>利用時間 79,109時間</p>		
事業評価	障害者等に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を実施したことにより、家族の就労支援及び負担軽減に努めることができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	福祉タクシー扶助費	所管課	障害福祉課
		決算額	38,466千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金の一部を助成する。		
成果・実績	1カ月あたり1,200円の福祉タクシー利用券を交付し、タクシー料金の一部助成を行った。 交付件数 3,673件		
事業評価	対象者に福祉タクシー利用券の交付を行うことにより、外出困難な重度心身障害者の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図ることができた。年々、利用者が増加する中、状況の的確な把握、分析に努め、より効果的な実施方法について引き続き研究する必要がある。		

事務事業名	各種自己負担助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	3,315千円
事業内容	身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳を交付（新規、再交付）申請する際に要する医師の診断書料や、特別障害者手当認定請求（新規）時に要する診断書料の全部または一部を助成することで、障害者の経済的負担を軽減する。		
成果・実績	手帳の交付申請等に要する診断書料の自己負担に対して助成を行った。 診断書料の自己負担に対する延べ助成件数 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時 1,084件 特別障害者手当等の認定請求時 23件		
事業評価	各種制度の申請に要する診断書料の助成を行うことにより、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。申請状況等を的確に把握する中で、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	重度身体障害者訪問入浴サービス事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,223千円
事業内容	在宅において家族等の介助による入浴が困難な重度身体障害者に対し、移動入浴車により家庭に訪問し、入浴サービスを実施することによって、在宅における家族等の介護の軽減と重度身体障害者の福祉の向上を図る。		
成果・実績	<p>入浴が困難な重度身体障害者に対して、訪問入浴サービスを提供した。</p> <p style="text-align: center;">サービス利用者延べ人数 323人</p>		
事業評価	入浴サービスの実施により、障害者の家族の介護負担を軽減し障害者の在宅での福祉向上を図ることができた。		

事務事業名	障害者施設等通所交通費助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	6,468千円
事業内容	公共交通機関を利用して障害者施設等に通所する障害者に対し、通所に要した交通費の一部を助成する。		
成果・実績	<p>公共交通機関を利用して障害者施設等に通所している障害者に対し、交通費の一部の助成を行った。</p> <p style="text-align: center;">延べ助成者数 357人</p>		
事業評価	施設に通所する障害者に交通費の一部助成を実施したことにより、経済的負担の軽減を図ることができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	心身障害者介護支援（レスパイトサービス）事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,988千円
事業内容	心身障害者が日常生活を支障なく営むために必要な設備を有している宿泊ホームにおいて、心身障害者を一時的に介護することによって、在宅において心身障害者を介護している介護者の負担軽減を図る。		
成果・実績	介護者の負担軽減を図るため、心身障害者の一時的な介護を実施した。平成26年度で精神障害者に対象を拡大した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 80%; margin-left: 20px;"> 利用回数 1,995回 </div>		
事業評価	在宅障害者の一時的な介護を支援したことにより、障害者を介護している保護者の負担軽減を図ることができた。利用状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	障害者相談支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	17,678千円
事業内容	障害者が地域において自立した日常生活と社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等利用に関する相談や情報提供、その他社会資源を活用するための支援を行う障害者生活支援センターを運営するとともに、成年後見制度の利用支援等を行う。		
成果・実績	障害者やその家族などの各種の相談に応じて、地域における生活を支援し、福祉の向上を図った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 80%; margin-left: 20px;"> 相談件数 8,895件 </div> 成年後見制度の利用支援として、親族による審判の申立がないケースについて市長申立を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 80%; margin-left: 20px;"> 申立件数 1件 </div>		
事業評価	障害福祉サービス等利用に関する相談及び成年後見制度の利用支援などを実施したことにより、障害者の自立した生活に向けて支援することができた。相談の状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課						
		決算額	3,523千円						
事業内容	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援等を行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。								
成果・実績	<p>宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作やゲームなどのプログラムを通して、作業能力や生活能力を高め、社会生活への適応が図れるように、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を開催した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 70%;">中途失明者点字講習会開催数</td> <td style="text-align: right;">96回</td> </tr> <tr> <td>精神障害者社会復帰集団指導事業開催数</td> <td style="text-align: right;">40回</td> </tr> <tr> <td>精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">319人</td> </tr> </table>			中途失明者点字講習会開催数	96回	精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回	精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	319人
中途失明者点字講習会開催数	96回								
精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回								
精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	319人								
事業評価	各種生活支援事業を実施したことにより、障害者の社会参加及び社会復帰の促進と生活の質的向上を図ることができた。本事業が唯一の社会参加の場、他者との交流の場となっている障害者もあり、今後も引き続き実施する。								

事務事業名	地域活動支援センター等事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	31,322千円
事業内容	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進など、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
成果・実績	5カ所の地域活動支援センターに通う延べ1,188人の障害者に対し支援を行った。平成26年度で精神障害者の特性を踏まえた制度の見直しを行った。		
事業評価	地域活動支援センターにおける社会交流等の事業を実施したことにより、障害者の自立した日常生活及び社会生活を促進できた。支援状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害児通所給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	211,475千円
事業内容	児童福祉法に基づき、障害児が利用する児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所に係る費用について給付を行うとともに、それに伴う相談支援等についても給付を行う。		
成果・実績	児童福祉法に基づく児童福祉サービスの利用に対し、障害児通所給付費の給付を行った。 障害児通所給付利用延べ人数 3,704人		
事業評価	児童福祉法に基づく障害児通所支援及び障害児相談支援を実施し、障害児の福祉の推進を図ることができた。今後も国、京都府と連携しながら引き続き実施する。		

事務事業名	障害者自立支援医療費(育成医療)	所管課	障害福祉課
		決算額	4,372千円
事業内容	障害者総合支援法に基づき、児童福祉法第4条第2項に規定する障害児(治療を行わないと将来障害を残すと認められる疾患がある児童を含む。)で、当該身体障害又は疾患に係る医療によって確実に効果が期待できる者に対して提供される、生活の能力を得るために必要な自立支援医療費の支給を行う。		
成果・実績	自立支援医療費(育成医療)事業 身体に障害のある18歳未満の児童に対して、生活の能力を得るために必要な医療費の一部を105人に支給した。		
事業評価	障害者総合支援法に基づき適正に医療費を支給し、障害児の身体障害を除去及び軽減することができた。今後もの確かつ円滑な事務の遂行に努めるとともに、国、京都府及び医療機関と連携しながら引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	こどもショートステイ事業費	所管課	こども福祉課						
		決算額	268千円						
事業内容	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、実施施設において、児童等の養育・保護を行う。								
成果・実績	<p>一時的に家庭で子育てが困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間養育する事業を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">実施施設</td> <td>桃山学園（京都市伏見区）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>京都大和の家（精華町）</td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td>31日</td> </tr> </table>			実施施設	桃山学園（京都市伏見区）		京都大和の家（精華町）	利用日数	31日
実施施設	桃山学園（京都市伏見区）								
	京都大和の家（精華町）								
利用日数	31日								
事業評価	臨時的に児童等の保護を行うことにより、保護者・児童の支援を図ることができた。年度により利用件数の増減はあるものの、セーフティネットとしての機能と役割があるため、制度の周知に努めながら、今後も引き続き実施する。								

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営費	所管課	こども福祉課								
		決算額	6,425千円								
事業内容	保護者の就労と子育て等の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。										
成果・実績	<p>ファミリー・サポート・センターを運営し、地域における相互援助活動を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">援助会員数</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td>依頼会員数</td> <td>1,408人</td> </tr> <tr> <td>両方会員数</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>2,111件</td> </tr> </table>			援助会員数	146人	依頼会員数	1,408人	両方会員数	33人	利用件数	2,111件
援助会員数	146人										
依頼会員数	1,408人										
両方会員数	33人										
利用件数	2,111件										
事業評価	市民で構成される会員組織を運営し、地域における相互援助活動を実施したことにより、安心して働くことのできる環境づくりを推進することができた。市民ニーズ等の状況の把握、分析に努めるとともに、安全面等にも十分留意しながら利用促進に努める。										

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	児童虐待防止対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	291千円
事業内容	児童虐待の未然防止と早期発見のために、児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置している。 要保護児童対策地域協議会代表者会議（年2回）の開催 要保護児童対策地域協議会調整会議（年6回）の開催		
成果・実績	代表者会議（年2回）では、関係機関等の代表者らの出席のもと、児童虐待の現状とケースの報告を行うとともに、関係機関等の連携を深めた。 調整会議（年6回）には、関係機関等の実務担当者が出席し、市と児童相談所の児童虐待ケースの情報を共有し、援助方針を話し合い、連携を深めた。 代表者会議開催日 8月19日、平成27年2月16日 調整会議開催日 奇数月の第3金曜日 児童虐待ケースの延べ対応件数 275件		
事業評価	児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置し、児童虐待の未然防止と早期発見に努めることができた。対応件数の増加及びケースの深刻化に対応するため、より一層の関係機関との情報共有及び密接な連携に努める。		

事務事業名	児童虐待防止対策緊急強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,414千円
事業内容	児童虐待の未然防止と早期発見のために、地域子育て支援基幹センター（児童虐待担当）の体制を強化し、児童相談所との連携強化や相談ケースへの対応力の向上を図るとともに、啓発や研修など様々な取組を実施し、児童虐待防止対策の緊急的な強化を図る。		
成果・実績	地域子育て支援基幹センターにおいて社会福祉士を継続して配置し、児童相談所や関係機関との連携を強化するとともに、相談ケースへの対応力のさらなる強化を図った。また、要保護児童対策地域協議会の関係機関等を対象に、研修会を開催した。 広報・啓発活動としては、子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」を、男女共同参画課と共催で実施した。 嘱託職員配置 社会福祉士を継続配置 研修会開催日 5月30日、11月4日 キャンペーン実施内容 街頭啓発・パネル展示・関連図書展示等		
事業評価	専門職員を配置し児童相談所及び関係機関との連携を強化するとともに、研修会の開催及び広報・啓発活動などを実施したことにより、児童虐待の緊急的な防止対策の強化を図ることができた。相談件数の増加及びケースの深刻化に対応するため、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	しあわせ子育て・子育て応援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	616千円
事業内容	子どもが生まれた家庭に子どもを生き育てる喜びを感じてもらえるように、お祝いの記念品等を贈るとともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を利用してもらうように広報する。		
成果・実績	お祝いのメッセージカード、アルバム式身長計、子育て情報誌、ファミリー・サポート・センターの無料利用券などを送付した。 送付件数 1,290世帯		
事業評価	子育て支援の第一歩として記念品及び子育て情報誌などを送付することにより、子どもの健やかな成長への支援と親の子育てへの喜びの増進を図ることができた。子育て世代のニーズに留意しながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	地域子育てひろば支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	522千円
事業内容	家族規模の縮小などにより地域コミュニティが希薄化する中で、孤立しがちな子育て家庭を支援するため、集会所等での地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域における子育て家庭と地域住民との子育て支援関係を作り上げる。		
成果・実績	地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。 実施場所 下村集会所 開集会所 平町集会所 西小倉集会所 平尾東集会所 (新規) 伊勢田北集会所 (新規)		
事業評価	地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助を実施したことにより、交流及び情報交換などによって子育て家庭の支援を促進できた。利用者数、利用年齢などの市民ニーズの把握、分析に努めながら、引き続き地域子育て支援拠点も含めた今後の子育て支援施策の展開を検討する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																											
		決算額	45,199千円																											
事業内容	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>地域子育て支援拠点では、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談や情報の提供、講習等の実施を行う。また地域子育て支援基幹センターでは、子育て支援の総合的なコーディネートを行い、子育て支援施策を総合的に推進する。</p>																													
成果・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>運営方法</th> <th>ひろば延べ利用者数(人)</th> <th>相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 地域子育て支援基幹センター</td> <td rowspan="2">直営</td> <td>9,522</td> <td>602</td> </tr> <tr> <td>2. 西部地域子育て支援センター</td> <td>7,143</td> <td>453</td> </tr> <tr> <td>3. 南部地域子育て支援センター</td> <td rowspan="5">委託</td> <td>731</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>4. 東部地域子育て支援センター</td> <td>7,266</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>5. 北部地域子育て支援センター</td> <td>9,447</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>6. りぼん</td> <td>7,397</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. ぶんきょうにこにこルーム</td> <td>7,734</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	運営方法	ひろば延べ利用者数(人)	相談件数(件)	1. 地域子育て支援基幹センター	直営	9,522	602	2. 西部地域子育て支援センター	7,143	453	3. 南部地域子育て支援センター	委託	731	29	4. 東部地域子育て支援センター	7,266	60	5. 北部地域子育て支援センター	9,447	96	6. りぼん	7,397		7. ぶんきょうにこにこルーム	7,734	
	名称	運営方法	ひろば延べ利用者数(人)	相談件数(件)																										
	1. 地域子育て支援基幹センター	直営	9,522	602																										
	2. 西部地域子育て支援センター		7,143	453																										
	3. 南部地域子育て支援センター	委託	731	29																										
	4. 東部地域子育て支援センター		7,266	60																										
	5. 北部地域子育て支援センター		9,447	96																										
	6. りぼん		7,397																											
7. ぶんきょうにこにこルーム	7,734																													
事業評価	<p>地域子育て支援基幹センター等において各種子育て支援事業を実施したことにより、子どもの健やかな育ちを促進することができた。利用ニーズの分析を踏まえて、引き続き、今後の子育て支援施策の展開を検討する。</p>																													

事務事業名	来庁者こども一時預かりコーナー運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,862千円
事業内容	<p>子どもと一緒に来庁者が行政手続き・行政相談等をしやすい環境を整えることを目的に、市役所1階ロビーのスペースで、保育士による子どもの一時預かりを実施する。</p>		
成果・実績	<p>市役所庁舎内において、子どもを一時的に預かるキッズコーナーを設置し、通年運営した。</p> <p>利用人数 1,048人</p>		
事業評価	<p>本市独自の行政サービスとして来庁者の子どもの一時預かりを実施したことにより、行政相談等をしやすい環境整備に努めることができた。利用しやすい環境整備とともに、子ども・子育て支援新制度を踏まえた新たな事業展開を検討する。</p>		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	28,002千円
事業内容	病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成8年9月から宇治病院、平成14年11月から浅妻医院の2カ所で開催している。		
成果・実績	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。		
	実施施設	宇治市乳幼児健康支援サービスセンター（宇治病院） 浅妻医院パピールーム（浅妻医院）	
	利用日数	1,598日	
事業評価	医療機関での病児保育等を実施したことにより、児童の病気回復期等における保護者の就労を支援することができた。緊急時に対応する子育て支援として利用者ニーズは高いため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	子ども・子育て会議運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	1,482千円
事業内容	「子ども・子育て支援法」に定める事務のほか、宇治市の子ども・子育て支援に関して必要な事項を調査・審議するため、宇治市子ども・子育て会議を設置し、運営する。		
成果・実績	「子ども・子育て支援法」に基づく「宇治市子ども・子育て支援事業計画」の策定のため、会議を開催した。		
	子ども・子育て会議	委員数	23人
		開催回数	8回
事業評価	宇治市子ども・子育て会議の意見を踏まえ、子ども・子育て支援法に基づく「宇治市子ども・子育て支援事業計画」を策定した。今後は、宇治市子ども・子育て会議において計画の進捗状況の管理・評価を行う。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	ひとり親家庭自立支援給付事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	14,847千円
事業内容	ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図るため、養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進する。		
成果・実績	ひとり親家庭の親が養成機関等において資格の取得のため、講座を受講した場合に給付金を支給した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-left: 40px;"> 高等職業訓練促進給付金支給件数 15件 </div>		
事業評価	高等職業訓練促進給付金等の支給による就業の促進を図り、ひとり親家庭の生活の負担軽減と自立支援を図ることができた。国の制度改革に対応しながら制度の周知に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	子育て世帯臨時特例給付金給付事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	231,241千円
事業内容	平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、「子育て世帯」の負担を緩和するため、臨時的な措置として「子育て世帯臨時特例給付金」を支給する。		
成果・実績	平成26年1月1日時点で宇治市に住民票がある人で、平成26年1月分の児童手当支給対象者に対し、児童1人につき1万円を支給した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-left: 40px;"> 支給件数（うち支給対象児童数） 12,616件（21,238人） </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-left: 40px;"> 支給金額 212,380千円 </div>		
事業評価	国制度に基づき「子育て世帯臨時特例給付金」を支給し、子育て世帯の負担を緩和することができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 総合的な子育て支援の充実	

事務事業名	宇治市奨学資金貸与費	所管課	こども福祉課												
		決算額	3,139千円												
事業内容	勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な大学、高校及び高等専門学校の在学者に奨学資金を貸与する。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">貸与人数</td> <td style="padding-right: 20px;">高校生</td> <td style="text-align: right;">2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高等専門学校生</td> <td style="text-align: right;">0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大学生</td> <td style="text-align: right;">9人</td> </tr> <tr> <td> 奨学資金貸与額</td> <td colspan="2" style="text-align: right;"> 3,132千円</td> </tr> </table>			貸与人数	高校生	2人		高等専門学校生	0人		大学生	9人	 奨学資金貸与額	 3,132千円	
貸与人数	高校生	2人													
	高等専門学校生	0人													
	大学生	9人													
 奨学資金貸与額	 3,132千円														
事業評価	奨学資金の貸与により、勉学意欲はあるが経済的理由により修学が困難な市民を支援することができた。引き続き、的確な償還に向けた周知徹底等の働きかけを行うとともに、関連する他奨学金制度の実施状況等の把握、分析に努め、今後のあり方について検討する。														

事務事業名	児童扶養手当費	所管課	こども福祉課								
		決算額	794,982千円								
事業内容	離婚等の理由により父または母のいない（父または母が重度障害の状態である場合を含む）児童を養育する母または父等に対して手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る。平成14年8月より京都府から市に業務移管されている。										
成果・実績	児童等の健やかな成長に資するため、児童扶養手当を支給した。 <table style="width: 100%; border: none; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">受給資格世帯</td> <td style="padding-right: 20px;">1,833世帯</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">（うち 受給世帯</td> <td style="text-align: right;">1,660世帯）</td> </tr> <tr> <td>支給対象児童数</td> <td style="text-align: right;">2,602人</td> </tr> <tr> <td>児童扶養手当扶助費</td> <td style="text-align: right;">794,386千円</td> </tr> </table>			受給資格世帯	1,833世帯	（うち 受給世帯	1,660世帯）	支給対象児童数	2,602人	児童扶養手当扶助費	794,386千円
受給資格世帯	1,833世帯										
（うち 受給世帯	1,660世帯）										
支給対象児童数	2,602人										
児童扶養手当扶助費	794,386千円										
事業評価	児童扶養手当法に基づき、手当受給申請に対して適正に審査、支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進し、児童福祉の増進を図ることができた。今後も的確な事務の遂行に努める。										

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	児童手当費	所管課	こども福祉課						
		決算額	3,173,593千円						
事業内容	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に児童手当を支給する。								
成果・実績	<p>中学校修了前の児童を養育している人に支給する。手当額は、児童1人につき月額10,000円もしくは15,000円（児童数、児童の年齢によって異なる）。但し、所得制限限度額を超過している世帯には、特例給付として児童1人につき月額5,000円（一律）を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">受給世帯</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">14,043世帯</td> </tr> <tr> <td>支給対象となる児童数</td> <td style="text-align: right;">23,243人</td> </tr> <tr> <td>児童手当扶助費</td> <td style="text-align: right;">3,171,865千円</td> </tr> </table>			受給世帯	14,043世帯	支給対象となる児童数	23,243人	児童手当扶助費	3,171,865千円
受給世帯	14,043世帯								
支給対象となる児童数	23,243人								
児童手当扶助費	3,171,865千円								
事業評価	国制度に基づき適正に支給を行い、子育て家庭における生活支援に努めることができた。市民への制度の周知に努め、今後更なる事務の遂行に努める。								

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	03 放課後児童育成の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課						
		決算額	313,107千円						
事業内容	宇治市立小学校に就学する1年生から4年生の児童であって、下校しても保護者の就労や疾病等の理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。								
成果・実績	<p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">開設学校数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">20校</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td style="text-align: right;">38学級</td> </tr> <tr> <td>入級児童数</td> <td style="text-align: right;">1,766人（平成26年5月1日現在）</td> </tr> </table>			開設学校数	20校	学級数	38学級	入級児童数	1,766人（平成26年5月1日現在）
開設学校数	20校								
学級数	38学級								
入級児童数	1,766人（平成26年5月1日現在）								
事業評価	育成学級を運営することにより、放課後に保護者が不在である児童の危険防止と心身の健全な育成を図ることができた。子ども・子育て支援新制度を踏まえて、市民ニーズに対する対応策を教育部とも連携しながら検討する。								

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	03 放課後児童育成の充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	育成学級施設整備費	所管課	こども福祉課
		決算額	92,298千円
事業内容	入級児童数の増加に対応し、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成に資するため、育成学級施設の整備を実施する。		
成果・実績	<p>大久保育成学級の入級児童数の増加に対応するため、新たに専用プレハブ施設の建替工事を実施した。</p> <p style="text-align: center;">大久保育成学級：定員 100名 190名</p>		
事業評価	入級児童数の増加に対応した学級施設の整備に努めることにより、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成を図ることができた。今後も引き続き利用ニーズを見極めながら、施設整備を計画的に実施する。		

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,825千円
事業内容	安全・安心な育成学級運営のため、学校休業日である土曜日や夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視や来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、安全・安心な学級運営を行うことができた。状況の把握、分析に努めながら、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	公立保育所運営事業	所管課	保育支援課
		決算額	1,390,767千円
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。		
成果・実績	公立保育所数	7園	
	定員	940人	延べ入所数 11,219人
	保育所運営費		48,155千円
	保育所維持修繕費		4,723千円
	非常勤職員設置費		154,003千円
	保育所児童健康管理費		6,286千円
	保育所給食費		71,321千円
	パート保育士設置費		110,781千円
	障害児特別保育費		51,526千円
保育士等職員給		943,972千円	
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費を適正に執行し、児童の安全と良好な保育環境などを確保したことにより、子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図ることができた。保育ニーズに対応した運営を今後も引き続き実施する。		

事務事業名	保育所緊急安全対策事業費	所管課	保育支援課
		決算額	33,096千円
事業内容	安全・安心な保育所運営のため、各公立保育所に保育所安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所での保育所安全運営支援員の配置等に対し補助を行う。		
成果・実績	公立保育所	8,744千円	
	保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。		
成果・実績	民間保育所	24,352千円	
	保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等に対する補助を行った。		
事業評価	保育所安全運営支援員の配置等により、安全・安心な保育所運営を図ることができた。状況の把握、分析に努めながら、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	保育所施設整備費	所管課	保育支援課
		決算額	9,204千円
事業内容	公立保育所における児童の安全・安心及び良好な保育環境の確保を図るため、施設改修等を計画的に実施する。		
成果・実績	宇治保育所公共下水道接続工事等 9,204千円		
事業評価	計画的に公立保育所の施設整備を実施したことにより、安全・安心な保育環境の向上を図ることができた。今後も各施設の状況に応じて適切な対応を検討する必要がある。		

事務事業名	民間保育所運営費	所管課	保育支援課																												
		決算額	3,313,687千円																												
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、民間保育所18園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">民間保育所（園）数</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">18 園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">36,654人</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td style="text-align: center;">2,875人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営費</td> <td style="text-align: right;">2,588,054千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長保育促進事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">25,150千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害児特別保育事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">57,653千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営補助金</td> <td style="text-align: right;">632,780千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域活動事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">10,050千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			民間保育所（園）数	18 園	延べ入所数	36,654人	定員	2,875人			民間保育所運営費	2,588,054千円			延長保育促進事業費補助金	25,150千円			障害児特別保育事業費補助金	57,653千円			民間保育所運営補助金	632,780千円			地域活動事業費補助金	10,050千円		
民間保育所（園）数	18 園	延べ入所数	36,654人																												
定員	2,875人																														
民間保育所運営費	2,588,054千円																														
延長保育促進事業費補助金	25,150千円																														
障害児特別保育事業費補助金	57,653千円																														
民間保育所運営補助金	632,780千円																														
地域活動事業費補助金	10,050千円																														
事業評価	民間保育所18園の運営及び各種保育事業に対する補助を実施し、児童の安全と良好な保育環境の確保に努めたことにより、子育て支援を進め児童の健全な心身の発達を図ることができた。国の制度変更を見極めながら、各種保育ニーズに対応していく必要がある。																														

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	民間保育所施設整備費	所管課	保育支援課						
		決算額	62,599千円						
事業内容	社会福祉法人の運営する保育所が施設整備を行う場合に、民間保育所施設整備補助金を交付する。								
成果・実績	<p>待機児童対策として、民間保育所の施設改修等に対する補助を実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">南浦保育園分園増改築工事補助金</td> <td style="text-align: right;">25,734千円</td> </tr> <tr> <td>あさひ保育園増改築工事補助金</td> <td style="text-align: right;">13,217千円</td> </tr> <tr> <td>第2登り保育園建物賃借料補助金</td> <td style="text-align: right;">23,648千円</td> </tr> </table>			南浦保育園分園増改築工事補助金	25,734千円	あさひ保育園増改築工事補助金	13,217千円	第2登り保育園建物賃借料補助金	23,648千円
南浦保育園分園増改築工事補助金	25,734千円								
あさひ保育園増改築工事補助金	13,217千円								
第2登り保育園建物賃借料補助金	23,648千円								
事業評価	民間保育所の増改築等施設整備に係る補助金について適正に執行し、定員増による待機児童対策を図ることができた。民間保育所の保育需要への対応に向けた取組を今後も引き続き実施する。								

事務事業名	病児・病後児保育費	所管課	保育支援課
		決算額	34,480千円
事業内容	保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に対し、保護者が迎えに来るまでの間、保育所の専用スペースにおいて看護師等が緊急的な対応を行う。		
成果・実績	<p>実施施設（民間保育所8園）</p> <ul style="list-style-type: none"> 登り保育園 北小倉こひつじ保育園 ひいらぎ保育園 第2登り保育園 榎島ひいらぎ保育園 同胞保育園 みんなのき保育園 伊勢田保育園（新規） 		
事業評価	国制度に沿って病児・病後児保育事業を実施する民間保育所に補助することにより、子育て支援と保護者負担の軽減を図ることができた。利用状況を見ながら国制度を活用し、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
福祉こども部

事務事業名	家庭的保育事業費	所管課	保育支援課																														
		決算額	88,490千円																														
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。																																
成果・実績	<p>開設場所</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">木幡花揃</td> <td style="width: 30%;">(福) あげぼの会 (登り保育園)</td> <td style="width: 40%;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄福角</td> <td>(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>神明石塚</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄梅林官有地</td> <td>(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)</td> <td>定員10人</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町若林</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>広野町西裏</td> <td>(福) 同胞会 (同胞保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>木幡赤塚</td> <td>(福) あげぼの会 (登り保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>開町</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>木幡陣ノ内</td> <td>(福) あげぼの会 (登り保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町ウトロ</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> </table>			木幡花揃	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人	五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人	神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人	五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人	伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人	広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人	木幡赤塚	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人	開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人	木幡陣ノ内	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人	伊勢田町ウトロ	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人
木幡花揃	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人																															
五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人																															
神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																															
五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人																															
伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人																															
広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人																															
木幡赤塚	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人																															
開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																															
木幡陣ノ内	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人																															
伊勢田町ウトロ	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人																															
事業評価	児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施したことにより、待機児童対策を図ることができた。子ども子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について小規模保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。																																

事務事業名	大久保保育所改築事業費	所管課	保育支援課																												
		決算額	279,972千円																												
事業内容	公立保育所における児童の安全・安心及び良好な保育環境の確保と施設の維持を図るため、平成19年度に策定した「宇治市公立保育所再整備計画」に基づき、大久保保育所の建替工事を実施する。																														
成果・実績	<p>老朽化した大久保保育所の新園舎建設工事に続き、新ホール棟建設及び外構工事等を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">新園舎建設工事</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 40%;">解体工事</td> <td style="width: 10%;">38,456千円</td> </tr> <tr> <td> 建築工事</td> <td>66,487千円</td> <td>新ホール棟建設及び外構工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 機械工事</td> <td>18,771千円</td> <td> 建築工事</td> <td>79,150千円</td> </tr> <tr> <td> 電気工事</td> <td>11,166千円</td> <td> 機械工事</td> <td>23,520千円</td> </tr> <tr> <td>(以下平成25年度からの繰越)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 電気工事</td> <td>11,914千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 備品購入</td> <td>7,884千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			新園舎建設工事		解体工事	38,456千円	建築工事	66,487千円	新ホール棟建設及び外構工事		機械工事	18,771千円	建築工事	79,150千円	電気工事	11,166千円	機械工事	23,520千円	(以下平成25年度からの繰越)				電気工事	11,914千円			備品購入	7,884千円		
新園舎建設工事		解体工事	38,456千円																												
建築工事	66,487千円	新ホール棟建設及び外構工事																													
機械工事	18,771千円	建築工事	79,150千円																												
電気工事	11,166千円	機械工事	23,520千円																												
(以下平成25年度からの繰越)																															
電気工事	11,914千円																														
備品購入	7,884千円																														
事業評価	計画に基づき大久保保育所の建替工事を実施したことにより、安全・安心及び良好な保育環境の向上を図ることができた。																														

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康教育費	所管課	健康生きがい課
		決算額	671千円
事業内容	生活習慣病の予防及び健康増進など健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各専門職を講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防及び健康増進など健康に関する正しい知識を普及するほか、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼やイベントなどの機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p style="text-align: right;">実施回数 77回 実施人数 1,921人</p>		
事業評価	各種健康教室等の開催により、健康に関する正しい知識を普及し健康の保持増進を図ることができた。若年層及び新規参加者の参加促進に向けて、開催日設定の工夫、効果的な広報及び学習内容の検討などを行う中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	健康教育費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	622千円
事業内容	生活習慣病を中心に、介護予防に関する知識とその重要性についての認識を深め、高齢者自らの自主的な介護予防への取組を支援する。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識を普及するほか、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼やイベントなどの機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p style="text-align: right;">実施回数 39回 実施人数 1,260人</p>		
事業評価	各種健康教室等の開催により、高齢者の健康意識の向上及び介護予防を図ることができた。今後も参加しやすい開催日程の工夫、効果的な広報及び学習内容の検討などを行う中で、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康相談費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	158千円				
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるよう実施する。（対象者：65歳未満）						
成果・実績	市民に対し、個別に健康相談を実施した。 <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>実施回数</td> <td style="text-align: right;">80回</td> </tr> <tr> <td>実施人数</td> <td style="text-align: right;">240人</td> </tr> </table>			実施回数	80回	実施人数	240人
実施回数	80回						
実施人数	240人						
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応することにより、健康管理の促進を図ることができた。今後はより多くの市民の健康増進に向けて、広報の見直し及び開催条件を検討するなど実施手法の改善に努める中で、今後も引き続き実施する。						

事務事業名	健康相談事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課				
		決算額	225千円				
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行う。（対象者：65歳以上）						
成果・実績	市民に対し、個別に健康相談を実施した。 <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>実施回数</td> <td style="text-align: right;">126回</td> </tr> <tr> <td>実施人数</td> <td style="text-align: right;">576人</td> </tr> </table>			実施回数	126回	実施人数	576人
実施回数	126回						
実施人数	576人						
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応することにより、健康管理の促進を図ることができた。今後はより多くの市民の健康増進に向けて、広報の見直し及び開催条件を検討するなど実施手法の改善に努める中で、今後も引き続き実施する。						

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康生きがい課
		決算額	242千円
事業内容	市民の健康づくりや生活習慣病予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。(対象者：65歳未満)		
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>「若葉の会」活動状況 支援活動回数 29回 参加者数 263人</p> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 3回 参加会員数 79人</p>		
事業評価	ボランティアへの活動を支援することにより、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化及び会員数の減少など課題を踏まえた支援内容を検討する必要がある。		

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	254千円
事業内容	在宅高齢者の健康づくりや生活習慣病予防のために、食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。(対象者：65歳以上)		
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>「若葉の会」活動状況 支援活動回数 27回 参加者数 230人</p> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 3回 参加会員数 79人</p>		
事業評価	ボランティアへの活動を支援することにより、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化及び会員数の減少など課題を踏まえた支援内容を検討する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	各種がん検診等事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	120,594千円
事業内容	各種がん検診等を実施することにより、がんによる死亡率等を減少させることを目的とし、検診を実施する。		
成果・実績	対象者に個別検診及び集団検診などを実施した。		
	(人)		
		受診者数	要精検者数
	健康診査	97	-
	胃がん検診	1,784	161
	子宮頸がん検診	4,583	104
	乳がん検診	4,309	251
	肺がん検診	3,048	262
	大腸がん検診	9,936	855
	成人歯科健診	30	18
肝炎ウイルス検診	1,668	11	
結核健診	2,229	0	
前立腺がん検診	2,794	237	
事業評価	検診の実施により、市民の健康保持・増進を図ることができた。今後も市民ニーズの把握・分析に努め、市民の意識啓発・周知活動等効果的な実施方法について工夫、検討する中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	529千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定や骨の健康に関する学習をすることにより、現在の骨や体の状態を把握するとともに、市民自らが生活習慣病予防や健康づくりを実践する動機付けとなるよう実施する。(対象者：65歳未満)		
成果・実績	骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。		
	実施回数	5回	
	実施人数	135人	
事業評価	教室を実施したことにより、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機付けを行うことができた。市民ニーズの把握、分析に努め、効果的な実施方法について工夫する中で、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	骨粗しょう症予防教室事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	597千円
事業内容	骨粗しょう症予備群となる者に対し、骨密度測定や骨の健康に関する学習をすることにより、現在の体の状態を把握し、介護予防を実践する動機付けとなるよう実施する。（対象：65歳以上）		
成果・実績	骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施回数 3回 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施人数 185人 </div>		
事業評価	教室を実施したことにより、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機付けを行うことができた。今後も、市民ニーズの把握、分析に努め、効果的な実施方法について工夫する中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	高齢者用肺炎球菌予防接種事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	35,076千円
事業内容	予防接種法に基づく定期予防接種として、年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上になる者及び60歳から65歳未満の厚生労働省令で定める機能障害を有する者のうち、過去に高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種（23価）を受けたことのない者に対し、高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種協力医療機関にて実施する。平成26年10月1日より定期予防接種となった。		
成果・実績	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施期間 10月1日～平成27年3月31日 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 接種医療機関 （一社）宇治久世医師会及び（一社）伏見医師会の協力医療機関 （府外等の医療機関は還付で対応） </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 接種者数 5,502人 </div>		
事業評価	予防接種法に基づき適正に執行し、感染症予防対策を実施したことにより、市民の健康保持を図ることができた。平成27年度も、国制度に対応した適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高齢者インフルエンザ予防接種費	所管課	健康生きがい課
		決算額	84,659千円
事業内容	予防接種法に基づく定期予防接種として、65歳以上の高齢者及び60歳から65歳未満の厚生労働省令で定める機能障害を有する者に対し、インフルエンザワクチンの接種を協力医療機関にて実施する。		
成果・実績	実施期間 10月20日～12月27日 接種医療機関 (一社)宇治久世医師会及び(一社)伏見医師会の協力医療機関 (府外等の医療機関は還付で対応) 接種者数 23,206人		
事業評価	インフルエンザワクチンの接種により、疾病予防等市民の健康保持を図ることができた。市民からの予防効果への期待は大きく、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	子宮頸がん予防接種事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	374千円
事業内容	子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染予防のため、未感染の年代の女性に予防ワクチンを定期接種で実施し、子宮頸がんの発症を予防することを目的としている。(対象：小学6年生から高校1年生の年齢に相当する女性) 平成25年度より、予防接種法に基づく定期予防接種として小学6年生から高校1年生の年齢に相当する女性に実施。3回の接種で完了となる。		
成果・実績	平成26年度 延べ接種件数 22件		
事業評価	国制度の利用により、感染症予防対策に努めることができた。国の通知により、現在は子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨を差し控えている。今後も国の動向を注視した、対象希望者への接種に努める必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	高齡者アカデミー運営費	所管課	健康生きがい課								
		決算額	3,675千円								
事業内容	京都文教大学にて、70歳以上の市民を対象に、「高齡者アカデミー」を開校する。プログラムは2年制（1年＝秋期・春期）で、受講生は週1回の科目履修と月1回のアカデミーアワーを受講する。										
成果・実績	<p>高齡者アカデミーを開校し、高齡者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">受講者数</th> <th style="width: 15%;">1期生</th> <th style="width: 15%;">2期生</th> <th style="width: 10%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">22人</td> <td style="text-align: center;">21人</td> <td style="text-align: center;">43人</td> </tr> </tbody> </table>			受講者数	1期生	2期生	合計		22人	21人	43人
受講者数	1期生	2期生	合計								
	22人	21人	43人								
事業評価	高齡者アカデミーの開校により、高齡者の交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図ることができた。受講内容について地域社会へ還元する手法等を検討する必要がある。										

事務事業名	敬老会開催費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	10,589千円				
事業内容	長年社会に貢献されてきた高齡者に敬愛の精神をもって接するよう広く市民の関心と理解を深め、高齡者自らの生活意欲を高めるため、当該年中に70歳以上になる高齡者を敬老の日に文化センターへ招待し式典を開催する。また、9月15日現在、数え年88歳の高齡者に対し、米寿を祝うための記念品を贈呈する。						
成果・実績	<p>敬老の日に宇治市文化センターで午前と午後の2回、市内在住の70歳以上の高齡者を招待して敬老会を開催した。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">参加申込者</td> <td style="text-align: right;">2,960人</td> </tr> <tr> <td>米寿記念品支給者数</td> <td style="text-align: right;">639人</td> </tr> </table>			参加申込者	2,960人	米寿記念品支給者数	639人
参加申込者	2,960人						
米寿記念品支給者数	639人						
事業評価	敬老の日に式典を開催するとともに、米寿記念品を贈呈したことにより、高齡者に敬愛の念を表し、高齡者福祉に関する市民の関心と理解を深めることができた。高齡者の増加等に対応するため、引き続き、開催場所の選定及び実施方法などを検討する必要がある。						

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	老人園芸ひろば管理費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	1,021千円																		
事業内容	<p>高齢者の生きがい対策と地域コミュニティ活動の一つとして、高齢者の社会交流、心身の健康保持のために、趣味を活かして園芸を楽しみ、自然の恵沢と長寿の喜びを味わってもらうことにより、高齢者福祉の増進を図る。 また年2回、全利用者を対象に園芸教室を開催する。</p>																				
成果・実績	<p>8カ所647区画を管理し、60歳以上の者に1世帯約10㎡を1区画として貸与した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>園芸ひろば名称</th> <th>区画数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>芝ノ東</td><td>95</td></tr> <tr><td>大久保</td><td>129</td></tr> <tr><td>伊勢田第2</td><td>55</td></tr> <tr><td>羽戸山</td><td>55</td></tr> <tr><td>槇島</td><td>117</td></tr> <tr><td>伊勢田若林</td><td>49</td></tr> <tr><td>木幡</td><td>87</td></tr> <tr><td>小倉寺内</td><td>60</td></tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">園芸教室</p> </div>			園芸ひろば名称	区画数	芝ノ東	95	大久保	129	伊勢田第2	55	羽戸山	55	槇島	117	伊勢田若林	49	木幡	87	小倉寺内	60
園芸ひろば名称	区画数																				
芝ノ東	95																				
大久保	129																				
伊勢田第2	55																				
羽戸山	55																				
槇島	117																				
伊勢田若林	49																				
木幡	87																				
小倉寺内	60																				
事業評価	<p>市内8カ所の園芸ひろばを整備・運営することにより、高齢者の生きがい増進と仲間づくりを図ることができた。利用状況を踏まえつつ、今後も運営方法等を検討する必要がある。</p>																				

事務事業名	輝き支援2015高齢期支援システム創造事業費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	7,405千円																		
事業内容	<p>団塊の世代が高齢期を迎える平成27年を前に、健康づくり・生きがいづくり・地域参加の契機となる各種講座、講演会などの事業を（一財）宇治市福祉サービス公社に委託し実施する。知識や経験を活用しながら、健康に関心を持ち、地域活動に参加できるよう、新しい高齢期支援システムの構築を目指す。</p>																				
成果・実績	<p>健康づくり・生きがいづくり・地域参加の契機となる各種講座・講演会等の事業を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>講座数</th> <th>参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>健やか生活塾</td><td>3</td><td>183</td></tr> <tr><td>愉快生活塾</td><td>6</td><td>536</td></tr> <tr><td>活動支援事業</td><td>2</td><td>847</td></tr> <tr><td>共催事業</td><td>1</td><td>107</td></tr> <tr><td>由美かおる氏講演会</td><td>1</td><td>360</td></tr> </tbody> </table>			講座名	講座数	参加延べ人数	健やか生活塾	3	183	愉快生活塾	6	536	活動支援事業	2	847	共催事業	1	107	由美かおる氏講演会	1	360
講座名	講座数	参加延べ人数																			
健やか生活塾	3	183																			
愉快生活塾	6	536																			
活動支援事業	2	847																			
共催事業	1	107																			
由美かおる氏講演会	1	360																			
事業評価	<p>（一財）宇治市福祉サービス公社へ委託し様々な講座等を開催したことにより、高齢期を迎える世代の健康・生きがいづくり及び地域活動への意識啓発に努めることができた。団塊の世代が高齢期を迎える平成27年を前に、新しい高齢期システムを構築する目的で実施する事業であり、当該事業は平成26年度で終了する。</p>																				

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高年齢者活動事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,643千円
事業内容	<p>(宗) 平等院からの寄付金1億円を高年齢者活動基金として積み立て、運用益を高年齢者の生きがい対策のための各種サービス(健康まつりの開催、敬老月間、喜老会への補助など)の充実を図る目的の事業のために使用し、寄付者の意思に報う。</p>		
成果・実績	<p>高年齢者の活動を促進するため、事業開催や事業費補助を行った。</p> <p>健康まつり 187千円 機器による各種測定、診断や、協力団体等によるストレッチ指導などを行い、楽しみながら市民の健康への意識を高めた。〈うー茶ん〉のつどい事業と合同で開催した。</p> <p>参加者 約400人</p> <p>老人クラブ活動促進特別事業 850千円 老人福祉センター交流事業 250千円 宇治市老人福祉センターサークル活動発表大会事業 300千円 宇治市敬老月間事業 56千円</p>		
事業評価	<p>健康まつりの開催及び喜老会活動への助成などを行うことにより、高年齢者の生きがい活動を促進できた。世代間交流の推進及び関係団体等との連携など、効果的な実施手法の検討に努める中で、今後も引き続き実施する。</p>		

事務事業名	宇治市シルバー人材センター運営助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	3,740千円
事業内容	<p>定年退職後等において雇用関係のない就業を通じて労働能力を活用し、生きがいの充実等を希望する60歳以上の高年齢者に、地域社会の日常生活に関連した補助的、短期的な仕事を提供するための高年齢者の自主的な団体である、(公社)宇治市シルバー人材センターの運営に助成を行う。</p>		
成果・実績	<p>(公社)宇治市シルバー人材センターの運営事業に対し助成を行い、育成・指導に努めた。</p> <p>会員数 637人 (男性 506人 女性 131人)</p>		
事業評価	<p>シルバー人材センター運営補助金について適正に執行し、高年齢者の生きがい増進及び就労の促進を図ることができた。(公社)宇治市シルバー人材センターの活性化を図るために当該団体に対して、さらなる創意工夫を求める必要がある。</p>		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	01 生きがいづくりの充実	

事務事業名	地域福祉センター管理運営費	所管課	健康生きがい課
		決算額	87,089千円
事業内容	地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくりや生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流や地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	市内6カ所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4カ所は管理者を指定し、管理運営した。		
	榎島地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（福）山城福祉会	6,407千円	
	木幡地域福祉センター管理運営費 直営	7,368千円	
	開地域福祉センター管理運営費 直営	6,319千円	
	西小倉地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	17,030千円	
	東宇治地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	7,497千円	
	広野地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	6,305千円	
	地域福祉センター再整備事業費	36,163千円	
事業評価	各センターを適正に管理運営する中で、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を実施したことにより、高齢者の福祉向上を図ることができた。地域福祉の拠点としての役割及び利用効果などを検証する中で計画的な施設の修繕を検討する必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高齢者スポーツ大会開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	2,339千円
事業内容	60歳以上の市民を対象に、スポーツ大会を実施する。大会では、グラウンドゴルフ、ペタンク、ディスコンなど初めての方でも気軽にできる種目を行う。		
成果・実績	スポーツ大会を実施し、高齢者の健康づくりを図るとともに、スポーツの場での交流機会を創出した。 参加者 212人		
事業評価	スポーツ大会を実施することにより、高齢者の健康づくりの促進及び交流機会の創出を図ることができた。ニーズ等の把握、分析に努め、広報方法等の検討が必要である。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	ボランティア研修会開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	300千円
事業内容	市民の積極的な社会参加を促進するとともに、介護予防事業への理解と普及・啓発を促進する。		
成果・実績	介護予防に関するボランティア等の人材育成や介護予防に資する地域活動組織の育成・支援のための事業を行った。 実人数 198人		
事業評価	研修の実施により、介護予防に関わる人材の育成を行うことで、積極的な地域福祉活動への参加につなげることができた。今後は関係機関と連携し、育成した人材の有効活用及び研修効果の検証など効果的な実施手法を検討する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	機能訓練事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	428千円
事業内容	40歳以上65歳未満で運動機能の低下を生じている人に対して、身体機能の向上、閉じこもりの予防のため、パワーリハビリ教室を行う。		
成果・実績	<p>パワーリハビリ教室を行い、心身の機能の維持改善を図った。</p> <p style="text-align: center;">実人数 8人</p>		
事業評価	教室を開催したことにより、市民の健康保持・増進を図ることができた。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業の実施手法の検討に努める必要がある。		

事務事業名	機能訓練事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	23,110千円
事業内容	<p>パワーリハビリ教室：二次予防事業対象者に対し、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動やストレッチ体操などを行う。</p> <p>足しっかり体操教室：生活機能の維持・改善のため、自重運動や体操を中心としたトレーニングを行う。</p>		
成果・実績	<p>二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした運動器の機能向上プログラムを実施した。</p> <p style="text-align: center;">実人数 360人</p>		
事業評価	教室を開催したことにより、二次予防事業対象者の健康保持・増進及び身体機能の改善等の介護予防に努めることができた。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業の実施手法の検討に努める必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	機能訓練事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課				
		決算額	16,048千円				
事業内容	<p>パワーリハビリ事業：医療制限を受けていない自力でトレーニング可能な65歳以上の人を対象に、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動等を行う。</p> <p>B型リハビリ教室：疾病等により閉じこもりがちな虚弱高齢者や障害のある人などを対象に、地域との交流を通じて「閉じこもり症候群」を防止し、生活機能の維持・改善を図る。</p>						
成果・実績	<p>介護予防の普及・啓発に資する機能訓練を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">パワーリハビリ事業参加者数（実人数）</td> <td style="text-align: right;">376人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">B型リハビリ教室参加者数（実人数）</td> <td style="text-align: right;">233人</td> </tr> </table>			パワーリハビリ事業参加者数（実人数）	376人	B型リハビリ教室参加者数（実人数）	233人
パワーリハビリ事業参加者数（実人数）	376人						
B型リハビリ教室参加者数（実人数）	233人						
事業評価	<p>教室を開催したことにより、一次予防事業対象者の健康保持・増進及び介護予防に努めることができた。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業の実施手法の検討に努める必要がある。</p>						

事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	健康生きがい課								
		決算額	362千円								
事業内容	<p>地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」及び「小地域包括ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。</p>										
成果・実績	<p>地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" style="padding-left: 20px;">延べ人員数</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">70人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">小地域包括ケア会議</td> <td style="text-align: right;">343人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">資質向上研修</td> <td style="text-align: right;">65人</td> </tr> </table>			延べ人員数		地域包括ケア会議	70人	小地域包括ケア会議	343人	資質向上研修	65人
延べ人員数											
地域包括ケア会議	70人										
小地域包括ケア会議	343人										
資質向上研修	65人										
事業評価	<p>地域包括ケア会議及び研修を行うことにより、関係団体及び多職種の連携を促し、地域包括ケアを推進することができた。今後も効果的な会議のあり方を検討し、関係団体等との連携体制の強化に努める必要がある。</p>										

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	在宅寝たきり者等訪問指導事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	212千円
事業内容	40歳以上65歳未満の在宅寝たきり者や家族など、支援が必要な者に対し、在宅療養条件の整備及びその健康の保持増進のため、訪問による保健指導を行う。		
成果・実績	居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。 実人数 11人		
事業評価	訪問保健指導により、在宅寝たきり者と家族の心身機能の維持改善を図ることができた。利用者ニーズ及び対象者の状況を把握する中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	訪問型介護予防事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	2,395千円
事業内容	二次予防事業対象者に対し、運動機能・口腔機能の向上、栄養改善、閉じこもり・うつ・認知症の予防のため、訪問による保健指導を行う。		
成果・実績	居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。 実人数 27人		
事業評価	訪問保健指導により、二次予防事業対象者の生活課題に対し適切に相談・指導を行うことができた。専門的な支援の充実等により効果的な事業実施を検討する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	介護予防普及啓発事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	216千円
事業内容	介護予防の重点項目を中心に、高齢者の健康管理等を見直すきっかけづくりとして介護予防に資する基本的な知識を普及・啓発するとともに、一次予防事業を周知する。また、各種健診等を周知し、リスクの高い二次予防事業対象者を把握し、適切な介護予防サービスにつなげる。		
成果・実績	65歳以上の高齢者に、介護予防の普及・啓発に資する介護予防教室を行った。 実人数 84人		
事業評価	市民への周知・啓発により、介護予防への意識の向上を図ることができた。適切な介護予防サービスにつなげるため、広報の見直し及びより効果的な事業の実施手法の検討に努める中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	認知症家族介護者支援事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	402千円
事業内容	認知症家族支援プログラムやOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。		
成果・実績	介護者家族に対し、認知症の理解を促進し、介護者同士の交流を図った。 延べ人数 家族支援プログラム 87人 OB会支援 94人		
事業評価	認知症家族支援プログラム及びOB会を実施したことにより、認知症の理解促進及び介護者同士の交流を図ることができた。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業の実施手法の検討に努める中で、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	健康生きがい課								
		決算額	9,528千円								
事業内容	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である初期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。										
成果・実績	認知症予防を目的とした教室や認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">認知症予防教室参加者数（実人数）</td> <td style="text-align: right;">119人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">928人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">脳活性化教室延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">2,490人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">キャラバン・メイト養成講座延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">32人</td> </tr> </table>			認知症予防教室参加者数（実人数）	119人	認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数	928人	脳活性化教室延べ参加者数	2,490人	キャラバン・メイト養成講座延べ参加者数	32人
認知症予防教室参加者数（実人数）	119人										
認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数	928人										
脳活性化教室延べ参加者数	2,490人										
キャラバン・メイト養成講座延べ参加者数	32人										
事業評価	教室の開催等により、認知症の正しい知識の普及・啓発に努めることができた。プログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業の実施手法の検討に努める中で、今後も引き続き実施する。										

事務事業名	生活支援ホームヘルプサービス事業費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	625千円				
事業内容	日常生活を営むのに支障のある65歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみの世帯で、介護保険認定非該当の人にヘルパーを派遣しサービスを提供する。						
成果・実績	体が弱いなどの理由により家事等の援助が必要となった高齢者の居宅をヘルパーが訪問し、掃除、買い物、洗濯、炊事などの支援を行った。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">実利用者数</td> <td style="text-align: right;">7人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">延べ利用回数</td> <td style="text-align: right;">246回</td> </tr> </table>			実利用者数	7人	延べ利用回数	246回
実利用者数	7人						
延べ利用回数	246回						
事業評価	ヘルパーを派遣し支援を実施したことにより、要介護認定非該当の高齢者の日常生活の向上を図ることができた。利用について、必要性の判断が難しく、今後は対象者の客観的要件の整理が必要であり、効果的な事業のあり方について検討する必要がある。						

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	老人保護措置費等	所管課	健康生きがい課
		決算額	113,692千円
事業内容	環境上及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難と認める65歳以上の高齢者について、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
成果・実績	<p>対象者について養護老人ホームに入所措置を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">措置延べ人数 654人</p> <p style="margin-left: 40px;">措置人数 59人 (平成26年度末現在)</p>		
事業評価	老人福祉法に基づき養護老人ホームへの入所措置を適正に実施したことにより、高齢者福祉の向上に努めることができた。老人福祉法に基づき、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	高齢者日常生活支援事業	所管課	健康生きがい課
		決算額	780千円
事業内容	高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるよう低所得（市民税非課税世帯）の高齢者による日常生活支援サービスの利用促進を図るため、日常生活支援サービスを実施する団体（非営利団体）が当該サービスに係る利用料を減免した場合に、当該減免部分について、対象者1人あたり年1万円を上限に助成する。		
成果・実績	<p>低所得の高齢者が利用した日常生活支援サービスの利用料の減免分について、助成を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">利用件数 451件</p>		
事業評価	低所得の高齢者が利用した日常生活支援サービスの利用料について助成することにより、利用者の負担軽減及び高齢者の福祉の向上を図ることができた。今後も引き続き利用者ニーズ等状況の把握、分析に努める必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	19,009千円
事業内容	<p>高齢化の進行により、寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者が増加しており、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供し、地域社会での日常生活を送れるよう援助する。シルバーホン設置、訪問活動事業への助成などを行う。</p>		
成果・実績	<p>在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。</p> <p>一人暮らし高齢者等訪問活動事業 1,946千円 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認や不安解消を行った。</p> <p style="padding-left: 40px;">対象者数 1,946人</p> <p>在宅ねたきり高齢者等見舞品支給事業 379千円 要介護認定3・4・5で在宅にて介護を受けている高齢者等に民生児童委員を通して見舞品を支給した。</p> <p style="padding-left: 40px;">支給者数 1,194人</p> <p>シルバーホン（緊急発信設備付電話）設置事業 15,106千円 本市に在住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に緊急時の連絡手段としてシルバーホンを設置した。</p> <p style="padding-left: 40px;">新規設置数 116台 年度末設置数 885台</p> <p>福祉電話の基本通話料の助成 1,536千円 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の基本料金等を助成した。</p> <p style="padding-left: 40px;">年度末助成対象者数 60人</p> <p>家具等倒壊防止金具購入の助成 42千円 家具等倒壊防止金具等を設置する高齢者（65歳以上の市民税非課税世帯）に、その金具等の費用を助成した。</p> <p style="padding-left: 40px;">助成件数 11件</p>		
事業評価	<p>（福）宇治市社会福祉協議会への補助及び民生児童委員との連携などにより、社会的支援が必要な高齢者の在宅生活を支援することができた。地域・他団体との連携のあり方を検討しながら、支援の改善を図り、今後も引き続き実施する。</p>		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人日常生活用具等給付費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	347千円						
事業内容	在宅で生活をしている65歳以上の一人暮らし高齢者等（市民税非課税）で、心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な者に電磁調理器・自動消火器を給付し、現に電話のない者に福祉電話を貸与・設置する。								
成果・実績	<p>一人暮らし等高齢者日常生活用具給付等事業 在宅で65歳以上の一人暮らし高齢者等（市民税非課税）で防火等の配慮が必要な者に電磁調理器・自動消火器を給付した。</p> <p style="text-align: center;">（台）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>給付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電磁調理器</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>自動消火器</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table> <p>福祉電話の貸与事業 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで、電話のない高齢者に福祉電話を貸与、設置した。</p> <p>設置件数 新規8件</p>				給付件数	電磁調理器	10	自動消火器	3
	給付件数								
電磁調理器	10								
自動消火器	3								
事業評価	一人暮らし高齢者に生活用具を給付することにより、在宅での生活の維持に努めることができた。利用者ニーズ等状況の把握、分析に努める中で実施する必要がある。								

事務事業名	介護予防安心住まい推進事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,448千円
事業内容	生活機能について回答する「お元気チェックリスト」による運動器の機能低下がみられ、かつ市民税非課税の世帯が、居住する住宅に介護保険給付対象工事をしたときに要した経費の一部を助成（認定工事の合計額3分の2（1世帯につき16万円限度））する。		
成果・実績	<p>要介護状態等になるおそれの高い状態にあると認められる高齢者の居住する住宅等について改造費の助成を行った。</p> <p>助成件数 13件</p>		
事業評価	住宅の介護保険給付対象工事へ助成することにより、転倒事故防止に努めるなど生活機能の維持向上を図ることができた。利用者ニーズ等状況の把握、分析に努める中で実施する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高年齢者成年後見制度助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,227千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、成年後見制度を利用することが有用であると認められるもので、成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難であるものに対して、報酬等を市が助成する。		
成果・実績	成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難であるものに対して、本人が成年後見人等に支払うべき報酬を助成した。 助成件数(成年後見人等報酬) 5件		
事業評価	後見人の報酬等を市が助成したことにより、認知症等判断能力が十分でない高齢者の権利保護を図ることができた。制度の利用状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	高年齢者成年後見制度助成費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	4,842千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にあるものについて、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行うとともに低所得者については後見人の報酬等を市が助成する。		
成果・実績	判断能力がないまたは乏しいことにより契約等の行為が行えない認知症高齢者等に対して、成年後見人等を選任するための申立の代行、費用の立替等を行った。 申立件数 12件		
事業評価	後見人を選任するための費用の立替等を市が助成したことにより、認知症等判断能力が十分でない高齢者の権利保護を図ることができた。制度の利用状況の把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	老人クラブ助成金	所管課	健康生きがい課
		決算額	5,488千円
事業内容	高齢者の心身の健康保持、社会参加を促進するため、老人クラブが自主的に行う教養講座、レクリエーション、社会奉仕、スポーツなどを年間を通じて恒常的かつ計画的に行えるため助成・育成を行い、老人クラブ活動の充実と発展を図り、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものとする。		
成果・実績	老人クラブの活動に対して助成し、育成・指導に努めた。 会員数 3,179人 クラブ数 60		
事業評価	宇治市連合喜老会への助成及び事業の委託料などを適正に執行したことにより、高齢者の生きがい活動を促進できた。平成27年度も継続実施するが、対象者のニーズの把握、分析に努め、助成のあり方等を含め今後の施策展開について検討する必要がある。		

事務事業名	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	所管課	健康生きがい課
		決算額	3,637千円
事業内容	一人暮らし高齢者等の不安と孤独感の解消と社会参加のため、地区社会福祉協議会と学区福祉委員会が実施している一人暮らし高齢者等給配食サービスに対し、補助することによって、在宅福祉の充実に向け、行政、地域住民などの連携やボランティアの育成、地区社会福祉協議会、学区福祉委員会の充実を図る。		
成果・実績	給配食サービスへの助成を行い、一人暮らし高齢者等の福祉の向上を図った。 延べ給配食数 10,392食		
事業評価	(福) 宇治市社会福祉協議会へ補助金を交付し給配食サービスへ助成したことにより、一人暮らし高齢者等の在宅福祉の充実を図ることができた。地域・他団体との連携等を強化し、より効果的な手法を検討しながら、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	在宅高齢者介護者激励金支給費	所管課	健康生きがい課
		決算額	20,088千円
事業内容	介護保険法における要介護3・4・5の認定を受けた65歳以上の高齢者を在宅で介護している人を対象に日常の介護を激励するため、在宅高齢者介護者激励金を支給し、高齢者福祉の増進を図る。平成18年度より基準日（10月1日）を年1回とし、支給要件の対象期間を基準日前1年間に見直した。		
成果・実績	<p>日常の介護を激励するため、要介護高齢者の介護者へ1人3万円の激励金を支給し、在宅高齢者福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">支給者数 669人</p>		
事業評価	要件に該当する対象者に激励金を支給したことにより、在宅で介護する家族の精神的・経済的負担を軽減することができた。日常の介護の状況を把握する中で、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	介護用具リサイクル事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	595千円
事業内容	市民等からリサイクル用に寄付を受けた福祉用具を、必要とする在宅寝たきり者等に貸与し、福祉用具を有効活用する。		
成果・実績	<p>福祉用具について、市民等から寄付を受け、修繕・貸与することで有効活用を図った。</p> <p style="text-align: center;">貸与数</p> <p style="text-align: center;"> 特殊寝台 22台</p> <p style="text-align: center;"> 車いす 8台</p>		
事業評価	寄付を受けた福祉用具を有効活用したことにより、在宅での介護を支援することができた。利用者ニーズ等状況の把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高齢者住宅改造助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,720千円
事業内容	介護保険法における要支援・要介護の認定を受けた人の日常生活を容易にし介護者の負担の軽減を図るためリフト・エレベーター設置工事等に要した経費の一部を助成（認定工事の合計額2分の1（1住宅につき30万円限度））する。（介護保険給付対象工事は除く。）		
成果・実績	<p>介助を要する高齢者等の居住する住宅等の改造費を助成し、福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成件数 6件</p>		
事業評価	介助を要する高齢者等の居住する住宅等の改造費を助成し、高齢者の経済的負担を軽減することにより、在宅における福祉の増進を図ることができた。ニーズ等の把握、分析に努めながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	高齢者あん摩・マッサージ・指圧・はり・きゅう施術費助成事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	12,968千円
事業内容	高齢者の健康の保持及び福祉の増進を図るため、はり・きゅう・マッサージ等の施術費の一部を助成する。（対象者は市民税非課税の満65歳以上の方。）		
成果・実績	<p>施術費の一部を助成し、健康の保持及び増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成券交付件数 2,309件</p>		
事業評価	対象者が受けた施術費を助成し経済的負担を軽減することにより、高齢者の健康保持・増進を図ることができた。高齢化の進行によって対象者数は増加しており、ニーズ等の把握、分析に努めながら、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金	所管課	健康生きがい課																																				
		決算額	126,994千円																																				
事業内容	介護基盤の緊急整備及び円滑な開設など施設整備事業を支援するため、府補助金の対象となる施設整備について、事業者へ補助を行う。																																						
成果・実績	<p>「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づいた施設整備等を計画的に進めるため、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金の対象となる施設整備等に対して、事業者へ補助金を交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">(千円)</th> <th colspan="2"><繰越分> (千円)</th> </tr> <tr> <th>施設種別</th> <th>補助金額</th> <th>施設種別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護基盤緊急整備特別対策事業</td> <td>39,100</td> <td>介護基盤緊急整備特別対策事業</td> <td>67,500</td> </tr> <tr> <td> 小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>30,900</td> <td> 小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点</td> <td>8,200</td> <td> 認知症対応型グループホーム</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>施設開設準備経費助成対策事業</td> <td>20,394</td> <td> 介護予防拠点</td> <td>7,500</td> </tr> <tr> <td> 認知症対応型グループホーム</td> <td>11,124</td> <td>合計</td> <td>67,500</td> </tr> <tr> <td> 小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>9,270</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>59,494</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			(千円)		<繰越分> (千円)		施設種別	補助金額	施設種別	補助金額	介護基盤緊急整備特別対策事業	39,100	介護基盤緊急整備特別対策事業	67,500	小規模多機能型居宅介護事業所	30,900	小規模多機能型居宅介護事業所	30,000	介護予防拠点	8,200	認知症対応型グループホーム	30,000	施設開設準備経費助成対策事業	20,394	介護予防拠点	7,500	認知症対応型グループホーム	11,124	合計	67,500	小規模多機能型居宅介護事業所	9,270			合計	59,494		
	(千円)		<繰越分> (千円)																																				
施設種別	補助金額	施設種別	補助金額																																				
介護基盤緊急整備特別対策事業	39,100	介護基盤緊急整備特別対策事業	67,500																																				
小規模多機能型居宅介護事業所	30,900	小規模多機能型居宅介護事業所	30,000																																				
介護予防拠点	8,200	認知症対応型グループホーム	30,000																																				
施設開設準備経費助成対策事業	20,394	介護予防拠点	7,500																																				
認知症対応型グループホーム	11,124	合計	67,500																																				
小規模多機能型居宅介護事業所	9,270																																						
合計	59,494																																						
事業評価	「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づく施設整備について、事業者へ補助金を交付することにより、介護施設整備を推進することができた。国、京都府の動向に注視し、計画に基づく整備補助を引き続き実施する。																																						

事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	85,925千円
事業内容	介護、福祉、医療、保健などのサービスを包括的・継続的に提供するために、平成18年度に地域包括支援センターを市内6カ所の日常生活圏域（東宇治南、北宇治圏域は支所も設置）に設置した。要支援者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、指定介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。		
成果・実績	<p>3職種の専門職を配置し、圏域内の高齢者の心身の状況に応じた介護予防ケアプランの作成、指定介護予防支援、高齢者やその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。</p> <p>新規相談者数（実人数） 4,382人</p>		
事業評価	国の指針に基づき日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援することができた。効率的な業務及び適切な体制の整備など、地域包括ケアの推進と包括的支援事業の充実に向けて、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	初期認知症総合相談支援事業	所管課	健康生きがい課
		決算額	15,609千円
事業内容	認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症コーディネーターを配置し、認知症の人とその家族への効果的な支援を行う。また、医療機関、介護サービス及び地域の支援機関の連携強化等による支援体制の構築を図る。		
成果・実績	認知症の人とその家族に訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型カフェを市内6圏域で32回開催し、認知症の人に社会参加ができる場や、居場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、加えて、認知症の人とその家族、地域住民に、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。		
	認知症スクリーニング訪問対象者数（延べ人数）	644人	
	認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数）	1,099人	
	認知症初期集中支援チーム対象事例数	65事例	
事業評価	認知症の初期の支援策を実施したことにより、住み慣れた地域での生活を支援することができた。認知症に関する正しい知識の普及、啓発など「認知症の人にやさしいまち・うじ」の具現化を図るための取り組みを、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	家族介護者支援事業費		所管課	健康生きがい課
			決算額	5,607千円
事業内容	<p>要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。 紙おむつ等購入費助成：要介護4・5の在宅高齢者の紙おむつ等を給付する。（月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等5千円上限、市民税非課税世帯） リフレッシュ事業：介護者の交流事業とともに、介護者の誕生日に花束を贈呈する。 家族介護慰労事業：要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。 家族介護者教室：介護者自身の健康づくりを目指し、健康管理等の知識を指導する。 はいかい高齢者家族安心事業：徘徊のおそれがある高齢者やその家族に、GPS機能を備えた機器の貸与費用等を助成する。</p>			
成果・実績	紙おむつ支給事業	2,526千円		
	助成件数	824件		
	リフレッシュ事業	2,710千円		
	介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。			
	参加人数	108人		
	介護者花束贈呈者数	543人		
	家族介護者教室	297千円	介護者交流会	
	介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。			
	参加者実数	45人		
	はいかい高齢者家族安心事業	73千円		
	年度未利用者数	8名		
事業評価	教室の実施及びサービス提供などにより、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減及び介護者同士の交流などを図ることができた。在宅生活を支える家族への支援は重要であり、介護者の状況及びニーズの把握、分析に努め、今後も引き続き実施する。			

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	二次予防事業対象者把握事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	7,322千円
事業内容	介護認定を持たない65歳以上の高齢者に対して、二次予防事業の対象者を決定するため、生活機能について回答する「お元気チェックリスト」の配布・回収を行う。平成24年度から平成26年度まで3年かけて全数把握を行う。		
成果・実績	<p>「お元気チェックリスト」の回答により二次予防事業対象者を決定し、二次予防事業への参加を呼び掛けた。</p> <p style="text-align: right;">配布対象者数 14,234人</p> <p style="text-align: right;">二次予防事業対象者数 3,828人</p>		
事業評価	当該事業により、二次予防事業対象者を把握し、二次予防事業へつなげることに努めた。把握した対象者に対して、生活機能の低下を防ぐなど、効果的な支援を実施する必要がある。また、全数把握の成果・効果を検証する必要がある。		

事務事業名	複合型介護予防教室開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	33,836千円
事業内容	二次予防事業対象者に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症について複合的に学ぶことで全身的な機能の改善を図る。		
成果・実績	<p>二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした複合型介護予防教室を市内10会場で行った。</p> <p style="text-align: right;">実人数 339人</p>		
事業評価	各プログラムを複合的に実施することにより、二次予防事業対象者の機能改善を図ることができた。他の事業との連携を図り、より効果的な事業実施の手法等の検討に努め中で、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部


事務事業名	介護予防施設整備費補助金	所管課	健康生きがい課
		決算額	20,000千円
事業内容	超高齢社会における介護予防施策の取り組みとして、介護予防事業の拡充を図るため、事業者が介護予防施設を整備する場合、当該整備に係る建設費について補助金を交付する。		
成果・実績	介護予防施設整備に係る建設費に対し、1施設につき、10,000千円の補助金を交付した。		
	整備法人	(福)くらしのハーモニー	10,000千円
	整備施設名称	ハーモニーやまはた	
	施設場所	宇治市木幡北山畑23-1	
	整備法人	(福)京都愛心会	10,000千円
	整備施設名称	特別養護老人ホーム宇治愛の郷	
	施設場所	宇治市槇島町石橋151-1	
事業評価	介護予防施設整備費補助金を交付したことにより、介護予防教室の定員増に努めることができた。高齢者の生活を支える総合的な制度のあり方について検討する必要がある。		

事務事業名	特別養護老人ホーム等建設費補助金	所管課	健康生きがい課
		決算額	22,325千円
事業内容	在宅介護が困難な寝たきり等の要介護高齢者の増加に伴い、「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づき整備された特別養護老人ホーム等の建設費に対し、補助金を交付する。		
成果・実績	整備法人	(福)京都愛心会	
	施設名称	特別養護老人ホーム宇治愛の郷	
	施設規模	特別養護老人ホーム 80床 ショートステイ 20床	
	整備場所	宇治市槇島町石橋151-1	
事業評価	「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づき整備された特別養護老人ホーム等の建設費に対し補助金を交付したことにより、要介護高齢者増加の対応に努めることができた。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	高年齢者保健福祉施策関連事業	所管課	健康生きがい課				
		決算額	5,608千円				
事業内容	高年齢社会対策協議会を開催し、「高年齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」の進行管理及び第6期計画の策定を行う。						
成果・実績	<p>保健・医療・福祉の各分野の関係者や一般公募の市民などが参画した「宇治市高年齢社会対策協議会」を開催し、平成24年3月に策定した「宇治市高年齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」（計画期間：平成24～26年度）に位置付けている高年齢者保健福祉施策及び介護保険事業を総括するとともに、すべての高年齢者が住み慣れた地域において、健やかに、生きがいをもって、安心して暮らすことができる地域社会と健康長寿日本一の実現を目指し、「宇治市高年齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画」（計画期間：平成27～29年度）を策定した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">高年齢者保健福祉施策推進費</td> <td style="text-align: right;">532千円</td> </tr> <tr> <td>高年齢者保健福祉計画等策定調査費</td> <td style="text-align: right;">5,076千円</td> </tr> </table>			高年齢者保健福祉施策推進費	532千円	高年齢者保健福祉計画等策定調査費	5,076千円
高年齢者保健福祉施策推進費	532千円						
高年齢者保健福祉計画等策定調査費	5,076千円						
事業評価	宇治市高年齢社会対策協議会での議論を踏まえて、「高年齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」の進行管理及び第6期計画の策定により、高年齢者福祉の推進に努めることができた。計画に基づき高年齢者福祉施策の推進を今後も引き続き実施する。						

事務事業名	デイホーム管理運営費	所管課	健康生きがい課								
		決算額	8,011千円								
事業内容	平成5年に国の地方分権特例制度の適用市町村（パイロット自治体）第1号の指定を受け、全国初の試みとして小倉小学校・平盛小学校の空き教室を改造し、デイサービスセンター・在宅介護支援センター・デイホームといった高年齢者福祉施設を開設し、高年齢者福祉の充実と、世代間交流や地域交流を促進するデイホームの管理・運営を行う。										
成果・実績	<p>市内2カ所のデイホームについて、管理者を指定し、管理運営を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">小倉デイホーム管理運営費</td> <td style="text-align: right;">4,059千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理者：（福）宇治明星園</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平盛デイホーム管理運営費</td> <td style="text-align: right;">3,952千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理者：（福）不動園</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			小倉デイホーム管理運営費	4,059千円	指定管理者：（福）宇治明星園		平盛デイホーム管理運営費	3,952千円	指定管理者：（福）不動園	
小倉デイホーム管理運営費	4,059千円										
指定管理者：（福）宇治明星園											
平盛デイホーム管理運営費	3,952千円										
指定管理者：（福）不動園											
事業評価	各デイホームを適正に管理運営する中で、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を実施したことにより、高年齢者の福祉向上を図ることができた。地域福祉の拠点としての役割及び利用効果などを検証する中で計画的な施設の修繕を行う。										

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康づくり・食育推進事業費	所管課	保健推進課
		決算額	4,752千円
事業内容	健康づくり推進プランと食育推進計画を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
成果・実績	<p>「宇治市健康づくり・食育推進計画」の策定に向けて、協議会を開催し、協議・検討を行った。</p> <p>協議・検討の結果、平成27年3月には宇治市健康づくり・食育推進計画を策定した。</p> <p style="margin-left: 20px;">協議会開催回数 3回</p> <p style="margin-left: 20px;">平成27年3月 宇治市健康づくり・食育推進計画 策定</p> <p style="margin-left: 40px;">成果物 計画冊子 500部</p> <p style="margin-left: 40px;"> 計画概要版 2,000部</p>		
事業評価	健康づくりと食育を一体的に推進する「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定することができた。今後は、新たな課題及び時代などに応じた健康づくり・食育についての施策を総合的、計画的に推進する必要がある。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業費補助金	所管課	保健推進課
		決算額	10,687千円
事業内容	山城北医療圏内において、第二次救急医療体制の整備に要する経費を補助し、休日（昼・夜）における初期医療を受けた救急患者（入院等を要する重傷患者）搬送の円滑化及び医療の確保を目的とする。		
成果・実績	4市3町で構成する山城北医療圏において専用病床を2床確保し、休日における二次救急医療体制を確立している。本市が事務局となり、12病院等へ補助を行った。		
事業評価	第二次救急医療体制を整備することにより、他自治体とも広域的に連携し救急患者の適切な治療を行うことができた。京都府や医療機関と協力・連携しながら引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課																														
		決算額	319,257千円																														
事業内容	予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																																
成果・実績	<p>予防接種法に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関等で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種乳幼児健診時、市民カレンダー、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">接種者数</th> <th style="text-align: center;">実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">BCG</td> <td style="text-align: center;">1,422</td> <td rowspan="12" style="text-align: center; vertical-align: middle;">協力医療機関等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不活化ポリオ</td> <td style="text-align: center;">1,132</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">四種混合</td> <td style="text-align: center;">5,433</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">三種混合</td> <td style="text-align: center;">477</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">二種混合</td> <td style="text-align: center;">957</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">麻しん風しん混合</td> <td style="text-align: center;">3,012</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">麻しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">風しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本脳炎</td> <td style="text-align: center;">6,414</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水痘</td> <td style="text-align: center;">2,859</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">BCG</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ヒブ</td> <td style="text-align: center;">5,690</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小児用肺炎球菌</td> <td style="text-align: center;">5,638</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">ヒブと小児用肺炎球菌は平成25年4月、水痘は平成26年10月より定期接種化</p>				接種者数	実施場所	BCG	1,422	協力医療機関等	不活化ポリオ	1,132	四種混合	5,433	三種混合	477	二種混合	957	麻しん風しん混合	3,012	麻しん	0	風しん	0	日本脳炎	6,414	水痘	2,859	BCG	12	ヒブ	5,690	小児用肺炎球菌	5,638
	接種者数	実施場所																															
BCG	1,422	協力医療機関等																															
不活化ポリオ	1,132																																
四種混合	5,433																																
三種混合	477																																
二種混合	957																																
麻しん風しん混合	3,012																																
麻しん	0																																
風しん	0																																
日本脳炎	6,414																																
水痘	2,859																																
BCG	12																																
ヒブ	5,690																																
小児用肺炎球菌	5,638																																
事業評価	予防接種法に基づき適正に執行し、感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。今後も、国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める必要がある。																																

事務事業名	妊婦健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	116,657千円
事業内容	健やかな母体と胎児の保健管理の向上を図るため、受診券を交付し、妊婦の経済的負担の軽減や、妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進する。		
成果・実績	<p>妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">母子健康手帳交付件数 1,455件 助成金額 115,456千円</p>		
事業評価	健診費用の適正な助成を行うとともに妊娠早期に母子健康手帳を発行することにより、適切な健康管理の促進と妊婦の経済的負担を軽減することができた。今後も健やかな母体と胎児の保健管理の向上に努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	9,144千円
事業内容	不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。		
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。</p> <p>平成26年11月からは男性不妊治療・不育治療等を新たに助成対象とし、平成26年10月1日以降に受診したこれらの治療について、男性不妊治療はTESE 20万円、MESA 5万円、1年度につき20万円まで、不育治療等は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成した。</p> <p style="text-align: center;">助成件数 431件</p>		
事業評価	不妊治療経費を助成することにより、対象者の経済的負担の軽減に努めることができた。少子化対策の推進に努める必要がある。		

事務事業名	乳幼児健康診査費	所管課	保健推進課																						
		決算額	27,405千円																						
事業内容	内科（小児科）健診、身体計測、保健・栄養指導などを実施し、必要に応じて個別の発達相談や栄養相談を行う。総合的な判断と指導により、乳幼児期の疾病や問題の早期発見をし、健やかな成長・発達を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。																								
成果・実績	<p>乳幼児期の健康の保持・増進を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">受診数（人）</th> <th style="width: 20%;">受診率（％）</th> <th style="width: 30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,365</td> <td style="text-align: center;">98.2</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">健やかセンター 月3～4回</td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,412</td> <td style="text-align: center;">96.8</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td style="text-align: center;">1,569</td> <td style="text-align: center;">94.9</td> </tr> <tr> <td>10か月児健診</td> <td style="text-align: center;">1,352</td> <td style="text-align: center;">93.6</td> <td style="text-align: center;">（一社）宇治久世医師会委託</td> </tr> <tr> <td>10か月児経過健診</td> <td style="text-align: center;">133</td> <td></td> <td style="text-align: center;">健やかセンター月1回</td> </tr> </tbody> </table>				受診数（人）	受診率（％）		3か月児健診	1,365	98.2	健やかセンター 月3～4回	1歳8か月児健診	1,412	96.8	3歳児健診	1,569	94.9	10か月児健診	1,352	93.6	（一社）宇治久世医師会委託	10か月児経過健診	133		健やかセンター月1回
	受診数（人）	受診率（％）																							
3か月児健診	1,365	98.2	健やかセンター 月3～4回																						
1歳8か月児健診	1,412	96.8																							
3歳児健診	1,569	94.9																							
10か月児健診	1,352	93.6	（一社）宇治久世医師会委託																						
10か月児経過健診	133		健やかセンター月1回																						
事業評価	子どもの発達段階にあわせた健診を実施することにより、乳幼児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。発達支援が必要な子の増加等により、育児不安となる親の相談件数が増えており、総合的な子育て支援を推進する必要がある。																								

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	パパママスタート開催費	所管課	保健推進課																				
		決算額	2,409千円																				
事業内容	妊娠・出産・育児についての正しい知識を広め、妊産婦・乳児の健康の保持・増進を図ることを目的として「母子健康手帳GET記念日」、「おいしい! たのしい! クッキング」、「パパ出番ですよ～沐浴にチャレンジ～」、「ハイリスク妊婦訪問」を行っている。																						
成果・実績	<p>妊婦やその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">母子健康手帳GET記念日</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 20%;">227人</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>パパ出番ですよ</td> <td>参加者数</td> <td>243人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クッキング</td> <td>参加者数</td> <td>160人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊婦訪問</td> <td>訪問件数</td> <td>40件</td> <td></td> </tr> </table>			母子健康手帳GET記念日	参加者数	227人		パパ出番ですよ	参加者数	243人		クッキング	参加者数	160人		参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む				ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	40件	
母子健康手帳GET記念日	参加者数	227人																					
パパ出番ですよ	参加者数	243人																					
クッキング	参加者数	160人																					
参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む																							
ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	40件																					
事業評価	教室の開催により、妊娠期の仲間づくりにつなげるとともに、父母ともに子育てするという意識を醸成することができた。今後は参加者数及び市民ニーズを踏まえ、より効果的な実施手法を検討する必要がある。																						

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課								
		決算額	445千円								
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身につけ、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。										
成果・実績	<p>親が乳幼児の食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">開催回数</td> <td style="width: 20%;">12回</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>230人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			開催回数	12回			参加者数	230人		
開催回数	12回										
参加者数	230人										
事業評価	教室の開催により、家庭での適切な離乳食の実践等、子の健康づくりを促進することができた。発達年齢に応じた支援を検討する中で、今後も引き続き実施する。										

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	乳幼児相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	1,183千円
事業内容	<p>生後2カ月から就学までの子どもと保護者を対象に、育児や発達上の相談に対応し、育児不安軽減等の育児支援及び虐待予防、地域の育児力向上を図る。また、乳幼児健診後のフォローの場としても位置付け、計測、栄養指導、保健指導、発達についての相談などを開催する。</p>		
成果・実績	<p>専門職が適切に対応することにより、育児不安の軽減、虐待予防、地域の育児力向上を図った。また、地域子育て支援センター等関係機関と連携し、簡便な育児相談の場とした。</p> <p style="margin-left: 40px;">開催回数 65回 相談者数 2,067人</p>		
事業評価	<p>保健師及び栄養士などの専門職が育児相談に対応することにより、育児負担の軽減等子育て支援を図ることができた。今後も子育て支援センターと連携し、市民が気軽に利用できる体制の充実に努める必要がある。</p>		

事務事業名	絵本ふれあい事業費	所管課	保健推進課
		決算額	3,781千円
事業内容	<p>3カ月児健康診査受診児と1歳8カ月児健康診査受診児保護者を対象に、親子がふれあうことで子育てが楽しくなるきっかけ作り、子育て支援を図る。絵本とのふれあい体験を行い、ブックスタートパックにメッセージを添えて渡す。</p>		
成果・実績	<p>3カ月児健診及び1歳8カ月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3カ月児健診の会場では、中央図書館の絵本ボランティアの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介や、遊び方の指導を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">3カ月児健診配付数 1,365人 1歳8カ月児健診配付数 1,412人</p>		
事業評価	<p>絵本の配付により、健やかな親子の関係づくりを促進することができた。図書館等との連携を図り実施方法の検討をしながら、今後も引き続き実施する。</p>		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	心身障害児通園事業費	所管課	保健推進課
		決算額	28,752千円
事業内容	市内に居住する心身障害児等の育成を助長するため、通園施設において児童及び保護者に対し、指導、訓練を行う。(福)宇治福祉園、(福)かおり福祉会及びNPOアジュール舎に、介護給付費のほか市単費補助金を交付する。		
成果・実績	<p>障害児通園(児童デイサービス)事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった児童に対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成26年度は待機児童がなかった。</p> <p style="text-align: center;"> 児童デイサービス 児童デイころぼっくる(アジュール舎) 宇治福祉園 かおり之園(かおり福祉会) </p>		
事業評価	心身障害支援のため事業者が運営する通園施設への補助金について適正に執行したことにより、心身障害児等の育成に努めることができた。発達支援が必要な児童は増加傾向にあり、利用ニーズの把握、分析に努めるとともに、国、京都府との連携などを検討する必要がある。		

事務事業名	発達相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	10,768千円
事業内容	健診、乳幼児相談及び家庭訪問などを通して、発育・発達上に問題がある子ども(疑いも含む)や、子どもへの関わりに不安や心配のある保護者に対し、発達相談(個別相談、診断)を実施し、今後の対応の方向性、家庭での具体的な関わりについての指導・援助を行う。		
成果・実績	<p>保護者が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築くとともに、子の健やかな成長を図った。</p> <p style="text-align: center;"> 開設数 820回 相談件数 1,137件 </p>		
事業評価	発達相談を実施することにより、子の健やかな成長支援に努めることができた。利用ニーズの把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	早期療育ネットワーク会議運営費	所管課	保健推進課
		決算額	188千円
事業内容	「宇治市早期療育ネットワーク会議」設置規程により、療育等の専門的な指導が必要な子どもの早期発見と早期に適切な指導が行われるよう、関係機関のネットワーク化、療育システムの確立を図るための検討と研究を行う。		
成果・実績	心身に障害のある子どもや発達上支援が必要と思われる子どもに対して、発達に応じた適切な療育指導を行うため、保健・福祉・教育・医療の関係者が集まって意見交換を行った。 開催回数 2回		
事業評価	療育に関わる関係機関とのネットワーク形成により、情報共有と業務連携を図ることができた。平成27年度も継続実施するが、引き続き的確な状況把握及び現状分析を踏まえ、国・京都府・関係機関との連携を図るなど支援体制を検討する必要がある。		

事務事業名	幼児期後期フォロー教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	1,976千円
事業内容	LD、ADHD、広汎性発達障害などの発達障害、またはその疑いのある幼児に対する早期支援として、各幼児の課題に合わせた発達支援を行い、保護者や就園先の関係者と必要な関わりや手立てを相談する。対象幼児の発達を促進し、障害から生じる困難を予防する。少人数の教室を開催し、保護者懇談や園連携を行う。		
成果・実績	個別指導と集団指導を時間を分けて実施し、個々の課題解決に取り組んだ。指導は、発達相談員、保育士、作業療法士が行い、幼児の発達を促した。また、保護者や幼稚園・保育所（園）等の担当者に幼児の特性を理解してもらい、適切な関わりを促し二次障害を防いだ。 開催数 1クール全7回を4クラス 月1回全10回を1クラス 処遇児数 27人		
事業評価	教室の開催により、幼児の発達段階に応じた子の健やかな成長支援に努めることができた。今後は、利用ニーズの把握、分析に努め、運営方法を検討する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	2,402千円
事業内容	1歳8カ月児健康診査の中で、発達面で経過をみていく必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師、保育士が運営する。		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">開催数 1クール全10回を4クラス 1クール全11回を2クラス</p> <p style="margin-left: 20px;">処遇児数 85人</p>		
事業評価	教室の開催により、適切な親子関係を築き、子の健やかな成長支援に努めることができた。発達支援が必要な児童は増加傾向にあり、利用ニーズの把握、分析に努め、運営方法を検討する必要がある。		

事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	保健推進課
		決算額	7,504千円
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けた者に、週1回水曜日（年末年始除く）、歯科サービスセンター（うじ安心館内）で、口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。		
成果・実績	<p>歯科サービスセンターにおいて、京都府宇治久世歯科医師会及び（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">診療日数 51日 受診者数 277人</p>		
事業評価	歯科サービスセンターにおける歯科治療等により、障害者の歯をはじめとする健康保持・増進を図ることができた。市民ニーズの把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	保健推進課									
		決算額	32,242千円									
事業内容	日曜、祝日、国民の休日及び年末・年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	（一社）宇治久世医師会・京都府宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数(人)</th> <th>診療日数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">1,865</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">542</td> <td style="text-align: center;">72</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数(人)	診療日数(日)	内科・小児科	1,865	70	歯科	542	72
	受診者数(人)	診療日数(日)										
内科・小児科	1,865	70										
歯科	542	72										
事業評価	休日、年末・年始における応急診療を行うことにより、市民の健康保持に努めることができた。感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できる体制を維持する必要がある。											

事務事業名	風しん予防接種助成事業費	所管課	保健推進課				
		決算額	490千円				
事業内容	妊婦と生まれてくる子の健康を守るため、京都府の助成制度を活用し、風しん予防接種にかかる費用を助成する。						
成果・実績	風しん（R）ワクチン及び麻しん風しん混合（MR）ワクチンを全額自己負担にて接種した後に、1人1回を限度に費用の2/3程度を助成した。 <table style="margin: 10px auto;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">助成者数</td> <td style="text-align: center;">90人</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td style="text-align: center;">490千円</td> </tr> </table>			助成者数	90人	助成額	490千円
助成者数	90人						
助成額	490千円						
事業評価	京都府が実施する抗体検査等で抗体価が低いと診断された対象者の風しん予防接種へ助成することにより、ワクチン接種を促進し妊婦と生まれてくる子の健康を守ることができた。京都府と連携し、今後も引き続き実施する。						

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康長寿部

事務事業名	未熟児養育医療費給付費	所管課	保健推進課・年金医療課
		決算額	15,648千円
事業内容	未熟児の養育に必要な医療の給付を行う。		
成果・実績	<p>入院養育にかかる「医療費（医療保険各法の適用範囲内）の患者負担額」及び「食事養育費の患者負担額」について、その自己負担額（食事療養費については標準負担額）の、一部を助成した。</p> <p style="margin-left: 20px;">給付決定児数 57人 給付延件数 158件 給付延日数 3,007日</p>		
事業評価	養育支援の必要な家庭を早期かつ的確に把握し必要な医療給付を行うことにより、未熟児の健やかな成長を図ることができた。給付状況の把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課
		決算額	6,853千円
事業内容	生後4カ月になるまでの乳児がいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩みや不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、乳児及びその保護者の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげる。		
成果・実績	<p>親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結び付ける。</p> <p style="margin-left: 20px;">訪問件数 701件</p>		
事業評価	乳児家庭を全戸訪問することにより、子育ての孤立化を防ぐとともに、適切な行政サービスの提供につなげることができた。今後も、関係機関等との連携及びその他の訪問指導事業との調整をする必要がある。		

平成 2 6 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	介護保険利用者負担軽減助成費	所管課	介護保険課											
		決算額	259千円											
事業内容	介護保険の現物給付を受ける著しく生活が困難な低所得の者の介護保険利用者負担について、社会福祉法人等が減免した場合に法人負担の一部を助成する。													
成果・実績	社会福祉法人等が行った利用者負担減額分について、当該法人に対して助成金を交付した。													
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">認定者数</td> <td style="width: 15%;">56人</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">(平成27年3月末現在、認定証を持っている人数)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">対象経費</td> <td>軽減額等</td> <td style="text-align: right;">239千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務費等</td> <td style="text-align: right;">20千円</td> <td></td> </tr> </table>			認定者数	56人	(平成27年3月末現在、認定証を持っている人数)		対象経費	軽減額等	239千円		事務費等	20千円	
認定者数	56人	(平成27年3月末現在、認定証を持っている人数)												
対象経費	軽減額等	239千円												
	事務費等	20千円												
事業評価	国制度に基づき低所得者の経済的負担の軽減を図ることができた。高齢者人口の増加及び近年の厳しい経済状況の中で、今後も引き続き、国制度に基づき適正に助成する必要がある。													

事務事業名	介護認定審査会費	所管課	介護保険課																												
		決算額	101,212千円																												
事業内容	公平・公正に要介護・要支援認定申請者の認定を行うため、認定調査や、介護認定審査会の運営を行う。																														
成果・実績	認定調査員や介護認定審査会委員への研修を行い、審査会運営の適正化を図った。																														
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">申請件数</td> <td style="width: 20%;">8,344件</td> <td style="width: 20%;">審査会開催回数</td> <td style="width: 20%;">240回</td> </tr> <tr> <td colspan="2">介護認定審査会委員報酬</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">14,625千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">介護認定審査会運営費</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">5,528千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">認定調査事務費</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">81,059千円</td> </tr> </table>			申請件数	8,344件	審査会開催回数	240回	介護認定審査会委員報酬		14,625千円		介護認定審査会運営費		5,528千円		認定調査事務費		81,059千円													
申請件数	8,344件	審査会開催回数	240回																												
介護認定審査会委員報酬		14,625千円																													
介護認定審査会運営費		5,528千円																													
認定調査事務費		81,059千円																													
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="6">認定者数(平成27年3月末現在)</td> <td style="text-align: right;">(人)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">要支援1</td> <td style="border: 1px solid black;">要支援2</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護1</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護2</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護3</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護4</td> <td style="border: 1px solid black;">要介護5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,257</td> <td style="text-align: center;">1,100</td> <td style="text-align: center;">1,840</td> <td style="text-align: center;">1,503</td> <td style="text-align: center;">1,220</td> <td style="text-align: center;">927</td> <td style="text-align: center;">822</td> </tr> <tr> <td colspan="6">合計</td> <td style="text-align: center;">8,669人(宇治市独自集計値)</td> </tr> </table>			認定者数(平成27年3月末現在)						(人)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	1,257	1,100	1,840	1,503	1,220	927	822	合計						8,669人(宇治市独自集計値)
認定者数(平成27年3月末現在)						(人)																									
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																									
1,257	1,100	1,840	1,503	1,220	927	822																									
合計						8,669人(宇治市独自集計値)																									
事業評価	介護保険法に基づき適正に執行し、要支援・要介護認定を行うことができた。法に基づき今後も引き続き実施する。																														

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	11,415,034千円
事業内容	要介護・要支援認定者が介護サービス・介護予防サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
		平成26年度	平成25年度
	介護サービス等諸費	10,855,391	10,770,810
	居宅介護サービス	4,359,725	4,152,355
	地域密着型介護サービス	1,184,333	1,103,415
	施設介護サービス	3,982,321	4,222,271
	特定入所者介護サービス	424,467	415,544
	その他	904,545	877,225
	介護予防サービス等諸費	547,543	490,300
	介護予防サービス	438,498	395,889
	地域密着型介護予防サービス	0	18
	特定入所者介護予防サービス	822	397
	その他	108,223	93,996
	その他諸費	12,100	13,443
審査支払手数料	12,100	13,443	
事業評価	国制度に基づき適正に給付した。今後も高齢者数の増加に伴い要介護・要支援認定者、サービス利用者が増加する見込みであり、持続可能な事業運営のため、的確に状況を把握し分析する必要がある。		

事務事業名	介護相談員派遣事業費	所管課	介護保険課
		決算額	1,926千円
事業内容	申し出のあったサービス事業者等に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質的な向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止することや、利用者や家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事前的な対応を行う。		
成果・実績	介護相談員を通して利用者の疑問や不安を事業者側へ伝え、解消・改善につなげた。また、事業所ごとのサービスの現状を把握した。		
	派遣事業所種別	派遣事業所数 (カ所)	派遣人数 (人)
	訪問回数 (回)		
	特別養護老人ホーム	7	16
	介護老人保健施設	2	5
グループホーム	13	22	
地域密着型特別養護老人ホーム	1	2	
事業評価	相談員の派遣を実施したことにより、利用者の疑問及び不安を解消しサービスの質の向上を図ることができた。相談員は利用者施設をつなぐ役割を担っており、相談員の資質の向上を図る必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	輝き支援 2015 福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課																																			
		決算額	822千円																																			
事業内容	介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数や介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。																																					
成果・実績	(一財)宇治市福祉サービス公社に委託し、ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象に研修を行った。																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">研修名</th> <th style="width: 20%;">参加者数(人)</th> <th style="width: 30%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修 -1</td> <td>38</td> <td rowspan="6">ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修 -2</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>ケアマネジャー向け研修</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所職員向け研修</td> <td>32</td> <td rowspan="9">介護サービス事業所職員</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所職員向け研修 -1</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所職員向け研修 -2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所職員向け研修 -1</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所職員向け研修 -2</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所職員向け研修</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所職員向け研修</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所職員向け研修</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所職員向け研修</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	参加者数(人)	対象者	ケアマネジャー向け研修 -1	38	ケアマネジャー	ケアマネジャー向け研修 -2	32	ケアマネジャー向け研修	55	ケアマネジャー向け研修	51	ケアマネジャー向け研修	32	ケアマネジャー向け研修	24	介護サービス事業所職員向け研修	32	介護サービス事業所職員	介護サービス事業所職員向け研修 -1	18	介護サービス事業所職員向け研修 -2	8	介護サービス事業所職員向け研修 -1	37	介護サービス事業所職員向け研修 -2	81	介護サービス事業所職員向け研修	64	介護サービス事業所職員向け研修	44	介護サービス事業所職員向け研修	46	介護サービス事業所職員向け研修	24
研修名	参加者数(人)	対象者																																				
ケアマネジャー向け研修 -1	38	ケアマネジャー																																				
ケアマネジャー向け研修 -2	32																																					
ケアマネジャー向け研修	55																																					
ケアマネジャー向け研修	51																																					
ケアマネジャー向け研修	32																																					
ケアマネジャー向け研修	24																																					
介護サービス事業所職員向け研修	32	介護サービス事業所職員																																				
介護サービス事業所職員向け研修 -1	18																																					
介護サービス事業所職員向け研修 -2	8																																					
介護サービス事業所職員向け研修 -1	37																																					
介護サービス事業所職員向け研修 -2	81																																					
介護サービス事業所職員向け研修	64																																					
介護サービス事業所職員向け研修	44																																					
介護サービス事業所職員向け研修	46																																					
介護サービス事業所職員向け研修	24																																					
事業評価	ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員に対し研修を実施したことにより、介護サービス事業者が提供するサービスの質の向上・確保を図ることができた。																																					

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課																													
		決算額	3,076,321千円																													
事業内容	平成24年度から平成26年度までの第1号被保険者の保険料は、第5期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等を基に算出し、13の段階の設定としている。																															
成果・実績	第1号被保険者数	49,626人	（平成27年3月末現在）																													
	保険料収納率	現年度分	99.01%																													
		滞納繰越分	8.95%																													
		合計	97.06%																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">保険料段階</th> <th style="width: 50%;">年間保険料額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1段階</td><td style="text-align: right;">27,950</td></tr> <tr><td>第2段階</td><td style="text-align: right;">27,950</td></tr> <tr><td>第3段階(特例措置)</td><td style="text-align: right;">40,370</td></tr> <tr><td>第3段階</td><td style="text-align: right;">46,580</td></tr> <tr><td>第4段階(特例措置)</td><td style="text-align: right;">52,790</td></tr> <tr><td>第4段階</td><td style="text-align: right;">62,100</td></tr> <tr><td>第5段階</td><td style="text-align: right;">68,310</td></tr> <tr><td>第6段階</td><td style="text-align: right;">80,730</td></tr> <tr><td>第7段階</td><td style="text-align: right;">102,470</td></tr> <tr><td>第8段階</td><td style="text-align: right;">121,100</td></tr> <tr><td>第9段階</td><td style="text-align: right;">139,730</td></tr> <tr><td>第10段階</td><td style="text-align: right;">158,360</td></tr> <tr><td>第11段階</td><td style="text-align: right;">183,200</td></tr> </tbody> </table>				保険料段階	年間保険料額(円)	第1段階	27,950	第2段階	27,950	第3段階(特例措置)	40,370	第3段階	46,580	第4段階(特例措置)	52,790	第4段階	62,100	第5段階	68,310	第6段階	80,730	第7段階	102,470	第8段階	121,100	第9段階	139,730	第10段階	158,360	第11段階	183,200
	保険料段階	年間保険料額(円)																														
	第1段階	27,950																														
	第2段階	27,950																														
	第3段階(特例措置)	40,370																														
	第3段階	46,580																														
	第4段階(特例措置)	52,790																														
	第4段階	62,100																														
	第5段階	68,310																														
	第6段階	80,730																														
第7段階	102,470																															
第8段階	121,100																															
第9段階	139,730																															
第10段階	158,360																															
第11段階	183,200																															
（基準額）																																
<p>保険料段階が第3段階(特例措置)又は第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている。</p>																																
事業評価	<p>現年度分の収納率については、「第5期介護保険事業計画」策定時に見込んでいる収納率を上回ることができた。厳しい経済状況の中ではあるが、今後も引き続き、ケースに応じた納付指導等、収納率の向上に努める必要がある。</p>																															

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 総合的な子育て支援の充実

所管部局
健康長寿部

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																								
		決算額	417,755千円																								
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成する。申請に基づいて乳幼児及び小学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式か償還給付方式で助成を行う。																										
成果・実績	<p>子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>受給者数 19,580人 扶助費 403,171千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 10%;">0歳</th> <th style="width: 10%;">1歳</th> <th style="width: 10%;">2歳</th> <th style="width: 10%;">3歳</th> <th style="width: 10%;">4歳</th> <th style="width: 10%;">5歳</th> <th style="width: 10%;">小学校卒業まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">現物給付（月200円負担）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td colspan="6" style="text-align: center;">市独自</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで	入院	現物給付（月200円負担）							外来	市独自						
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校卒業まで																				
入院	現物給付（月200円負担）																										
外来	市独自																										
事業評価	平成26年9月診療より市独自医療費無料制度を小学校卒業まで対象を拡大したことにより、乳幼児・児童の健康保持と子育て家庭の経済的負担の軽減をより一層図ることができた。少子化対策の一環として子育てに要する経済的負担の軽減は、本来国において対策すべきであり、引き続き国等へ要望する必要がある。																										

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	老人医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	369,358千円
事業内容	安心して医療を受けられるよう、65歳から69歳（平成26年度に限り臨時特例措置として70歳の方も対象）までの医療保険加入者で一定の条件に該当する者に対して、保険診療の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に規定する一部負担金相当額を除いて助成する。		
成果・実績	<p>対象となる医療費について助成を行った。</p> <p>受給者数 5,895人 扶助費 360,484千円</p>		
事業評価	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき適正に執行し、対象となる高齢者の経済的負担の軽減を図ることができた。国・京都府の動向を注視する中で、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	健康診査費	所管課	年金医療課
		決算額	55,543千円
事業内容	後期高齢者医療制度において努力目標として明記されている健診事業を行う。健診は疾病の早期発見に役立ち医療費の抑制につながるものとする。保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して事業を行う。		
成果・実績	6月2日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 受診者数 5,632人 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 健診委託料 55,278千円 </div>		
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、被保険者の健康の保持増進を図ることができた。今後も高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、的確な状況把握と医療費を抑制する効果を検証する必要がある。		

事務事業名	後期高齢者医療保険料（歳入）	所管課	年金医療課									
		決算額	1,781,870千円									
事業内容	平成20年度から施行された後期高齢者医療制度の保険料を徴収する。2年ごとに保険料の見直しが行われ、平成26・27年度保険料については、均等割額が47,480円に、所得割率が9.17%に改定された。											
成果・実績	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>被保険者数 20,669人</p> <p>保険料収納率</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>現年度分</td><td style="text-align: right;">99.65%</td></tr> <tr><td>滞納繰越分</td><td style="text-align: right;">25.56%</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">98.20%</td></tr> </table> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 5px;">保険料 (限度額57万円)</td></tr> </table> = <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 5px;">均等割額 (被保険者一人あたり) 47,480円</td></tr> </table> + <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 5px;">所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額(33万円)) × 9.17%</td></tr> </table> </div> </div> <p style="margin-top: 10px;">保険料軽減 世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて、保険料の被保険者均等割額が軽減される。 所得割額の算定に係る基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の場合、所得割額が5割軽減される。</p>			現年度分	99.65%	滞納繰越分	25.56%	合計	98.20%	保険料 (限度額57万円)	均等割額 (被保険者一人あたり) 47,480円	所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額(33万円)) × 9.17%
現年度分	99.65%											
滞納繰越分	25.56%											
合計	98.20%											
保険料 (限度額57万円)												
均等割額 (被保険者一人あたり) 47,480円												
所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額(33万円)) × 9.17%												
事業評価	京都府後期高齢者医療広域連合と協力して後期高齢者医療制度の適切な運営に努めることができた。今後も安定した事業運営のため、継続して収納に努める必要がある。											

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	年金医療課				
		決算額	6,711 千円				
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">224人</td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診補助金</td> <td style="text-align: right;">6,547千円</td> </tr> </table>			受診者数	224人	人間ドック受診補助金	6,547千円
受診者数	224人						
人間ドック受診補助金	6,547千円						
事業評価	被保険者を対象に、人間ドックに係る健診料を補助することにより、被保険者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。利用状況等の把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。						

事務事業名	障害基礎年金裁定請求等診断書料助成金	所管課	年金医療課				
		決算額	249千円				
事業内容	国民年金法に規定する障害基礎年金（障害厚生年金・障害共済年金と併せて請求するものは除く）の裁定請求等の際に要する診断書料の全部または一部を助成することにより、障害者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">助成件数</td> <td style="text-align: right;">86件</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td style="text-align: right;">249千円</td> </tr> </table>			助成件数	86件	助成額	249千円
助成件数	86件						
助成額	249千円						
事業評価	裁定請求等に要する診断書料の助成を行うことにより、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。利用状況等の把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。						

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課								
		決算額	439,943 千円								
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者並びにひとり親家庭児及びその親に対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち本人負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。										
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">重度障害者</td> <td style="text-align: right;">1,754人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ひとり親家庭児</td> <td style="text-align: right;">2,645人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ひとり親家庭児の親</td> <td style="text-align: right;">1,706人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">434,119千円</td> </tr> </table>			重度障害者	1,754人	ひとり親家庭児	2,645人	ひとり親家庭児の親	1,706人	扶助費	434,119千円
重度障害者	1,754人										
ひとり親家庭児	2,645人										
ひとり親家庭児の親	1,706人										
扶助費	434,119千円										
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象者の健康の保持と福祉の向上を図ることができた。対象者の経済的負担の軽減を図り、安心して医療が受けられるように引き続き実施する。今後も制度運営について研究する中で、引き続き京都府へ要望を行う必要がある。										

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課				
		決算額	156,590 千円				
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。						
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受給者数</td> <td style="text-align: right;">1,737人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">155,241千円</td> </tr> </table>			受給者数	1,737人	扶助費	155,241千円
受給者数	1,737人						
扶助費	155,241千円						
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、医療機関への受診の必要性が高い重度の障害のある高齢者の経済的負担を軽減することができた。高齢者の経済的負担の軽減を図り、安心して医療が受けられるように引き続き実施する。今後も制度運営について研究する中で、引き続き京都府へ要望を行う必要がある。						

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
中分類	07 年金・保険制度の運営	
小分類	01 年金・各種医療制度の運営	

事務事業名	在日外国人重度障害者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	1,728千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、既に重度の障害者となっている在日外国人は、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金に移行）の適用から除外され、無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>昭和56年12月31日以前に既に重度の障害があり、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金）の対象外とされた制度的無年金である在日外国人を対象に、月額36,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: right;"> 受給者総数 4人 支給額 1,728千円 </p>		
事業評価	<p>暫定措置として給付金を支給することにより、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成27年度も引き続き実施するが、国制度の不備を補うものであり、国事業としての実施を引き続き働きかける必要がある。</p>		

事務事業名	在日外国人高齢者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	1,000千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、大正15年4月1日以前生まれの在日外国人は、老齢年金を受給できず無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>大正15年4月1日以前生まれの制度的無年金者である在日外国人高齢者を対象に、月額10,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: right;"> 受給者総数 9人 支給額 1,000千円 </p>		
事業評価	<p>暫定措置として給付金を支給することにより、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成27年度も引き続き実施するが、国制度の不備を補うものであり、国事業としての実施を引き続き働きかける必要がある。</p>		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課	国民健康保険課																				
		決算額	94,347千円																				
事業内容	生活習慣病の予防による医療費削減を目的とし、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施する。メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。																						
成果・実績	<p>特定健康診査は、6月2日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。</p> <p style="text-align: center;">特定健康診査委託の支払件数と支払額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 12.5%;">22</th> <th style="width: 12.5%;">23</th> <th style="width: 12.5%;">24</th> <th style="width: 12.5%;">25</th> <th style="width: 12.5%;">26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td style="text-align: center;">8,614</td> <td style="text-align: center;">9,373</td> <td style="text-align: center;">9,293</td> <td style="text-align: center;">8,487</td> <td style="text-align: center;">9,596</td> </tr> <tr> <td>支払額(千円)</td> <td style="text-align: center;">55,159</td> <td style="text-align: center;">60,395</td> <td style="text-align: center;">80,067</td> <td style="text-align: center;">72,944</td> <td style="text-align: center;">86,715</td> </tr> </tbody> </table>					年度	22	23	24	25	26	件数	8,614	9,373	9,293	8,487	9,596	支払額(千円)	55,159	60,395	80,067	72,944	86,715
年度	22	23	24	25	26																		
件数	8,614	9,373	9,293	8,487	9,596																		
支払額(千円)	55,159	60,395	80,067	72,944	86,715																		
事業評価	高齢者の医療の確保に関する法律に基づきメタボリックシンドロームに着目した検査項目での健診を行ったことにより、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少に努めることができた。特定健康診査・特定保健指導を今後も引き続き実施する。																						

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	国民健康保険課																										
		決算額	54,157千円																										
事業内容	35歳以上の国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図り健康管理に対する自覚を深め、健全な保険給付を行うことを目的とし、半日人間ドック、脳ドックに係る健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。																												
成果・実績	<p>半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。</p> <p style="text-align: center;">ドック受診者数と決算額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 12.5%;">22</th> <th style="width: 12.5%;">23</th> <th style="width: 12.5%;">24</th> <th style="width: 12.5%;">25</th> <th style="width: 12.5%;">26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック(人)</td> <td style="text-align: center;">1,160</td> <td style="text-align: center;">1,134</td> <td style="text-align: center;">1,151</td> <td style="text-align: center;">1,162</td> <td style="text-align: center;">1,365</td> </tr> <tr> <td>脳ドック(人)</td> <td style="text-align: center;">580</td> <td style="text-align: center;">564</td> <td style="text-align: center;">587</td> <td style="text-align: center;">583</td> <td style="text-align: center;">650</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td style="text-align: center;">45,152</td> <td style="text-align: center;">44,073</td> <td style="text-align: center;">45,484</td> <td style="text-align: center;">45,506</td> <td style="text-align: center;">54,157</td> </tr> </tbody> </table>					年度	22	23	24	25	26	人間ドック(人)	1,160	1,134	1,151	1,162	1,365	脳ドック(人)	580	564	587	583	650	決算額(千円)	45,152	44,073	45,484	45,506	54,157
年度	22	23	24	25	26																								
人間ドック(人)	1,160	1,134	1,151	1,162	1,365																								
脳ドック(人)	580	564	587	583	650																								
決算額(千円)	45,152	44,073	45,484	45,506	54,157																								
事業評価	国民健康保険加入者を対象に人間ドック・脳ドック健診料を補助することにより、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。																												

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康長寿部

事務事業名	国民健康保険料（歳入）	所管課	国民健康保険課																				
		決算額	4,109,745千円																				
事業内容	保険料の設定にあたっては、現行制度内での事業運営を慎重に見定め、適切かつ可能な財源対策や将来見通しも精査し、財政収支の均衡を図ることを前提として検討するとともに、宇治市国民健康保険運営協議会への諮問に対する答申を尊重している。																						
成果・実績	加入世帯数 27,603世帯 （一般26,102世帯、退職1,501世帯） 被保険者数 46,644人 （一般44,426人、退職2,218人） （平成27年3月31日現在） 保険料収納率 現年度分 93.50% 合計 78.58% 滞納繰越分 8.79% 平成26年度 国民健康保険料率 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">医療給付費分</th> <th style="text-align: center;">後期高齢者支援金分</th> <th style="text-align: center;">介護納付金分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得割(%)</td> <td style="text-align: center;">8.37</td> <td style="text-align: center;">2.45</td> <td style="text-align: center;">3.53</td> </tr> <tr> <td>均等割(円)</td> <td style="text-align: center;">25,200</td> <td style="text-align: center;">7,300</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> </tr> <tr> <td>平等割(円)</td> <td style="text-align: center;">27,400</td> <td style="text-align: center;">7,800</td> <td style="text-align: center;">6,300</td> </tr> <tr> <td>賦課限度額(円)</td> <td style="text-align: center;">510,000</td> <td style="text-align: center;">160,000</td> <td style="text-align: center;">140,000</td> </tr> </tbody> </table>				医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分	所得割(%)	8.37	2.45	3.53	均等割(円)	25,200	7,300	10,000	平等割(円)	27,400	7,800	6,300	賦課限度額(円)	510,000	160,000	140,000
	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分																				
所得割(%)	8.37	2.45	3.53																				
均等割(円)	25,200	7,300	10,000																				
平等割(円)	27,400	7,800	6,300																				
賦課限度額(円)	510,000	160,000	140,000																				
事業評価	国民健康保険事業特別会計は単年度において収支均衡を図るものであり、当該年度の保険給付費等を見通して保険料収入を確保する原則に基づき、適切な事業運営を行うことができた。																						

平成26年度決算成果説明書


総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	道路台帳整備費	所管課	建設総務課
		決算額	13,585千円
事業内容	道路法第28条及び同法施行規則第4条の2に沿って、道路の変化した状況を図面と調書からなる道路台帳に的確に反映させ、効果的な道路行政を推進する。		
成果・実績	<p>道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供した。</p> <p>平成25年度中の道路改良工事や新規認定などによって変化した道路の状況及び占用物件の変更についての経年補正を行った。</p> <p>道路台帳経年補正業務委託料 13,500千円</p>		
事業評価	道路台帳を調製・保管及び閲覧に供することにより、道路管理事務の円滑な遂行と市民の利便性の向上を図ることができた。道路管理情報のより多目的な活用に向けて、課題について検討する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	辺地整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	42,820千円
事業内容	「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、東笠取地域・炭山地域における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、山間地における市民の生活環境の改善を図る。		
成果・実績	市道梅谷大平線の道路拡幅工事を行うほか、市道久田底広線の設計・調査等の委託業務を実施した。		
	市道梅谷大平線		
			
	着工前	完成	
事業評価	山間部における「辺地に係る公共施設の総合整備計画」に基づく道路改良工事を実施したことにより、幅員狭隘で通行することが危険な箇所を改善することができた。計画に基づき引き続き実施する。		

事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	40,421千円
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	市民等からの要望を受け、狭隘部の拡幅や舗装などの道路改良工事を実施した。平成26年度は、市道五ヶ庄24号線等について測量設計・調査や道路整備などを行った。		
	市道五ヶ庄24号線(道路改良工事)		
			
	着工前	完成後	
事業評価	市民の要望等により小規模な道路改良工事を実施したことにより、安全で安心な道路網が確保できた。要望等も多く、必要な箇所の道路改良について今後も引き続き実施する。		



平成 26 年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課																				
		決算額	54,742千円																				
事業内容	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール・カーブミラー・歩道の設置、段差解消などを実施する。																						
成果・実績	<p>交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。 8件の安全対策事業と市内全域の安全施設設置を実施した。また、2件の測量・調査等の委託業務を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">安全施設設置</td> <td style="text-align: right;">15,906千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">道路反射鏡設置 19基</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">防護柵設置 74m</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">警戒標識設置 11カ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">区画線設置 2,650m</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">安全対策事業</td> <td style="text-align: right;">22,237千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">宇治白川線</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">羽拍子宮北線ほか6件</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">測量・設計・委託工事等</td> <td style="text-align: right;">3,607千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">道路防災総点検</td> <td></td> </tr> </table> <p style="margin-top: 20px;">< 宇治白川線 ></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>			安全施設設置	15,906千円	道路反射鏡設置 19基		防護柵設置 74m		警戒標識設置 11カ所		区画線設置 2,650m		安全対策事業	22,237千円	宇治白川線		羽拍子宮北線ほか6件		測量・設計・委託工事等	3,607千円	道路防災総点検	
安全施設設置	15,906千円																						
道路反射鏡設置 19基																							
防護柵設置 74m																							
警戒標識設置 11カ所																							
区画線設置 2,650m																							
安全対策事業	22,237千円																						
宇治白川線																							
羽拍子宮北線ほか6件																							
測量・設計・委託工事等	3,607千円																						
道路防災総点検																							
事業評価	道路の安全対策に係る施設整備を実施したことにより、歩行者等の安全を図ることができた。今後も引き続き、地域の安全対策を図るとともに、重点課題である通学路安全対策についても実施する。																						

平成26年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	遊田線道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	3,814千円
事業内容	井川改修事業に伴う遊田橋架け替えにより市道遊田線の道路拡幅を行う。		
成果・実績	<p>市道遊田線の道路拡幅に必要な遊田橋の架け替え及び道路拡幅工事を府への委託を行い、平成27年3月に遊田橋周辺の道路改良工事を一定完了した。</p> <p>新遊田橋 平成25年6月供用開始</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> </div>		
事業評価	市道遊田線の道路拡幅工事を実施したことにより、安全で安心な道路網の確保及び歩行者等の安全確保を図ることができた。		

事務事業名	宇治国道踏切改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	17,945千円
事業内容	当該踏切は、幅員が狭く歩道と車道が分離されておらず、交差角も19度と鋭角であることから踏切の拡幅改良を行い、歩行者等の安全確保を図る。		
成果・実績	踏切の拡幅改良に必要な用地取得を完了した。		
	 <p>宇治国道踏切（現況）</p>		
事業評価	課題であった用地取得を完了することができた。鉄道事業者との円滑な調整を図りながら、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	新宇治淀線関連道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	38,962千円
事業内容	新宇治淀線のJR奈良線のアンダーパス区間において、沿道利用に必要となる北側側道の整備を行うとともに、新宇治淀線の供用とあわせた市道整備を実施する。		
成果・実績	<p>北側側道の整備に必要な用地取得を完了するほか、関連する市道広野町14号線の道路改良工事を実施した。</p> <p style="text-align: center;">市道広野町14号線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> </div>		
事業評価	大久保駅周辺地区整備構想に基づき、市道広野町14号線の整備及び課題であった北側側道の用地取得により、円滑な駅前誘導等の動線確保に努めることができた。京都府が行う新宇治淀線整備事業の完成時期（平成27年度末）との整合を図り、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	通学路安全対策事業費	所管課	道路建設課
		決算額	10,983千円
事業内容	平成24年度に発生した京都府亀岡市通学路交通事故を受けて実施した、通学路危険箇所調査（通学路緊急合同点検）結果に基づき、危険箇所等を「早期・中期・長期・未定（対策を要する）」に位置付け、通学路について順次、安全対策を実施する。		
成果・実績	通学路安全対策事業のうち、平成24年度は「早期」、平成25年度は、主として「中期」対策に位置付けられる事業を実施し、「早期」、「中期」対策事業について完了し、全170カ所中、133カ所を完了した。平成26年度は菟道188号線の歩道設置に先立ち、緑地帯改修工事を実施した。		
事業評価	通学路危険箇所の改修工事を実施したことにより、通学路の安全確保を図ることができた。「長期」対策箇所等について、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	大久保駅周辺地区整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	90,954千円
事業内容	大久保駅周辺地区において、交通結節機能及び駅周辺利用者の利便性の向上を図り、広域拠点にふさわしい魅力あるまちづくりを進める。		
成果・実績	<p>市道東裏西裏線（近鉄大久保駅東側）の一般送迎車両用の一時停車スペース、並びにシェルターの整備工事が平成26年8月に完成し、平成19年度から事業を行った大久保駅周辺地区整備事業が一定、完了した。</p> <p style="text-align: center;">市道東裏西裏線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> </div>		
事業評価	駅前広場の整備及び駅前広場の利便性をさらに高めるための周辺施設整備を実施したことにより、交通結節機能の向上及び歩行者ネットワークの充実を図ることができた。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業費	所管課	維持課
		決算額	129,688千円
事業内容	平成24年に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、本市で管理する318橋について修繕を実施する。		
成果・実績	<p>「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、宇治川橋の一部及び平町高架橋1の長寿命化の修繕工事を実施した。また、「橋下の道路、鉄道、公園等、第三者への被害」が想定される5橋について、点検を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着手前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>一部完成</p> </div> </div>		
事業評価	本市管理の道路橋について、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき修繕を実施したことにより、安全で快適な通行の確保と維持管理の省力化を図ることができた。今後も引き続き適切な施設管理に努める必要がある。		

事務事業名	私道改良事業費	所管課	維持課
		決算額	17,073千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良補修工事を実施する自治会等に対して、その対象工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
成果・実績	<p>実施数 5件 補助金額 17,073千円</p>		
事業評価	自治会へ補助を実施したことにより、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり要望も多く、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課	維持課
		決算額	835,926千円
事業内容	<p>道路を常に安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営により機動修理班が対応する。</p>		
成果・実績	<p>地元要望による側溝改修（5,259m）や舗装補修（19,921㎡）工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝等の清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植などの道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕301件、防災関係272件、交通安全施設の補修等271件、道路保全261件、浚渫80件で、全体では1,947件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は65件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p> <p>道路維持修繕事業費 733,738千円 街灯設置保全事業費 102,188千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>機動修理班による道路維持作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小倉町3号線ほか（側溝改修工事）</p> </div> </div>		
事業評価	<p>道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施したことにより、着実に道路等の環境整備及び安全な通行の確保を図ることができた。要望が年々増加しており、今後も引き続き実施する。</p>		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	大島・針ノ木排水機場管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	9,343千円
事業内容	国及び京都府からの委託に基づき、国土交通省所管である排水機場の操作保守業務を常駐体制（年間委託により操作員配置）により実施し、堂ノ川及び岡本川流域の内水排除と水害防除を図る。		
成果・実績	排水機場の操作保守を行った。 大島排水機場操作保守業務 4,784千円 針ノ木排水機場操作保守業務 4,548千円		
事業評価	適正に排水機場の操作保守業務を実施したことにより、流域の水害防除に努めた。		

事務事業名	井川・黄檗排水機場管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	20,873千円
事業内容	流域における水害防除のため、井川・黄檗排水機場の適切な運転と施設管理を行う。		
成果・実績	排水機場の操作保守及び施設管理を行った。 井川排水機場管理費（操作・機械・電気） 8,895千円 黄檗排水機場管理費（操作・機械・電気） 2,536千円 除草業務委託（黄檗） 308千円 消防設備点検（井川・黄檗） 73千円		
事業評価	適正に排水機場の運転と施設管理を行うことにより、流域の水害防除に努めた。今後も適切な施設管理に努める必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	排水路改廃事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	94,170千円
事業内容	都市化の進行に伴う保水機能の低下や、近年多発している局地的豪雨（ゲリラ豪雨）による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、排水路の改良工事を実施する。		
成果・実績	排水路の流下能力の向上を図るため、バイパス水路の設置や老朽化施設（排水路）の改良工事を行った。また、浸水対策として公園内に貯留施設を設置した。		
	藪里児童遊園雨水流出抑制施設設置工事 雨水貯留施設設置 貯留量 V=102m ³		13,309千円
	榎島8号排水路（その2）改良工事 BOX（0.8m×0.5m）工事延長 L= 83m		10,317千円
	榎島10号排水路改良工事 BOX（0.9m×0.8m）工事延長 L= 32m		6,991千円
	小倉5号排水路（その3）改良工事 老朽化護岸補修 工事延長 L= 23m		5,062千円
	菟道丸山地区排水路改良工事（浸水対策） 管渠（ 300mm） 工事延長 L= 46m		2,592千円
	宇治4号排水路改良工事 BOX（1.9m×1.0m）工事延長 L= 8m		11,149千円
	他工事 3件		11,290千円
	詳細設計等業務委託 7件 浸水対策等の調査、設計測量		11,147千円
	移設補償費 2件 工事に伴い、支障となるガス管等の移設		21,970千円
事業評価	排水路の流下能力の向上及び老朽箇所の補強改築工事を実施したことにより、各所で発生している浸水被害の軽減に向けた安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。「宇治市公共下水道（洛南処理区）雨水排除計画」との整合を図り、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	河川改修事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	22,993千円
事業内容	都市化の進行に伴う雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、市民の日常生活に関連した河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については重点整備を行う。		
成果・実績	<p>増水時に未改修部の土砂流出が懸念されるため、護岸改修工事に着手した。</p> <p>菟道大谷川（その2）護岸改修工事 工事延長 L= 50m 13,049千円</p> <p>戦川ほか河川基本調査業務委託 9,944千円</p>		
事業評価	河川の機能増強等を実施したことにより、雨水流出量の増大と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。		

事務事業名	河川維持管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	26,805千円
事業内容	河川施設等の機能の維持・向上に努め、流域の水害防除と沿川の環境整備を図る。		
成果・実績	<p>老朽化に伴う河川護岸等の補修工事や調査、測量設計業務を行った。</p> <p>宇治霊園敷地内調整池整備工事（その2） 貯留量 V=2,400m³ 19,153千円</p> <p>榎島町目川地区サイホン管補修工事 管渠（ 800mm ）L=16m 3,000千円</p> <p>他工事 6件 老朽化水路の維持修繕 4,181千円</p>		
事業評価	河川施設等の適正な維持管理を実施したことにより、排水機能の向上を図ることができた。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	名木川改修事業費	所管課	雨水対策課										
		決算額	123,123千円										
事業内容	<p>名木川流域の水害対策として流下能力不足区間の解消と、名木川散策道整備の一環として、沿川部の修景整備を行うなど快適な都市環境づくりを目標として、京都府が行う新宇治淀線整備事業と整合を図り、近鉄大久保駅周辺地区まちづくり整備事業において名木川改修事業を実施する。</p>												
成果・実績	<p>府道城陽宇治線から市道新田城陽線までの区間の改修工事が完成し、市道新田城陽線から市道一里山寺山線までの区間の改良工事に着手した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">準用河川名木川改修工事（A-3）工区 工事延長 L=83m</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">46,844千円</td> </tr> <tr> <td>準用河川名木川改修工事（B-3-1）工区 工事延長 L=42m</td> <td style="text-align: right;">26,987千円</td> </tr> <tr> <td>準用河川名木川修景工事 植栽工 一式</td> <td style="text-align: right;">9,381千円</td> </tr> <tr> <td>用地・物件補償</td> <td style="text-align: right;">38,728千円</td> </tr> <tr> <td>修正設計業務委託 他1件</td> <td style="text-align: right;">792千円</td> </tr> </table>			準用河川名木川改修工事（A-3）工区 工事延長 L=83m	46,844千円	準用河川名木川改修工事（B-3-1）工区 工事延長 L=42m	26,987千円	準用河川名木川修景工事 植栽工 一式	9,381千円	用地・物件補償	38,728千円	修正設計業務委託 他1件	792千円
準用河川名木川改修工事（A-3）工区 工事延長 L=83m	46,844千円												
準用河川名木川改修工事（B-3-1）工区 工事延長 L=42m	26,987千円												
準用河川名木川修景工事 植栽工 一式	9,381千円												
用地・物件補償	38,728千円												
修正設計業務委託 他1件	792千円												
	 <p>準用河川名木川改修工事（A-3）工区 完成写真</p>	 <p>準用河川名木川改修工事（B-3-1）工区 完成写真</p>											
事業評価	<p>平成26年度に事業用地の買収及び2工区の改修工事が完了したことにより、名木川流域の水害対策等を行うことができた。新宇治淀線の開通にあわせ調整を図りながら、今後も引き続き実施する。</p>												

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備

所管部局
建設部

事務事業名	洛南処理区整備事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	24,988千円
事業内容	年々激化する局地的豪雨による浸水被害の軽減を図るため、西宇治地域における広域的な雨水都市基盤整備事業として、公共下水道（洛南処理区）雨水排除計画に基づき、雨水貯留施設や排水路の整備等、効率的かつ効果的な整備に取り組んでいく。		
成果・実績	公共下水道（洛南処理区）雨水施設整備事業において、雨水貯留施設等の設計やバイパス水路工事を実施した。		
	測量・設計等業務委託	5,989千円	
	榎島18号系統排水路ほか改良工事 （ボックスカルバート設置 0.5m×0.5m）工事延長 L = 103m	6,720千円	
事業評価	移設補償 工事に伴い、支障となるガス管等の移設	12,080千円	
	公共下水道（洛南処理区）雨水施設整備事業を実施したことにより、浸水被害軽減を図ることができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち		
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備		建設部
小分類	01 良好な市街地の形成		

事務事業名	ウトロ地区住環境改善基本計画策定事業	所管課	住宅課
		決算額	19,110千円
事業内容	ウトロ地区の住環境を改善するため、国・京都府・市の三者連携のもと、ウトロ地区の住環境改善基本計画を策定する。		
成果・実績	<p>平成25年度策定のウトロ地区住環境改善事業基本構想をもとに「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」を策定し、国・京都府・宇治市で構成する「ウトロ地区住環境改善検討協議会」にて確認された。</p> <p style="padding-left: 20px;">ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画 概要</p> <p style="padding-left: 20px;">事業主体： 宇治市</p> <p style="padding-left: 20px;">計画期間： 平成27年度～平成32年度</p> <p style="padding-left: 20px;">主要事業： 公的住宅建設（61戸）</p> <p style="padding-left: 40px;">地区内及び地区周辺道路整備</p> <p style="padding-left: 40px;">排水路整備及び雨水貯留施設（西宇治中学校）整備</p> <p style="padding-left: 20px;">総事業費： 約31億円</p>		
事業評価	ウトロ地区の住環境を改善するため、国・京都府と連携し、「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」を策定することができた。今後は計画に基づいた具体的な事業実施に向けて取り組む必要がある。		


総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち		
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備		建設部
小分類	04 住宅の整備		

事務事業名	高齢者優良賃貸住宅供給事業費補助金	所管課	住宅課
		決算額	9,614千円
事業内容	高齢者の居住の安定の確保を図るため、高齢者の身体機能に対応したバリアフリー化や、入居者の緊急時に対応するシステムを備えた高齢者向け優良賃貸住宅を民間事業者等が整備・運営するにあたり、建設費、家賃などの一部補助を行う。		
成果・実績	<p>高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に対し、家賃減額補助金の交付を行った。</p> <p style="padding-left: 20px;">交付件数 1件</p> <p style="padding-left: 20px;">補助金額 9,614千円</p>		
事業評価	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者へ入居者の家賃減額分に対する補助を適正に執行することにより、高齢者の居住の安定に努めることができた。国制度の動向を注視しながら、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進	


事務事業名	名木百選保全費	所管課	公園緑地課
		決算額	484千円
事業内容	「宇治市名木百選保全要綱」に基づき調査・診断を実施し、保全のために処置が必要な場合には補助金を交付する。		
成果・実績	<p>貴重な名木を保全するため、全名木の調査を3年周期で行うとともに、申請に基づき処置が必要な名木に対し、適切な保全策を講じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名木調査委託料 20千円 ・補助金交付件数 2件 ・補助金 400千円 ・選定名木数 98本 		
事業評価	本市の緑のシンボルである名木の管理・保全を実施したことにより、緑化の啓発及び緑の保全を図ることができた。さらなる緑化啓発に向けて、市民により親しまれる名木を活用した取組を検討する必要がある。		


事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,591千円
事業内容	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園の一部や道路敷等の公共空をボランティア団体等に提供し、花や木を植えて花だん化する。		
成果・実績	<p>町内会や喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理に必要な花苗・肥料等の支給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花壇箇所数 64カ所 <div style="text-align: center;">  <p>まちかどふれあい花だん</p> </div>		
事業評価	ふれあい花だんを町内会・喜老会等に維持管理してもらうことにより、緑化意識の高揚を図るとともに、地域活動の支援を図ることができた。継続して事業に取り組むため、より多くの団体等が参画できる環境づくりに努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	1,550千円
事業内容	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」及び秋の都市緑化月間の「緑化フェア」を中心に啓発事業を展開する。		
成果・実績	<p>各種イベントの実施により多くの参加者に楽しみながら緑の大切さを伝えることができた。</p> <p>緑のウォークラリー 開催日 4月29日 開催場所 植物公園、太陽ヶ丘 参加者数 450人</p> <p>緑化フェア 開催日 10月12日 開催場所 植物公園 参加者数 3,800人</p>  <p style="text-align: center;">緑化フェア</p>		
事業評価	緑化啓発イベントを実施したことにより、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらったことができた。今後は、事業効果を検証しながら、イベント内容等の工夫に努める必要がある。		

事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,220千円
事業内容	本市の緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識や技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	<p>「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識や技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、イベント協力などの活動を行った。</p> <p>ボランティア登録数 58人(平成27年3月末時点)</p>  <p style="text-align: center;">ボランティア活動の様子</p>		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成とその活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア会員の増員と活動の幅を広げる手法などを検討する必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備	
小分類	02 公園・緑地の有効活用	

事務事業名	公園バリアフリー整備事業費	所管課	公園緑地課						
		決算額	26,538千円						
事業内容	公園施設のバリアフリー化基準等に基づき、安全で安心して公園を利用できるように公園施設のバリアフリー化及び遊具の更新を行う。								
成果・実績	<p>利用者の利便性の向上を図るため、園路や便所のバリアフリー化及び公園遊具の更新を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">園路及び便所のバリアフリー化</td> <td style="width: 50%;">1公園（榎島公園）</td> </tr> <tr> <td>遊具更新公園数</td> <td>9公園（朝日ヶ丘児童公園他）</td> </tr> <tr> <td>更新遊具数</td> <td>16基</td> </tr> </table>			園路及び便所のバリアフリー化	1公園（榎島公園）	遊具更新公園数	9公園（朝日ヶ丘児童公園他）	更新遊具数	16基
園路及び便所のバリアフリー化	1公園（榎島公園）								
遊具更新公園数	9公園（朝日ヶ丘児童公園他）								
更新遊具数	16基								
事業評価	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき都市公園のバリアフリー化対策を実施したことにより、利用者の利便性を向上させることができた。今後の公園のバリアフリー対策については、公園の利用実態に即した対策とする必要がある。								

事務事業名	公園管理費	所管課	公園緑地課										
		決算額	52,407千円										
事業内容	公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。												
成果・実績	<p>市内にある500カ所の公園のうち、公園公社が管理する6カ所を除く494カ所の公園の維持管理を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">公園管理報償費</td> <td style="width: 50%;">5,460千円</td> </tr> <tr> <td>清掃・パトロール</td> <td>3,383千円</td> </tr> <tr> <td>除草業務委託</td> <td>6,780千円</td> </tr> <tr> <td>高木剪定・薬剤散布</td> <td>21,218千円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>10,242千円</td> </tr> </table>			公園管理報償費	5,460千円	清掃・パトロール	3,383千円	除草業務委託	6,780千円	高木剪定・薬剤散布	21,218千円	光熱水費	10,242千円
公園管理報償費	5,460千円												
清掃・パトロール	3,383千円												
除草業務委託	6,780千円												
高木剪定・薬剤散布	21,218千円												
光熱水費	10,242千円												
事業評価	清掃及び剪定などについて地元自治会及び外部委託により、適正な管理に努め、公園利用を増進することができた。今後は、公園施設の管理・利用状況等把握する中で、計画的な修繕・更新を図る必要がある。												

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課						
		決算額	318,422千円						
事業内容	有料都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕などを（公財）宇治市公園公社を指定管理者として行い、利用者の利便性向上を図る。								
成果・実績	<p>各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用者の一層の拡大、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">指定管理料</td> <td style="text-align: right;">189,188千円</td> </tr> <tr> <td>人件費補助</td> <td style="text-align: right;">115,234千円</td> </tr> <tr> <td>体育館トレーニング室運営事業費</td> <td style="text-align: right;">14,000千円</td> </tr> </table>			指定管理料	189,188千円	人件費補助	115,234千円	体育館トレーニング室運営事業費	14,000千円
指定管理料	189,188千円								
人件費補助	115,234千円								
体育館トレーニング室運営事業費	14,000千円								
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。利用者の利便性向上のため、今後も適切な管理運営に努める必要がある。								

事務事業名	源氏ゆめぼたる事業費	所管課	公園緑地課				
		決算額	4,300千円				
事業内容	植物公園内において、蛍が永続的に棲息・繁殖可能な環境整備を行うことにより、毎年、植物公園入園者に蛍観賞の場を提供し、あわせて関連イベントを実施する。都市生活の中で身近に蛍に触れ合えることにより、市民生活に憩いと安らぎを与え、植物公園の集客力向上につなげる。						
成果・実績	<p>平成18年度に蛍の棲息地として整備した植物公園の「秋のゾーン」を中心に「蛍ナイト開園」を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">開催期間</td> <td style="text-align: right;">20日間(5月24日～6月15日)</td> </tr> <tr> <td>夜間入園者数</td> <td style="text-align: right;">14,465人</td> </tr> </table>			開催期間	20日間(5月24日～6月15日)	夜間入園者数	14,465人
開催期間	20日間(5月24日～6月15日)						
夜間入園者数	14,465人						
事業評価	市民等に蛍観賞の場を提供したことにより、植物公園の集客力向上を図ることができた。蛍の棲息環境を整え蛍観賞に限らず付加価値のある事業内容とするように努める必要がある。						

平成 2 6 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用







所管部局
都市整備部

事務事業名	黄檗公園再整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	61,673千円
事業内容	黄檗公園は、宇治市地域防災計画において防災拠点として位置づけられており、災害時における現地対策本部や避難場所などの機能を兼ね備えた都市公園として施設の再整備を行う。		
成果・実績	体育館のコミュニティアリーナにおいて、耐震壁設置、照明のLED化など改修工事を行った。		
事業評価	体育館耐震改修工事等黄檗公園再整備事業を実施したことにより、防災拠点としての機能強化を図ることができた。市の財政見通し等考慮しながら、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成


所管部局
都市整備部

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課								
		決算額	999千円								
事業内容	宇治市まちづくり・景観条例に基づくまちづくりへの市民参加を推し進めるため、まちづくり活動への支援を行うとともに、条例の趣旨・制度の周知を目的とした「まちづくり地域セミナー」や地域のまちづくり活動のリーダー育成を目的とした「まちづくり塾」を開催し、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を促す。										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"> 地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 9月8日～9月11日 目的 協議会の活動内容について紹介 </td> <td style="width: 40%; text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td> うじ井戸端会議 開催期間 9月10日 目的 協議会やまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報や意見の交換、交流 </td> <td style="text-align: center;"> 「地区まちづくり協議会パネル展」  </td> </tr> <tr> <td> 宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 2回開催 </td> <td></td> </tr> <tr> <td> 認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 4件 活動費助成件数 2件 </td> <td style="text-align: center;"> 「うじ井戸端会議」 </td> </tr> </table>			地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 9月8日～9月11日 目的 協議会の活動内容について紹介		うじ井戸端会議 開催期間 9月10日 目的 協議会やまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報や意見の交換、交流	「地区まちづくり協議会パネル展」 	宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 2回開催		認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 4件 活動費助成件数 2件	「うじ井戸端会議」
地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 9月8日～9月11日 目的 協議会の活動内容について紹介											
うじ井戸端会議 開催期間 9月10日 目的 協議会やまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報や意見の交換、交流	「地区まちづくり協議会パネル展」 										
宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 2回開催											
認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 4件 活動費助成件数 2件	「うじ井戸端会議」										
事業評価	まちづくり活動への支援を通じて市民参加の担い手を増やすことができた。自治会区域を活動範囲とする大きなまちづくり協議会は一定充足していることから、街区単位等での小さな協議会活動の広がりに向けた検討をする必要がある。										

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成

所管部局
都市整備部




事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園史跡ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	57,091千円
事業内容	平成21年7月に国史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の良好な保存、未来への継承を行うため、史跡公園の整備を行う。		
成果・実績	<p>史跡整備のためAゾーンの遺構再現に使用するGRCパネル133㎡を製作した。Bゾーンでは未調査部分の発掘調査を176㎡実施し、太閤堤が存在する旧河岸段丘部の形状と洲が茶畑へと転換していた部分の状況確認を行った。現地説明会では100名の参加があった。啓発普及のパンフレットを作成するとともに生涯学習センターで太閤堤フォーラムを開催し180名の参加を得た。</p>		
事業評価	史跡整備に向け事業進捗を図るとともに、発掘現地説明会及び太閤堤フォーラムを行うことにより、市民等に史跡の歴史的価値・必要性等を普及することができた。宇治川太閤堤跡の良好な保存・活用のため、周辺地域と一体となったまちづくりを今後も引き続き実施する。		

Bゾーン茶園跡部分の発掘の様子

事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園交流ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	25,829千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現に向け、平成21年7月に国の史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡を保存・活用していくため、歴史公園の交流ゾーンの整備を行う。		
成果・実績	<p>歴史公園交流ゾーンの整備に向けて、平成24年3月に国の認定を受けた、歴史的風致維持向上計画で示された「宇治の歴史・文化を分かりやすく情報発信する」や「歴史のまちにふさわしい観光振興を図る」などの基本方針を実現するため、情報発信・観光交流施設の機能等の見直しや、その運営を含めた民間活力の導入の検討を行った結果を受け、PFI方式の具体的な内容について検討し、PFI方式での実施に向けて、実施方針の公表に至るまでのスキーム検討から、事業者選定、契約の締結までに必要となる各種検討及び募集資料等の作成について取り組み始めた。また、事業費の財源を確保するため、国土交通省所管の補助金の交付申請に必要な「都市再生整備計画」の策定を行った。</p>		
事業評価	PFI導入可能性調査等、交流ゾーンの整備に向けた事業の進捗を図ることができた。今後も引き続き、PFIの具体的な内容について確認する中で、関係機関との調整に努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり	
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成	

事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	8,476千円
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定されたことから、その保全と活用を図るため、整備計画を策定するとともに、重要構成要素の修理・修景事業を推進し、白川地区・黄檗地区への重要文化的景観区域の拡大を目指す。		
成果・実績	<p>重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を2回開催した。修理事業としては江戸時代の茶師邸宅が残る上林春松家の長屋門の白壁塗り替え事業、茶商中村藤吉本店の表屋の壁塗り直し事業、宇治の著名な旅館であった旧菊屋萬碧楼建物の屋根修理事業を行った。また、全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、大分県日田市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2015を開催し50名の参加を得た。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>委員会の視察状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>修理中の上林春松家長屋門</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>文化的景観フォーラムの様子</p> </div> </div>		
事業評価	文化的景観フォーラムの実施及び重要構成要素の修理修景業務を実施したことにより、市民の文化的景観への理解度を高めることができた。今後も引き続き整備計画の策定を進め、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりに努める必要がある。		

事務事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	533千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現とともに平成24年3月に策定した宇治市歴史的風致維持向上計画により、（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園の整備等、様々な取組を総合的に実施する。		
成果・実績	<p>平成24年3月5日に国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣の3大臣認定を受けた法定計画の進行管理として、外部委員により構成され、計画の変更や進捗評価などを担う、歴史的風致維持向上協議会（以下「法定協議会」）の運営や、庁内の横断的な協議を行う組織である、歴史まちづくり推進調整会議の運営を行い、歴史的風致維持向上に資する取組の進行管理を実施した。</p> <p>また、（仮称）宇治川太閤堤跡歴史公園の整備と周辺のまちづくりについて、歴史的風致維持向上計画の充実と事業の追加を行うための意見を聴取するため、法定協議会の開催回数を増やすなど協議の拡充を図り、平成27年3月27日に3大臣の変更認定を受けた。</p>		
事業評価	法定協議会の開催により、計画事業の進捗管理とあわせた計画の変更認定を受けることができた。		



平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	52千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成していくために、市民参加による違反広告物の除却を行う。		
成果・実績	<p>違反広告物追放推進団体員として、3団体32人を登録し、違反広告物の撤去を行う。市民が自ら違反広告物を撤去することで、推進団体員以外の市民にも違反広告物に対する意識向上を図った。</p> <p>違反広告物撤去枚数 287枚（推進団体撤去枚数 30枚）</p>		
事業評価	市民と協働して違反広告物の除却を推進したことにより、良好なまちなみ形成と景観への意識向上を図ることができた。今後も、登録団体数の増加を図るとともに、登録団体と連携し、地域の目による抑止力向上及び景観への意識向上に努める必要がある。		



事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	2,442千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を行った。また、京都府、近隣市町村との意見交換や景観アドバイザーの助言などを受け、良好な景観の形成を推進していく。		
成果・実績	<p>景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の建築物（設計費含む、1件）、工作物（1件）、広告物（2件）に対して、景観形成助成を行った。</p> <p>本市の景観に寄与するだけでなく、地域の住民の景観に対する意識も高まった。</p> <p>また、景観アドバイザー会議を4回開催し、専門家の助言を受け良好な景観形成の推進を行った。</p>		
			
	改修前	改修後	
事業評価	景観計画重点区域における助成を実施したことにより、良好な景観の形成を図ることができた。今後は、地域住民の景観に対する意識を高め、住民が主体的に良好な景観の形成に取り組む手法を検討する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくりと景観の形成


所管部局
都市整備部


事務事業名	風致地区内建築行為等許可事務費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	207千円
事業内容	第2次地域主権改革一括法を受けて、平成27年4月より京都府から本市に市内4地区の風致地区に関する権限が移譲される。風致地区内建築行為等の審査・許可・指導を行うべく、条例及び規則制定など風致地区の受け入れ準備を行う。		
成果・実績	風致地区内の建築物等の規制に関する許可事務を本市が行う事となることから、宇治市風致地区条例・規則を制定するなど、権限移譲の受け入れ準備を行った。条例制定に際し、パブリックコメントを実施し、京都府、宇治田原町と協議し、まちづくり審議会、都市計画審議会、文化的景観検討委員会に報告を行った。		
事業評価	宇治市風致地区条例・規則を制定し、権限移譲の受け入れ準備を実施することができた。許可事務を行う中で、課題が生じた場合、景観計画を考慮した課題対処の手法を検討する必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	02 文化財保護と伝統文化の継承

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	3,567千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	<p>国宝の平等院鳳凰堂や宇治上神社本殿などの文化財指定建造物の修理をはじめ、京都府登録文化財三室戸寺鐘楼修理、宇治市指定無形民俗文化財の大幣神事など、11件に補助を行った。</p> <p>また、平成24年京都府南部地域豪雨災害復旧として京都府史跡萬福寺土塀の修理、平成25年9月の台風第18号接近による災害復旧として京都府史跡萬福寺天真院土塀修理の2件に補助を行った。</p> <div style="text-align: right;">  <p>平成修理が完成した平等院鳳凰堂</p> </div> <p>うち京都府南部地域豪雨災害対応分 500千円 うち平成25年9月の台風第18号接近による災害対応分 262千円</p>		
事業評価	文化財の修理等へ補助を実施したことにより、保全に努めることができた。今後も文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等に補助を行う中で、保存・活用に努める必要がある。		

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	11,365千円
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
成果・実績	<p>平安後期の貴族藤原基房の造営と伝わる重要な邸宅遺跡である木幡の松殿跡の内容確認のための発掘調査と測量を実施し、史跡指定等の保存措置に必要なデータを収集した。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため、菟道遺跡、池山古墳、松殿跡の緊急発掘調査3件の発掘調査監理を受託事業として実施した。</p> <div style="text-align: right;">  <p>松殿跡発掘調査の様子(国庫補助)</p> </div> <p>受託発掘調査 3件 1,365千円 国庫補助発掘調査 2件・試掘調査 2件 10,000千円</p>		
事業評価	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査及び調査記録の作成を行うとともに、広く発掘成果を公開することにより、文化財保護の啓発を図ることができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成


所管部局
都市整備部

事務事業名	開発指導事務費	所管課	開発指導課																			
		決算額	205千円																			
事業内容	無秩序な宅地開発を防止し、安全で良好な都市環境の形成と円滑な都市機能の発現を図るため、宅地開発事業及び特定用途建築行為を行う事業者に対し、本市の行財政に重要な影響を及ぼす公共・公益施設等の整備について適正な指導を行う。																					
成果・実績	<p>本市における宅地開発等について、「宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例」等関係諸法令に基づき指導した。</p> <p>開発指導事務費 205千円</p> <p>平成26年度における宅地開発等協力寄付金の納入については下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">宅地開発等協力寄付金 (歳入)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宅地開発事業</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: right;">12,227</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特定用途 建築行為</td> <td style="text-align: center;">集合住宅</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: right;">99,158</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集合住宅以外</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: right;">1,108</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: right;">112,493</td> </tr> </tbody> </table>					件数	金額(千円)	宅地開発事業		5	12,227	特定用途 建築行為	集合住宅	11	99,158	集合住宅以外	3	1,108	合計		19	112,493
		件数	金額(千円)																			
宅地開発事業		5	12,227																			
特定用途 建築行為	集合住宅	11	99,158																			
	集合住宅以外	3	1,108																			
合計		19	112,493																			
事業評価	宅地開発等について条例に基づき指導を実施したことにより、良好な居住環境の保全を図ることができた。今後も引き続き事業者に対して指導を行うとともに、本市のまちづくりへの理解と協力を求め、良好な居住環境の保全に努める必要がある。																					

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
都市整備部

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課
		決算額	33,000千円
事業内容	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律第6条」により、平成20年度に「宇治市建築物耐震改修促進計画」を策定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物（木造住宅・共同住宅）について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。</p>		
成果・実績	<p>9月21日に伊勢田小学校で行われた防災訓練他、各地域の防災訓練に参加し「耐震診断相談コーナー」の設置や、自治会の防災出前講座でのPR等の啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="flex: 1;"> <p>木造住宅耐震診断 75棟</p> <p>木造住宅耐震改修 38棟</p> <p>（本格改修30棟、簡易改修8棟）</p> </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div>		
事業評価	<p>耐震診断・耐震改修の助成制度を実施したことにより、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。今後も「宇治市建築物耐震改修促進計画」に定める目標数値達成に向け、さらなる啓発活動に努め、耐震化を促進する必要がある。</p>		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	2,368千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事や民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全・安心な建築物の供給、法的的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>建築確認等申請件数（計画通知を含む/計画変更含まず）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td>42</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td>516</td> <td>53</td> <td>19</td> <td>588</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>558</td> <td>55</td> <td>24</td> <td>637</td> </tr> </tbody> </table>				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	42	2	5	49	民間確認検査機関	516	53	19	588	合計	558	55	24	637
		建築物	昇降機等	工作物	計																		
本市	42	2	5	49																			
民間確認検査機関	516	53	19	588																			
合計	558	55	24	637																			
	<p>建築主から建築基準法に基づく申請を受け、建築確認処分を行った。 また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるよう、以下の各事業に取り組んだ。</p> <p>違反建築物対策（行政指導件数 25件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発や現場パトロールなどを実施した。 また、違反建築物に対する是正指導等を行った。</p> <p>長期優良住宅の認定（認定件数 98件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。</p> <p>建設リサイクル法に基づく業務（届出・通知件数 375件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のための広報や現場パトロールを実施した。</p> <p>省エネルギー法に基づく業務（届出件数 45件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について省エネルギー措置の届出と定期報告が義務付けられている。</p> <p>京都府地球温暖化対策条例に基づく業務（届出件数 8件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、一定規模以上の建築物に対して計画書等の届出が義務付けられている。</p>																						
事業評価	<p>パトロール等の啓発活動を実施したことにより、建築確認・検査制度の適正な執行及び適正な建築物の供給を担保することができた。今後は効果的な啓発内容を検討しながら、適正な建築物の供給に努める必要がある。</p>																						

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課																
		決算額	8,773千円																
事業内容	<p>駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者や通行車両などの安全確保を図る。</p>																		
成果・実績	<p>自転車撤去台数は年々減少している。撤去自転車のうち387台は所有者に引き取られ、その他は福祉施設に無償譲渡及び、有価物として売却を行った。</p> <p style="text-align: center;">放置自転車撤去台数等 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">24</th> <th style="width: 15%;">25</th> <th style="width: 15%;">26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去台数</td> <td style="text-align: center;">1,081</td> <td style="text-align: center;">962</td> <td style="text-align: center;">795</td> </tr> <tr> <td>返還台数</td> <td style="text-align: center;">501</td> <td style="text-align: center;">375</td> <td style="text-align: center;">387</td> </tr> <tr> <td>売却処理台数</td> <td style="text-align: center;">373</td> <td style="text-align: center;">272</td> <td style="text-align: center;">248</td> </tr> </tbody> </table>			年度	24	25	26	撤去台数	1,081	962	795	返還台数	501	375	387	売却処理台数	373	272	248
年度	24	25	26																
撤去台数	1,081	962	795																
返還台数	501	375	387																
売却処理台数	373	272	248																
事業評価	<p>自転車放置対策に係る啓発及び放置自転車の撤去などを実施したことにより、歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により、自転車放置禁止区域での放置自転車の数は確実に減少しており、引き続き放置防止対策に努める必要がある。</p>																		

事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課												
		決算額	4,804千円												
事業内容	<p>JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車場を設置し、管理・運営を行う。</p>														
成果・実績	<p>駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等が利用した。</p> <p>近鉄大久保駅前は駅前広場の整備に伴い閉鎖していたが、整備完了に伴い平成25年4月に供用を開始した。</p> <p style="text-align: center;">自動車駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">24</th> <th style="width: 15%;">25</th> <th style="width: 15%;">26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅前</td> <td style="text-align: center;">21,967</td> <td style="text-align: center;">19,375</td> <td style="text-align: center;">20,140</td> </tr> <tr> <td>近鉄大久保駅前</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">75,055</td> <td style="text-align: center;">109,414</td> </tr> </tbody> </table>			年度	24	25	26	JR宇治駅前	21,967	19,375	20,140	近鉄大久保駅前	-	75,055	109,414
年度	24	25	26												
JR宇治駅前	21,967	19,375	20,140												
近鉄大久保駅前	-	75,055	109,414												
事業評価	<p>指定管理者によって、適切に管理運営できた。迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、今後も適切な施設管理・運営に努める必要がある。</p>														

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	交通バリアフリー計画策定費	所管課	交通政策課
		決算額	1,276千円
事業内容	平成17年に策定した「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、市内のバリアフリー化に取り組んできたが、平成18年の法改正や平成23年に国の基本方針が見直されたことを受け、全体構想を見直すとともに、改訂した全体構想に基づき、基本構想を策定するなど、さらに市内のバリアフリー化を推進する。		
成果・実績	「宇治市交通バリアフリー検討委員会」を設置し、委員会での議論やパブリックコメントを経て「宇治市交通バリアフリー全体構想改訂版」を策定した。今回の改訂では新たに「木幡」「黄檗」「伊勢田」の3地区を重点整備地区と位置付けた。		
事業評価	交通バリアフリー検討委員会を設置し、平成26年度中にバリアフリー全体構想改訂版を策定することができた。今後は全体構想に基づき、市内のバリアフリー化に努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書



総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	02 公共交通機関の整備促進	

事務事業名	地域公共交通活性化事業費	所管課	交通政策課
		決算額	4,438千円
事業内容	バス路線の再編等により公共交通の利用が困難となった明星町・西小倉・槇島の3地域において公共交通を確保するため、地域住民と協働で「宇治市のりあい交通事業」に取り組む。また、全市的な利用促進に取り組み、公共交通の活性化を図る。		
成果・実績	<p>明星町地域では自治会が主体となって「宇治市のりあい交通事業」を活用し、路線バスの試験運行を実施し、収支改善のための利用促進に取り組んだ。西小倉、槇島地域においても地元説明会を開催するなど、のりあい交通事業の実施に向けて取り組んだ。</p> <p>また、西小倉、槇島地域で検討されているジャンボタクシー等の乗合運行許可のため必要であることから、平成25年度に設置した「宇治市公共交通活性化委員会」を平成26年11月に道路運送法に基づく「宇治市地域公共交通会議」に移行し、第1回の会議を開催した。</p> <p>その他、バス路線利用促進のため「宇治市おでかけマップ」を作成し、市ホームページに掲載するとともに、主な公共施設等へ配布した。</p>		
事業評価	「宇治市のりあい交通事業」に取り組むことにより、公共交通の確保に努めることができた。今後も地域住民と協働して移動手段確保に努めるとともに、全市的な公共交通の利用促進に努める必要がある。		

事務事業名	JR奈良線複線化事業補助金	所管課	交通政策課
		決算額	27,228千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業について、京都府・本市を含む沿線市町・JR西日本で締結した「基本協定書」「実施等に関する協定書」及び「実施等に関する変更協定書」に基づき、補助金をJR西日本に支出し事業の推進を図る。		
成果・実績	<p>JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に先立ち、環境影響評価法に基づく手続きのうち、「配慮書」「方法書」の手続きが完了し、「準備書」の手続きのうち、地元説明会が平成27年3月に完了した。</p> <p>平成25年度より引き続き行っている鉄道施設等の設計については順次行っており、京都駅改良工事の詳細設計については完了し、平成27年3月より着工を行った。</p>		
事業評価	事業にあたり環境影響評価法に基づく準備書の地元説明会及び京都駅改良工事の詳細設計が完了した。今後も引き続き、京都府、沿線市町及び事業者と調整しながら、事業進捗に努める必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	上下水道部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備	

事務事業名	管渠建設事業費	所管課	下水道計画課
		決算額	2,638,410千円
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、事業計画区域内において、管渠等の整備を行う。		
成果・実績	汚水管渠は16件の工事に着手し、4件を完了した。また、12件については、一部を平成27年度に繰り越した。なお、平成25年度からの繰越分はすべて完了した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">下水道工事(推進工法)</p>		
事業評価	汚水管渠の整備により、公衆衛生の向上及び水質の保全を図ることができた。「宇治市公共下水道整備計画」に基づき、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	処理場建設事業費	所管課	下水道計画課
		決算額	100,413千円
事業内容	東宇治処理区の管渠整備の進展・接続率の向上にあわせた下水処理施設の増設を行うとともに、さらなる処理水質の向上のため、高度処理化を図る。		
成果・実績	増加する流入下水水量に対応するため、昨年度に引き続き10池の増設工事等を実施した。また、処理水質の向上につなげるため、1池の高度処理化に着手した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>東宇治浄化センター</p>  <p>全景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9・10池</p> </div> </div>		
事業評価	東宇治処理区内の汚水を適正に処理したことにより、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を図ることができた。引き続き、処理水量・水質等の分析に努め、必要な施設整備を検討する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	上下水道部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備	

事務事業名	管渠維持管理費	所管課	下水道計画課
		決算額	56,319千円
事業内容	管渠等の下水道施設の維持管理として、調査・清掃・補修工事等を行うとともに、下水道施設の正確な把握のため下水道台帳の調製を行う。		
成果・実績	下水道施設補修工事の実施、下水道台帳調製、管渠内清掃などを実施した。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">管渠内清掃</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  清掃前 </div> <div style="text-align: center;">  清掃後 </div> </div>		
事業評価	下水道施設の維持管理を適切に実施したことにより、適切な機能保全につなげることができた。今後も、効果的、効率的な管渠老朽化の対応等長寿命化の取組に努める必要がある。		

事務事業名	処理場維持管理費	所管課	下水道計画課																					
		決算額	229,810千円																					
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、単独公共下水道で実施している東宇治処理区域内の汚水を、東宇治浄化センターにおいて処理し、良好な水質で河川に放流する。なお、平成26年度末時点では、8・9池において高度処理による浄化を行っている。																							
成果・実績	流入下水量は6,231千m ³ 、放流量は6,178千m ³ であり、水質は以下の通り。 <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">(mg/l、大腸菌群数は個/ml)</div> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>BOD</th> <th>SS</th> <th>大腸菌群数</th> <th>COD</th> <th>全窒素</th> <th>全りん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>流入下水</td> <td>152</td> <td>115</td> <td>1.2 × 10⁵</td> <td>77.4</td> <td>33.3</td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>放流水</td> <td>4.2</td> <td>4</td> <td>31</td> <td>9.8</td> <td>14.5</td> <td>2.16</td> </tr> </tbody> </table>				BOD	SS	大腸菌群数	COD	全窒素	全りん	流入下水	152	115	1.2 × 10 ⁵	77.4	33.3	2.45	放流水	4.2	4	31	9.8	14.5	2.16
	BOD	SS	大腸菌群数	COD	全窒素	全りん																		
流入下水	152	115	1.2 × 10 ⁵	77.4	33.3	2.45																		
放流水	4.2	4	31	9.8	14.5	2.16																		
事業評価	東宇治処理区域内の汚水を適正に処理したことにより、公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図ることができた。放流水質を維持するため適正な維持管理を、今後も引き続き実施する。																							

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備

所管部局
上下水道部

事務事業名	下水道普及費	所管課	下水道計画課			
		決算額	20,589千円			
事業内容	公共下水道の整備にあわせて各家庭、事業所などに、下水道に関する啓発活動、融資あっ旋制度の実施、未接続世帯の各戸訪問や文書送付を行う。特に、供用開始後3年を超える未接続世帯は水洗化普及促進員が訪問を行い、水洗化の普及促進を行う。					
成果・実績	下水道整備率 (各年度3月末の計画に対する下水道整備の進展度合)					
	年度	23	24	25	26	前年比 3.6ポイント増加
	整備率(%)	81.3	82.5	84.8	88.4	
	処理区域内人口(下水道が使用可能な人口) ÷ 下水道計画区域内人口					
戸数接続(水洗化)率 (各年度3月末の整備した下水道に対して接続した戸数の割合)						
年度	23	24	25	26	前年比 0.6ポイント減少	
接続率(%)	84.7	84.5	83.6	83.0		
水洗化戸数(下水道に接続した戸数) ÷ 処理区域内戸数						
水洗化普及促進員訪問戸数 3,018 戸 (接続戸数 101 戸)						
事業評価	供用区域の拡大に伴い未接続世帯が増加しており、下水道接続の勧奨を強化する必要がある。戸別訪問等を接続率の向上のため、今後も引き続き実施する。					

事務事業名	特定環境保全公共下水道維持管理費	所管課	下水道計画課
		決算額	7,152千円
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、志津川地域内の汚水を志津川浄化センターで処理し、良好な水質にして河川に放流する。		
成果・実績	放流量は、24千m ³ である。		
事業評価	志津川処理区の汚水を適正に処理したことにより、地域の公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図ることができた。適正な維持管理により放流水質を維持するため、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	05 上水道の整備

所管部局
上下水道部

事務事業名	簡易水道事業維持管理費	所管課	水道総務課・市民環境部環境企画課
		決算額	13,547千円
事業内容	昭和59年度より通水を開始した笠取地区簡易水道事業を運営する。		
成果・実績	笠取・二尾地域の生活用水の安定供給に努めた。 給水戸数 110戸 年間総配水量 63,564m ³		
事業評価	簡易水道施設の運転管理業務、水質管理業務などを適切に実施したことにより、生活用水の安定供給を図ることができた。平成27年度より簡易水道事業を上水道事業へ経営統合する。		

事務事業名	簡易水道事業施設再整備事業費	所管課	水道総務課・市民環境部環境企画課
		決算額	63,446千円
事業内容	施設の老朽化及び水源の硬度の上昇、水量不足の状況にある笠取簡易水道を上水道事業に統合し、安定的な給水の確保を図る。		
成果・実績	笠取簡易水道事業を上水道事業へ統合するための施設再整備に係る改良工事を実施した。 既設浄水場等改良工事 電気・機械設備等の改良		
事業評価	事業の進捗が予定より遅れていたが、上水道への統合が完了したことにより、安定的な給水の確保を図ることができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	事務事業点検評価事業費	所管課	教育総務課
		決算額	120千円
事業内容	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、その権限に関する事務・事業の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、結果を市民へ公表し議会に報告する。		
成果・実績	<p>教育委員会の基本方針に沿って効果的な教育行政が実施できたか、学識者とともに点検・評価し、市民への説明責任を果たした。</p> <p>学識経験者等謝礼 120千円</p>		
事業評価	法律に基づき事務事業点検・評価を実施したことにより、効果的な教育行政を進めることができた。市民にとって、よりわかりやすい点検・評価とするため、今後も学識者の意見を踏まえて目標達成度及び評価項目の設定等について検討する必要がある。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部


事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	36,269千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、小・中学校の学校図書館図書を充実させるとともに、学校司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	図書館教育充実事業費 19,200千円 拠点校7校に学校司書を配置し、各学校を巡回して児童・生徒の学習活動や読書活動の充実を図った。 図書館ボランティア養成事業費 69千円 ボランティア養成講座開催数 2回 ボランティア登録者数 436人 学校図書館図書充実費 小学校 9,600千円 中学校 7,400千円		
事業評価	図書の購入・配架、司書による支援及び図書館ボランティアの活動により、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図ることができた。事業成果の確認、検証をしながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校教育課
		決算額	129,609千円
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断の実施や環境衛生の確保に努め、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	園児、児童・生徒の健康診断や各種検診・検査を実施した。 小学校保健管理費 80,927千円 中学校保健管理費 35,317千円 幼稚園保健管理費 4,998千円 小学校心臓検診充実費 5,583千円 中学校心臓検診充実費 2,708千円 結核予防対策費 76千円		
事業評価	適切に健康診断及び各種検診・検査を実施したことにより、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図ることができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校教育課								
		決算額	18,735千円								
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の疲労を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。										
成果・実績	笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。（笠取小学校特認校児童の送迎を含む） <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">特認入学パンフレット印刷費</td> <td style="text-align: right;">69千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td style="text-align: right;">474千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td style="text-align: right;">15,924千円</td> </tr> <tr> <td>笠取第二小学校スクールバス購入費</td> <td style="text-align: right;">2,268千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			特認入学パンフレット印刷費	69千円	笠取地区通学バス等維持管理費	474千円	笠取地区通学バス等運行委託料	15,924千円	笠取第二小学校スクールバス購入費	2,268千円
特認入学パンフレット印刷費	69千円										
笠取地区通学バス等維持管理費	474千円										
笠取地区通学バス等運行委託料	15,924千円										
笠取第二小学校スクールバス購入費	2,268千円										
事業評価	通学用輸送車及び給食配送車の運行により、へき地における教育水準の維持・向上を図ることができた。山間部の通学と特認校制度維持のため、今後も引き続き実施する。										

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課				
		決算額	55,163千円				
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、教材備品の整備に関する規程を設けるなど学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材の充実を図る。						
成果・実績	小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">小学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">37,349千円</td> </tr> <tr> <td>中学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">17,814千円</td> </tr> </table>			小学校教材充実費	37,349千円	中学校教材充実費	17,814千円
小学校教材充実費	37,349千円						
中学校教材充実費	17,814千円						
事業評価	教材等の購入費用を適正に執行し、児童・生徒の教育環境を整備できた。国の方針等に基づき、教材の充実のため、今後も引き続き実施する。						

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課				
		決算額	150,021千円				
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校に必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">小学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">102,237千円</td> </tr> <tr> <td>中学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">47,784千円</td> </tr> </table>			小学校就学援助費	102,237千円	中学校就学援助費	47,784千円
小学校就学援助費	102,237千円						
中学校就学援助費	47,784千円						
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行し、児童・生徒の教育機会を確保することができた。全ての様々な生活環境の子どもが均等に義務教育を受けられるようにするため、今後も引き続き実施する。						

事務事業名	私立幼稚園就園助成費補助金	所管課	学校教育課												
		決算額	272,482千円												
事業内容	宇治市内に居住し、私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、国庫補助基準額による所得基準に応じて助成を行うことにより、保護者の経済的負担軽減と幼稚園教育の振興を図る。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">助成者数 (人)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">満3歳児</td> <td style="text-align: center;">83</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3歳児</td> <td style="text-align: center;">606</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4歳児</td> <td style="text-align: center;">801</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5歳児</td> <td style="text-align: center;">822</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">2,312</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">満3歳児は3歳の誕生日を迎えた園児</p>			助成者数 (人)		満3歳児	83	3歳児	606	4歳児	801	5歳児	822	合計	2,312
助成者数 (人)															
満3歳児	83														
3歳児	606														
4歳児	801														
5歳児	822														
合計	2,312														
事業評価	国庫補助基準に沿って適正に助成し、保護者の経済的負担を軽減することができた。国制度に基づき引き続き実施する。														

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	緊急安全対策事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	38,952千円
事業内容	幼稚園、小・中学校に、地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児、児童・生徒の安全確保を図る。		
成果・実績	<p>地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 38,420千円 35校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視</p> <p>幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 532千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。</p>		
事業評価	私立幼稚園の安全対策補助金を適正に執行するとともに、幼稚園、小・中学校で各種安全対策を講じたことにより、園児、児童・生徒の安全を確保することができた。活動実態の把握、分析とともに、他の地域安全活動との連携を検討しながら、引き続き安全確保に努める。		

事務事業名	学校版環境ISO実施事業費	所管課	学校教育課
		決算額	765千円
事業内容	幼稚園、小・中学校が環境問題に目を向け、身近な学校生活の中で環境に配慮した生活態度を実践するため、園児、児童・生徒、教職員が環境活動について計画、行動、点検、見直しを行う。		
成果・実績	各幼稚園、小・中学校において、園・校内の緑化運動や、ごみの分別、ペットボトルのエコキャップ回収運動、節電・節水など、環境に配慮した学習や活動を実施した。		
事業評価	学校版環境ISO事業を実施したことにより、自主的な環境活動を促進し環境意識を醸成することができた。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実


所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課
		決算額	11,805千円
事業内容	画一的な授業ではなく、地域や子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。		
成果・実績	小学校「総合的な学習の時間」推進費	6,448千円	
	主な学習内容		
	・国際（異文化）理解		
	・地域の環境と食生活		
	中学校「総合的な学習の時間」推進費	5,357千円	
	主な学習内容		
	・国際（異文化）理解		
	・緑化推進		
事業評価	社会人講師等によって従来の授業とは異なる総合的な学習を実施したことにより、幅広い教育振興を図ることができた。「宇治学」等体験的な学習機会の提供により、自主的・実践的な児童・生徒を育成できるようにするため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課・一貫教育課
		決算額	4,420千円
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。		
成果・実績	小学校特別支援教育費	2,498千円	
	うち扶助費（学校教育課分）	2,193千円	
	うち備品等（一貫教育課分）	305千円	
	中学校特別支援教育費	1,075千円	
	うち扶助費（学校教育課分）	875千円	
	うち備品等（一貫教育課分）	200千円	
	小学校21校38学級、中学校10校19学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。		
	小学校特別支援学級開設費（一貫教育課）	485千円	
	中学校特別支援学級開設費（一貫教育課）	362千円	
事業評価	就学奨励費の支給及び物品の購入などを実施したことにより、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会を確保することができた。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	1,826千円						
事業内容	児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。								
成果・実績	<p>児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>事業実施児童数</td> <td>9,472人</td> </tr> <tr> <td>事業実施率</td> <td>約89%</td> </tr> <tr> <td>平均実施回数</td> <td>27回</td> </tr> </table> 			事業実施児童数	9,472人	事業実施率	約89%	平均実施回数	27回
事業実施児童数	9,472人								
事業実施率	約89%								
平均実施回数	27回								
事業評価	フッ化物洗口を実施したことにより、児童の虫歯予防を推進することができた。状況を把握、分析する中で今後も引き続き実施する。								

事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校教育課									
		決算額	204,899千円									
事業内容	小学校給食運営の中で、本市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の条件整備を行う。											
成果・実績	<table border="0"> <tr> <td>調理業務委託料</td> <td>14校委託</td> <td>171,380千円</td> </tr> <tr> <td>嘱託栄養士配置</td> <td>10校</td> <td>26,374千円</td> </tr> <tr> <td>PEN食器等購入費</td> <td>PEN食器等の購入費用</td> <td>7,145千円</td> </tr> </table>			調理業務委託料	14校委託	171,380千円	嘱託栄養士配置	10校	26,374千円	PEN食器等購入費	PEN食器等の購入費用	7,145千円
調理業務委託料	14校委託	171,380千円										
嘱託栄養士配置	10校	26,374千円										
PEN食器等購入費	PEN食器等の購入費用	7,145千円										
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、PEN食器の導入等、学校給食環境の整備を行うことにより、成長期にある児童の健全な育成を推進することができた。計画的な給食食器の更新に努める中で、今後も引き続き実施する。											

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	


事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校教育課																								
		決算額	1,941千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを原則としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	<p style="text-align: center;">利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">6.0%</td> <td>西宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td style="text-align: center;">0.9%</td> <td>広野中学校</td> <td style="text-align: center;">0.9%</td> </tr> <tr> <td>宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.9%</td> <td>東宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> <td>木幡中学校</td> <td style="text-align: center;">0.6%</td> </tr> <tr> <td>榎島中学校</td> <td style="text-align: center;">1.0%</td> <td>黄檗中学校</td> <td style="text-align: center;">1.1%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	南宇治中学校	6.0%	西宇治中学校	0.5%	西小倉中学校	0.9%	広野中学校	0.9%	宇治中学校	0.9%	東宇治中学校	0.5%	北宇治中学校	0.5%	木幡中学校	0.6%	榎島中学校	1.0%	黄檗中学校	1.1%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
南宇治中学校	6.0%	西宇治中学校	0.5%																								
西小倉中学校	0.9%	広野中学校	0.9%																								
宇治中学校	0.9%	東宇治中学校	0.5%																								
北宇治中学校	0.5%	木幡中学校	0.6%																								
榎島中学校	1.0%	黄檗中学校	1.1%																								
事業評価	弁当が持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供したことにより、生徒の健全な発育を促進できた。利用状況の把握、分析に努める中で、今後も引き続き実施する。																										

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	教育情報ネットワークシステム環境整備事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	110,312千円						
事業内容	教育情報ネットワークのシステム環境の整備等を行うことで、急速に進む校務の情報化に対応し、かつセキュリティ対策も講じたネットワークに再構築し、学校イントラを取り巻く課題の解決を図る。								
成果・実績	<p>整備事業の第4期として、モデル校（南部小・西小倉中）以外の学校の教職員（非常勤職員除く）にコンピュータの貸与及びプリンターの配備などを行った。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">校務ネットワークシステム設定業務委託</td> <td style="text-align: right;">38,772千円</td> </tr> <tr> <td>校務支援システム拡張整備業務委託</td> <td style="text-align: right;">40,932千円</td> </tr> <tr> <td>校務ネットワークシステム周辺機器一式貸借</td> <td style="text-align: right;">30,608千円</td> </tr> </table>			校務ネットワークシステム設定業務委託	38,772千円	校務支援システム拡張整備業務委託	40,932千円	校務ネットワークシステム周辺機器一式貸借	30,608千円
校務ネットワークシステム設定業務委託	38,772千円								
校務支援システム拡張整備業務委託	40,932千円								
校務ネットワークシステム周辺機器一式貸借	30,608千円								
事業評価	モデル校以外の学校の教職員に対して教育情報ネットワークのシステム環境の整備等を実施したことにより、校務環境及びセキュリティ対策の充実を図ることができた。今後は、システムの安定的な運用のため保守管理に努め、適切な情報管理を図る必要がある。								

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

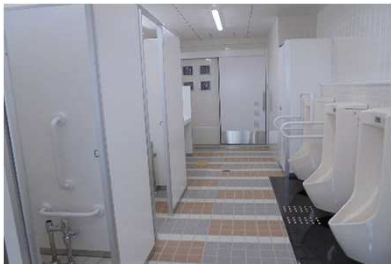
事務事業名	学校施設耐震改修事業費	所管課	学校教育課
		決算額	80,955千円
事業内容	平成18年度実施の第2次耐震診断の結果を踏まえ、補強が必要な建物について耐震性能を確保するため、耐震工事を実施する。		
成果・実績	耐震診断によって、耐震力が不足すると判断された学校施設について耐震工事を行った。 小学校耐震改修事業費 80,955千円 西小倉小学校給食棟耐震補強工事ほか		
事業評価	計画的に耐震補強工事等を実施したことにより、学校施設の耐震化を進めた。学校運営上の影響を最小限に抑えるよう努めながら、事業を実施することができた。		

事務事業名	宇治中学校改築事業費	所管課	学校教育課
		決算額	674,934千円
事業内容	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るため、老朽化した宇治中学校の改築を実施する。		
成果・実績	老朽化した宇治中学校の校舎改築・内部改修・屋外便所棟増築・サブグラウンド整備工事等を行った。 校舎改築工事 548,975千円 内部改修工事 31,053千円 屋外便所棟増築工事 60,753千円 サブグラウンド整備工事 13,540千円 工事に伴う配線整備・備品購入ほか 20,613千円		 
事業評価	校舎等の老朽化、耐震化に対応するため、改築工事を実施したことにより、良好な教育環境とすることができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	02 学校教育環境の充実

所管部局
教育部

事務事業名	幼稚園、小・中学校維持整備事業	所管課	学校教育課																											
		決算額	851,603千円																											
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化と損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施する。さらに、第2次学校施設整備計画に基づいて、トイレ改修や空調機の設置など大規模改造事業を実施する。																													
成果・実績	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">事業名</th> <th style="width: 40%;">主な内容</th> <th style="width: 30%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園維持修繕費</td> <td>各幼稚園施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">3,045千円</td> </tr> <tr> <td>幼稚園大規模改造事業費</td> <td>東宇治幼稚園進入路改修工事他</td> <td style="text-align: right;">11,173千円</td> </tr> <tr> <td>小学校維持修繕費</td> <td>各小学校施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">48,466千円</td> </tr> <tr> <td>小学校施設整備費</td> <td>榎島小学校公共下水道接続工事他</td> <td style="text-align: right;">128,459千円</td> </tr> <tr> <td>小学校大規模改造事業費</td> <td>小倉小学校便所改修工事他</td> <td style="text-align: right;">391,090千円</td> </tr> <tr> <td>中学校維持修繕費</td> <td>各中学校施設の小修理他</td> <td style="text-align: right;">24,547千円</td> </tr> <tr> <td>中学校施設整備費</td> <td>西小倉中学校公共下水道接続工事他</td> <td style="text-align: right;">66,998千円</td> </tr> <tr> <td>中学校大規模改造事業費</td> <td>西宇治中学校便所改修工事他</td> <td style="text-align: right;">177,825千円</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>			事業名	主な内容	事業費	幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	3,045千円	幼稚園大規模改造事業費	東宇治幼稚園進入路改修工事他	11,173千円	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	48,466千円	小学校施設整備費	榎島小学校公共下水道接続工事他	128,459千円	小学校大規模改造事業費	小倉小学校便所改修工事他	391,090千円	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	24,547千円	中学校施設整備費	西小倉中学校公共下水道接続工事他	66,998千円	中学校大規模改造事業費	西宇治中学校便所改修工事他	177,825千円
事業名	主な内容	事業費																												
幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	3,045千円																												
幼稚園大規模改造事業費	東宇治幼稚園進入路改修工事他	11,173千円																												
小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	48,466千円																												
小学校施設整備費	榎島小学校公共下水道接続工事他	128,459千円																												
小学校大規模改造事業費	小倉小学校便所改修工事他	391,090千円																												
中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	24,547千円																												
中学校施設整備費	西小倉中学校公共下水道接続工事他	66,998千円																												
中学校大規模改造事業費	西宇治中学校便所改修工事他	177,825千円																												
事業評価	施設の維持・保全により、園児、児童・生徒の安全確保と良好な教育環境整備を図ることができた。今後も計画的な施設の維持・整備及び施設の状態に応じた、適切な施設管理に努める必要がある。																													

事務事業名	給食・調理環境充実費（施設整備分）	所管課	学校教育課				
		決算額	38,499千円				
事業内容	給食調理室の衛生管理と調理業務従事者の労働安全衛生を確保するために、調理室内の整備を行う。						
成果・実績	<table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">菟道小学校給食調理室改修工事</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">37,929千円</td> </tr> <tr> <td>工事に伴う配線移設ほか</td> <td style="text-align: right;">570千円</td> </tr> </table>			菟道小学校給食調理室改修工事	37,929千円	工事に伴う配線移設ほか	570千円
菟道小学校給食調理室改修工事	37,929千円						
工事に伴う配線移設ほか	570千円						
事業評価	給食調理室を改修したことにより、衛生管理と調理業務従事者の労働安全衛生を図ることができた。						

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 総合的に進める教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	生涯学習課										
		決算額	1,878千円										
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、子どもが仲間と楽しく学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。												
成果・実績	<p>利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">視聴覚室</th> <th style="width: 20%;">音楽室</th> <th style="width: 20%;">美術室</th> <th style="width: 20%;">調理室</th> <th style="width: 20%;">図書室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">62件</td> <td style="text-align: center;">154件</td> <td style="text-align: center;">84件</td> <td style="text-align: center;">4件</td> <td style="text-align: center;">562人</td> </tr> </tbody> </table> <p>西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、ダンス、コーラス、楽器演奏など、日頃の活動の成果を発表した。</p>			視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室	62件	154件	84件	4件	562人
視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室									
62件	154件	84件	4件	562人									
事業評価	地域住民のニーズに応じた特別教室の開放により、地域の活性化を図ることができた。近年、登録団体数及び利用者数が減少傾向であり、地域の運営委員会及び事業のあり方について検討する必要がある。												

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	子どもの居場所づくり支援事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	238千円
事業内容	土曜日午前に公民館の一室を開放し、公民館サークルや地域ボランティアによる遊びや自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導を行う。子どもに生活体験・社会体験・自然体験の機会を提供し、健やかな成長を促す。		
成果・実績	遊びや自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導により、子どもたちが学校や家庭では経験できない種々の体験をし、優しさやたくましさを育む活動や場所を提供・支援した。5公民館で開催回数は65回、延べ1,359人が参加した。		
事業評価	公民館サークル及び地域住民の協力による種々の体験活動を実施したことにより、地域の人との触れ合いを通して子どもの健やかな成長を促すことができた。地域ぐるみでの子育て支援となるように創意工夫して、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課	
		決算額	144千円	
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。			
成果・実績	障害の種別に応じた講座を開催し、延べ466人の参加があった。			
	各障害者教室開催状況			
	内容	対象者	人数	
	やまぶき学級（2回）	心身障害者	95	
	やまぶきコーヒーハウス（11回）	心身障害者	209	
			社会見学	聴覚障害者
	社会見学	視覚障害者	24	
		健康講座	肢体障害者	11
		金融経済講座	視覚障害者	24
			聴覚障害者	57
事業評価	障害者団体及びボランティアと連携した教室の開催により、学習機会の提供及び仲間づくりに取り組み、障害者の自立と社会参加を促進することができた。参加人数の減少が課題であり、今後は事業の充実に向けて改善に取り組む必要がある。			



事務事業名	人材バンク事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	51千円
事業内容	市内を中心に活動する個人講師やグループの人材情報などを集めた「宇治市生涯学習人材バンク」を構築し、市ホームページ上と冊子版（市内公共施設に配布）で情報を提供することにより、総合的な市民の学習活動を促進する。また、登録講師の指導技術向上と人材バンクの広報のため、研修会・イベント等を開催する。		
成果・実績	ホームページと冊子版による情報提供のほか、広報や登録講師の意識向上を目的とした講座・研修会を開催して延べ90名が参加した。市役所1階においてイベント「展示と体験コーナー」（出展講師5組）を開設し、5日間で延べ134名が体験に参加した。		
	登録者数の推移 （人）		
	年度	18	19
	登録者数	149	172
	個人	107	127
	団体	42	45
	うち新規	-	23
	18	19	20
	21	22	23
	24	25	26
	127	121	125
	91	94	110
	30	31	34
	10	12	19
	15	8	7
	運用開始時（平成19年1月11日）の登録者数：125件		
事業評価	学びたい意欲を持つ人と自身の持つ力を発信したい人の双方のニーズに応え、市民の総合的な学習活動を促進することができた。利用実態の把握及び広報の工夫に努め、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費		所管課	生涯学習課																														
			決算額	141,349千円																														
事業内容	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																																	
成果・実績	<p>野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供するなど、生涯学習の推進を図った。平成11年度から26年度までの延べ利用者数は約133万人となった。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="6" style="text-align: center;">利用者数 (人)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> <th style="text-align: center;">25</th> <th style="text-align: center;">26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">宿泊</td> <td style="text-align: center;">41,417</td> <td style="text-align: center;">40,491</td> <td style="text-align: center;">40,370</td> <td style="text-align: center;">39,281</td> <td style="text-align: center;">37,489</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日帰り</td> <td style="text-align: center;">60,736</td> <td style="text-align: center;">65,131</td> <td style="text-align: center;">57,500</td> <td style="text-align: center;">60,778</td> <td style="text-align: center;">58,359</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">102,153</td> <td style="text-align: center;">105,622</td> <td style="text-align: center;">97,870</td> <td style="text-align: center;">100,059</td> <td style="text-align: center;">95,848</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数 (人)						年度	22	23	24	25	26	宿泊	41,417	40,491	40,370	39,281	37,489	日帰り	60,736	65,131	57,500	60,778	58,359	合計	102,153	105,622	97,870	100,059	95,848
利用者数 (人)																																		
年度	22	23	24	25	26																													
宿泊	41,417	40,491	40,370	39,281	37,489																													
日帰り	60,736	65,131	57,500	60,778	58,359																													
合計	102,153	105,622	97,870	100,059	95,848																													
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営できた。様々な野外活動を通じた生涯学習の充実を図るため、今後も適切な施設管理に努める必要がある。																																	

事務事業名	総合野外活動センター再整備事業費		所管課	生涯学習課
			決算額	131,809千円
事業内容	総合野外活動センター再整備事業費においては、来場者が安全・安心に施設利用できるよう、大規模修繕にかかる経費を計画的に計上している。			
成果・実績	<p>改修工事 106,213千円 平成26年度は、浴室、宿泊棟渡り廊下デッキ手すりなどについて、改修工事を行った。工事のため、12月2日より浴室及び宿泊棟の利用を休止していたが、平成27年3月から利用再開した。</p> <p>工事 25,596千円（繰越明許） 災害時（停電時）に体育館コンセントへ電力供給し、避難施設として利用できるように太陽光発電設備や蓄電池などを整備した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>太陽光発電パネル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>非常用コンセント</p> </div> </div>			
事業評価	適切な改修工事を実施したことにより、利用者の安全・安心の確保及び利便性を高めることができた。今後も適切な施設管理に努める必要がある。			

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課																																																			
		決算額	2,886千円																																																			
事業内容	<p>公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲や社会の変化に対応する各種講座や教室の開設、文化活動事業など、学習機会を提供する。</p>																																																					
成果・実績	<p>高齢者の生きがいづくり・健康づくりを目的に鳳凰大学や各公民館高齢者教室を開催し、子ども対象事業として茶道教室等を行った。また、市民が公民館で学習を通してつながりを作り、地域で活躍するスキルを身に付けてもらうよう、各館の特色を活かして事業に取り組んだ。</p>																																																					
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">中央公民館活動費</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">1,506千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木幡公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">344千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宇治公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">258千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小倉公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">489千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広野公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">289千円</td> <td></td> </tr> </table>			中央公民館活動費	1,506千円		木幡公民館活動費	344千円		宇治公民館活動費	258千円		小倉公民館活動費	489千円		広野公民館活動費	289千円																																					
	中央公民館活動費	1,506千円																																																				
	木幡公民館活動費	344千円																																																				
	宇治公民館活動費	258千円																																																				
	小倉公民館活動費	489千円																																																				
	広野公民館活動費	289千円																																																				
	高齢者を対象とした学級・講座等																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">公民館名</th> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">講座数</th> <th style="width: 20%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中央</td> <td>宇治鳳凰大学（4コース）</td> <td style="text-align: center;">各10</td> <td style="text-align: center;">4,398</td> </tr> <tr> <td>宇治鳳凰大学 大学祭</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治</td> <td>宇治鳳凰学級</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,163</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木幡</td> <td>許乃国教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,003</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小倉</td> <td>小倉蓮の実教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">836</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">広野</td> <td>広野久里古教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,086</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数	中央	宇治鳳凰大学（4コース）	各10	4,398	宇治鳳凰大学 大学祭	1	1,000	宇治	宇治鳳凰学級	8	1,163	木幡	許乃国教室	8	1,003	小倉	小倉蓮の実教室	8	836	広野	広野久里古教室	8	1,086																								
	公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数																																																		
	中央	宇治鳳凰大学（4コース）	各10	4,398																																																		
		宇治鳳凰大学 大学祭	1	1,000																																																		
	宇治	宇治鳳凰学級	8	1,163																																																		
	木幡	許乃国教室	8	1,003																																																		
	小倉	小倉蓮の実教室	8	836																																																		
広野	広野久里古教室	8	1,086																																																			
公民館まつり等																																																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">公民館名</th> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">回数</th> <th style="width: 20%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">中央</td> <td>公民館まつり（2日間）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2,000</td> </tr> <tr> <td>人形劇フェスティバル</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">400</td> </tr> <tr> <td>版画でつくる年賀状講座</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">63</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">宇治</td> <td>公民館まつり（2日間）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2,850</td> </tr> <tr> <td>宇治の形・学びの広場</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">71</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">木幡</td> <td>公民館まつり（3日間）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">675</td> </tr> <tr> <td>親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">120</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">小倉</td> <td>公民館まつり（2日間）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">822</td> </tr> <tr> <td>茶香服大会</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td>盆おどり大会・講習会</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">296</td> </tr> <tr> <td>小倉の歴史・まち歩き講座</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">広野</td> <td>ジャズコンサート</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">170</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">地域生涯学習 支援事業</td> <td>今昔しゃべり場</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">44</td> </tr> <tr> <td>ひろの人形劇</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">209</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	回数	参加延べ人数	中央	公民館まつり（2日間）	1	2,000	人形劇フェスティバル	1	400	版画でつくる年賀状講座	4	63	宇治	公民館まつり（2日間）	1	2,850	宇治の形・学びの広場	3	71	木幡	公民館まつり（3日間）	1	675	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4	120	小倉	公民館まつり（2日間）	1	822	茶香服大会	1	28	盆おどり大会・講習会	3	296	小倉の歴史・まち歩き講座	2	30	広野	ジャズコンサート	1	170	地域生涯学習 支援事業	今昔しゃべり場	10	44	ひろの人形劇	12	209
公民館名	事業名	回数	参加延べ人数																																																			
中央	公民館まつり（2日間）	1	2,000																																																			
	人形劇フェスティバル	1	400																																																			
	版画でつくる年賀状講座	4	63																																																			
宇治	公民館まつり（2日間）	1	2,850																																																			
	宇治の形・学びの広場	3	71																																																			
木幡	公民館まつり（3日間）	1	675																																																			
	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	4	120																																																			
小倉	公民館まつり（2日間）	1	822																																																			
	茶香服大会	1	28																																																			
	盆おどり大会・講習会	3	296																																																			
	小倉の歴史・まち歩き講座	2	30																																																			
広野	ジャズコンサート	1	170																																																			
	地域生涯学習 支援事業	今昔しゃべり場	10	44																																																		
		ひろの人形劇	12	209																																																		
事業評価	<p>公民館を拠点として多くの市民が参加・活動できる事業を実施したことにより、地域での交流及び生きがいづくり、地域づくりを進めることができた。今後も地域貢献に取り組む人材の育成に向けて、事業内容の工夫に努める必要がある。</p>																																																					

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	所管課	生涯学習課
		決算額	4,368千円
事業内容	<p>(一財)地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」として、平成19年度から平成28年度までの10年間の予定で、本市、宇治市教育委員会、(一財)宇治市体育協会、(公財)全日本ボウリング協会などの主催により中学生の全国ボウリング選手権大会を開催する。スポーツ推進とともに、多世代交流、地域交流などを図る。</p>		
成果・実績	<p>42の都道府県から選手196人の参加のもと、7月22日～24日の3日間で大会を実施した。さらに、大会参加者の宿泊所であるアクトパル宇治でお茶会・交流会を開催した。また、同大会の一環として、小学生を対象とした「ふれあいボウリング教室」や、小学4年生～中学2年生を対象とした「ジュニアボウリングスクール」を開催した。</p>		
事業評価	<p>大会の実施により、スポーツ推進及び地域交流を図ることができた。これまでの実績等の検証、分析に努め、今後の事業の在り方について検討する必要がある。</p>		

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	生涯学習課																										
		決算額	4,386千円																										
事業内容	<p>市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。</p>																												
成果・実績	<p>基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">府民総体選手派遣費</td> <td style="text-align: right;">696千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加団体数</td> <td>21団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">世界大会等参加者激励金</td> <td style="text-align: right;">2,670千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">交付件数</td> <td>207件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">交付人数</td> <td>284人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">生涯スポーツ育成事業</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(一財)宇治市体育協会に委託</td> <td>参加団体数</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">参加団体数</td> <td>13団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ジュニア技術講習会</td> <td style="text-align: right;">150千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">宇治市中学校体育連盟に委託</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">参加者数</td> <td>238人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">第22回宇部市・宇治市スポーツ交流大会</td> <td style="text-align: right;">500千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加者数</td> <td>206人</td> </tr> </table>			府民総体選手派遣費	696千円	参加団体数	21団体	世界大会等参加者激励金	2,670千円	交付件数	207件	交付人数	284人	生涯スポーツ育成事業	300千円	(一財)宇治市体育協会に委託	参加団体数	参加団体数	13団体	ジュニア技術講習会	150千円	宇治市中学校体育連盟に委託	参加者数	参加者数	238人	第22回宇部市・宇治市スポーツ交流大会	500千円	参加者数	206人
府民総体選手派遣費	696千円																												
参加団体数	21団体																												
世界大会等参加者激励金	2,670千円																												
交付件数	207件																												
交付人数	284人																												
生涯スポーツ育成事業	300千円																												
(一財)宇治市体育協会に委託	参加団体数																												
参加団体数	13団体																												
ジュニア技術講習会	150千円																												
宇治市中学校体育連盟に委託	参加者数																												
参加者数	238人																												
第22回宇部市・宇治市スポーツ交流大会	500千円																												
参加者数	206人																												
事業評価	<p>基金を活用して各取組を実施したことにより、市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図ることができた。今後も引き続き実施するが、基金は有限の財源であるため、活用については計画的な基金運用に努める必要がある。</p>																												

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	生涯学習課																				
		決算額	4,505千円																				
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。																						
成果・実績	<p>大会等に助成を行い、自主活動の促進や団体育成に努めた。</p> <table border="0"> <tr> <td>市長杯等各種競技大会補助金</td> <td>965千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>12,785人</td> </tr> <tr> <td>障害者スポーツ大会補助金</td> <td>340千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>664人</td> </tr> <tr> <td>地域体育振興事業補助金</td> <td>1,500千円</td> </tr> <tr> <td>加盟数</td> <td>39,173世帯</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団育成事業補助金</td> <td>1,100千円</td> </tr> <tr> <td>団体数</td> <td>63団体</td> </tr> <tr> <td>宇治川マラソン大会事業補助金</td> <td>600千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>2,452人</td> </tr> </table>			市長杯等各種競技大会補助金	965千円	参加者数	12,785人	障害者スポーツ大会補助金	340千円	参加者数	664人	地域体育振興事業補助金	1,500千円	加盟数	39,173世帯	スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円	団体数	63団体	宇治川マラソン大会事業補助金	600千円	参加者数	2,452人
市長杯等各種競技大会補助金	965千円																						
参加者数	12,785人																						
障害者スポーツ大会補助金	340千円																						
参加者数	664人																						
地域体育振興事業補助金	1,500千円																						
加盟数	39,173世帯																						
スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円																						
団体数	63団体																						
宇治川マラソン大会事業補助金	600千円																						
参加者数	2,452人																						
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、本市の競技レベルの向上及び市民スポーツの推進を図ることができた。ニーズ等を考慮しながら、今後も引き続き実施する。																						

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	講座等開催費	所管課	一貫教育課
		決算額	252千円
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修への助成を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績	<p>一般研修 開催数 25回 受講者数 874人 道徳教育公開授業講座、中堅教職員研修講座、人権教育研修講座など</p> <p>専門研修 開催数 2回 受講者数 64人 小学校外国語活動研修講座 小学校外国語活動公開授業講座</p> <p>情報教育研修 開催数 9回 受講者数 96人 ICT活用講座、情報モラル教育研修講座など</p>		
事業評価	多くの教職員が参加したことにより、指導力の向上を図ることができた。近年は大量退職に伴う新規採用の教職員が多く、多様な教育課題に対応できる学校全体の教育力の維持・向上と人材育成を進めるため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	一貫教育課
		決算額	7,984千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上及び希望進路の実現を図るため、非常勤講師の配置や補習授業・学習相談の実施、教材・参考図書の配布などを行う。		
成果・実績	<p>小学校では、全校児童を対象に少人数指導や個別指導、補習授業などを実施した。</p> <p>中学校では、全校生徒を対象にした授業支援とともに、希望者を対象とした補習授業やテスト前の学習相談会などを実施した。</p> <p>指導方法や指導機会の方策について全小・中学校へ啓発するとともに、児童・生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配布等を行った。</p>		
事業評価	少人数指導及び個別指導などを実施したことにより、児童・生徒の学習への意欲向上を図ることができた。今後は対象となる児童・生徒の補習授業、学習相談への参加率を上げるため、学校・家庭と連携しながら、指導方法を工夫し、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	教育研究費	所管課	一貫教育課																		
		決算額	2,643千円																		
事業内容	<p>様々な教育課題を解決するため、指導主事と教育研究員が協働して学校教育に係る指導・助言や相談を行う。また、教育研究員が日常の教育実践に基づいた教育研究を行い、学校教育の充実を図る。</p> <p>平成25・26年度の2カ年計画で「家庭学習促進実践研究指定事業」を2中学校ブロックに研究校として指定し、家庭学習の定着に向けた実践研究を行った。</p>																				
成果・実績	<p>5部会で教育研究を行い、その成果を公開授業や本市教育委員会ホームページ、本市教職員研修講座などにより報告した。</p> <p style="text-align: center;">教育研究員部会と研究内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">設置部会</th> <th style="width: 15%;">部員数</th> <th style="width: 60%;">主な研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学力充実研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>小・中学校の学力充実・向上に関する研究</td> </tr> <tr> <td>宇治学研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>「宇治学」副読本作成に係る研究</td> </tr> <tr> <td>外国語活動研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究</td> </tr> <tr> <td>道徳教育研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究</td> </tr> <tr> <td>情報教育研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>教科指導における効果的なICT活用に係る研究</td> </tr> </tbody> </table> <p>家庭学習促進実践研究指定事業 「個に応じた家庭学習の在り方」や「授業につながる家庭学習の在り方」についての研究をまとめ、市立小・中学校に広げた。（西小倉中学校ブロック・広野中学校ブロック）</p>			設置部会	部員数	主な研究内容	学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究	宇治学研究部	6	「宇治学」副読本作成に係る研究	外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究	道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究	情報教育研究部	6	教科指導における効果的なICT活用に係る研究
設置部会	部員数	主な研究内容																			
学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究																			
宇治学研究部	6	「宇治学」副読本作成に係る研究																			
外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方の研究																			
道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法の研究																			
情報教育研究部	6	教科指導における効果的なICT活用に係る研究																			
事業評価	<p>教育研究員の日常の教育実践に基づいた研究によって、家庭学習の定着の在り方等、本市学校教育の課題解決を図ることができた。その時々教育課題に対応する教育力の向上に資する取組であり、今後も引き続き実施する。</p>																				

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	一貫教育課								
		決算額	45,600千円								
事業内容	<p>児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を、幼稚園、小・中学校に派遣する。</p> <p>また、教職員研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。</p>										
成果・実績	<p>8月より、JETプログラムで招致した10人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 40%;">英語指導助手</td> <td style="width: 60%; text-align: right;">10人</td> </tr> <tr> <td>小学校派遣日数</td> <td style="text-align: right;">973日</td> </tr> <tr> <td>中学校派遣日数</td> <td style="text-align: right;">809日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園派遣日数</td> <td style="text-align: right;">66日</td> </tr> </table>			英語指導助手	10人	小学校派遣日数	973日	中学校派遣日数	809日	幼稚園派遣日数	66日
英語指導助手	10人										
小学校派遣日数	973日										
中学校派遣日数	809日										
幼稚園派遣日数	66日										
事業評価	<p>英語指導助手の活用により、園児、児童・生徒の国際理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。今後は英語指導助手の効果を検証し、効果的な活用及び実施手法を検討する必要がある。</p>										

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	一貫教育課
		決算額	46,519千円
事業内容	<p>義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。全ての中学校ブロックにチーフコーディネーターと教科連携教員を配置し、きめ細かな指導を進め、小中一貫教育を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市内10中学校ブロックの全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、全中学校ブロックでチーフコーディネーターと教科連携教員を選任するために市費負担非常勤講師を配置して、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>また、小中一貫教育を推進するにあたり「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理並びに、各中学校ブロックの取組への支援やリーフレット発行による広報や啓発を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">宇治市小中一貫教育推進協議会 112千円 学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、本市小中一貫教育の取組についての進行管理を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">小中一貫教育取組推進教員の配置 45,515千円 全中学校ブロックに小中一貫教育非常勤講師（チーフコーディネーター後補充教員及び教科連携教員）を配置し、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p style="margin-left: 20px;">広報及び啓発 865千円 小中一貫教育の推進及び啓発を目的として広報紙を作成し、市内保育所、幼稚園及び小・中学校の各家庭及び公民館等の市関係公共機関に配布した。 また、各中学校ブロックの取組推進並びに啓発を目的としてブロック広報紙等を作成した。</p>		
事業評価	<p>小中一貫教育の推進により、義務教育期間の連続性を考慮した指導等を実施することができた。引き続き実施するが、教育効果について検証を行った上で改善に努める必要がある。</p>		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	青少年電話相談活動費	所管課	教育支援課																					
		決算額	878千円																					
事業内容	青少年の人的成長を育むため、市民ボランティア相談員が電話で青少年問題に係る相談を受ける。																							
成果・実績	<p>午前9時～午後5時まで3交替制で244日、相談を実施した。相談内容は「家族」「人生」「教育」「健康」に関わる相談が全体の7割を占めており、さらに青少年に関わる相談は全体の4割程度となっている。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">相談件数推移</th> <th colspan="5" style="text-align: right;">(件)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td></td> <td>630</td> <td>697</td> <td>477</td> <td>471</td> <td>668</td> </tr> </tbody> </table>			相談件数推移		(件)					年度		22	23	24	25	26	件数		630	697	477	471	668
相談件数推移		(件)																						
年度		22	23	24	25	26																		
件数		630	697	477	471	668																		
事業評価	青少年及び保護者などが相談しやすい環境を整備することにより、青少年の人的成長に寄与することができた。市民ニーズ及び事業効果を踏まえて、京都府等本市以外の相談窓口との役割分担及び制度の周知など運営手法を検討する必要がある。																							


事務事業名	学校支援チーム活動費	所管課	教育支援課
		決算額	7,253千円
事業内容	いじめや不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。		
成果・実績	<p>学校等のみでは解決が困難であったり、解決にあたり時間を要する問題について、専門的な助言や支援を行い、現場の教職員が幼児、児童・生徒と向き合う時間をより一層確保できるよう、社会福祉士、臨床心理士などの専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、学校支援の取組を進めた。</p> <p style="text-align: center;">支援チーム会議開催数 13回</p>		
事業評価	「宇治市学校支援チーム」を設置し円滑な運営に取り組んだことにより、学校現場で起こる解決困難な問題等に対して、専門的、組織的な支援を行うことができた。早期の課題解決に向けて、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 総合的に進める教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	5,243千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動などを実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	<p>各小学校区ごとに補導委員として117人を委嘱し、毎月の校区補導、特別ブロック補導、県祭りでの全体補導、パネル展、街頭啓発活動、地域懇談会、社会環境調査、浄化活動などを実施した。</p> <p>啓発パネル展 2回開催 (7月22日～7月30日、11月17日～11月21日) 地域懇談会(校区の小・中学校及び育友会と共催) 10中学校区で開催</p>		
事業評価	地域住民を主体とする警察と連携した活動を実施したことにより、青少年の非行の未然防止に取り組んだ。今後も引き続き実施するが、各種団体との連携を図る中で、活動の維持、活性化に努める必要がある。		

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	815千円
事業内容	宇治市教育委員会・宇治市青少年健全育成協議会・宇治市連合育友会の共催により、中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを発表し、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、「第33回宇治市『中学生の主張』大会」を開催した。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>開催日 11月8日 開催場所 宇治市文化センター大ホール 発表者数 中学生11人 参加者数 561人</p> </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  <p>第33回 宇治市『中学生の主張』大会 <small>主催 宇治市教育委員会・宇治市連合育友会・宇治市青少年健全育成協議会</small></p> </div> </div>		
事業評価	中学生が学校や家庭・地域での生活の中で、考え、悩み、求めていることを発表することにより、同世代の青少年が学び合うとともに、市民全般の中学生に対する理解と認識を深めることができた。一般市民の参加の増加に努めながら、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 総合的に進める教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	教育支援課
		決算額	2,355千円
事業内容	<p>青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。</p>		
成果・実績	<p>市内団体で組織されている地域青少年健全育成協議会の活動に対し支援を行った。また、次世代の地域活動を担う人材育成のため、ジュニアリーダーの養成学習会をマリンピアで行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">青少年健全育成協議会補助金 1,500千円 ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会 848千円</p>		
事業評価	<p>各種関係団体が連携しながら、啓発活動を実施したことにより、青少年の健全育成を図ることができた。中・高校生を中心としたジュニアリーダー活動をより活性化するために、活動の内容及び広報の充実に努める必要がある。</p>		



事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	教育支援課																				
		決算額	5,082千円																				
事業内容	<p>児童・生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備、保護者に対する啓発などを行う。また、「いじめ防止月間」を設定し、いじめ防止の取組を強化する。</p>																						
成果・実績	<p>生徒指導の研究や保護者への啓発を行うとともに、児童・生徒の問題行動に対し適切な指導を行うため、教職員に対して研修助成、事例研究セミナーなどを開催した。また、11月を「いじめ防止月間」として設定し、いじめ防止啓発のための掲出物等を作成した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">問題行動</td> <td style="width: 10%;">延べ指導人数</td> <td style="width: 10%;">小学校</td> <td style="width: 10%;">629人（前年比</td> <td style="width: 10%;">189人減）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>1,529人（前年比</td> <td>179人増）</td> </tr> <tr> <td>不登校</td> <td>人数</td> <td>小学校</td> <td>71人（前年比</td> <td>17人増）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>173人（前年比</td> <td>5人減）</td> </tr> </table> <p>いじめのない学校づくり事業 市内小・中学校32校で実施</p>			問題行動	延べ指導人数	小学校	629人（前年比	189人減）			中学校	1,529人（前年比	179人増）	不登校	人数	小学校	71人（前年比	17人増）			中学校	173人（前年比	5人減）
問題行動	延べ指導人数	小学校	629人（前年比	189人減）																			
		中学校	1,529人（前年比	179人増）																			
不登校	人数	小学校	71人（前年比	17人増）																			
		中学校	173人（前年比	5人減）																			
事業評価	<p>生徒指導の研究及び保護者への啓発などを実施したことにより、適切な生徒指導に努めることができた。今後は、問題行動の低年齢化に対応するため、さらなる指導力の向上に向けた取組を検討する必要がある。</p>																						

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 総合的に進める教育の充実	

事務事業名	適応指導教室運営費	所管課	教育支援課																	
		決算額	9,128千円																	
事業内容	不登校の児童・生徒が学校生活や社会生活に適応できるよう、教室を開設し、指導員とカウンセラーが個別及び集団による援助・指導を行う。																			
成果・実績	<p>小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童・生徒に対して、個々の状態に応じて適応指導教室で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、学校復帰へ向けて支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">在籍児童・生徒数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">14人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">改善状況</td> <td>学校復帰</td> <td style="text-align: right;">2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部分登校</td> <td style="text-align: right;">7人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>好転</td> <td style="text-align: right;">5人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>変化なし</td> <td style="text-align: right;">0人</td> <td></td> </tr> </table>			在籍児童・生徒数		14人		改善状況	学校復帰	2人		部分登校	7人		好転	5人		変化なし	0人	
在籍児童・生徒数		14人																		
改善状況	学校復帰	2人																		
	部分登校	7人																		
	好転	5人																		
	変化なし	0人																		
事業評価	適応指導教室を通して支援・指導を行うことにより、児童・生徒の学校・社会生活への適応を促進することができた。複合した要因を持つ不登校児童・生徒が増加傾向にあり、学校及び関係機関との連携を強化する中で、効果的な教室運営に努める必要がある。																			

事務事業名	心と学びのパートナー派遣事業費	所管課	教育支援課								
		決算額	3,054千円								
事業内容	問題行動や不登校の未然防止を図るため、児童・生徒がいつでも気軽に相談できるよう、身近に感じられる兄弟的な若い世代の相談員を配置し、別室登校や不登校傾向児童・生徒が悩み等を気軽に話せる環境をつくる。										
成果・実績	<p>別室登校や不登校傾向の児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に派遣した。また、平成26年度より2小学校へ拡充し、計21名派遣した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">相談件数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">389件</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>対応延べ人数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,744人</td> <td></td> </tr> </table>			相談件数		389件		対応延べ人数		1,744人	
相談件数		389件									
対応延べ人数		1,744人									
事業評価	児童・生徒の悩みに気軽に応じる相談員を配置したことにより、家庭・学校・関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図ることができた。事業効果の分析に取り組む中で、今後も相談員となる人材の確保に努める必要がある。										

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 総合的に進める教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	メンタルフレンド推進事業費	所管課	教育支援課																	
		決算額	983千円																	
事業内容	家庭に閉じこもった状態の不登校児童・生徒宅へ学生ボランティアを派遣し、心のふれあいを通して学校復帰へのきっかけをつくる。																			
成果・実績	<p>学生ボランティアが家庭訪問を行い、不登校、引きこもり状態の児童・生徒（小学校3年生～中学校3年生）の家庭を定期的に訪問し、「よき友」「よき兄弟」として寄り添いながら、生活に密着した相談活動を行い、学校生活への復帰を支援した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">派遣家庭児童・生徒数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">7人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">改善状況</td> <td>学校復帰</td> <td style="text-align: right;">0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部分登校</td> <td style="text-align: right;">4人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>好転</td> <td style="text-align: right;">3人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>変化なし</td> <td style="text-align: right;">0人</td> <td></td> </tr> </table>			派遣家庭児童・生徒数		7人		改善状況	学校復帰	0人		部分登校	4人		好転	3人		変化なし	0人	
派遣家庭児童・生徒数		7人																		
改善状況	学校復帰	0人																		
	部分登校	4人																		
	好転	3人																		
	変化なし	0人																		
事業評価	児童・生徒に寄り添った相談を実施したことにより、学校復帰へのきっかけとすることができた。今後も学校と連携し、訪問対象家庭への働きかけを強化するなど学校復帰に向けた効果的な支援に努める必要がある。																			

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部


事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	教育支援課																				
		決算額	185千円																				
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。																						
成果・実績	<p>遊びや学びの場を提供する地域活動に対して、教育活動推進員及び教育活動サポーターの派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">推進組織</td> <td style="width: 20%;">北楨つながりプロジェクト</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>北楨島小学校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>5月10日～27年3月11日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>27回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>延べ1,096人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			推進組織	北楨つながりプロジェクト			開催場所	北楨島小学校			開催期間	5月10日～27年3月11日			開催回数	27回			参加人数	延べ1,096人		
推進組織	北楨つながりプロジェクト																						
開催場所	北楨島小学校																						
開催期間	5月10日～27年3月11日																						
開催回数	27回																						
参加人数	延べ1,096人																						
事業評価	放課後を活用した遊びと学びの場を提供することにより、子どもを地域で育てる社会教育の環境づくりを推進することができた。教室を持続的に運営するための地域の安定した協力体制の構築等が課題であり、人材の確保等を検討する必要がある。																						



平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及

所管部局
教育部

事務事業名	企画展示費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	2,720千円
事業内容	<p>話題性のある企画展の開催はミュージアムの広報・宣伝にもつながり、企画展を目的としたリピーターを含む来館者を誘致する。館藏品だけではなく、他館や関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。</p>		
成果・実績	<p>様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語や平安時代の文化を紹介する展示を行った。</p> <p>銅版画にみる源氏物語の女人たち 平成26年2月19日～4月20日 西澤静男作 銅版画『源氏物語女人抄』を中心に、作者の目を通した独特の世界観にみる『源氏物語』の世界を紹介した。</p> <p>市川海老蔵特別企画舞台「源氏物語」の世界展 4月24日～6月22日 歌舞伎役者市川海老蔵さんが企画・主演した舞台「源氏物語」で使用した歌舞伎衣裳や能装束、舞台映像などを展示した。</p>  <p>源氏物語のヒーロー・ヒロインたち 6月25日～9月28日 夏休み期間にあわせ、親子で楽しめる企画展。『源氏絵鑑帖』（当館所蔵）を用いて、登場人物に焦点をあて、『源氏物語』とはどのような物語なのか紹介した。</p> <p>見立てとやつし あれも！これも！どうして源氏？ 10月1日～11月30日 江戸時代になると『源氏物語』本文の趣とは異なる楽しみ方も登場する。典籍や錦絵・双六・かるたなどを通して、源氏文化の広がりを紹介した。</p> <p>モノが語る平安時代 12月3日～平成27年2月15日 市内で出土した平安時代の遺物を通して、『源氏物語』が書かれた平安時代の宇治を中心に、当時の暮らしや文化を紹介した。</p> <p>源氏物語の美術工芸 平成27年2月18日～4月19日 館藏品・寄託品を中心に、『源氏物語』を題材とした美術工芸品を展示した。</p>		
事業評価	<p>大幅に増加した観光客を、毎回テーマを工夫した話題性のある企画展の開催により、誘致に結びつけることができた。今後も、他施設等と連携を図り、魅力ある企画展を開催するとともに、積極的な広報を実施し、リピーターを含む入館者の増加に努める必要がある。</p>		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	1,174千円
事業内容	「源氏物語をテーマとしたまちづくり」の中核的役割を担う施設として、初めての来館者の獲得をはじめ、リピーターの増加を目指し、広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	旅事情報誌等、計6誌に当館の広告を掲載した。広告には観覧料の割引等を付け、来館者増加に向けて、積極的に周知・PRを行った。		
事業評価	旅行雑誌等への広告掲載を中心とした広報活動に努めたことにより、当館の認知度を高め、入館者の増加を図ることができた。今後は、近年増加している外国人観光客に向けた広報を強化し、国内外の観光客の誘致を図り、入館者の確保に努める必要がある。		

事務事業名	講座等開催費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	579千円
事業内容	源氏物語や平安時代の文化について、より理解を深めるために、講演会や講座などを実施する。ミュ-ジアムの展示を観覧し、源氏物語や平安時代の文化について、興味や関心を抱いた来館者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュ-ジアムの存在を知ってもらうきっかけをつくる。		
成果・実績	<p>連続講座、源氏物語セミナーは、最新の研究を織り交ぜた講義により、深く学べる場を提供した。かるた教室は子どもたちが積極的に参加し、恒例行事として定着。さらに参加・体験型事業として、五感を使って源氏物語の世界観に親しむ講座を開催。舞楽の再現演奏と解説を行った。</p> <p>連続講座「ちょっとおとなの源氏物語」(全10回) 5月～平成27年3月 参加者数 延べ1,036人</p> <p>入門講座「宇治十帖を考える」(全8回) 5月～平成27年1月 参加者数 延べ904人</p> <p>入門講座「源氏物語の舞台 京都・宇治」(全2回) 平成27年2月～3月 参加者数 延べ133人</p> <p>十二単着付け体験 7月26日 参加者数 70人</p> <p>源氏物語セミナー「近世に大衆化した『源氏物語』」 10月16日 参加者数 91人</p> <p>平安・鎌倉時代の舞楽はこんな舞！？ 平成27年3月7日 参加者数 60人</p> <p>かるた教室 平成27年3月21日 参加者数 100人</p>		
事業評価	年間を通じ講座等を実施し、多くの学習機会を提供したことにより、源氏物語及び平安時代の文化への理解を深めることができた。今後も、参加者の満足度の高い事業を展開するとともに、参加・体験型の講座を開催することで、より幅広い年齢層が参加できるように努める必要がある。		



平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,210千円

事業内容 宇治市教育振興基本計画に基づき、生涯学習センターや公民館などで、市民のライフステージに対応した講座や事業を実施し、学習の機会を提供する。

各種講座を実施し、学習機会の確保と学習情報提供の充実など生涯学習を推進した。

社会・時代の変化に対応する講座

事業名	回数	参加人数
環境講座「身近な環境問題を考える」	3	52
安心Myコミュニティのための防災減災 (南宇治コミセン)(東宇治コミセン)	4	54
インターネットを使用した講座 『源氏物語』を彩る植物	1	-
近現代史を学ぶ 「明治時代後半から大正時代まで」	3	79
暮らしに役立つ金融経済講座	3	353

青少年を対象とする講座・事業

事業名	回数	参加人数
スポーツチャンバラ広場	10	164
夏休み子どもフェア(2日間)	1	2,800
青少年のたまり場	6	0
社会人デビューのための講座	3	8

成果・実績



環境講座



夏休み子どもフェア

教養講座

事業名	回数	参加人数
国際交流講座「こんにちは！AETです」	1	21
園芸講座 花木の育て方についての講義と実際	2	26
古典に親しむ講座「徒然草の謎」	3	126
書の古典に学ぶ 実習を通して知る名筆の魅力	3	99
最先端の科学を学ぶ講座「研究者が語る“野生動物の生態”」	3	60

映画鑑賞事業

事業名	回数	参加人数
文化庁優秀映画鑑賞推進事業(2日間)	1	363
第17回バリアフリー映画上映会「武士の献立」	1	300

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,210千円

成果・実績	生涯学習団体等の育成・人材養成と活用		
	事業名	回数	参加人数
	センター協力者・グループ交流会	1	32
	ロビー展 ミニ講習会	9	124
	うじ市民活動サポート事業（10事業）	31	878
	木工ボランティア養成講座	6	41
	はじめよう！セカンドライフ	6	112
	Uji 手づくり市	6	94
	子育てサポーターのためのスキルアップ講座	4	42
	家庭の教育力向上のための講座		
事業名	回数	参加人数	
おやこっくらんど	12	872	
中学生の福祉体験事業	1	10	
小学生の親のための講座「親子で楽しむ理科工作」	2	61	
小学生の親のための講座「どうなっているの？小学校英語」	2	59	
思春期講座「いまどきの思春期の子どもたち」	2	65	
学ぼう！子どもの食と栄養	4	82	
その他の事業			
事業名	回数	参加人数	
NHK公開講演会「バルテュス展 <少女>という視覚記号とバルテュスの<少女>」	1	85	
NHK公開講演会「ボストン美術館 華麗なるジャポニズム展 日本に魅了された芸術家たち」	1	147	



木工ボランティア養成講座





学ぼう！子どもの食と栄養

事業評価	講座等を開催することにより、市民の生涯学習の充実、地域での市民交流、地域で活動する人材の育成を図ることができた。市民が主体的に生涯学習に取り組む機会を提供するため、今後も引き続き実施する。
-------------	--

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)	所管課	生涯学習センター
		決算額	301千円
事業内容	「つながれ・ひろがれ・まなびの”わ”」をテーマに、生涯学習に取り組んでいる人々の日常活動の発表と交流及び、これから何かを始めたい人にきっかけづくりの場を提供するため、「市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)」を開催する。		
成果・実績	<p>市民公募による実行委員会形式によって、「宇治まなびんぐ2015」を平成27年2月7日・8日に開催した。例年と同じく、実行委員が準備や当日の運営を主体的に行った。また、当日ボランティアが出展者補助等を積極的に行った。</p> <p>両日の参加団体・個人(出展数)45、参加者延べ人数は約1,600人を数えた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>エコ工作と実験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学生の災害ボランティア活動紹介</p> </div> </div>		
事業評価	市民主体で生涯学習の発表の場を設置することにより、学習意欲の向上と市民相互の交流を進めることができた。今後も交流の機会を提供し参加者の増加を促しながら、市全体での生涯学習の発展に努める必要がある。		

事務事業名	生涯学習推進費(学習情報の収集と提供)	所管課	生涯学習センター
		決算額	60千円
事業内容	市民へ適切かつ迅速に情報提供できるよう、学習情報を収集・整理し、生涯学習センター内に情報コ-ナ-を設置する。また、視聴覚ビデオライブラリーの活用を図る。		
成果・実績	<p>視聴覚ライブラリーで、多様なジャンルの視聴覚教材を1,555本所蔵し、市民の生涯学習や小中学校での学習に活用されるよう広報に取り組んだ。貸出し件数は93件、延べ274本のソフトを貸し出した。</p> <p>視聴覚ライブラリー教材購入費 60千円</p>		
事業評価	学習情報の提供により、市民の生涯学習及び地域活動を促進することができた。多くの市民が幅広く活用できるようにするため、周知方法の工夫等を図りながら、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	生涯学習センター																
		決算額	200千円																
事業内容	<p>高齢者が学びや活動の成果を、豊かな暮らしの創造や新しい地域づくりに活かすこと、また、若年者が学びや活動の成果を、高齢者の豊かな暮らしの創造や世代間交流などを目指した新しい地域づくりに活かすことを目的として、すでに自主活動に取り組んでいる団体が新しい活動を展開していくための支援を行った。</p>																		
成果・実績	<p>平成26年度採択事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">団体名</th> <th style="width: 15%;">支援金</th> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 20%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治市民大学運営スタッフ会</td> <td>10万</td> <td>シンポジウム「平等院とその魅力」</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>NPO法人まちづくりねっと・うじ</td> <td>5万</td> <td>「パソコンのお困りごと解決します！」</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>セカンドライフ夢を語る会</td> <td>5万</td> <td>「セカンドライフに夢を！！」</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table>			団体名	支援金	内容	参加者数	宇治市民大学運営スタッフ会	10万	シンポジウム「平等院とその魅力」	193	NPO法人まちづくりねっと・うじ	5万	「パソコンのお困りごと解決します！」	61	セカンドライフ夢を語る会	5万	「セカンドライフに夢を！！」	53
団体名	支援金	内容	参加者数																
宇治市民大学運営スタッフ会	10万	シンポジウム「平等院とその魅力」	193																
NPO法人まちづくりねっと・うじ	5万	「パソコンのお困りごと解決します！」	61																
セカンドライフ夢を語る会	5万	「セカンドライフに夢を！！」	53																
事業評価	<p>新たな高齢者活動の事業を企画、実施する団体を支援することにより、高齢者の生きがいづくりと参加者同士の交流を図ることができた。今後も、事業効果を検証しつつ、自主的な活動を促進し、生涯学習グループの活性化及び多世代交流に努める必要がある。</p>																		

事務事業名	生涯学習センター再整備事業費	所管課	生涯学習センター
		決算額	1,041千円
事業内容	<p>生涯学習センターは、宇治市地域防災計画において、災害時に中核的機能を果たす第1次避難所として位置づけられている。本事業では、避難時における停電時等に必要な電力が確保できるように、太陽光発電設備と蓄電池などの整備をするための実施設計業務を委託する。</p>		
成果・実績	<p>設計業務委託 1,041千円 災害時（停電時）に第1ホール及び第2ホールのコンセントに電力供給し、避難施設として利用できるように太陽光発電設備や蓄電池などを整備するための実施設計業務を委託した。</p>		
事業評価	<p>災害時における中核的機能を果たす第1次避難所として利用できるよう環境を整備し、災害への対応力の強化を図ることができた。今後、当該実施設計に基づき、施設整備に努める必要がある。</p>		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館																										
		決算額	22,810千円																										
事業内容	地域の情報拠点として、多様化し高度化する市民の生涯学習を支えるとともに読書活動を支援し、また、地域課題の解決支援や情報提供などの利用者ニーズに応えるため、図書、雑誌、新聞をはじめ、郷土資料や行政資料などを幅広く収集することにより、利用者に資料や情報を提供する。																												
成果・実績	中央図書館資料提供費 14,222千円 東宇治図書館資料提供費 4,294千円 西宇治図書館資料提供費 4,294千円																												
	資料数																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>購入冊数</th> <th>年度末蔵書数 (冊)</th> <th>購入雑誌 (誌)</th> <th>購入新聞 (紙)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>5,405</td> <td>181,822</td> <td>81</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>2,317</td> <td>62,617</td> <td>47</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>2,507</td> <td>71,240</td> <td>48</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,229</td> <td>315,679</td> <td>176</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>				館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	購入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)	中央図書館	5,405	181,822	81	11	東宇治図書館	2,317	62,617	47	9	西宇治図書館	2,507	71,240	48	9	合計	10,229	315,679	176	29
	館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	購入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)																								
	中央図書館	5,405	181,822	81	11																								
	東宇治図書館	2,317	62,617	47	9																								
	西宇治図書館	2,507	71,240	48	9																								
	合計	10,229	315,679	176	29																								
	利用状況																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>館名等</th> <th>貸出冊数</th> <th>延べ貸出者数</th> <th>登録者数</th> <th>市民登録率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>380,410</td> <td>89,701</td> <td rowspan="4">80,452</td> <td rowspan="4">41.7</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>197,351</td> <td>47,452</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>220,343</td> <td>55,068</td> </tr> <tr> <td>団体貸出</td> <td>7,113</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>805,217</td> <td>192,221</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				館名等	貸出冊数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率(%)	中央図書館	380,410	89,701	80,452	41.7	東宇治図書館	197,351	47,452	西宇治図書館	220,343	55,068	団体貸出	7,113	-	合計	805,217	192,221			
館名等	貸出冊数	延べ貸出者数	登録者数	市民登録率(%)																									
中央図書館	380,410	89,701	80,452	41.7																									
東宇治図書館	197,351	47,452																											
西宇治図書館	220,343	55,068																											
団体貸出	7,113	-																											
合計	805,217	192,221																											
大西利治文庫の開設（10月18日） 3図書館に大西利治文庫を開設し、児童や青少年向け図書の充実と読書環境の整備を図った。																													
団体貸出 17団体（地域文庫・家庭文庫、笠取地区、青少年センター）に、5,779冊の貸出を行った。 20団体（幼稚園、小・中学校）に、1,334冊の貸出を行った。																													
予約配本サービス 図書館から遠い地域の利用者へのサービス向上のため、予約図書を週1回、5カ所の配本所に搬送し、12,542冊の貸出を行った。																													
資料の活用（リサイクル事業：年1回） 図書館資料の有効活用を図るため「リサイクル市」を9月21日に開催し、除籍した図書や保存期限の過ぎた雑誌などを市民に提供した。 リサイクルした冊数 6,868冊（学校等 717冊、リサイクル市 6,151冊）																													

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進


所管部局
教育部


事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	22,810千円

成果・実績	<p>読書の普及に向けて下記の取組を実施した。</p> <p>図書展示</p> <p>成人書 中央図書館：「中央図書館開館30周年記念 いまとむかし」ほか8回 東宇治図書館：「おいしいお弁当」ほか11回 西宇治図書館：「フレールフレール!スポーツ」ほか5回</p> <p>児童書 中央図書館：「みやにしたつやの絵本の世界」ほか8回 東宇治図書館：「ずんずん、あるこう!」ほか8回 西宇治図書館：「春!」ほか11回</p> <p>読書推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>10</td> <td>535</td> <td rowspan="3">季節、読書週間にあわせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>8</td> <td>341</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>7</td> <td>192</td> </tr> </tbody> </table> <p>10月18日に大西利治文庫創設を記念し、式典と講演会を行った。講演会では、絵本作家の宮西達也氏を講師に招き約300人の参加者に対して講演が行われた。</p> <p>読書をする意欲を高めるため、中央図書館開館30周年記念として小学生以下の子どもたちを対象に11月から読書通帳の配布を開始した(3月末現在3図書館で延べ1,789通を配布)。</p> <p>おはなしかい(中央図書館はぶんきょうにこここルームへの出張おはなし会を含む)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>13</td> <td>158</td> <td rowspan="3">絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>12</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>10</td> <td>81</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校等連携</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">館名</th> <th colspan="2">図書館見学 (小学校・幼稚園等)</th> <th colspan="2">中学生の 職場体験学習</th> </tr> <tr> <th>学校等数 (校・園)</th> <th>参加者数</th> <th>学校数 (校)</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>10</td> <td>905</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>3</td> <td>386</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>4</td> <td>243</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	館名	回数	参加者数	内容	中央図書館	10	535	季節、読書週間にあわせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)	東宇治図書館	8	341	西宇治図書館	7	192	館名	回数	参加者数	内容	中央図書館	13	158	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど	東宇治図書館	12	113	西宇治図書館	10	81	館名	図書館見学 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習		学校等数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数	中央図書館	10	905	4	8	東宇治図書館	3	386	3	6	西宇治図書館	4	243	4	8
	館名	回数	参加者数	内容																																																	
	中央図書館	10	535	季節、読書週間にあわせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)																																																	
	東宇治図書館	8	341																																																		
西宇治図書館	7	192																																																			
館名	回数	参加者数	内容																																																		
中央図書館	13	158	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど																																																		
東宇治図書館	12	113																																																			
西宇治図書館	10	81																																																			
館名	図書館見学 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習																																																		
	学校等数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数																																																	
中央図書館	10	905	4	8																																																	
東宇治図書館	3	386	3	6																																																	
西宇治図書館	4	243	4	8																																																	
事業評価	<p>幅広い資料の収集等の取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の生涯学習を促進することができた。また、インターネット予約サービスの取組等により、市民の利便性の向上を図ることができた。今後も、運営・整備手法を検討しながら、多様なニーズへの対応に努める必要がある。</p>																																																				

平成26年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	資料調査整理費	所管課	歴史資料館
		決算額	249千円
事業内容	歴史資料を調査・収集し、研究成果を展覧会、講演会、図書刊行などにより公開するとともに、保存して後世に伝えていく。宇治関係資料について調査を行い、データの充実を図る。また、収集資料調査報告書で成果を広く公開する。		
成果・実績	旧家や社寺等が所蔵している古文書や民具などの資料を調査し、必要な資料の写真撮影を行った。また、当館所蔵の資料の調査成果をまとめた「収集資料調査報告書」を刊行し、成果を広く公開した。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 収集資料調査報告書発行数 400部 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="text-align: center;">京都社寺境内図 「収集資料調査報告書」17</p> </div>		
事業評価	歴史資料の調査及び適切な保存などにより、本市の歴史・文化を後世に伝え、市民の生涯学習を促進することができた。継続的な調査によって資料の充実に努めるとともに、収集した資料を広く市民に公開するため、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	資料収集保存費	所管課	歴史資料館
		決算額	538千円
事業内容	資料を購入して充実を図り、より良い状態で後世に伝えるため、資料の燻蒸・修繕を行う。		
成果・実績	宇治関係資料として古文書・近代資料等を購入した。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 主な購入資料 御茶・もぐさ・御薫香 貼札貼込帖 和洋物産相撲（番付） 御用御茶所小山伊兵衛引札 宇治川大合戦之図（錦絵） </p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">購入資料の中から「御用御茶所小山伊兵衛引札」（部分）</p>		
事業評価	宇治関連資料の保存・管理を適切に行うことにより、市民に広く公開することができた。今後も資料に関する情報収集と、適切な保存・管理に努める必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	特別展示費	所管課	歴史資料館
		決算額	2,298千円
事業内容	本市の歴史に関する多様なテーマについて、調査成果を市民に還元し、後世に伝えるため、展示、図録刊行、講演会開催を実施する。テーマは、その年に相応しい時宜を得たものを心がけ、原物資料や、写真パネル・映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努めている。		
成果・実績	<p>図録を刊行し、講演会を開催した。</p> <p> 展覧会名 初三郎式鳥瞰図「誕生」100年 日本パノラマ大図鑑 会期 9月27日～11月16日 入場者数 2,101人 </p> <p> 講演会「吉田初三郎の鳥瞰図 絵のような地図」 三好唯義（神戸市立小磯記念美術館） 開催日時 10月29日 参加人数 77人 </p> 		
事業評価	趣向を凝らした展示及び講演会などにより、市民が文化資料に親しむ機会を提供し、宇治の歴史について理解を深めることができた。より多く市民が観覧に訪れるように、展示の工夫に努めながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	企画展示費	所管課	歴史資料館															
		決算額	168千円															
事業内容	開館以来収集してきた資料を活用した企画展を開催する。多種多様な収蔵資料をテーマごとに精選して、市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられる内容とし、何度も来館する機会となるよう定期的に展示内容を変える。また、写真展等市民参加型の展覧会も開催する。																	
成果・実績	<p>宇治の歴史や文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、わかりやすく展示した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>展覧会名</th> <th>会期</th> <th>目録配布枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発掘ものがたり2014</td> <td>26年3月22日～6月22日</td> <td>675</td> </tr> <tr> <td>おぐら池</td> <td>7月12日～9月7日</td> <td>458</td> </tr> <tr> <td>28年災害と天ヶ瀬ダム</td> <td>11月29日～12月27日</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>ちょっと昔の街と暮らし</td> <td>27年1月24日～4月19日</td> <td>414</td> </tr> </tbody> </table> <p>入場者推計：10,000人</p>			展覧会名	会期	目録配布枚数	発掘ものがたり2014	26年3月22日～6月22日	675	おぐら池	7月12日～9月7日	458	28年災害と天ヶ瀬ダム	11月29日～12月27日	260	ちょっと昔の街と暮らし	27年1月24日～4月19日	414
展覧会名	会期	目録配布枚数																
発掘ものがたり2014	26年3月22日～6月22日	675																
おぐら池	7月12日～9月7日	458																
28年災害と天ヶ瀬ダム	11月29日～12月27日	260																
ちょっと昔の街と暮らし	27年1月24日～4月19日	414																
事業評価	常設展とは異なるテーマで展示を実施したことにより、宇治の歴史及び文化を身近に感じてもらい、理解を深めることができた。内容の充実に努めながら、今後も引き続き実施する。																	

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実と古典文化の普及	

事務事業名	教育普及活動費	所管課	歴史資料館																								
		決算額	101千円																								
事業内容	歴史講座、古文書講習会の開催により、調査・研究成果を広く公開するとともに、他の研究機関から講師を迎え、市民の歴史研究や博物館活動への理解を深める。																										
成果・実績	歴史講座3回と古文書講習会を開催し、あわせて延べ295人の参加があった。																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">種別</th> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 30%;">テーマ</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 10%;">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">歴史講座</td> <td>10月17日</td> <td>大正・昭和の鉄道旅行</td> <td>天理参考館 乾誠二</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>10月23日</td> <td>初三郎式鳥瞰図「誕生」と宇治</td> <td>館員</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>27年 2月24日</td> <td>「源氏」的なるものと宇治</td> <td>京都文教大学 杉本星子</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>古文書講習会</td> <td>12月 9日～12日</td> <td>宇治茶農家年中記録を読む</td> <td>館員</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>				種別	開催日	テーマ	講師	参加者	歴史講座	10月17日	大正・昭和の鉄道旅行	天理参考館 乾誠二	93	10月23日	初三郎式鳥瞰図「誕生」と宇治	館員	72	27年 2月24日	「源氏」的なるものと宇治	京都文教大学 杉本星子	50	古文書講習会	12月 9日～12日	宇治茶農家年中記録を読む	館員	80
種別	開催日	テーマ	講師	参加者																							
歴史講座	10月17日	大正・昭和の鉄道旅行	天理参考館 乾誠二	93																							
	10月23日	初三郎式鳥瞰図「誕生」と宇治	館員	72																							
	27年 2月24日	「源氏」的なるものと宇治	京都文教大学 杉本星子	50																							
古文書講習会	12月 9日～12日	宇治茶農家年中記録を読む	館員	80																							
事業評価	各講座を開催することにより、多くの市民に宇治の歴史と文化について理解を深めることができた。積極的な広報に努めながら、今後も引き続き実施する。																										

平成 26 年度決算成果説明書




総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター
		決算額	2,266千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	学習・文化活動 書道教室・えいごくらぶ・手作り教室・料理教室・体験合宿・学習会等を実施した。 実施回数 255回 参加者数 2,579人 体育・スポーツ・レクリエーション活動 春、秋のレクリエーション・スポーツクラブ・お楽しみ会・体験シリーズ・おもしろパーティーなどを実施した。 実施回数 33回 参加者数 489人		
事業評価	各活動により、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図ることができた。事業内容を工夫しながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	1,457千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	学習・文化活動 えいごであそぼ・工作教室・お茶教室・音楽教室・体験学習・百人一首大会・活動発表会等を実施した。 実施回数 106回 参加者数 1,332人 体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室、アウトドア教室、カメレオン・パニック、チャレンジクリスマス等を実施した。 実施回数 16回 参加者数 705人		
事業評価	各活動により、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図ることができた。事業内容を工夫しながら、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	大久保青少年センター活動費	所管課	大久保青少年センター				
		決算額	2,013千円				
事業内容	青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性や協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツ等の活動事業を実施する。 また、各種教室・催し物の開催や、こどもクラブでの活動の育成指導を行う。						
成果・実績	子どもたちの参加意識が高くなっており、目的をもって主体的に活動する場面が多くなった。また、学校、地域を超えた友達関係の輪がさらに広がってきた。						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;"> 教室 実施回数 37回 参加者数 820人 </td> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> </tr> <tr> <td> 催し物 実施回数 21回 参加者数 1,938人 </td> </tr> <tr> <td> こどもクラブ 実施回数 197回 参加者数 3,932人 </td> </tr> </table>			教室 実施回数 37回 参加者数 820人		催し物 実施回数 21回 参加者数 1,938人	こどもクラブ 実施回数 197回 参加者数 3,932人
教室 実施回数 37回 参加者数 820人							
催し物 実施回数 21回 参加者数 1,938人							
こどもクラブ 実施回数 197回 参加者数 3,932人							
		こどもクラブ（茶道） 練習風景					
事業評価		各活動により、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図ることができた。事業内容を工夫しながら、今後も引き続き実施する。					

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	消防団活動費	所管課	消防総務課
		決算額	36,665千円
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修などを逐次実施し、知識技能の向上を図って火災予防を推進し、災害のないまちづくりに努める。		
成果・実績	消防団員の報酬	368人	12,459千円
	消防団員退職報償金	9人	2,629千円
	出場費用弁償	延べ 5,187人	8,301千円
	消防団資機材（消防団用消防ホース等）購入		160千円
	京都府消防協会宇城久支部負担金等		627千円
事業評価	消防団による年末特別警戒及び街頭での防火意識啓発など、きめ細やかな予防活動・啓発活動を実施し、地域一体での安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、消防団員の確保等消防団活動の活性化を図りながら、予防活動・啓発活動等を今後も引き続き実施する。		




事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課	
		決算額	4,260千円	
事業内容	全国消防長会のほか、総務省消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。			
成果・実績	研修実績（主なもの）			
	研修名	場所	期間	
	初任教育	京都府立消防学校	8カ月	5人
	専科教育（危険物・救急・警防各科）	京都府立消防学校	51日	6人
	専科教育（予防査察・特殊災害・火災調査各科）	京都市消防学校	20日	3人
	幹部教育初級幹部科	京都府立消防学校	10日	1人
	消防大学校 違反是正特別講習	消防大学校	5日	1人
近畿救急医学会	大阪府・兵庫県・和歌山県・京都市	4日	4人	
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講及び各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。複雑多様化、専門化している災害対応等について、計画的に知識・技能の向上に努めるため、今後も引き続き実施する。			

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部


事務事業名	(仮)伊勢田救急出張所整備費	所管課	消防総務課
		決算額	186,694千円
事業内容	救急出動件数の平準化に寄与し、救急拠点としての重要な位置付けを担っている伊勢田消防分署の耐震上の問題や老朽化した庁舎の改善を図るため建替整備を行う。		
成果・実績	委託料 5,862千円 指令システム移設、電話設備敷設、引越しなど 工事請負費 177,867千円 解体工事 13,350千円 建築工事 111,586千円 機械工事 26,600千円 電気工事 26,331千円		
			
事業評価	建替整備の実施により、耐震上の問題及び老朽化した庁舎の改善を図ることができた。平成26年度で建替整備を完了している。		

事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	541千円
事業内容	市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることによって、安全・安心で住みよい災害に強いまちづくりを推進する。また、防火啓発チラシ等を配布することにより、市や消防を身近なものとし、より相談しやすく親しみやすい環境づくりを目指す。		
成果・実績	事業所への防火啓発ポスター、消防の仕事について学ぶ小学生への防火読本、市民への防火啓発リーフレットの作成配布等により、火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。 また、市民に訓練の重要性や初期消火における消火器の有効性を認識してもらうために町内会等の消火訓練に使用した消火器や、初期消火に使用された消火器に対し、消火薬剤の補填を行うことにより火災予防意識の高揚に努めた。		
事業評価	防火啓発ポスター及びリーフレットの作成配布等を実施したことにより、火災予防への意識高揚及び火災発生の防止効果につなげることができた。消火薬剤の補填等火災予防を進める上で効果的な事業として、今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	高度救急設備整備費	所管課	警防救急課						
		決算額	27,775千円						
事業内容	プレホスピタルケア充実強化及び高度救急業務の推進を図るため、現在使用している救急車及び資機材の更新整備を行う。								
成果・実績	<p>高度な救急救命処置を行うために必要な高規格救急車及び資機材の更新整備を行い横島消防分署へ配置した。</p> <table border="0"> <tr> <td>高度救急設備整備事業費</td> <td>27,775千円</td> </tr> <tr> <td>高規格救急車</td> <td>16,297千円</td> </tr> <tr> <td>高規格救急車用資機材</td> <td>11,478千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: center;">  <p>高規格救急車</p> </div>			高度救急設備整備事業費	27,775千円	高規格救急車	16,297千円	高規格救急車用資機材	11,478千円
高度救急設備整備事業費	27,775千円								
高規格救急車	16,297千円								
高規格救急車用資機材	11,478千円								
事業評価	救急車及び資機材の整備更新により、市民生活の安全・安心の確保及び救急高度化の推進を図ることができた。計画的な整備更新を今後も引き続き実施する。								

事務事業名	消防水利維持管理・拡充事業費	所管課	警防救急課
		決算額	13,413千円
事業内容	消火活動において、消防水利が有効に活用できるよう維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、「市街地における水利不便地に消防水利の基準」に沿って、消火栓等を新設し、基準の充足を図る。		
成果・実績	<p>火災時に活用する消防水利等の維持管理、新設を行った。</p> <p>消火栓維持管理 消火栓維持管理として、宇治・伊勢田町・大久保町・小倉町の各地区において、消火栓12基の維持管理に係る工事を行った。</p> <p>消防水利新設 消火栓新設工事実施計画分として、宇治地区において2基設置した。</p> <p>新設耐震性貯水槽設置に伴う設計等委託料 山間地域耐震性貯水槽4基の設置に係る設計・測量・土質調査を実施した。</p> <p>公設防火水槽用地の雑草地整備委託 公設防火水槽用地1カ所の雑草地整備を実施した。</p>		
事業評価	消火栓の補修・改修及び新設をしたことにより、消防水利を確保し、火災へ備えることができた。消防水利の空白地、設置後に相当年数の経過した公設防火水槽などがあるため、消防水利等の維持管理、新設を今後も引き続き実施する。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防救急課
		決算額	31,872千円
事業内容	老朽化している消防車両等を更新整備するとともに、災害活動時の安全管理対策につながる各種装備・機械器具について、軽量化・高機能化等を行う。		
成果・実績	消防ポンプ自動車の更新整備業務 23,760千円 指令広報車の更新整備 1,400千円 30m消防はしご自動車修繕業務 2,192千円 消防用ホース、消防水囊の更新整備業務 消防用ホース85本の更新整備 消防水囊10基の更新整備 空気呼吸器本体及び面体の更新整備業務 空気呼吸器本体4基の更新整備 面体10基の更新整備		
事業評価	各種装備・機械器具の更新により、被害の軽減及び隊員の安全管理を図ることができた。計画的な消防機械器具の更新のため、今後も引き続き実施する。		





事務事業名	専門職員養成費	所管課	警防救急課																
		決算額	3,554千円																
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。																		
成果・実績	救急救命士の新規養成1人と、処置拡大救急救命士として気管挿管認定2人及び平成26年度から開始の拡大2処置9人の養成を行い、救急高度化の充実・強化を図った。 救急救命士新規養成及び処置拡大救急救命士研修実績 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>場 所</th> <th>期 間</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7カ月</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>30症例</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>拡大2処置追加講習</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>4日</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	場 所	期 間	人数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1人	気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	2人	拡大2処置追加講習	京都市救急教育訓練センター	4日	9人
研修名	場 所	期 間	人数																
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1人																
気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	2人																
拡大2処置追加講習	京都市救急教育訓練センター	4日	9人																
事業評価	救急隊員の資質・技能を向上させることにより、救急高度化の充実・強化を図ることができた。計画的な救急救命士の養成のため、今後も引き続き実施する。																		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	AED整備費	所管課	警防救急課
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制整備を行い、市民の救命率の向上を図る。設置AEDと同型のAEDトレナーを活用し、適切な取り扱いの習得に努める。		
成果・実績	救命率の向上を図るため、平成20年度から市内公共施設にAEDを整備し、昨年 of 更新時期にあわせ、設置箇所を11カ所増設し、87カ所とした。		
	 AED(自動体外式除細動器)	 AEDマーク	
事業評価	AEDの設置・更新を実施したことにより、救命率の向上に努めることができた。効果的、効率的な維持管理の検討を行い、今後も引き続き実施する。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局
		決算額	1,791千円
事業内容	議会を円滑に行うための改革を行う事業として、各常任委員会活動充実のための研修会及び、市民に開かれた議会を目指し、インターネット上で議会本会議（一般質問）の録画配信を行ってきたが、3月定例会からは本会議の全会議及び常任委員会の生中継と録画配信を開始した。		
成果・実績	委員会研修 32千円 常任委員会、広報委員会の委員会活動充実のため研修会を行った。		
	委員会	研修内容	参加人数
	市民環境	守山市セルバ守山地下にぎわい創出事業について 他	12
	文教福祉	「認知症の人にやさしいまち・うじ」をめざして	29
	建設水道	桂川右岸流域下水道雨水対策事業について 阪急新駅「西山天王山駅」周辺整備事業について	23
	総務 広報	琵琶湖河川事務所の概要説明 他 これからの議会広報・広聴のあり方について	23 24
	議会映像インターネット配信経費	1,759千円	
	録画映像アクセス数	4,409件	
事業評価	本会議・常任委員会のライブ・録画中継を平成27年3月定例会から配信開始したことにより、議会の情報をより広く情報発信することができた。		

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局
		決算額	4,398千円
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。		
成果・実績	議会だより発行経費	4,042千円	
	発行回数	4回	
	発行部数	81,600部/1回 81,800部/3回	
	市政概要発行経費	338千円	
	発行回数	1回	
	発行部数	250部	
事業評価	議会だよりを各戸配布したことにより、全市民へ議会の情報を発信することができた。今後も紙面の充実等を含め議会への関心を高めるための手法について検討する必要がある。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進

所管部局
その他

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	55千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	<p>明るい選挙の推進のため、「市政を見る会」の開催をはじめ、啓発ポスター・標語の募集、成人式における啓発資料の配布、新有権者へのバースデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。</p> <p>選挙時の店頭啓発活動では大学生等に参加してもらい、特に若年層に対して投票に行くよう働きかけた。</p>		
事業評価	各種啓発活動等を行ったことにより、投票率の向上に取り組んだ。今後も引き続き若年層の投票を促進できるような啓発活動を検討する必要がある。		

事務事業名	京都府知事選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	23,459千円																
事業内容	任期満了に伴う京都府知事選挙を執行する。																		
成果・実績	<p>4月6日に京都府知事選挙を執行した。</p> <p>執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: center;">72,428</td> <td style="text-align: center;">23,833</td> <td style="text-align: center;">32.91</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: center;">78,815</td> <td style="text-align: center;">24,020</td> <td style="text-align: center;">30.48</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">151,243</td> <td style="text-align: center;">47,853</td> <td style="text-align: center;">31.64</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	72,428	23,833	32.91	女	78,815	24,020	30.48	合計	151,243	47,853	31.64
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	72,428	23,833	32.91																
女	78,815	24,020	30.48																
合計	151,243	47,853	31.64																
事業評価	今後も迅速・正確な選挙事務の執行に努めるとともに投票所の環境整備に努める必要がある。																		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進	

事務事業名	京都府議会議員補欠選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	8,463千円																
事業内容	欠員に伴う京都府議会議員補欠選挙を執行する。																		
成果・実績	4月6日に京都府議会議員補欠選挙を執行した。																		
	<p style="text-align: center;">執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">当日の有権者数</th> <th style="text-align: center;">投票者数</th> <th style="text-align: center;">投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">男</td> <td style="text-align: center;">72,414</td> <td style="text-align: center;">23,447</td> <td style="text-align: center;">32.38</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">女</td> <td style="text-align: center;">78,801</td> <td style="text-align: center;">23,659</td> <td style="text-align: center;">30.02</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">151,215</td> <td style="text-align: center;">47,106</td> <td style="text-align: center;">31.15</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	72,414	23,447	32.38	女	78,801	23,659	30.02	合計	151,215	47,106	31.15
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	72,414	23,447	32.38																
女	78,801	23,659	30.02																
合計	151,215	47,106	31.15																
事業評価	今後も迅速・正確な選挙事務の執行に努めるとともに投票所の環境整備に努める必要がある。																		

事務事業名	衆議院議員総選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	43,518千円																
事業内容	解散に伴う衆議院議員総選挙を執行する。																		
成果・実績	12月14日に衆議院議員総選挙を執行した。																		
	<p style="text-align: center;">執行状況(小選挙区選挙)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">当日の有権者数</th> <th style="text-align: center;">投票者数</th> <th style="text-align: center;">投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">男</td> <td style="text-align: center;">73,427</td> <td style="text-align: center;">38,415</td> <td style="text-align: center;">52.32</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">女</td> <td style="text-align: center;">79,810</td> <td style="text-align: center;">38,578</td> <td style="text-align: center;">48.34</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">153,237</td> <td style="text-align: center;">76,993</td> <td style="text-align: center;">50.24</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	73,427	38,415	52.32	女	79,810	38,578	48.34	合計	153,237	76,993	50.24
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	73,427	38,415	52.32																
女	79,810	38,578	48.34																
合計	153,237	76,993	50.24																
事業評価	今後も迅速・正確な選挙事務の執行に努めるとともに投票所の環境整備に努める必要がある。																		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参加機会の充実と情報公開の推進

所管部局
その他

事務事業名	農業委員会委員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局								
		決算額	94千円								
事業内容	任期満了に伴う農業委員会委員選挙を執行する。										
成果・実績	7月6日に農業委員会委員選挙を執行した。(無投票) 執行状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>436</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,065</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	男	629	女	436	合計	1,065
	当日の有権者数										
男	629										
女	436										
合計	1,065										
事業評価	適正な選挙事務の執行に努めた。										

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
その他

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	501千円
事業内容	本市の行政及び財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が地方自治法の主旨に沿ってなされているかを主眼に厳正、公平の態度保持と指導監査を第一義として、違法、不当行為の防止と事務事業の改善に資す。例月現金出納検査、定期監査、随時監査、決算審査等を行う。		
成果・実績	<p>定期監査は、21課1室1事務局2センター5館4校を抽出し実施した。</p> <p>随時監査は、（仮称）伊勢田救急出張所改築建築工事及び同機械工事を抽出し実施した。</p> <p>財政援助団体等監査は、1団体を抽出し実施した。</p> <p>例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。</p> <p>決算審査は、一般会計・7特別会計・公営企業会計及び基金運用状況について実施した。</p> <p>住民監査請求による監査についても実施した。</p> <p>健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。</p> <p>また、全国都市監査委員会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の構成員として総会、研修会等に参加し、監査等の手法、内容の改善を図り、監査機能の充実、強化に努めた。</p>		
事業評価	全国都市監査委員会総会及び研修会への参加等により、監査機能の向上を図り事務事業の指導監査を適正に行うことができた。		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	358千円
事業内容	地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の不服申立てや勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定等を行う。		
成果・実績	<p>宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回開催し、職員団体登録事項変更に伴う審査等を行った。また、臨時会を2回開催し、公平委員会規則の一部改正の議決等を行った。</p> <p>このほか、全国公平委員会連合会、同近畿支部及び京都府公平委員会連合会の構成員として、総会、事務研究会等に参加し、公平委員会業務の円滑な推進に努めた。</p>		
事業評価	全国公平委員会連合会総会及び研修会への参加等により、審査機能の向上を図り適正に審査を行うことができた。		

平成26年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
その他

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	109千円
事業内容	地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された事項に関する納税義務者からの審査申出について審査、決定する。		
成果・実績	土地3件、家屋1件の審査申出を受理し、審査決定を行うため実地調査等を含め、委員会を14回開催した。 このほか、審査委員会業務の円滑な推進のため、(一財)資産評価システム研究センターが主催する研修会に参加した。		
事業評価	審査申出について、適正に審査を行うことができた。また、研修会への参加等により固定資産税制度の現状と課題及び審査委員会の運営について見識を深めることができた。		

平成 26 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	その他
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	1,591千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、京都府国有農地等管理処分事業事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>本年は、3年に一度の農業委員会委員の改選年であり、7月には7人の新任委員を含め20人の委員が就任された。</p> <p>「農業委員会等に関する法律」に基づき、農業委員会総会を13回開催し、「農地法」に基づく農地の権利移動及び転用などについて審議を行うとともに、「租税特別措置法」に基づく相続税納税猶予特例適用に係る証明願の承認及び農地の利用状況確認などについて審議を行った。</p> <p>また、各部会等の活動や研修会を開催し、農地行政の適正な執行に努めた。</p> <p>一方、農政活動においては、関係機関と連携しながら、農地の適正管理を呼びかけるとともに、「農業経営基盤強化促進法」に基づく農地の利用権設定の推進、農業者年金の各種届出等への対応や、加入促進事業に取り組んだ。</p> <p>さらに、農家への啓発活動として「農委だより・うじ」の発行等を行った。</p>		
事業評価	「農業委員会等に関する法律」に基づき、適正に農地行政経費を執行し、農地利用の審議及び農家への啓発などを図ることができた。今後も円滑な委員会運営に努める必要がある。		

用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,528,919	2,866,789	在 庫 用 品	1,337,870	
4,471,081	6,672,139	預 金	2,201,058	
	1,883,391	未 収 金	1,883,391	
	1,654,580	未 払 金	1,654,580	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	13,076,899	小 計	13,076,899	6,000,000
		払 出 差 益	545,521	545,521
		受 取 利 息	957	957
		雑 利 益		
0	0	雑 損 失		
546,478	546,478	一般会計繰出金		
546,478	546,478	小 計	546,478	546,478
6,546,478	13,623,377	合 計	13,623,377	6,546,478